三重県埋蔵文化財調査報告２９６

大木ノ輪遺跡発掘調査報告

２００８(平成２０)年３月
三重県埋蔵文化財センター

序

大木ノ輪遺跡の傍らには、推定樹齢千年を越えるといわれる「長太の大樟」が広大な田園地帯に一樹、その迫力ある樹容を示しています。

1Km程南に位置する上箕田遺跡は、伊勢湾西岸地域を代表する弥生時代の遺跡として知られていますが、近年の調査成果から、当地域では少なくとも縄文時代晩期には、低地への居住が始まっていたことが明らかとなりました。

大木ノ輪遺跡の中心となる時代は大量の土器が出土したことからも中世といえますが、弥生時代前期の土器も出土しており、上箕田遺跡と同じように早い時期から人々が生活の場としていたことがうかがわれます。また、古墳時代の井戸に残された井戸枠は、扉材を転用した1枚板としては三重県で最大級のものです。これは、この地に高度な加工技術をもった人々が存在したことを示すとともに、当時の建築技術を知る上でも貴重な資料となりました。

調査を終えた地点は、工事により破壊を余儀なくされましたが、遺跡の大部分は、北勢地域有数の田園地帯が広がり、今なお地下に眠り続けています。今後も貴重な文化財として、長太の大樟とともに変わることなく保護・保存され続けていくことが願われます。最後になりましたが、調査にご協力頂いた関係者の方々に感謝申し上げます。

平成20年3月

三重県埋蔵文化財センター
所長　吉水康夫

例　　言

1　本書は、三重県鈴鹿市林崎町大木ノ輪ほかに所在する大木ノ輪遺跡の発掘調査報告書である。

2　調査は、鈴鹿川沿岸二期地区経営体育成基盤整備事業に伴い、平成17･18年度に緊急発掘調査を実施したものである。

3　発掘調査および報告書作成は、次の体制で行った。

調査主体　三重県教育委員会

調査担当　三重県埋蔵文化財センター

【平成１７年度】

調査研究Ⅰグループ　　主査　辻本泰宏　　技師　角正芳浩　　臨時技術補助員　豊田祥三

【平成１８年度】

調査研究Ⅰ課　　主査　穂積裕昌　　臨時技術補助員　酒井巳紀子

【平成１９年度】

調査研究Ⅱ課　　技師　角正芳浩

整理担当　　調査研究Ⅰ課　支援研究課　情報普及課

4　調査に係る費用は、三重県農水商工部が全額負担した。

5　本書の作成は調査研究Ⅰ課が中心となり、執筆および編集は角正が行った。写真撮影は遺構は各担当者が、遺物は調査研究Ⅰ課長谷川哲也、萩原義彦、山本達也が行った。なお、本報告にあたり昭和53･54年度に実施した第１・２次発掘調査の成果も併せて記載した。第１・２次調査については、『Ⅱ　鈴鹿市箕田大木ノ輪遺跡』（昭和54年度県営圃場整備事業地域埋蔵文財発掘調査報告　1980　三重県教育委員会）および調査担当者である早川裕巳の記録類等を参考にした。

6　報告書作成にあたって、藤澤良祐氏（愛知学院大学）に中世陶磁器類に関する御指導と御助言を賜った。記して感謝いたします。

7　本書で報告した記録類および出土遺物は、三重県埋蔵文化財センターで保管している。

8　地図類

・本書で使用した地図類は、国土地理院発行の１／25,000地形図、鈴鹿川沿岸二期地区経営体育成基盤整備事業工事図である。

・これらの地図類は、平成14年４月から施行されている世界測地系･測地成果2000には対応していない。

・挿図の方位は、国土座標第Ⅵ系を基準とする座標北で示している。磁北は座標北の西偏６°30′である。

9　遺構類

・土層図の色調は、小山正忠･竹原秀雄編著『新版標準土色帖』（第９版1989年）を用いた。

・遺構番号は通番となっており、調査時に付与したものをそのまま使用した。

・本報告で使用した遺構略記号は以下のとおりである。

ＳＡ：柱列　ＳＢ：掘立柱建物　ＳＤ：溝　ＳＥ：井戸　ＳＫ：土坑　ＳＸ：墓　ＳＲ：流路

10　遺物類

・遺物番号は、調査年次･種別等にかかわらず通番で付与した。

・遺物実測図の縮尺は実物の１／４を基本とするが、それ以外のものはその都度示した。

・遺物観察表は、以下の要領で記載した。

報告書番号 …… 挿図掲載番号

実測番号 …… 実測段階での登録番号

旧報告書番号･旧実測番号 …… 昭和54年度報告書掲載番号および登録番号

出土位置･遺構 …… 遺物の出土した位置･遺構･層

法量 …… 口径･底部径･器高(数値は、それぞれの部位の最大値)

残存度 …… 12分割した際の残存する割合

11　写真類

・挿図と写真図版の遺物番号は、報告書番号と対応する。

・写真図版の遺物の縮尺は、不同である。

12　参考文献

・出土遺物の分類･編年等については、以下の文献を参考にした。

上村安生「伊勢･伊賀地域」『弥生土器の様式と編年』東海編 木耳社　2002

斎藤孝正『日本の美術 №409 越州窯青磁と緑釉･灰釉陶器』至文堂　2000

藤澤良祐「山茶碗研究の現状と課題」『研究紀要』第３号　三重県埋蔵文化財センター

中野晴久「赤羽・中野「生産地における編年について」」『全国シンポジウム「中世常滑焼をおって」資料集』
日本福祉大学知多半島総合研究所 1994

伊藤裕偉「中世南伊勢系の土師器に関する一試論」『Miehistory』vol. 1　三重歴史文化研究会 1990
「中世後期の中北勢系土師器群に関する覚書」『研究紀要』第８号 三重県埋蔵文化財センター 1999

『陶邑古窯址群Ⅰ』平安学園考古学クラブ 1966

『太宰府条坊跡ＸＶ－陶磁器分類編－』　太宰府市教育委員会　2000

本文目次

Ⅰ　前　　言 …… 1

1　遺跡の発見と過去の調査 …… 1
2　調査に至る経緯と経過 …… 1
3　調査の方法 …… 1
4　昭和54年度報告書との整合 …… 4
5　文化財保護法にかかる諸通知 …… 4

Ⅱ　位置と環境 …… 5

1　地理的環境 …… 5
2　歴史的環境 …… 6

Ⅲ　遺　　構 …… 9

1　基本層序 …… 9
2　平成17年度（第４次）調査 …… 9
3　平成18年度（第５次）調査 …… 11
4　昭和53･54年度（第１・２次）調査 …… 12

Ⅳ　出 土 遺 物 …… 53

1　平成17年度（第４次）調査出土遺物 …… 53
2　平成18年度（第５次）調査出土遺物 …… 54
3　昭和54年度（第１・２次）調査出土遺物 …… 55

Ⅴ　自然科学分析 …… 123

Ⅵ　結　　語 …… 129

1　各時代の概要 …… 129
2　弥生土器について …… 131
3　土錘について …… 131
4　条里地割りについて …… 133
5　まとめ …… 134

挿図目次

Ⅰ　前　　言

第１図　調査区位置図 …… 3

Ⅱ　位置と環境

第２図　遺跡位置図 …… 5
第３図　鈴鹿川下流域地形図 …… 5
第４図　周辺遺跡図 …… 7

Ⅲ　遺　　構

第５図　土層断面実測図（H17- Ｃ地区）……17
第６図　土層断面実測図（H17- Ａ・Ｂ・Ｃ地区）‥18
第７図　土層断面実測図（H17- Ｄ・Ｅ地区）‥‥19
第８図　土層断面実測図（H17- Ｄ地区）……20
第９図　土層断面実測図（H17- Ｆ地区）……21
第10図　土層断面実測図（H17- Ｇ地区①）……22
第11図　土層断面実測図（H17- Ｇ地区②）……23
第12図　土層断面実測図（H17- Ｈ・Ｉ・Ｊ地区）‥24
第13図　土層断面実測図（H18- 北地区）……25
第14図　土層断面実測図（H18- 南地区①）……26
第15図　土層断面実測図（H18- 南地区②）……27
第16図　遺構実測図①（H17－Ａ・Ｂ地区）……28
第17図　遺構実測図②（H17－Ｃ地区①）……29
第18図　遺構実測図③（H17－Ｃ地区②）……30
第19図　遺構実測図④（H17－Ｄ・Ｅ地区）……31
第20図　遺構実測図⑤（H17－Ｅ地区）……32
第21図　遺構実測図⑥（H17－Ｆ地区）……33
第22図　遺構実測図⑦（H17－Ｇ地区）……34
第23図　遺構実測図⑧（H18－北地区）……35
第24図　遺構実測図⑨（H18－南地区）……36
第25図　遺構実測図⑩（Ｓ54－幹線排水路地区）‥37
第26図　遺構実測図⑪（Ｓ54－Ａ地区）……38
第27図　遺構実測図⑫（Ｓ54－Ｂ地区）……39
第28図　遺構実測図⑬（Ｓ54－Ｃ地区）……40
第29図　掘立柱建物実測図 ……41
第30図　土坑実測図 ……42
第31図　溝実測図① ……43
第32図　溝実測図② ……44
第33図　溝実測図③ ……45
第34図　溝実測図④ ……46
第35図　溝実測図⑤・中世墓実測図 ……47
第36図　井戸実測図 ……48
第37図　畦畔実測図 ……49
第38図　出土遺物実測図① ……61
第39図　出土遺物実測図② ……62
第40図　出土遺物実測図③ ……63
第41図　出土遺物実測図④ ……64
第42図　出土遺物実測図⑤ ……65
第43図　出土遺物実測図⑥ ……66
第44図　出土遺物実測図⑦ ……67
第45図　出土遺物実測図⑧ ……68
第46図　出土遺物実測図⑨ ……69
第47図　出土遺物実測図⑩ ……70
第48図　出土遺物実測図⑪ ……71
第49図　出土遺物実測図⑫ ……72
第50図　出土遺物実測図⑬ ……73
第51図　出土遺物実測図⑭ ……74
第52図　出土遺物実測図⑮ ……75
第53図　出土遺物実測図⑯ ……76
第54図　出土遺物実測図⑰ ……77
第55図　出土遺物実測図⑱ ……78
第56図　出土遺物実測図⑲ ……79
第57図　出土遺物実測図⑳ ……80
第58図　出土遺物実測図㉑ ……81
第59図　出土遺物実測図㉒ ……82
第60図　出土遺物実測図㉓ ……83
第61図　出土遺物実測図㉔ ……84
第62図　出土遺物実測図㉕ ……85

第63図　出土遺物実測図㉖ ……86
第64図　出土遺物実測図㉗ ……87
第65図　出土遺物実測図㉘ ……88
第66図　出土木製品実測図① ……89
第67図　出土木製品実測図② ……90
第68図　出土木製品実測図③ ……91
第69図　出土木製品実測図④ ……92

Ⅵ　結　　語

第70図　主要遺構配置図 …… 130
第71図　土錘分類図 …… 132
第72図　土錘各グラフ …… 132
第73図　畦畔位置図 …… 134

表 目 次

Ⅰ　前　　言

第１表　大木ノ輪遺跡調査一覧 …… 2

Ⅲ　遺　　構

第２表　遺構一覧① ……50
第３表　遺構一覧② ……51
第４表　遺構一覧③ ……52

Ⅳ　出土遺物

第５表　土器類観察表① ……93
第６表　土器類観察表② ……94
第７表　土器類観察表③ ……95
第８表　土器類観察表④ ……96
第９表　土器類観察表⑤ ……97
第10表　土器類観察表⑥ ……98
第11表　土器類観察表⑦ ……99
第12表　土器類観察表⑧ …… 100
第13表　土器類観察表⑨ …… 101
第14表　土器類観察表⑩ …… 102
第15表　土器類観察表⑪ …… 103
第16表　土器類観察表⑫ …… 104
第17表　土器類観察表⑬ …… 105
第18表　土器類観察表⑭ …… 106
第19表　土器類観察表⑮ …… 107
第20表　土器類観察表⑯ …… 108
第21表　土器類観察表⑰ …… 109
第22表　土器類観察表⑱ …… 110
第23表　土器類観察表⑲ …… 111
第24表　土器類観察表⑳ …… 112
第25表　土器類観察表㉑ …… 113
第26表　土器類観察表㉒ …… 114
第27表　土器類観察表㉓ …… 115
第28表　土器類観察表㉔ …… 116
第29表　土器類観察表㉕ …… 117
第30表　土器類観察表㉖ …… 118
第31表　土器類観察表㉗ …… 119
第32表　土器類観察表㉘ …… 120
第33表　土器類観察表㉙ …… 121
第34表　土器類観察表㉚ …… 122
第35表　木製品観察表 …… 122

Ⅴ　自然科学分析

第36表　ＳＥ1106・ＳＤ1523出土木製品同定表　124

写真図版目次

図版１　H17－Ａ地区全景／H17－Ｂ地区全景
H17－Ｃ地区全景
図版２　H17－Ｅ地区全景／H17－Ｇ地区全景／
ＳＤ1101遺物出土状況／ＳＥ1106／
ＳＫ1005／畦畔３
図版３　H18－北区全景／H18－北区全景
H18－南区南半／H18－南区北半
図版４　ＳＤ1509／ＳＤ1528・1529／ＳＫ1503／
ＳＤ1509／ＳＤ1515・1516・1523／
作業風景
図版５　空中写真（圃場整備前）
Ｓ54－幹線排水路地区（東端区）
図版６　Ｓ54－Ａ地区（北区）／Ｓ54－Ａ地区（北区）
図版７　Ｓ54－Ｂ地区（西区）／Ｓ54－Ｃ地区（西区）
図版８　Ｓ54－Ｃ地区（西区）／Ｓ54－Ａ地区（北区）
Ｓ54－Ｃ地区／ＳＤ308／ＳＥ205
図版９　ＳＢ407／ＳＢ408・409／ＳＢ314／
ＳＤ405／ＳＥ312／ＳＥ401／ＳＥ301／
弥生土器出土状況
図版10　出土遺物／488・491・492・493・170・172
図版11　出土遺物／171・176・497・507・514・543
図版12　出土遺物／509・510・516・517・519・526・202・
528
図版13　出土遺物／552・554・555・194・197・565・186・
579
図版14　出土遺物／583・586・608・611・590・243・615・
625・631・596
図版15　出土遺物／676・677・694・707・680・703・714・
718・597・648
図版16　出土遺物／810・819・782・459・858・474・477・
875・886・816
図版17　出土遺物／786・798・784・792・834・773・436・
887・893・894
図版18　出土遺物／896・895・738・752・264・742・319・
326
図版19　出土遺物／870・705・706・707・1125・1126
図版20　出土遺物／931・1134・1137・942・943
図版21　出土遺物／1170・1171・1172・1173・1175
図版22　出土遺物／1161・1159・1162・1153・1160・
1161・1157・1157

Ⅰ　前　　言

1　遺跡の発見と過去の調査

大木ノ輪遺跡は、昭和53年度の分布調査によって自然堤防上の約100,000㎡の範囲に弥生時代から室町時代の土器片が表面採集されたことにより、その存在が確認された。当初遺跡名は「林崎東方遺跡」とされたが、後に字名をとり「大木ノ輪遺跡」と改称された。

昭和52年度から県教育委員会においては、年度当初に開発部局に対し、その年度内に計画されている公共事業の照会を行い、回答のあった事業について埋蔵文化財の有無を確認し、その結果を担当課に報告するとともに事業地内に含まれる埋蔵文化財を現状保存されるように要請をしている。(現在は前年度内に照会・協議を実施。)その中で県営圃場整備事業については、当時件数及び規模が増大しており、昭和54年度の圃場整備事業についての事業予定の報告を昭和53年度に受け、埋蔵文化財の確認を行うこととなった。このうち、鈴鹿川下流域右岸で計画された鈴鹿川沿岸第二期地区事業地内に大木ノ輪遺跡は所在した。

大木ノ輪遺跡の範囲は、昭和53年度に約100箇所の試掘坑を設定し範囲確認調査を実施した結果、弥生時代から室町時代にかけての多種多様な遺物が出土し、約50,000㎡の規模であることが確定していた。また、「中心が古墳時代から平安時代末までの一大集落址で、地方の一政庁的な性格もうかがわれる」との所見も示されている。本調査は、昭和53年度に幹線排水路部分約200㎡を対象に三重県教育委員会が実施した(第１次調査)。調査の結果、明確な遺構の存在は確認されなかったが、土層の断面観察により、条里制時のものと推定される水田床面が確認された。昭和54年度には引き続き、幹線排水路部分と畑を削平して開田する範囲約9,500㎡について実施した(第２次調査)。その結果、遺構では中世の井戸が18基確認され、井戸内には側板、曲物等の木製品が良好な状態で遺存していた。その他の遺物は、奈良時代を除く弥生時代前期から中世にいたる時期の土器が出土した。特に、緑釉陶器が約70点出土したことは遺跡の性格を考える上でも注目された。

その後、昭和61年度に、市道鈴鹿楠線改良工事に伴い、鈴鹿市遺跡調査会によって発掘調査が行われている(第３次調査)。

2　調査に至る経緯と経過

平成16年度からは、鈴鹿川沿岸二期地区において経営体育成基盤整備事業が実施された。現状の用水路を撤去し、新たに径150～700㎜の管を埋設する内容の工事である。当初この事業に伴う埋蔵文化財調査は、工事による掘削幅が狭いことから工事立会で対応していたが、延長距離が長いこともあり大木ノ輪遺跡にかかる範囲については事前調査を実施することになった。掘削幅が狭いため、遺構検出面において幅１m以上の掘削を行う箇所について発掘調査を実施し、その他の箇所については工事立会いで対応した(第４次調査)。本調査面積は、1,315㎡である。その結果、古墳時代の井戸の他、第１次調査で断面確認された水田の畦畔を確認した。あわせて、次年度事業範囲について範囲確認調査を実施した。その結果、遺構の存在が確認された部分と第２次調査で本調査を実施した箇所の隣接地の約380㎡について本調査対象とした。翌平成18年度に前年度の範囲確認調査の結果から、380㎡を対象として発掘調査を実施した(第５次調査)。その結果、溝や土坑等を確認したが、幅の狭い調査区のため、遺構の性格等詳細については明確にできなかった。

3　調査の方法

調査の体制　調査は三重県教育委員会が主体となり、三重県埋蔵文化財センターが担当した。

第４次調査では、現地作業に専念し、調査の効率化・安全管理水準の向上を図る目的で、発掘作業業務(調査補助員を含む)を指名競争入札により落札した株式会社昴工房に委託した。その業務内容は、作業員の雇用・管理や発掘機材の提供などの土工的作業や測量業務、簡易な実測業務などである。第５次

調査では、本調査対象面積が狭小であることから、農水商工部からの労務提供により実施した。

調査区の設定　各調査次数における調査区名は以下のとおりである。ただし、報告にあたり改称したものもあり、本報告をもって正式名とする。

調査時		報告書
第１・２次調査		
幹線排水路地区	→	Ｓ54－幹線地区
Ａ～Ｃ地区	→	Ｓ54－Ａ～Ｃ地区
第４次調査		
Ａ～Ｊ地区	→	H17－Ａ～Ｊ地区
第５次調査		
	→	H18－北･南地区

地区の設定　第４次調査では、調査区が広範に及ぶため任意の点を基準とした100m四方を一区画とする大グリッドを設定し、さらに各大グリッドについて４m四方を一区画とする小グリッドに分割した。各グリッドには西から東へアルファベットを、北から南へはアラビア数字を付与し、各グリッドの名称は両者の組み合わせで表記した。各調査区の名称は調査を実施するうえで便宜上、Ａ～Ｊまでの10地区に区分した。第５次調査でのグリッドの基準は調査区に合わせた任意のもので、第４次調査との連続性はない。また、第１・２次調査における地区設定は、記述があるものの対照する資料が残っていないため不明である。

表土除去　バックホーでアスファルト・路床の撤去および旧耕作土を除去した。

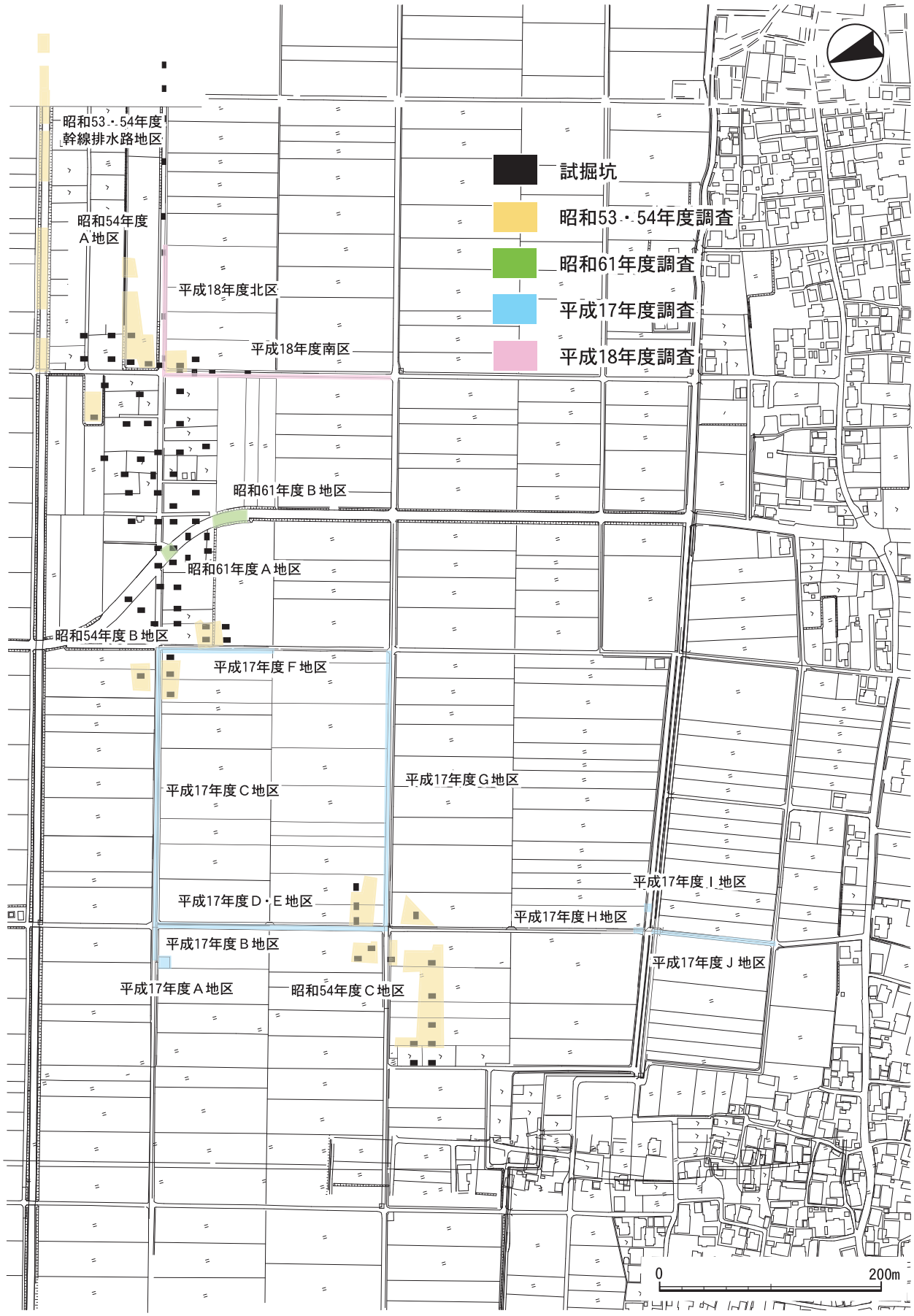
遺構の検出･掘削　表土を除去した後、包含層掘削･遺構検出を人力により行った。その後、遺構を掘削した。

遺構カード　小グリッド（地区）単位で検出された遺構の略図･埋土土質･重複関係等を記録し、遺物が

調査次数	年度（月）	原因事業	調査面積	所在地	遺構	出土遺物
1	S 53 (11-12)	県営ほ場整備（※１）	２００㎡			
		県営ほ場整備 幹線排水路地区	1,600㎡	南長太町字天ノ宮・三方他	溝７・井戸２・土坑３・柵列１・中世墓２	弥生（前）壷・甕、土師器、山茶椀、古瀬戸、常滑
2	S 54 (5-3)	県営ほ場整備 Ａ地区	2,200㎡	中箕田町字石磯他	掘立柱建物１・溝３・井戸７・土坑３	弥生土器、須恵器、土師器、山茶椀、古瀬戸、常滑、石斧、砥石、土錘、木製品
		県営ほ場整備 Ｂ地区	1,500㎡	上箕田町字石津他	掘立柱建物１・溝６・井戸６・土坑１	弥生（前）壷、須恵器、土師器、山茶椀、灰釉陶器、緑釉陶器、青磁、白磁、漆器椀、土錘、砥石
		県営ほ場整備 Ｃ地区	4,200㎡	林崎町字大木ノ輪他	掘立柱建物３・溝４・井戸１・土坑１	弥生（後）土器、古墳土師器、緑釉陶器、土錘、石包丁、砥石、編み棒状木製品
3	S 61 (7-8)（※２）	市道鈴鹿楠線改良工事　Ａ地区	28㎡		掘立柱建物１	弥生土器、土師器、山茶椀、土錘
		市道鈴鹿楠線改良工事　Ｂ地区	700㎡		掘立柱建物２・溝２・不明１	弥生土器、土師器、山茶椀、土錘
4	H 17 (10-12)	経営体育成事業	1,315㎡	林崎町字大木ノ輪他	井戸１・溝	弥生土器、須恵器、土師器、山茶碗、灰釉陶器、青磁、石製品
5	H 18 (10-11)	経営体育成事業	380㎡	林崎町字大木ノ輪他	溝・土坑・他	

※１：範囲確認調査　　※２：鈴鹿市遺跡調査会が実施

第１表　大木ノ輪遺跡調査一覧



第１図　調査区位置図（１:5,000）

出土した遺構については、出土年月日・内容等も記載した。

遺構番号　遺構番号は、以下のとおり付与した。報告にあたっては、調査時のものをそのまま使用している。

第１・２次調査

幹線排水路地区	100 ～	Ａ地区	200 ～
Ｂ地区	300 ～	Ｃ地区	400 ～

第４次調査

Ａ地区	0 ～ 500
Ｂ地区	501 ～1000
Ｃ地区	1001 ～1100
Ｄ・Ｅ地区	1101 ～1200
Ｆ地区	1201 ～1300
Ｇ地区	1301 ～1400
Ｈ地区	1401 ～1500

第５次調査

1501 ～

図面類の作成　調査時における土層断面は、１／20ないしは、縦１/20・横１/100の縮尺で作成した。全体遺構図については、１/20で作成した。遺物の出土状況図等は、適宜１/10ないしは１/20で作成した。

写真撮影　遺構写真の撮影には、４×５インチ判ないしはブローニー判（６×７ないしは６×９センチ）の白黒ネガ・カラーリバーサルフィルムを使用し、補助的に35ミリ判も用いた。第４次調査では、ラジコンヘリコプターによる空中写真撮影も実施した。遺物写真撮影には、ブローニー判を基本に、大きな遺物については４×５インチ判も適宜使用した。

保存処理　出土した木製品および金属製品については、外部委託により保存処理を行った。受託業者は、木製品が株式会社吉田生物研究所、金属製品が財団法人元興寺文化財研究所である。なお、昭和54年度調査で出土した木製品の一部については、昭和55年度に元興寺文化財研究所が保存処理を行った。

４　昭和54年度報告書との整合

大木ノ輪遺跡の第１・２次調査分については、すでに報告書（『昭和54年度県営圃場整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』三重県教育委員会　1980）が刊行されているが、概要報告的な内容であったことと、今回の調査成果と合わせた総合的な評価を行うために、改めて本報告書でより詳細な報告をすることとした。報告にあたって、遺構番号についてはそのまま使用したが、遺物については出土した遺構等が示されていなかったため、遺構毎に分類したうえで、再抽出・再実測を行い、新たに実測番号・報告書番号を与えた。旧実測番号・報告書番号との対照は遺物観察表に記載した。

５　文化財保護法にかかる諸通知

文化財保護法（以下、「法」）にかかる諸通知は、以下により行った。

・法に基づく三重県文化財保護条例第48条第１項（県教育長あて県知事通知）

平成17年８月30日付け北農第9083号

平成18年10月10日付け四農環第3160号

・法第99条（県教育長あて三重県埋蔵文化財センター所長報告）

平成17年10月12日付け教埋第240号

平成18年11月２日付け教埋385号

・遺失物法にかかる文化財発見・認定通知（鈴鹿警察署長あて通知）

平成18年２月６日付け教委第12-４-26号

平成19年２月20日付け教委第12-４-32号

＊県教育長から鈴鹿警察署長あてに通知

【参考文献】

『鈴鹿市史』第一巻　鈴鹿市教育委員会 1980

三重県教育委員会『三重県埋蔵文化財年報』9　1979

三重県教育委員会「Ⅱ鈴鹿市箕田　大木ノ輪遺跡」『昭和54年度県営圃場整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』1980

鈴鹿市遺跡調査会『市道鈴鹿楠線改良工事に伴う埋蔵文化財調査概要報告- 大木ノ輪遺跡-』1986

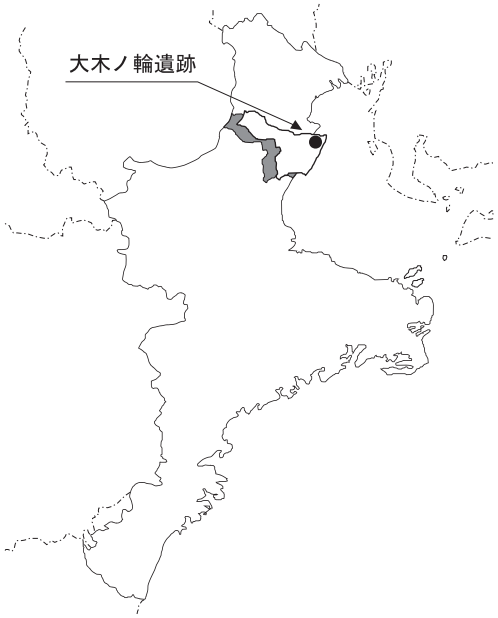
Ⅱ　位置と環境

1　地理的環境

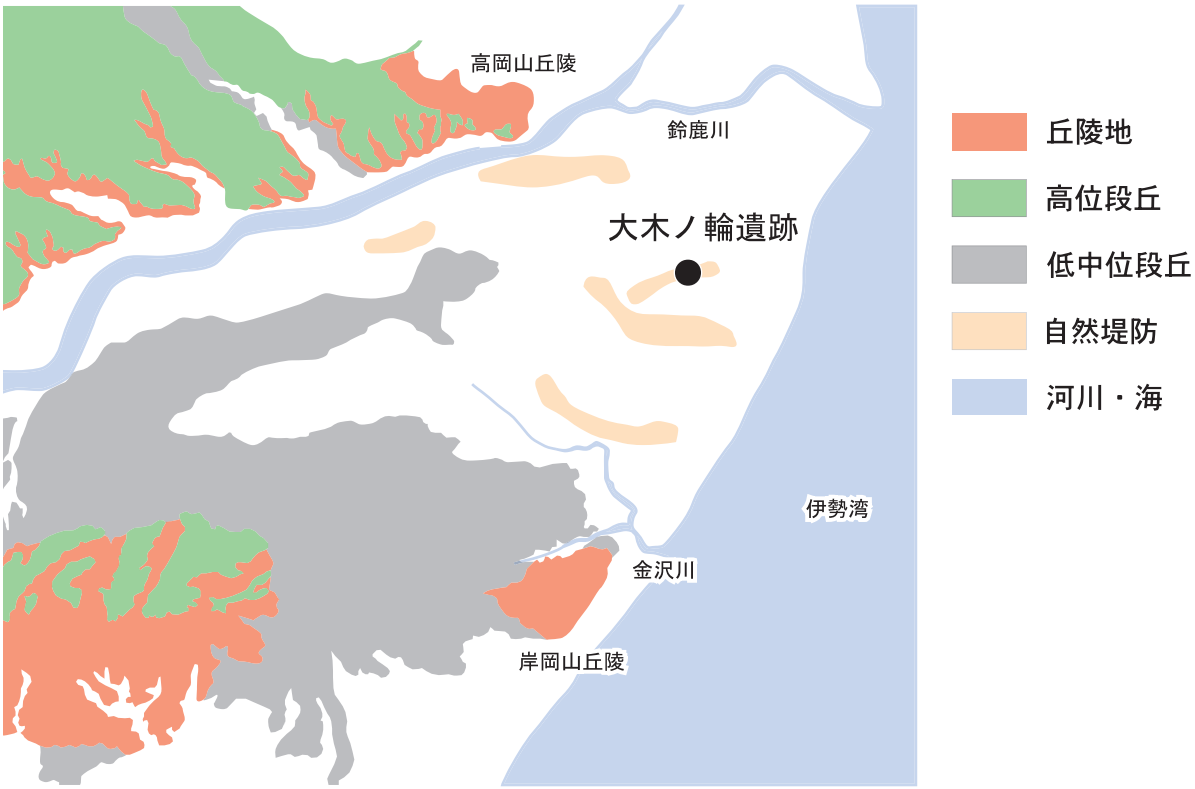
大木ノ輪遺跡（1）が所在する鈴鹿市は、三重県の中央部からやや北よりに位置し、西は鈴鹿山脈を隔てて滋賀県と境をなし、東は伊勢湾が広がる。南北はそれぞれ亀山市、津市、四日市市と境を接する。

市域を東流し伊勢湾に注ぐ鈴鹿川は、下流域において幾度も流路を変えながら肥沃な三角州性扇状地（鈴鹿川低地）を形成している。この低地は鈴鹿川と金沢川が繰り返した氾濫によって形成されたもので、旧河道沿いには断続的な自然堤防が発達している。右岸には低中位段丘（鈴鹿台地）が鈴鹿丘陵の裾を北東から南東方向に緩やかに下がり、北は鈴鹿川の谷底平野に接し、東北端・南端では沖積層下に没する。南東部では臨海平野部に孤立する岸岡丘陵に接する。

大木ノ輪遺跡が立地する自然堤防は幅が100～200mあり、延長約2,500mわたって帯状に広がる。



第２図　遺跡位置図



第３図　鈴鹿川下流域地形図

標高は３～６ｍで、周辺の水田面との比高は１～２ｍ程である。自然堤防の表層は粗砂・砂礫層で、周辺の沖積層は１～４ｍの砂・シルト質砂等の表層があり、その下位に軟弱なシルト・黒色泥層がある。大木ノ輪遺跡周辺での泥層の深さは10m前後にまで達する。こうした沖積層に点在する自然堤防上を中心に縄文時代晩期から現代に至るまでの遺構・遺物が確認されている。

２ 歴史的環境

旧石器時代　鈴鹿川左岸と内部川流域には標高40～120mの中位段丘面が発達している。周辺域では当該期の遺物が多数採集されており、現在までのところ、北勢地方で最も多く当該時代の遺物が採集されている地域となっている。この段丘状に立地する遺跡には、高岡町茶山遺跡(38)・西ノ岡Ａ遺跡(43)・寺田山遺跡(41)・国分町富士山越遺跡(47)等がある。これらの遺跡は小支谷を挟んで約２㎞の間隔で数遺跡単位の群をなしている。

縄文時代　飯野寺家町起Ａ遺跡(24)は低位段丘末端部に立地する。中期末葉の土坑が１基単独で検出されており、約20個体分の深鉢形土器が一括投棄されたような状態で出土している。岸岡町岸岡山遺跡(20)では中期末頃と考えられる土器片と石鏃が採集されている。

中箕田町上箕田遺跡(８)では第５次調査で、遺跡の東縁辺部において晩期の遺物包含層が確認され、五貫森式期を中心とする土器が出土している。大木ノ輪遺跡の北東に隣接する天ノ宮遺跡(２)からは中期末から後期初頭と考えられる円形刺突文の施された土器片が出土している。

弥生時代　伊勢地域における当該期の遺跡は、伊勢湾西岸河川流域の沖積地に分布しており、鈴鹿川流域では縄文時代晩期に始まる上箕田遺跡が大規模な拠点集落として形成される。上箕田遺跡は昭和35年(1960)に水田の床下げ作業中に多数の土器が発見されたことを契機とし、これまでに６次に渡って発掘調査が実施され、水路跡らしき杭列や溝状遺構、方形周溝墓等が確認されている。方形周溝墓は自然堤防の縁辺部に築かれており、当時の集落が現在の集落の密集する地域と重複するものと推測されている。遺物では、前期から後期にかけての土器が多数出土しており、中には鹿を射る人物が描かれた土器や銅鐸形土製品などもある。十宮町八重垣神社遺跡(35)においても前期の土器が比較的まとまって出土しており、上箕田遺跡と同様な集落展開を考えることが可能だと見られている。こうした前期の遺跡の分布は中期にも引き継がれるとともに、周辺部にも拡大し、さらに後期になると高岡山や岸岡山などの丘陵上に濠を伴う集落が認められるようになる。

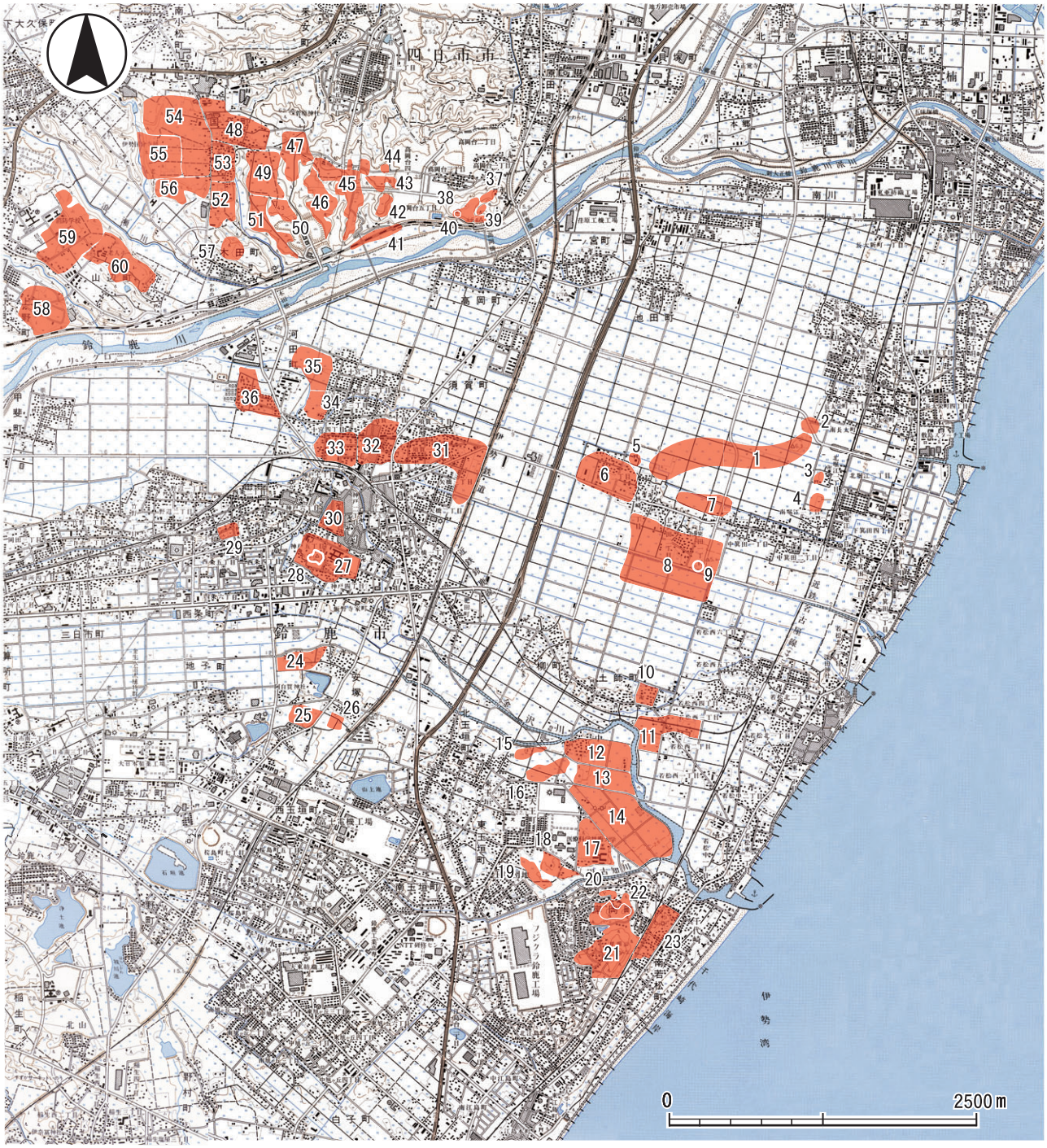
鈴鹿川左岸の丘陵上に立地する高岡町扇広遺跡(44)・西ノ岡Ａ遺跡、国分町境谷遺跡(46)・中尾山遺跡(50)からは、中期後半から後期初頭の竪穴住居や後期前半の方形周溝墓等が検出されている。小支谷を挟んで立地する各遺跡は、それぞれに特徴をもっており、扇広遺跡は丘陵の斜面に立地し防御施設と考えられる溝(濠)が存在し、西ノ岡Ｂ遺跡(42)は、方形周溝墓のみが分布する等、遺跡相互の関係が注目される。

上野町一反通遺跡(58)からは、中期から後期の濠が検出されており、玉作関係遺物の他、銅鐸片や銅鐸形土製品、打製・磨製石鏃、磨製石斧など豊富な遺物が出土している。銅鐸片は、茶山遺跡からも採集されている。

十宮町神戸中学校遺跡(33)からは、後期後半の大溝や六角形状の柱配置をもつ掘立柱建物、方形周溝墓などが検出されている。起Ａ遺跡では、中期の竪穴住居や掘立柱建物等が検出されており、出土した壺からは約50粒の炭化米が確認されている。この他、沖積平野の自然堤防上に立地する遺跡としては、土師町土師南方遺跡（11）等があり、低位段丘の縁辺部には起Ｂ・Ｃ遺跡(25･26)、須賀町須賀遺跡(31)、神戸北萱町萱町遺跡(32)等がある。

古墳時代　鈴鹿川流域には、数多くの古墳が築造される。高岡町寺田山１号墳は、鈴鹿川に延びる舌状台地に立地する全長85mの前方後円墳である。全体として柄鏡形に近く、４世紀終わりから５世紀初頭頃の首長墓とされる。前方後円墳として知られる富士山１号墳や同10号墳がこれに続くものとされる。

金沢川流域右岸には海岸に近い位置に塚越・岸岡山・愛宕などの古墳群が存在する。東玉垣町塚越古墳群からは、画文帯神獣鏡等の鏡や玉類が出土した



1 大木ノ輪遺跡
2 天ノ宮遺跡
3 神大寺遺跡
4 市ノ坪遺跡
5 大塚神社遺跡
6 林崎遺跡
7 上箕田北遺跡
8 上箕田遺跡
9 上箕田城跡
10 土師北方遺跡
11 土師南方遺跡
12 中島遺跡
13 双ツ塚遺跡
14 金沢川遺跡
15 深田遺跡
16 双ツ塚西方遺跡
17 天王遺跡
18 天王屋敷遺跡
19 大口野遺跡
20 岸岡山Ⅰ遺跡
21 岸岡山Ⅲ遺跡
22 岸岡城跡
23 砂山遺跡
24 起Ａ遺跡
25 起Ｂ遺跡
26 起Ｃ遺跡
27 本多町遺跡
28 神戸城跡
29 狐穴遺跡
30 龍光寺遺跡
31 須賀遺跡
32 萱町遺跡
33 神戸中学校遺跡
34 宮ノ前遺跡
35 八重垣神社遺跡
36 河田宮ノ北遺跡
37 高岡中世墓
38 茶山遺跡
39 高岡古里遺跡
40 高岡城跡
41 寺田山遺跡
42 西ノ岡Ｂ遺跡
43 西ノ岡Ａ遺跡
44 扇広遺跡
45 寺山遺跡
46 境谷遺跡
47 富士山越遺跡
48 国分北遺跡
49 国分東遺跡
50 中尾山遺跡
51 沖ノ坂遺跡
52 国分南遺跡
53 国分遺跡
54 国分西遺跡
55 伊勢国分寺跡
56 狐塚遺跡
57 木田城跡
58 一反通遺跡
59 石薬師東遺跡
60 添遺跡

第４図　周辺遺跡図（１:50,000）（国土地理院１:25,000「鈴鹿」）

と伝えられる。岸岡町岸岡山には丘陵一帯に約40基の古墳が分布する。群内最大の22号墳は全長53.5mの前方後円墳で、５世紀末頃の築造とされる。くびれ部から須恵器、円筒埴輪、形象埴輪の破片がまとまって出土している。

この時期の集落跡としては、沖ノ坂遺跡(51)、起Ａ遺跡、大木ノ輪遺跡、神大寺遺跡(３)、双ッ塚遺跡（13）等が知られる。中期末から後期にかけては、宮ノ前遺跡（34)や河田宮ノ北遺跡（36）周辺に有力な集団が存在していたことがわかってきている。

岸岡山窯跡は６世紀後半に操業し、須恵器を古墳群に供給するとともに、脚付短頸壺は伊勢湾の対岸地域でも出土しており、被葬者の海上交通との密接な関係が窺われる。

古代　周辺は、古代においては河曲郡に相当する。『倭名類聚抄』によれば、河曲郡には神戸・駅家・中跡・海部・川部・賀美・資母・深田の８郷あったとされ、大木ノ輪遺跡は賀美郷に属する。河曲郡は、面積は小さいものの郷の数や式内社の数が多く、古代において重要な地域であったことが示唆される。

鈴鹿川左岸の丘陵上には、伊勢国分寺・伊勢国分尼寺や河曲郡衙の正倉院とされる狐塚遺跡などが所在する。

金沢川流域にも注目すべき遺跡が所在する。岸岡町天王遺跡(17)では、規格性を持つ掘立柱建物が検出され、国府や郡衙等と役所に属する関連施設や港湾施設等の可能性が高いと考えられている。また、県内で２例目となる蹄脚硯が出土している。天王屋敷遺跡（18)では八葉素弁蓮華文軒丸瓦・三重弧文軒平瓦が、土師南方遺跡からは山田式軒丸瓦の出土が知られる。柳町双ツ塚遺跡では、総柱建物を含む平安時代の掘立柱建物が検出されている。

中世　この時期、「林崎御厨」や「箕田御厨」がおかれたことが『吾妻鏡』や『神鳳鈔』などに記載されている。また、『應仁記』によると、北畠教具・足利義視によって滅ぼされた伊勢国の守護土岐（世保）政康が上箕田付近を根拠地として上箕田墓地付近に上箕田城(９)を構えたとされているが、その所在地は明らかにされていない。このほか周辺には、神戸氏が拠った沢城・神戸城、高岡城、岸岡城、若松城等が点在する。南長太の集落に所在する正源寺はかつて大伽藍を誇ったが、織田信長の伊勢侵攻により焼失したと伝えられる。

【参考文献】
『鈴鹿市史』第一巻 鈴鹿市教育委員会 1980
『三重県の地名』（日本歴史地名体系24）平凡社 1983
『三重県史 資料編 考古１』三重県　2005
【発掘調査報告書等】
三重県教育委員会『鈴鹿市土師町・土師南方遺跡』1973
三重県教育委員会『鈴鹿市岸岡町 塚越３号墳』1978
三重県教育委員会「Ⅱ鈴鹿市箕田 大木ノ輪遺跡」『昭和54年度県営圃場整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』1980
鈴鹿市遺跡調査会『市道鈴鹿楠線改良工事に伴う埋蔵文化財調査概要報告―大木ノ輪遺跡―』1986
『上箕田』三重県立神戸高等学校 1961
鈴鹿市教育委員会『上箕田弥生式遺跡第二次調査報告』1970
三重県教育委員会『昭和54年度県営整備事業地内上箕田遺跡調査遺跡査概要』1971
鈴鹿市遺跡調査会『市道鈴鹿楠線改良工事に伴う埋蔵文化財調査報告』1986
三重県教育委員会「Ⅵ 鈴鹿市南長太町 天ノ宮遺跡」『昭和55年度県営圃場整備事業地域埋蔵文化財調査報告』1980
三重県教育委員会「Ⅶ 鈴鹿市南堀江町 神大寺遺跡」『昭和55年度県営圃場整備事業地域埋蔵文化財調査報告』1980
三重県教育委員会「起Ａ遺跡」『昭和57年度農業基盤整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』1983
鈴鹿市教育委員会・鈴鹿市遺跡調査会『上箕田遺跡』1993
鈴鹿市教育委員会「寺山遺跡」『鈴鹿市埋蔵文化財調査年報』Ⅱ 平成６年度 1995
三重県埋蔵文化財センター『河曲の遺跡』2004
藤原秀樹「第３章弥生時代 12扇広遺跡」『三重県史 資料編 考古１』三重県 2005
藤原秀樹「第３章弥生時代 16神戸中学校遺跡」『三重県史 資料編 考古１』三重県 2005
新田 剛「第４章古墳時代 ９寺田山１号墳」『三重県史 資料編 考古１』三重県 2005

Ⅲ　遺　　構

1　基本層序

第４次・第５次調査は、基本的に水田面から0.6～1.0m程度盛土されて造られた道路上もしくはその法面で実施した。盛土による道路の路床は、大部分が土壌強化のための改良が行われていた。その影響が盛土以下の地山層にも影響を及ぼしていたため、本来の土層の状況を確認できたのは掘削した深さの１/２～１/４程度であった。

層位は調査範囲が広範に及ぶため、地区ごとに異なった様相を示している。したがって、全体を通しての基本となる層序を示すことは難しく、以下では地区ごとに記述する。

H17-Ａ・Ｂ・Ｃ地区では、圃場整備前の耕作土(灰色～灰オリーブ色シルト・粘土層と黄褐色～暗褐色シルト・粘土層)が複数層認められている。H17-Ｆ地区では、北部にシルト・粘土層が見られるのに対し、南部では砂が次第に厚くなり、シルトとの互層になる様子が認められる。こうした砂の堆積状況は、自然堤防の縁辺部に相当するものと考えられる。H17-Ｅ地区の南部やH18-北地区においても、砂層がベースとなっている。H17-Ｇ地区は、黄褐色シルト・粘土層が広がる(第５図～15図)。

2　平成17年度(第４次)調査

調査区は、工事路線毎に、H17-Ａ～Ｊまでの10地区に分かれる。H17-Ａ地区を除くと、幅２m以下の狭い調査区である。そのため、検出された各遺構の性格や方位等得られた情報に限りがあることは否めない。

Ａ　H17-Ａ地区(第16図)

ポンプ施設を設置する箇所に設定した約10m四方の調査区で、最も北西に位置する。

鎌倉時代の水田畦畔を１条検出した。

鎌倉時代の遺構

畦畔１(第37図)　南北方向の畦畔で，N20°Ｅの方向をとる。幅は下端で0.65～0.9m、上端で0.2～0.3m、高さ15～20cmである。

Ｂ　H17-Ｂ地区(第16図)

H17-Ａ地区の北側に隣接し、東方向にのびる幅約2.0m、延長約32mの狭い調査区である。

南北方向に並行する鎌倉時代の水田畦畔を２条検出した。

鎌倉時代の遺構

畦畔２(第37図)　西側の畦畔である。畦畔１とは、芯々間で約12.5mの距離がある。幅は下端で約1.1m、上端で0.6m前後、高さは約10cmである。

畦畔３(第37図)　畦畔２とは芯々間で約12.5mの距離がある。幅は下端で0.65～0.75m、上端で約0.3m、高さ約20cmである。

Ｃ　H17-Ｃ地区(第17・18図)

Ｂ地区から工業用水を隔てて東に延長する幅2.0m、延長約245mの調査区である。調査区の西側は粘質土層、東側はシルト～砂層である。鎌倉時代の溝７条、土坑１基、水田畦畔４条を検出した。

鎌倉時代の遺構

ａ　溝(第31図)

７条を検出した。すべてが南北方向の溝である。検出した延長が短いため正確な方向は不明であるが、ＳＤ1001がほぼ真北を向く以外は、わずかに東へ振れるようである。

ＳＤ1001　調査区の中央付近で検出した。ほぼ真北方向を向く。幅約0.4m、検出面からの深さ約20cmである。

ＳＤ1002　幅約2.3m、検出面からの深さ約50～60cmである。

ＳＤ1003　幅約3.4～4.0m、検出面からの深さ80～90cmである。

ＳＤ1004　幅約0.5～0.9m、検出面からの深さ約15cmである。

ＳＤ1006　幅約1.1～1.4m、検出面からの深さ20～25cmである。南伊勢系土師器鍋や陶器椀等が出土した。後述するＳ54-Ｂ地区で検出されたＳＤ307の延長部分と考えられる。

ＳＤ1007　幅約2.0m、検出面からの深さ約30～50cmである。後述するＳ54-Ｂ地区で検出されたＳ

Ｄ308の延長部分と考えられる。

ＳＤ1008　幅約1.0m、検出面からの深さ約25cm前後である。

ｂ　土坑

ＳＫ1005（第30図）　遺構の半分を検出した。平面楕円形ないしは隅丸方形をなし、中段をもつ。径約2.2m、検出面からの深さ約90cmである。粘質土層まで達しており、埋土は粘質が強く有機物を多量に含む。素掘り井戸の可能性も考えられる。

ｃ　畦畔（第37図）

南北方向３条、東西方向１条の計４条を検出した。このうち２条は、圃場整備前に撮影された空中写真との対比から大畦畔に相当すると考えられる。

畦畔４　畦畔３から芯々間で約13mの距離がある。Ｄ地区へ延長する部分も含めて約50mを検出した。幅は下幅で約0.95m、上幅で約0.5m、高さ20～30cmである。大畦畔に相当すると考えられる。

畦畔５　畦畔４から芯々間で約12mの距離がある。幅は下端で0.75～0.9m、上端で約0.4m、高さは約25cmである。

畦畔６　畦畔５から芯々間で約12mの距離がある。幅は下端で約0.75m、上端で約0.35m、高さは25cm前後である。

畦畔７　幅は下端で約0.65m、上端で約0.4m、高さ約15cmである。

畦畔８　約16m分を検出した。畦畔６・７と直交し、他の畦畔より幅が広くなることから大畦畔に相当するものと考えられる。幅は、下端で1.2m前後、上端で0.6～0.8m、高さは10～25cmである。

Ｄ　H17-Ｄ・Ｅ地区（第19･20図）

H17-Ｃ地区の西端から、南方向へ延びる調査区である。農業用水路を挟んで北側をＤ地区、南側をＥ地区とした。総延長約213m、幅はＤ地区が約3.0m、Ｅ地区が約1.6mである。

農道の路床改良による影響で遺構検出が困難であったが、前述した畦畔４の他、弥生時代末から古墳時代初頭の溝１条、古墳時代後期の井戸１基・溝１条、時期不明の溝４条を検出した。

弥生時代後期から古墳時代前期の遺構

ａ　溝（第32図）

ＳＤ1101　Ｅ地区の南側で検出した。幅約5.0m、検出面からの深さ約45cmの東西溝である。溝底から土師器高杯・壺等の他、木製の鍬もしくは鋤の未製品が出土した。

ＳＤ1108　Ｅ地区の北端で検出した。幅3.0～4.2m、検出面からの深さ10～20cmである。土師器片が多量に出土した。土層の観察からは複数の溝に分別可能なことから、ＳＤ1107も含めて埋没と掘削（あるいは流水）を繰り返していたものと考えられる。

古墳時代後期の遺構

ａ　溝（第32図）

ＳＤ1107　ＳＤ1108の南側で検出した。幅約3.0～4.0m、検出面からの深さ20～30cmである。土師器小片が多量に出土した。

ｂ　井戸

ＳＥ1106（第36図）　一辺約３.0mの掘形内に約70cm四方の規模で扉材を含む建築部材を転用し井戸枠とする。南北側は細長い板を４～５段積み重ね、東西側は横板の内側に一枚板を縦に使用しており、それぞれの板は組まれてはいない。埋土は有機物を多量に含む泥炭で、底から土師器台付壺、須恵器短頸壺が出土した。掘形は約0.3mの地点まで確認できたが、それ以下は井戸枠内埋土との差がないことや、井戸枠が組まれていないこと等から、井戸枠を直接泥内に埋め込んで井戸を構築した可能性も考えられる。

時期不明の遺構

遺物の出土が無く、時期を判断することができなかった遺構である。

ａ　溝（第37図）

ＳＤ1102　幅14.5m、検出面からの深さ約25cmである。自然流路の可能性が考えられる。

ＳＤ1103　幅約2.5～3.0m、検出面からの深さ約20cmである。自然流路の可能性が考えられる。

ＳＤ1104　幅約0.6～0.8m、検出面からの深さ約10cmである。

ＳＤ1105　幅約0.4～1.3m、検出面からの深さ約10cmである。ＳＤ1104とほぼ並行する。自然流路の可能性が考えられる。

Ｅ　H17-Ｆ地区（第21図）

H17-Ｃ地区の東端から南方向へ直角に延びる調査区である。延長約88m、幅約1.0mである。全域

がシルトないしは砂層で自然堤防上に位置すると考えられる。調査区の西側は工業用水敷設に伴う工事で破壊されており、後述するＳ54－Ｂ地区で検出されたＳＤ302の継続部分等、想定された遺構を確認することはできなかった。

Ｆ　H17－Ｇ地区（第22図）

H17－Ｅ地区の南端から東方向へ直角に延びる延長約242m、幅約1.0mの調査区である。調査区の西側はシルト層で自然堤防上に相当すると考えられる。古墳時代の溝１条、鎌倉時代から室町時代の溝３条の他、ピット等が検出された。これに対し、東側は粘質土層となり遺構が全く確認されなかった。

検出された７条の溝のうちＳＤ1201を除いて、北に対して約10～30°程度東に振れている。これは、溝が自然堤防に沿って掘削されたか、元々存在した自然流路を溝として利用したためと考えられる。

古墳時代の遺構

ａ　溝

ＳＤ1202（第33図）　後述するＳ54－Ｃ地区で検出されたＳＤ402･405の延長部分と考えられる。幅約10.6m、検出面からの深さ80～100cmである。ＳＤ402･405と比べ幅が広くなるが、土層の観察や時期の新しい遺物が出土していることなどから複数の溝が重複した結果と考えられる。

鎌倉時代から室町時代の遺構

ａ　溝（第33図）

ＳＤ1201　幅約2.0m、検出面からの深さ約40cmである。調査区内で南北から東西へ屈曲する。東西方向へは約11m検出し、さらに調査区外へと延長する。

ＳＤ1204　幅約1.0m、検出面からの深さ約20cmである。陶器山茶椀が出土した。

ＳＤ1205　幅約2.9m、検出面からの深さ約50cmである。陶器山茶椀が出土した。

時期不明の遺構

出土遺物がなく、時期判断ができなかった遺構である。

ａ　溝（第33図）

ＳＤ1203　調査区の西端で検出した。幅約1.4m、検出面からの深さ約15cmである。

ＳＤ1206･1207　ＳＤ1205の東側で検出した。それぞれ幅約5.0m、約1.6m、検出面からの深さ約50cm、約30cmである。

Ｇ　H17－Ｈ・Ｉ・Ｊ地区

H17－Ｊ地区は、最も南に位置する調査区で、若干量の遺物は出土したが、遺構は確認されなかった。

H17－Ｈ・Ｉ地区は、H17－Ｊ地区の北に設定した約２m×約４mの狭小な調査区である。自然堤防の縁辺部に位置し、遺構の広がり具合によっては調査区を延長する可能性もあったが、範囲確認調査の意味も含めて部分的な調査を行った結果、遺構・遺物の存在が確認されなかった。

この結果と、先行して調査を実施したH17－Ｊ地区の結果とあわせ、調査区の延長をする必要はないものと判断した。

３　平成18年度（第５次）調査

平成17年度調査区とは、市道鈴鹿楠線を挟んで約230m東側に位置し、後述するＳ54－Ａ地区の北･南区と部分的に接する。調査区は、東西方向に延びる調査区をH18－北区、南北方向の調査区をH18－南区とした。

Ａ　H18－北地区（第23図）

鎌倉時代から室町時代までの溝６条、井戸１基を検出した。Ｓ54－Ａ地区で検出されたＳＤ202やＳＤ209の延長部分の存在が想定されたが確認できなかった。

鎌倉時代から室町時代の遺構

ａ　溝

ＳＤ1501（第34図）　後述するＳＤ1503と重複する南北溝で、幅約３m、検出面からの深さ10～20cmである。南伊勢系土師器鍋や陶器椀が出土した。

ＳＤ1502･1513（第35図）　調査区の西端で重複する南北方向の溝である。ＳＤ1502は幅約1.1m、検出面からの深さ15～40cm、ＳＤ1513は幅約0.25m、深さ約30cmである。ＳＤ1513はＳＤ1502の底面で確認し、土層からもＳＤ1502が新しいように思われるが、前後関係を明確にすることはできていない。土師器皿や陶器山茶椀･山皿等が出土した。

ＳＤ1503（第34図）幅約0.4m、検出面からの深さは10～40cmの南北溝である。

ＳＤ1504（第23図）　幅約0.55m、検出面からの深さ約10cmである。南北溝であるが、真北に対して25°程度東に振れる。土師器皿が出土した。

ＳＤ1506（第23図）　幅約2.0m、検出面からの深さ約15cmである。北に対して約60°東に振れる。陶器山茶椀等が出土した。

ｂ　井戸

ＳＥ1505（第23図）　ＳＤ1504の西側で南辺のみを検出した。一辺約1.3mで隅丸方形の掘形を持つと推測される。

Ｂ　Ｈ18-南地区（第24図）

遺構は、自然堤防上に相当する調査区の北側に集中して検出され、溝14条、土坑８基，不明遺構２基などがある。南側で検出されたいくつかの溝は、正方位に対して20°程度振れており、条里の方向と一致する。こうしたことから、条里に関連する遺構である可能性も考えられる。

弥生時代後期から古墳時代前期の遺構

ａ　溝

ＳＤ1516（第34図）大半を後述するＳＤ1523と重複するため、確認できたのは西側の肩のみである。弥生土器壺、古式土師器甕・壺・高杯等が出土した。

ＳＤ1518（第35図）　幅約2.2m、検出面からの深さ約15cmである。弥生土器壺、土師器甕等が出土した。

ＳＤ1522（第34図）　幅約1.2～2.2m、検出面からの深さ約20cmである。土師器が出土した。

ＳＤ1524（第35図）　平面では判然としないが、土層断面から判断すると幅約0.9m、検出面からの深さ約10cmである。土師器甕等が出土した。

ｂ　土坑

ＳＫ1507（第30図）平面方形をなし、長軸約1.3m、短軸0.8m以上である。土師器壺・高杯等が出土した。

鎌倉時代から室町時代の遺構

ａ　溝

ＳＤ1511（第34図）　東端で約1.65m、西端で約3.4mと幅が極端に変化する。検出面からの深さは10～15cmである。陶器山茶椀等が出土した。

ＳＤ1512（第34図）　幅0.9m、検出面からの深さ約20cmである。陶器山茶椀・鉢等が出土した。

ＳＤ1514（第34図）　幅約3.2m、検出面からの深さ約20cmである。土師器皿、陶器山茶椀等が出土した。

ＳＤ1521（第34図）　幅約0.4m、検出面からの深さ10cmである。

ＳＤ1523（第34図）　幅約5.3m分を検出したが、東側は自然流路ＳＲ1515と重複する。検出面からの深さ約50cmである。土師器皿、陶器山茶椀等が出土した。

ＳＤ1528・1529（第35図）　調査区の南側で検出した東西方向に並行する溝である。それぞれ幅約0.8m、約0.6m、検出面からの深さはともに約10cmである。陶器山茶椀等が出土した。

ＳＤ1530（第35図）　ＳＤ1528・1529の西側で検出した。幅約0.55m、検出面からの深さ約15cmである。

ＳＤ1531（第35図）　幅約1.05m検出面からの深さ約15cmである。

ｂ　土坑

ＳＫ1508（第24図）調査区の北端で検出した。平面形は隅丸方形で、長軸約0.55m、東側は調査区外へ延びる。検出面からの深さ約20cmである。南伊勢系土師器鍋等が出土した。

ＳＫ1509（第24図）　ＳＫ1508の南側で検出した。平面形は長楕円形で、長軸約0.85m、東側は調査区外へ延びる。検出面からの深さ約35cmである。陶器椀・鉢が出土した。

ｃ　自然流路

ＳＲ1515（第24図）幅約５～７m、検出面からの深さ約25cmである。

４　昭和53・54年度（第１・２次）調査

昭和53・54年度に実施した県営圃場整備事業に伴う発掘調査である。工事計画により一部を昭和53年度に先行して実施したが、どの部分が相当するのかは不明である。方位や小地区等の記録が残されていないため、詳細が明確にできていない点も多い。

Ａ　Ｓ54-幹線排水路調査区（第25図）

遺跡の北東部にあたる箇所で、最も北に位置する調査区である。幹線排水路計画部分に沿って、幅約９m、総延長約320mにわたって調査を実施した。調査区は東端区・東区・西区・西端区に分かれる。

検出された遺構は、柵列１条、溝７条、井戸２基、土坑２基、墓２基がある。出土遺物等から、鎌倉時代後半から室町時代のものと考えられる。

鎌倉時代後半から室町時代の遺構

ａ 柵列

ＳＡ101（第25図） 東端区で東西方向に並ぶ７間分を検出した。東柱間は0.5～0.8m、柱掘形は平面不定形で、径約0.2～0.55m、検出面からの深さは15～25cmである。

ｂ 溝

ＳＤ103（第25図） 東区で約37m分を検出した。幅約2.2～3.2m、検出面からの深さは25～35cmである。東西方向へは調査区外へ延びるが、東端区では確認されていない。

ＳＤ106（第25図） 東区で検出した南北溝である。幅約1.2m、検出面からの深さ約30cmである。北側は調査区外へ延び、南側はＳＤ103と重複するが、前後関係は不明である。

ＳＤ108（第25図） 西区で検出した。東西に約6.5m延び、東端で南にほぼ直角に折れ曲がる。幅約0.7mで、検出面からの深さ約10cmである。

ＳＤ109（第25図） 西端区の南東隅で約6.0mを検出した。

ＳＤ111（第25図） 西端区で検出した東西溝である。延長約25m、幅2.5～3.0m、検出面からの深さ30～40cmである。西方向へは調査区外へ延びる。

ＳＤ112（第25図） 延長約15m、幅約0.7m、検出面からの深さ約20cmである。

ＳＤ113（第25図） 西端区で検出した。幅約1.5～2.0m、検出面からの深さ20～30cmで、断面形は「コ」字型である。

ｃ 井戸

東区で２基検出した。いずれの井戸からも曲物等の施設は確認されていない。

ＳＥ105（第25図） 東区のＳＤ103とＳＤ106に囲まれた一画で検出した。径約2.2～2.5m、検出面からの深さ約60cmである。

ＳＥ107（第25図） ＳＤ106の西側で検出した。径約2.1～2.4m、検出面からの深さ約50cmである。

ｄ 土坑

ＳＫ102（第25図） ＳＡ101の南側で検出した。平面楕円形をなし、長径約0.7m、短径約0.5m、検出面からの深さは約20cmである。

ＳＫ104（第25図） ＳＤ106の東側で検出した。平面略円形で、長径約1.4m、短径約1.2m、検出面からの深さ約15cmである。

ｅ 墓

西端区で２基検出した。『鈴鹿市史』に詳細な記述がなされているため、これを参考にした。

ＳＸ110（第35図） ＳＤ111の南肩部分で検出した。常滑製大甕を土壙内に埋置したものである。体部以外は欠損していたが、別の甕の底部を逆さまにして蓋としていたと考えられる。甕内外からの出土遺物は確認されていない。

ＳＸ114（第35図） ＳＤ113に囲まれた箇所で検出した。平面形は隅丸長方形をなし、長径約1.3m、短径約0.7m、検出面からの深さは約25cmである。ほぼ南北方向を向く。墓壙底には炭化した丸太材が東西方向に並行して遺存し、その周囲に焼けた人骨片と多量の木炭片が埋まっていた。その他の出土遺物は確認されていない。土壙の両短辺に接して、径約30cmの川原石が置かれ、あたかも棺を固定するかのようであったという。

Ｂ Ｓ54－Ａ地区（第26図）

幹線排水路地区の西端区から南へ約200m隔てた位置に設定された調査区である。調査区は、北・南・東の３地区に分かれる。

検出された遺構には、弥生時代前期の土坑１基、平安時代後半から鎌倉時代の掘立柱建物１棟、鎌倉時代後半から室町時代の溝８条、井戸８基、土坑５基、近世以降の土坑１基がある。ＳＤ224が南区で検出された以外は、すべて北区で確認されている。

弥生時代前期の遺構

ａ 土坑

ＳＫ208（第30図） 後述するＳＤ209と重複し、一部が破壊されているが、長軸約3.0m、短軸約1.2mの平面楕円形と考えられる。検出面からの深さは15～20cmで、壺や甕等が出土した。

平安時代後半から鎌倉時代の遺構

ａ 掘立柱建物

ＳＢ201（第29図） 調査区端で南北方向に延びる３間分を検出した。全体の規模は、調査区外へ延び

るため不明である。柱掘形は一辺約0.7mの平面略方形をなし、検出面からの深さは30～45cmである。棟方向はほぼ真北を向いており、後述する溝とは方向を同じくしない。

鎌倉時代後半から室町時代の遺構

a 溝

８条確認した。南区のＳＤ224以外は北区で検出した。ＳＤ221･224以外は南北溝である。底面の深さから北へ向かって流れていたようである。ＳＤ202とＳＤ209は約20m間隔で、ＳＤ214とＳＤ217、ＳＤ220とＳＤ223は約10m間隔で並行しており、それぞれの規模もほぼ同じである。

ＳＤ202(第26図)　延長約28m分を検出した。幅約1.5m、検出面からの深さ約50cmである。南北方向には調査区外へ延長する。土師器羽釜、陶器山茶椀･鉢等が出土した。

ＳＤ209(第26図)　約28m分を検出した。幅2.5～3.0m、検出面からの深さは30～40cmである。南北方向へは調査区外へ延長する。土師器皿･鍋･羽釜、陶器山茶椀･甕、青白磁椀等が出土した。

ＳＤ214(第26図)　延長8.0m以上、幅約0.8m、検出面からの深さ約30cmである。東方向へ向かって浅くなり、西側はＳＫ215と重複する。

ＳＤ217(第26図)　延長約10.8m分を検出した。幅0.4～0.7m、検出面からの深さは10～15cmである。北側は調査区外へ延長する。土師器羽釜、陶器山茶椀･鉢･壺等が出土した。

ＳＤ220(第26図)　延長約13m分を検出した。幅約1.3m、検出面からの深さは10～25cmである。南北方向には調査区外へ延長する。土師器羽釜等が出土した。

ＳＤ221(第26図)　約16m分を検出した。幅0.6～0.8m、検出面からの深さ約10cmである。ＳＤ220と重複するが前後関係は不明である。陶器山茶椀･山皿等が出土した。

ＳＤ223(第26図)　延長約7.8m分を検出した。幅約1.0～1.2m、検出面からの深さは10～30cmである。北側は調査区外へ延長する。土師器皿・羽釜、陶器山茶椀･鉢等が出土した。

ＳＤ224(第26図)　東西溝である。幅約1.8m、検出面からの深さは約35cmである。約14.2mを検出し、西側は調査区外へ延長する。

b 井戸

ＳＥ204(第26図)　ＳＤ202の東側で検出した。平面形は径約1.4mのほぼ正円で、検出面からの深さは約60cmである。底部には径42cm、高さ約10cmの曲物が据えられていた。

ＳＥ205(第26図)　ＳＤ209の西側で検出した。平面形は径約2.0m×約2.5mの楕円形で、検出面からの深さは約70cmである。底部に曲物が据えられていたというが、詳細は不明である。井戸の周囲には多数のピットが存在しており、覆屋を伴っていた可能性も考えられる。

ＳＥ206(第26図)　ＳＥ205の南側で検出した。平面形は約2.1m×約2.2mの略円形、検出面からの深さは約70cmである。底部には一木の刳貫き材が井筒として据付けられていた。

ＳＥ207(第26図)　ＳＤ209の東側で検出した。平面形は約2.6m×2.1mの楕円形で、検出面からの深さは約65cmである。曲物等は確認されていない。陶器山茶椀等が出土した。

ＳＥ211(第26図)　ＳＤ209の東側で検出した。平面形は約2.1mのほぼ正円形で、検出面からの深さは約70cmである。底部に井籠組の井戸枠が据えられていたというが詳細は不明である。

ＳＥ213(第35図)　ＳＤ217の南側で検出した。平面形は2.6m×2.1mの楕円形で約15cm掘り下げた地点で、径約1.4mのほぼ正円形の掘形が確認された。検出面からの深さは約50cmである。底部には、12枚の縦板を円形に並べて構成された井戸枠が据えられていた。

ＳＥ216(第26図)　ＳＤ214の南側で検出した。平面形は1.05m×0.8mの楕円形、検出面からの深さは約30cmである。

ＳＥ218(第26図)　ＳＥ213の東側で検出した。平面形は1.5m×0.9mの楕円形で、検出面からの深さは約30cmである。底部のほぼ中央で長さ約50cmの石が検出されている。

ＳＥ222(第26図)　ＳＤ223に囲まれた位置で検出した。平面形は径約1.3mの略円形で、検出面からの深さは約40cmである。土師器羽釜、陶器甕等が出土した。

ｃ 土坑

ＳＫ203（第30図） ＳＥ204の北側で検出した。平面形は約1.2m×0.9mの楕円形で、検出面からの深さは15～30cmである。

ＳＫ212（第26図） ＳＥ213の南側で検出した。平面形は約2.0m×1.8mの楕円形で、検出面からの深さは約30cmである。

ＳＫ215（第26図） ＳＤ214と重複する。平面形は一辺約0.8mの略方形で、検出面からの深さは約45cmである。五輪塔の花輪１個体・水輪３個体・地輪１個体のほか川原石数個が出土し、底部からは若干量の炭化物も出土していることから墓を壊して整理したものである可能性も考えられる。

ＳＫ219（第26図） ＳＥ218の東側で検出した。平面形は約1.8m×約1.3mの略円形、検出面からの深さは約50cmである。

近世以降の遺構

ＳＫ210（第26図） 調査区のほぼ中央付近、北端で検出した。平面形は約1.8m×約1.3mの楕円形で、検出面からの深さは約40cmである。甕が検出されているが、出土状況等は不明である。

Ｃ Ｓ54－Ｂ地区（第27図）

Ｓ54－Ａ地区の西方約300mの地点に設定した。調査区は、北・南・南東の３地区に分かれ、H17－Ｃ地区は北区と南区の間に位置する。検出された遺構には、鎌倉時代から室町時代の掘立柱建物１棟、溝５条、井戸６基、土坑１基などがある。出土遺物では、緑釉陶器が多量に出土している。

古墳時代後期の遺構

ａ 溝

ＳＤ302（第27図）南東区で約24mを検出した東西溝である。東西方向へはさらに調査区外へ延びる。幅約0.8～1.2m、検出面からの深さは約20～35cmである。土師器杯・鉢・高杯・甑・甕、須恵器杯・壺・甕、土錘等が出土した。

鎌倉時代後半から室町時代の遺構

ａ 掘立柱建物

ＳＢ314（第29図） 北区で検出した桁行３間×梁行２間の東西棟である。建物規模は桁行約5.4m、梁行約3.6mで、柱間は桁間・梁間ともに約1.8mである。柱掘形は、径40cm前後の平面円形をなす。

ａ 溝

ＳＤ304（第27図） 南地区の北西隅で約14.5m検出した。幅約0.8～1.3m、検出面からの深さ約25cmである。北・西方向へは調査区外へ延長する。

ＳＤ305（第27図） 南地区の南西隅から北東方向へ延び、後述するＳＤ307に合流する。約26.5mを検出し、西側は調査区外へ延長する。土師器皿・鍋・羽釜等が出土した。

ＳＤ307（第27図） 南地区で約20mを検出した。南北方向に延び、さらに調査区外へ延長する。幅約1.0～1.5m、検出面からの深さ約30～65cmである。H17－Ｃ地区で検出されたＳＤ1006に繋がるものと考えられる。

ＳＤ308（第27図） ＳＤ307の東側で検出した。幅約1.2～1.5m、検出面からの深さ約35～70cmである。約17mを検出し、南北方向へはさらに調査区外へ延長する。圃場整備前に存在した道路に沿っており、道路側溝として機能していた可能性も考えられる。H17－Ｃ地区で検出されたＳＤ1107に繋がるものと考えられる。

ＳＤ309（第27図） 北区で検出した。延長は約７m以上で、南北方向へは調査区外へに延びるが、南区では確認されていない。幅約0.8m、検出面からの深さは25cm前後である。

ｂ 井戸

北区で４基、南区・南東区で各１基の計６基を検出した。なかでも北区では、ＳＥ310・311・312が南北に３基連なっており、徐々に場所を変えながら、継続的に掘削されていったと考えられる。

ＳＥ301（第36図） ＳＤ302の南側で検出した。平面形は約2.0m×約1.9mの円形である。曲物を３段積み重ねた上に、一辺約0.7～0.8mの縦板組横桟留めの木組みを重ねている。木組み内からは常滑製壺と拳大の石が複数検出されており、廃棄段階で投棄されたものと考えられる。井戸内からは、漆器椀等が出土した。

ＳＥ306（第27図） 南区の中央付近で検出した。約1.8 m×約1.4mの平面楕円形で、検出面からの深さは約100cmである。

ＳＥ310（第27図） 平面形は、一辺約2.4mの隅丸方形である。検出面からの深さは約55cmである。

陶器山茶椀が出土した。

ＳＥ311（第27図）　平面形は、約2.4m×約1.8mの隅丸長方形である。検出面からの深さは、約110cmである。陶器山茶椀が出土した。

ＳＥ312（第27図）　一辺約1.9mの平面隅丸方形の掘形内に径47.5～54cmの曲物が３段組みに据付けられていた。陶器椀・小皿、土錘の他、縦板・添板と考えられる板材も若干出土している。

ＳＥ313（第27図）　平面形は、一辺約1.4mの隅丸方形で、検出面からの深さは、約130cmである。陶器山茶椀が出土した。

ｂ　土坑

ＳＫ303（第27図）　南区の西端で一部を検出した。検出面からの深さ約30cmである。灰釉陶器椀・皿、陶器山茶椀等が出土した。

Ｄ　Ｓ54-Ｃ地区（第28図）

最も西部にあたる調査区である。調査区は西・北西・北東の３区に分かれる。

検出された遺構には、古墳時代の溝１条、土坑１基、鎌倉時代後半から室町時代の掘立柱建物３棟、溝２条、井戸１基、時期不明の溝群などがある。ピットは北東調査区の中央部、北西調査区の南寄り、南西区の東寄りの３箇所でまとまって検出されたが、掘立柱建物として確定されたものは３棟であった。

古墳時代の遺構

ａ　溝

ＳＤ402・405（第28図）　東西に流れる幅約3.0m、検出面からの深さ約50～70cmの溝である。未調査区を挟んでいるため遺構番号が異なるが、同一遺構と考えられる。両者の間をH17-Ｇ地区で検出されたＳＤ1202が繋ぐと考えられる。自然堤防に沿って南西から北東方向に向かって流れており、下部では砂と粘質土とが互層をなし、複数次にわたり流水と滞水を繰り返していたことが窺われる。また、溝の底部中央には、数本の杭列が検出されている。弥生土器壺、土師器壺・高杯、須恵器杯等の他、編棒状竹製品、土錘、磨石など出土した。

ｂ　土坑

ＳＫ404（第28図）　ＳＤ405の北側で検出した。径約1.0m、検出面からの深さ約30cmである。土師器が出土した。

鎌倉時代後半から室町時代の遺構

ａ　掘立柱建物

西区で３棟検出しており、いずれも東西棟である。

ＳＢ407（第29図）　梁行２間、桁行５間の側柱建物である。棟方向は、ほぼ真東を向く。建物規模は、梁行約3.6m、桁行約9.0mで、柱間は、梁間・桁間ともに約1.8mである。柱掘形は、径約0.3～約0.5mの平面略円形である。

ＳＢ408・409（第29図）　ＳＢ408は梁行１間分、桁行４間をＳＢ409は桁行１間、桁行３間分を検出したが、全体の規模は不明である。いずれの建物も柱間は、梁間・桁間ともに約1.8m、柱掘形は、ＳＢ408が径約0.5～0.7m、ＳＢ409が径約0.5m前後で平面形は略円形である。建物としては重複するため同時に存在したことはありえないが、前後関係は不明である。

ｂ　溝

ＳＤ406（第28図）　西区で約16m分を検出した。幅約0.4～0.8m、検出面からの深さは約10cmで、前述した掘立柱建物群の西側を南北方向に流れる。いずれかの建物と同時存在した区画溝としての性格も考えられる。

ＳＤ410（第28図）　北西区の南東隅で約6.4m分を検出した。幅約1.4m、検出面からの深さは不明である。

ｃ　井戸

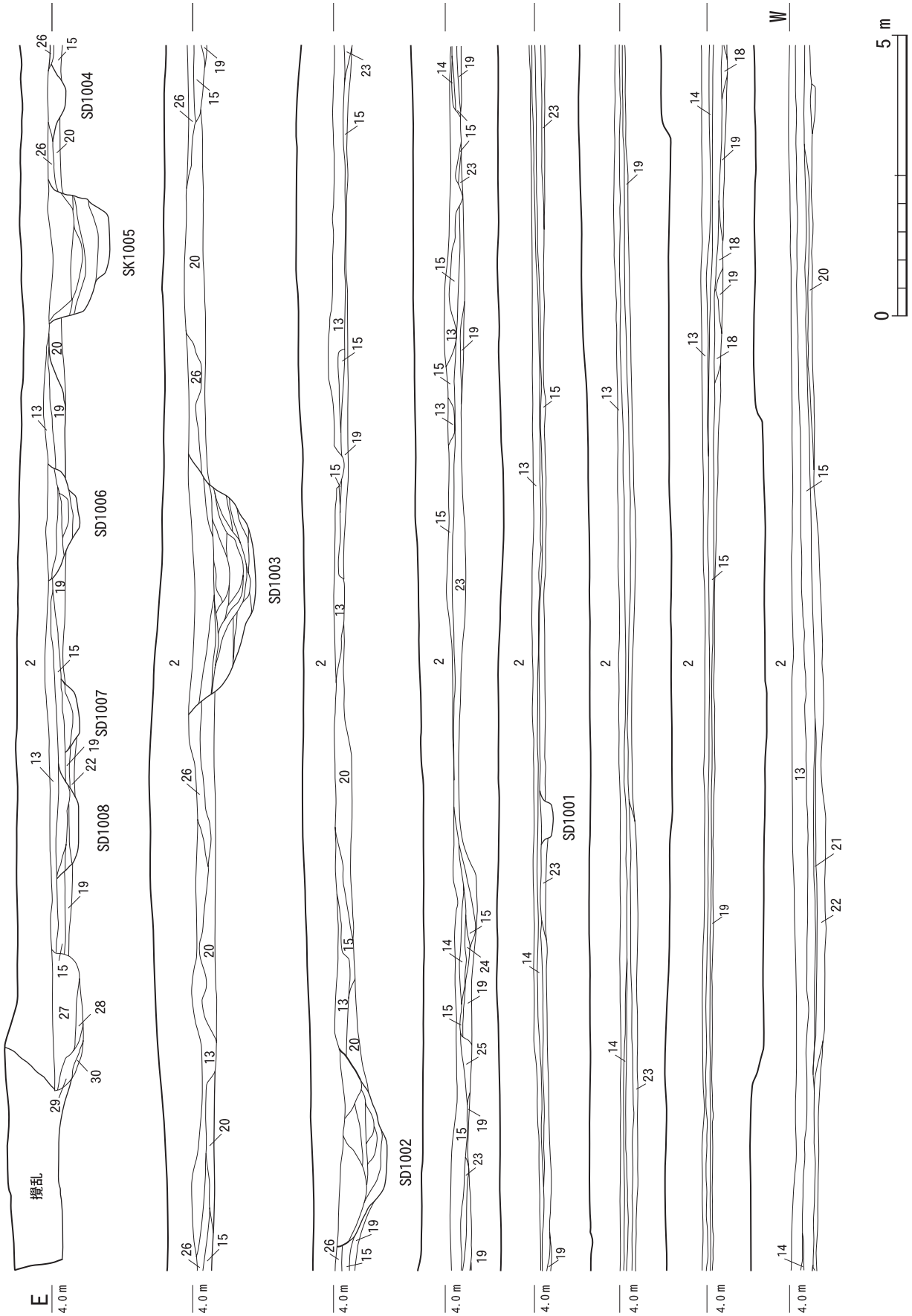
ＳＥ401（第36図）　北東区の北端で検出した。径47cm、残存高37～46cm、厚さ1.2cmの繰貫材が井筒として据付けられていた。

【参考文献】

『鈴鹿市史』第一巻　鈴鹿市教育委員会 1980

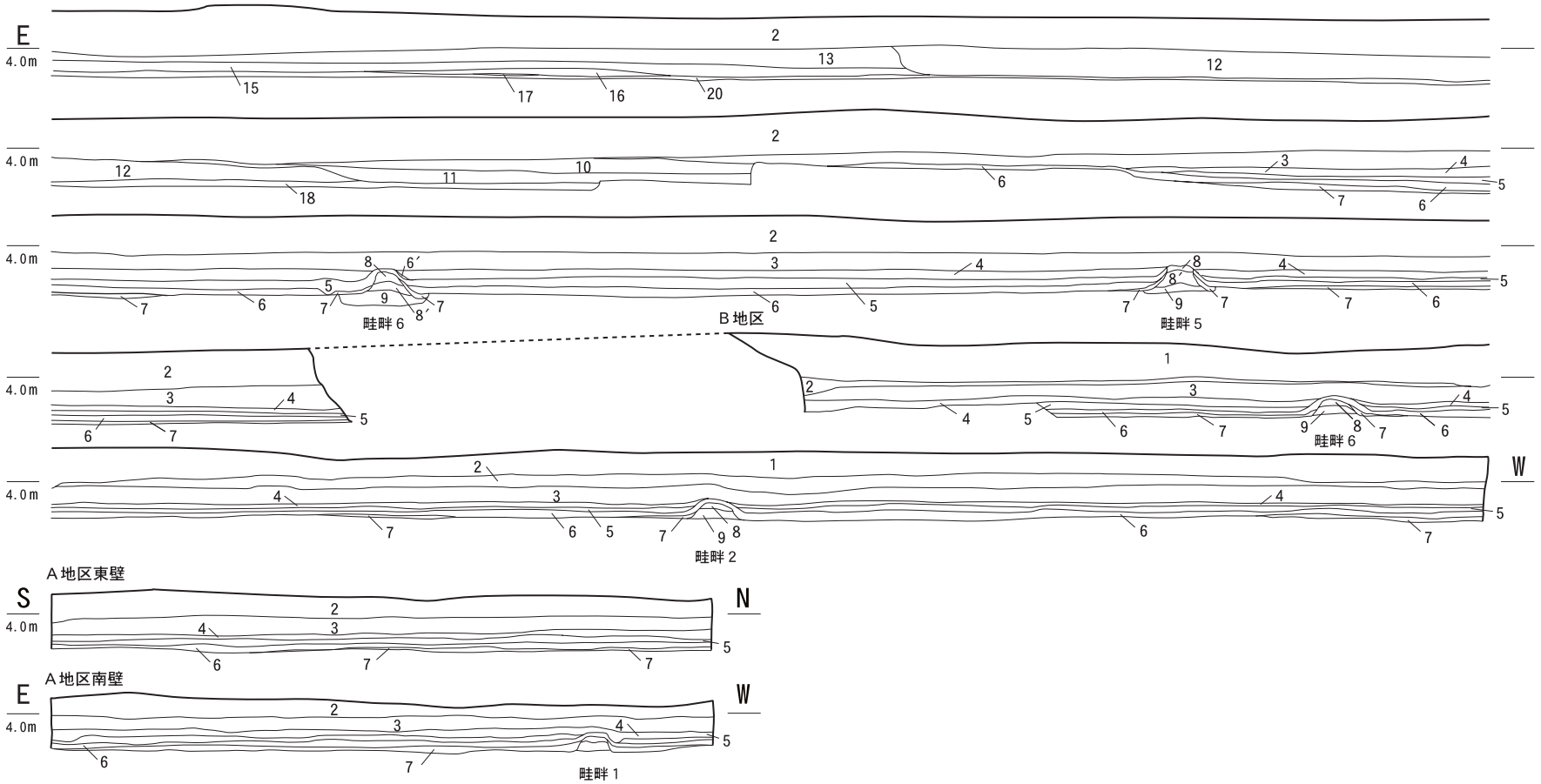
三重県教育委員会『三重県埋蔵文化財年報』9 1979

三重県教育委員会「Ⅱ 鈴鹿市箕田 大木ノ輪遺跡」『昭和54年度県営圃場整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』 1980



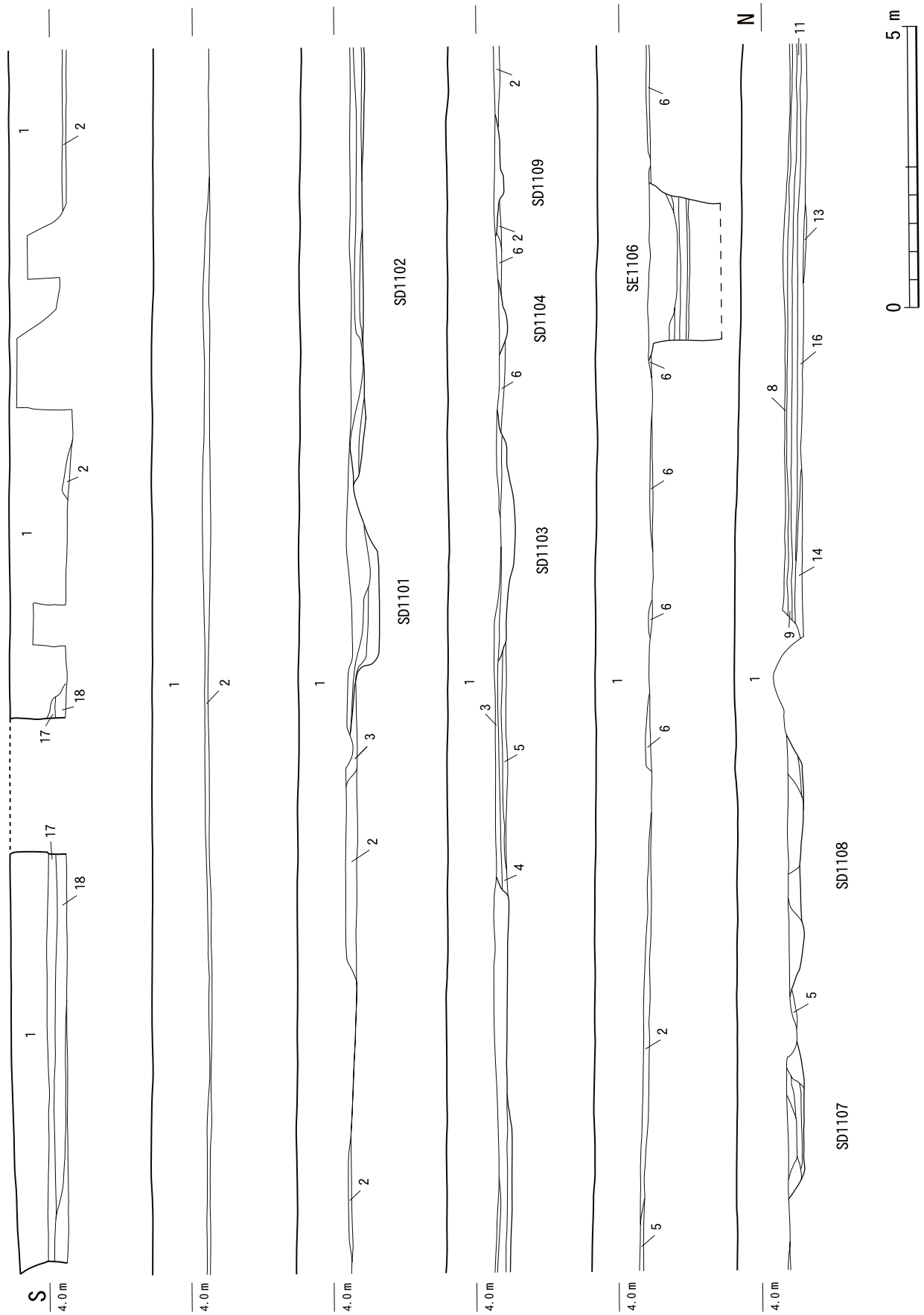
第５図　土層断面実測図（H17- C地区）（1:100）

第６図　土層断面実測図（H17-A・B・C地区）（1:100）



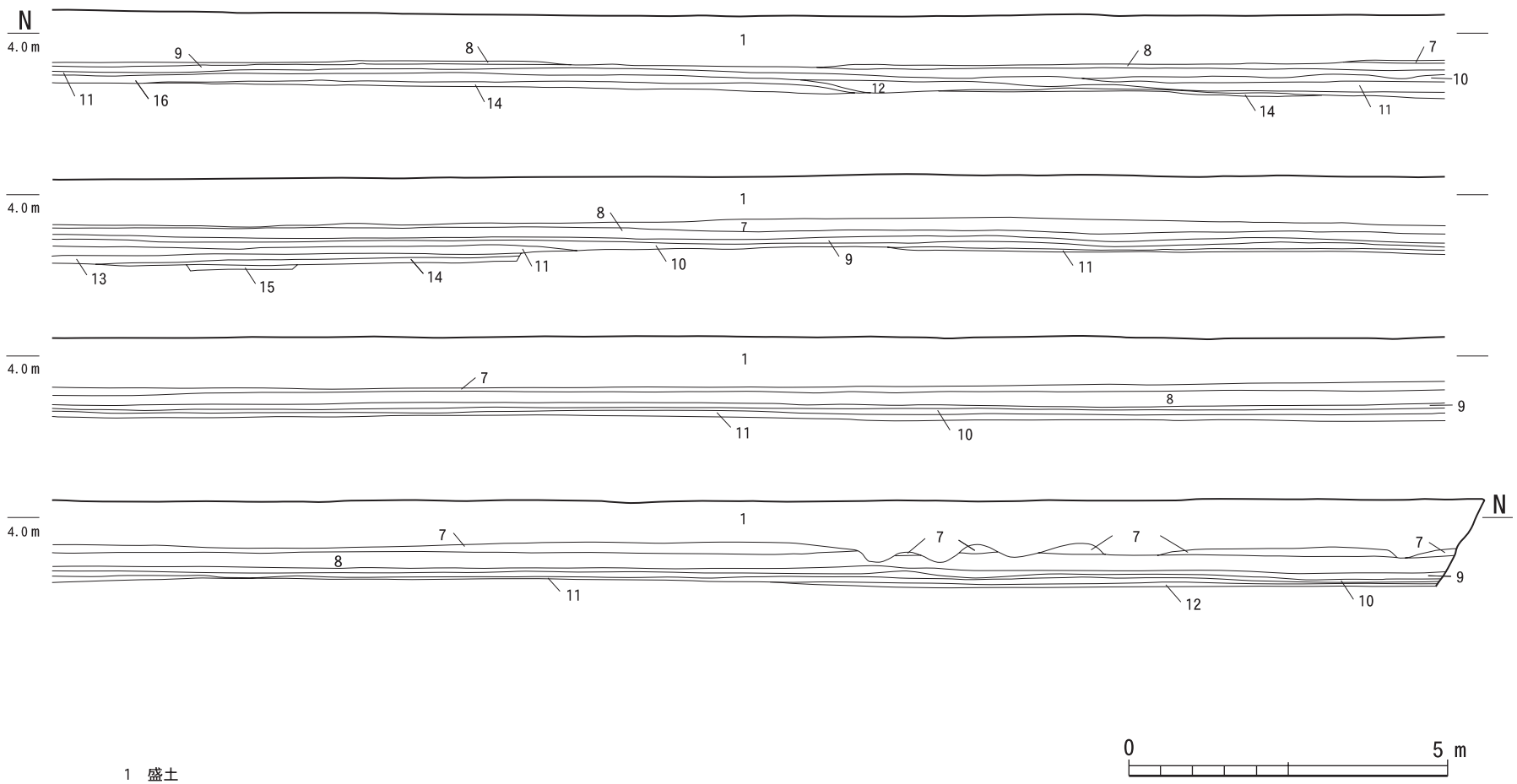
1　盛土
2　2.5Y5/1灰色シルト（酸化鉄含む）
3　5Y5/2灰オリーブ色シルト（明黄褐色シルト混入）
4　5Y6/1灰色シルト（酸化鉄含む）
5　7.5YR7/6橙色粘土（鉄分含む）
6　5Y6/1灰色粘土（酸化鉄・マンガン粒含む）
6´　6層にマンガン粒含む
7　10YR7/8黄褐色粘土
8　5Y5/1灰色粘土（酸化鉄・細砂少量含む）
8´　5Y5/1灰色粘土
9　5Y4/1灰色粘土（畦畔）
10　2.5Y5/1黄灰色シルト（酸化鉄・砂利含む）
11　2.5Y4/2暗灰黄色シルト（やや強い粘性あり）
12　10Y4/1褐色粘土（下層に砂利含む）
13　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト（酸化鉄・砂利含む）
14　10YR5/6黄褐色シルト（マンガン粒・砂利含む）
15　2.5Y4/2暗灰黄色シルト（酸化鉄・細砂含む）
16　5Y4/2オリーブ色シルト（砂・砂利含む）
17　7/5Y5/2灰オリーブ色粘土（酸化鉄・砂含む）
18　5Y5/5灰オリーブ色粘土（酸化鉄・砂含む）
19　5Y4/2灰オリーブ色砂（粘土混入）
20　10Y6/1灰色砂
21　10Y5/8黄褐色粘土
22　5Y5/1灰色粘土
23　5Y5/1灰色砂（酸化鉄斑状に含む）
24　5Y4/1灰色シルト（酸化鉄・マンガン含む）
25　2.5Y5/2暗灰黄色粘土（酸化鉄・マンガン含む）
26　2.5Y5/3黄褐色シルト
27　10YR3/4暗褐色砂（マンガン粒含む）
28　10YR3/4暗褐色砂（酸化鉄含む）
29　2.5Y4/1黄灰色シルト（礫含む）
30　10YR5/6黄褐色粘土

0　5 m

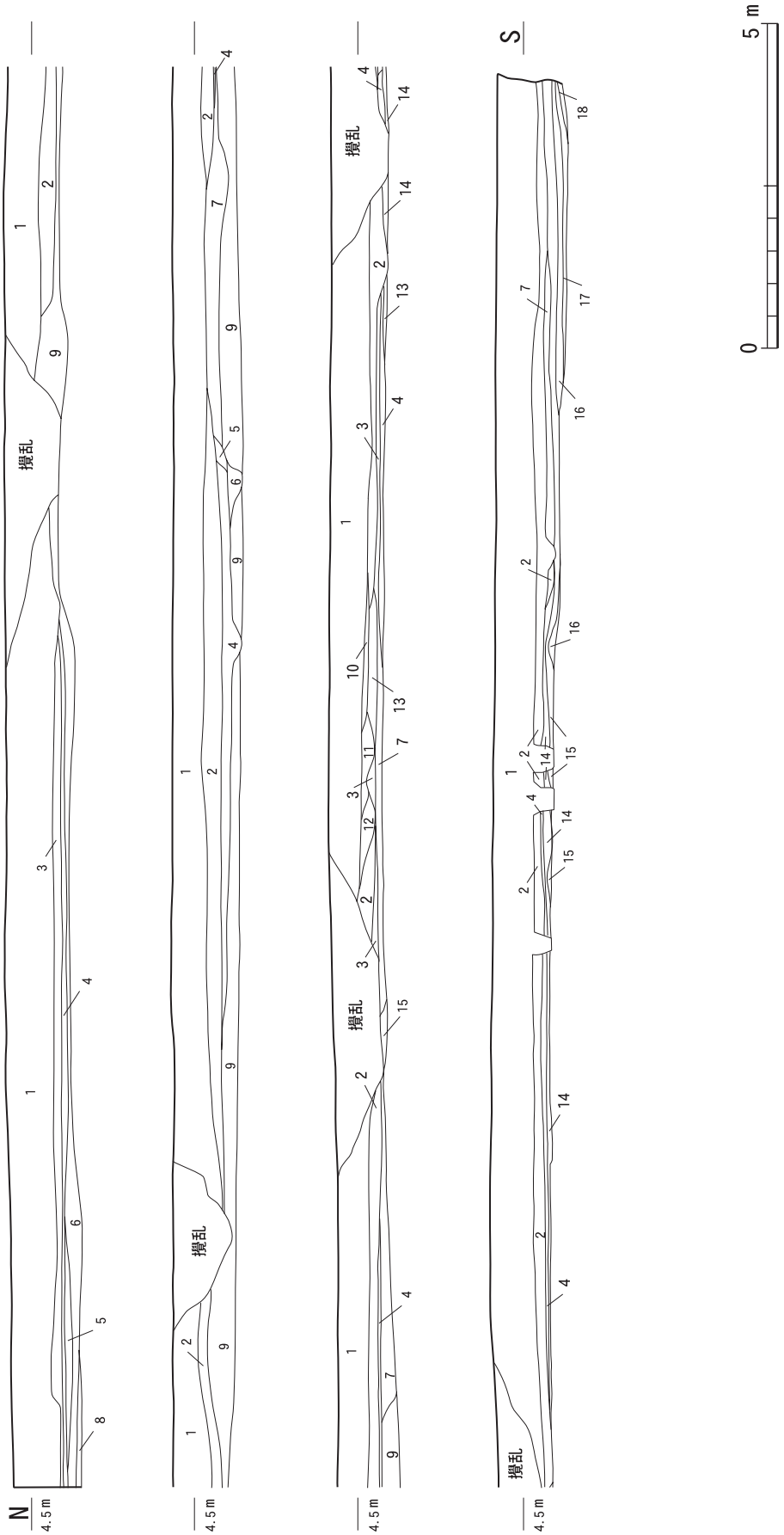


第７図　土層断面実測図（H17- D・E地区）（1:100）

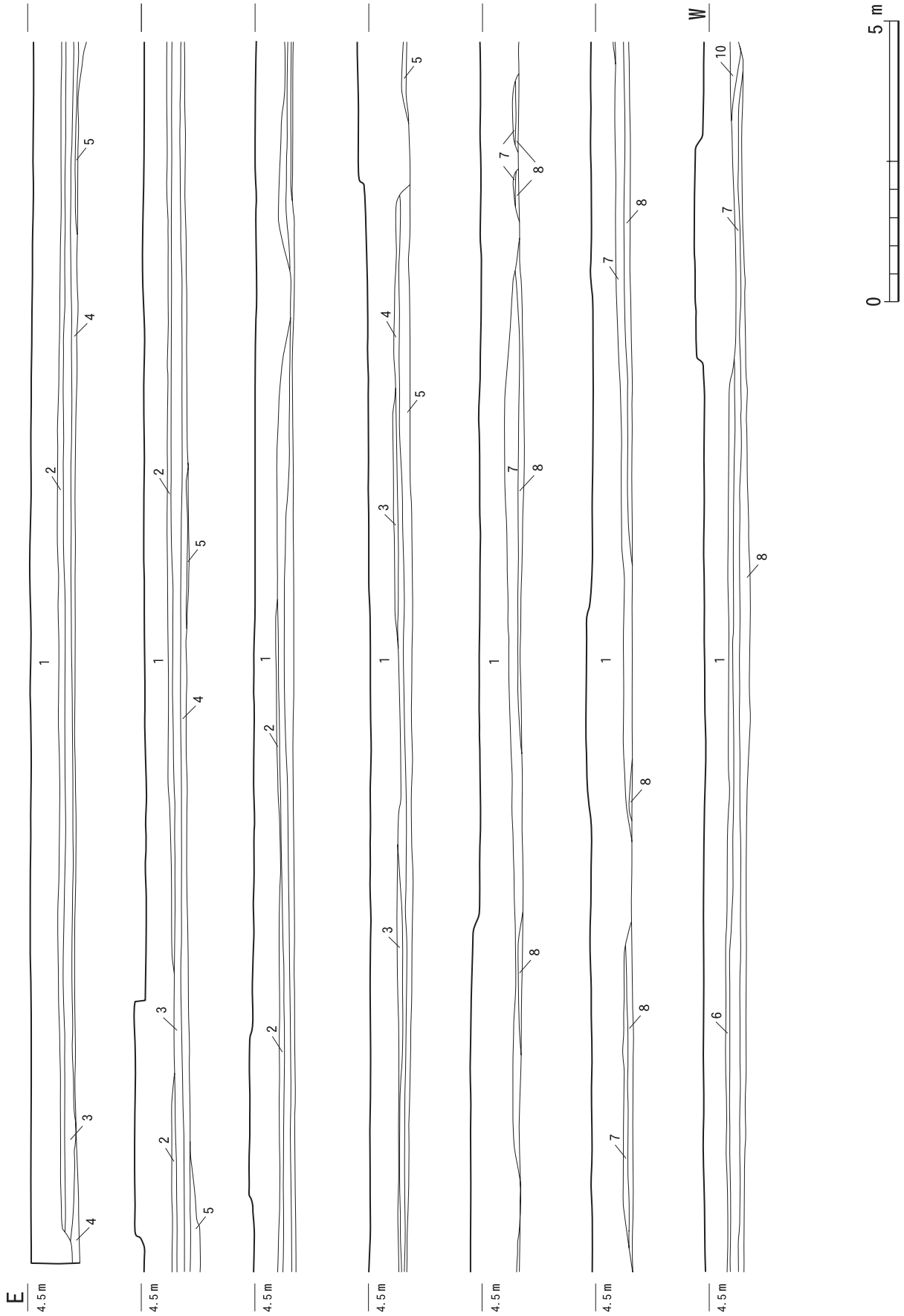
第８図　土層断面実測図（H17- D地区）（1:100）



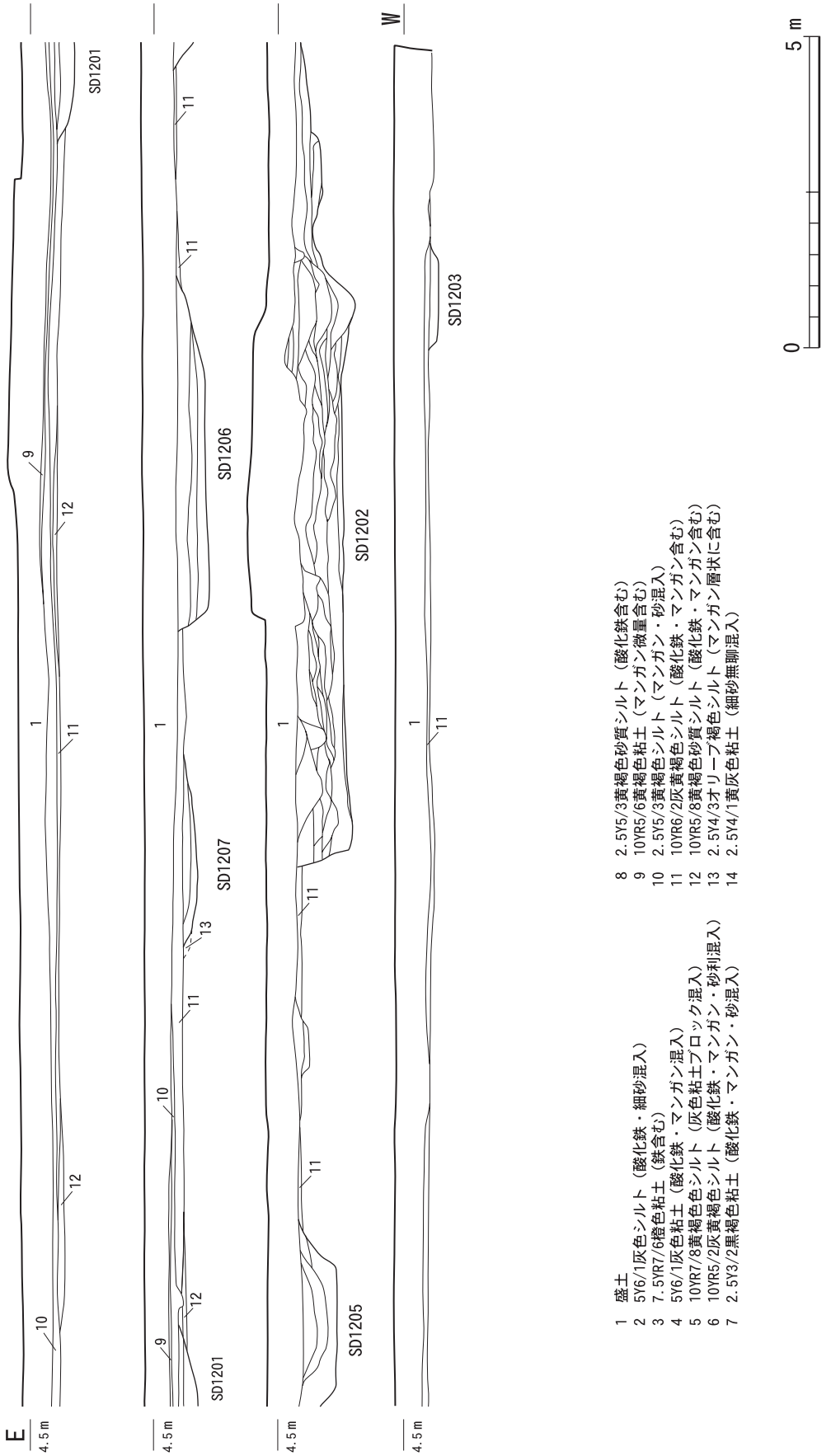
1　盛土
2　白色粗砂（大半が酸化）
3　10YR5/4黄褐色砂（酸化鉄少量含む）
4　2.5Y4/2褐色シルト（酸化鉄・マンガン含む）
5　2.5Y4/2暗灰黄色シルト（酸化鉄微量含む）
6　7.5GY4/1暗緑灰色砂（酸化鉄微量含む）
7　2.5Y5/1灰色シルト（酸化鉄含む）
8　5Y5/2灰オリーブシルト（明褐色シルト層状に混入）
9　5Y6/1灰色シルト（酸化鉄含む）
10　7.5YR7/6橙色粘土
11　5Y6/1灰色粘土（酸化鉄・マンガン粒含む）
12　10YR7/8黄褐色粘土
13　7.5Y3/1オリーブ黒色粘土（灰色砂斑状に含む）
14　7.5GY5/1緑灰色砂（酸化鉄斑状に含む）
15　2.5Y5/4黄褐色粘土
16　5Y4/2灰オリーブ色シルト（白色砂・酸化鉄含む）
17　7.5Y3/2オリーブ黒色シルト（砂利・灰色砂･酸化鉄含む）
18　2.5Y3/1黒褐色粘土（灰色砂・酸化鉄微量含む）



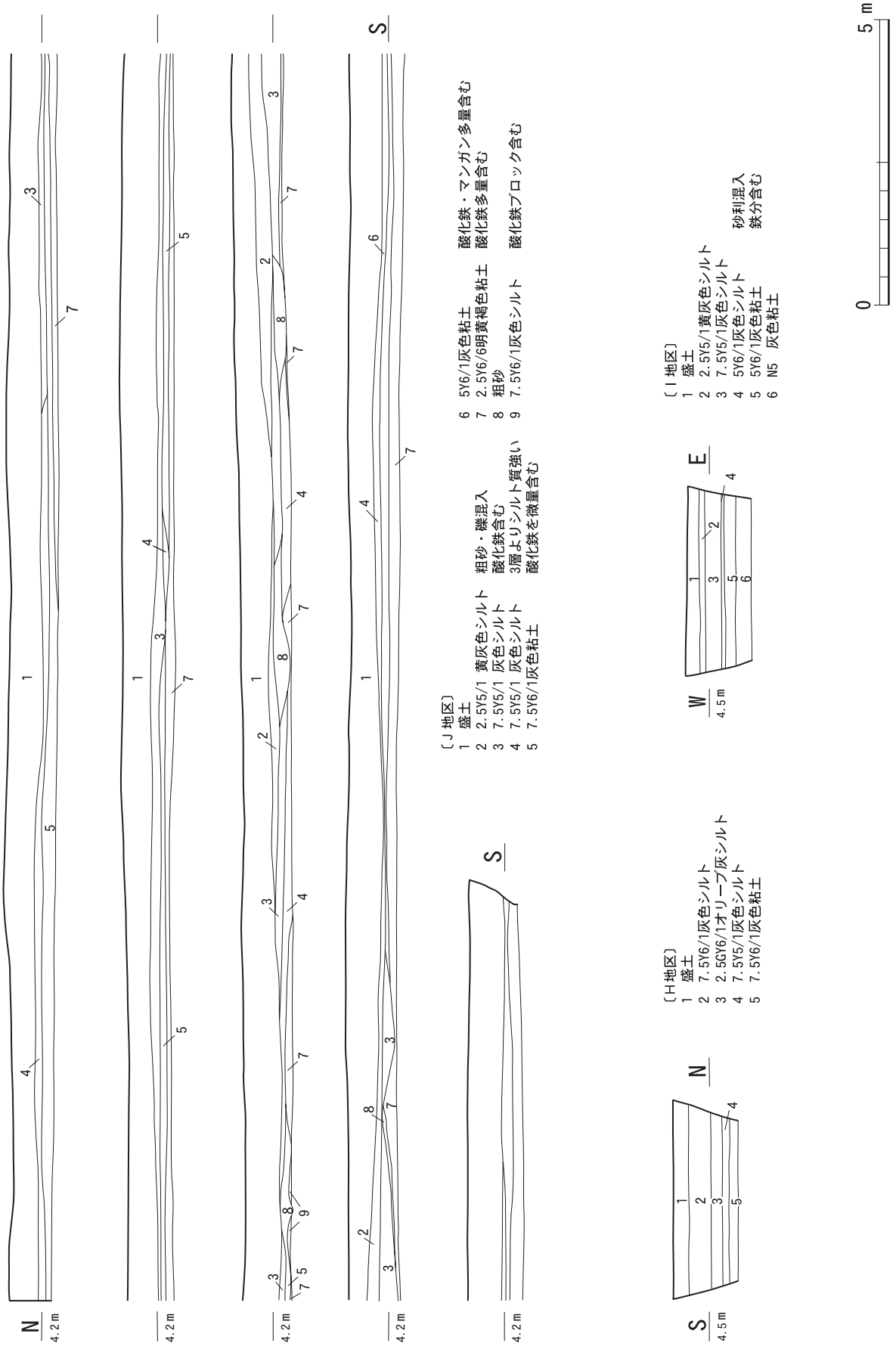
第９図　土層断面実測図（H17- F地区）（1:100）



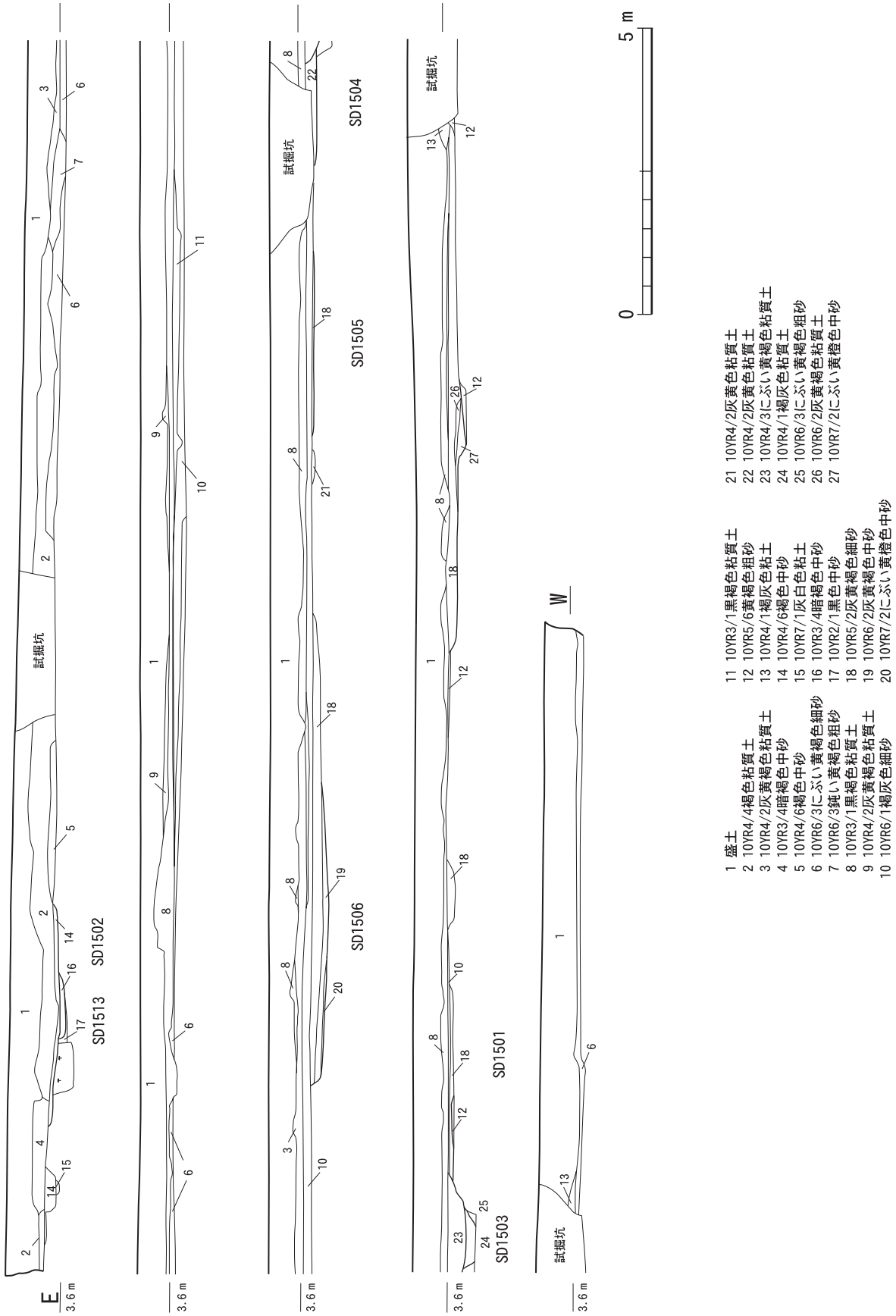
第10図　土層断面実測図（H17- G地区①）（1:100）



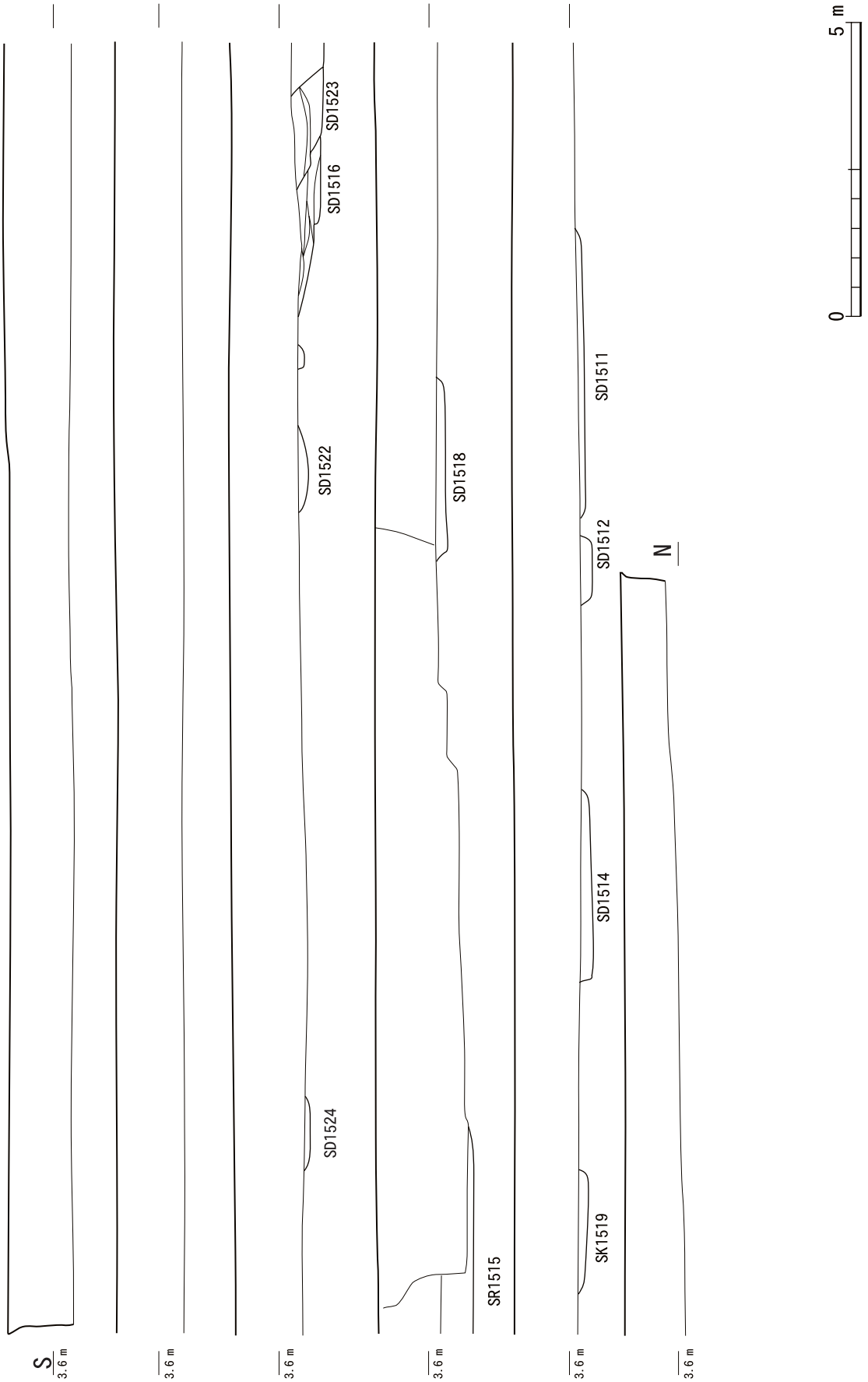
第11図　土層断面実測図（H17- G地区②）（1:100）



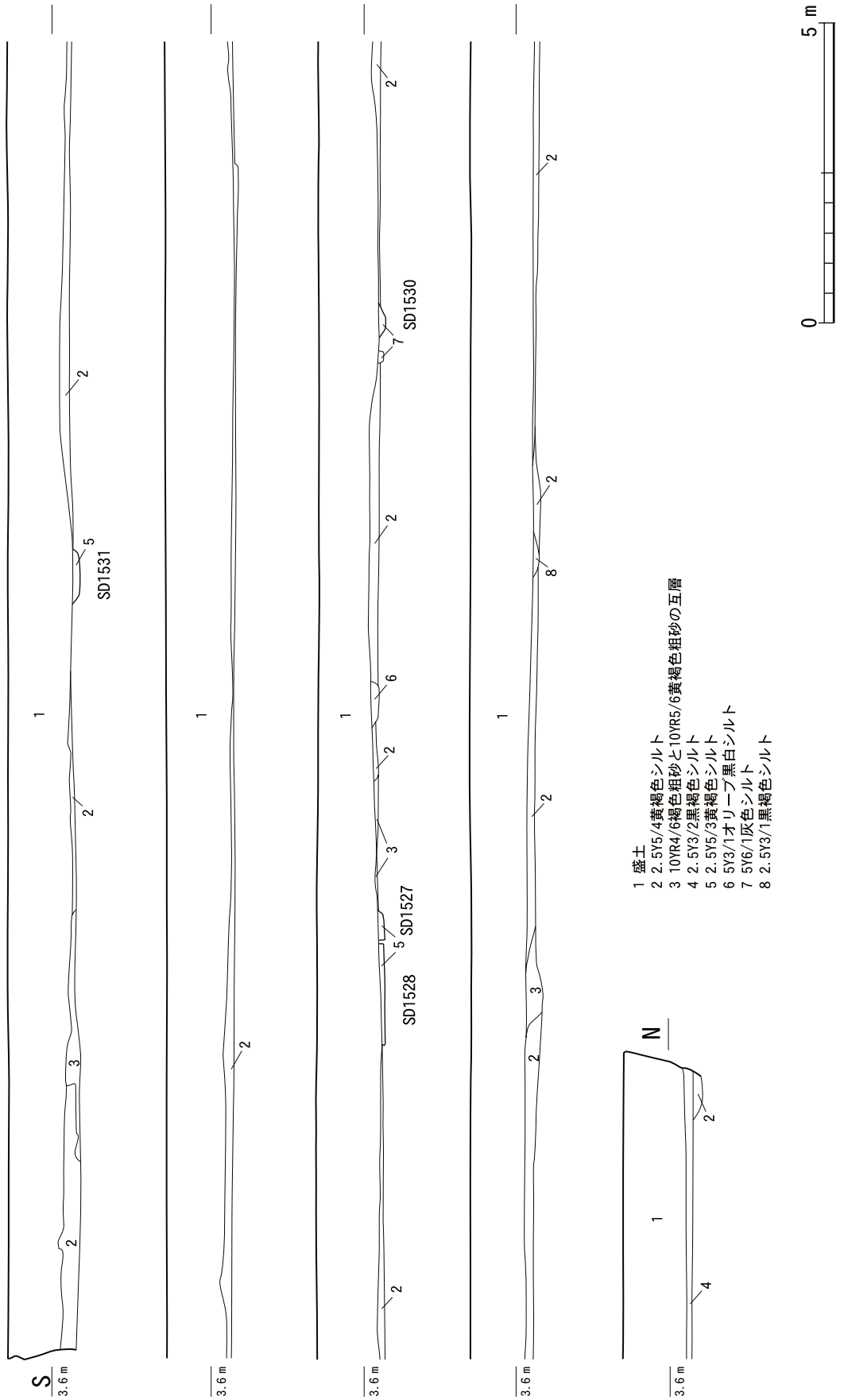
第12図　土層断面実測図（H17- H・I・J地区）（1:100）



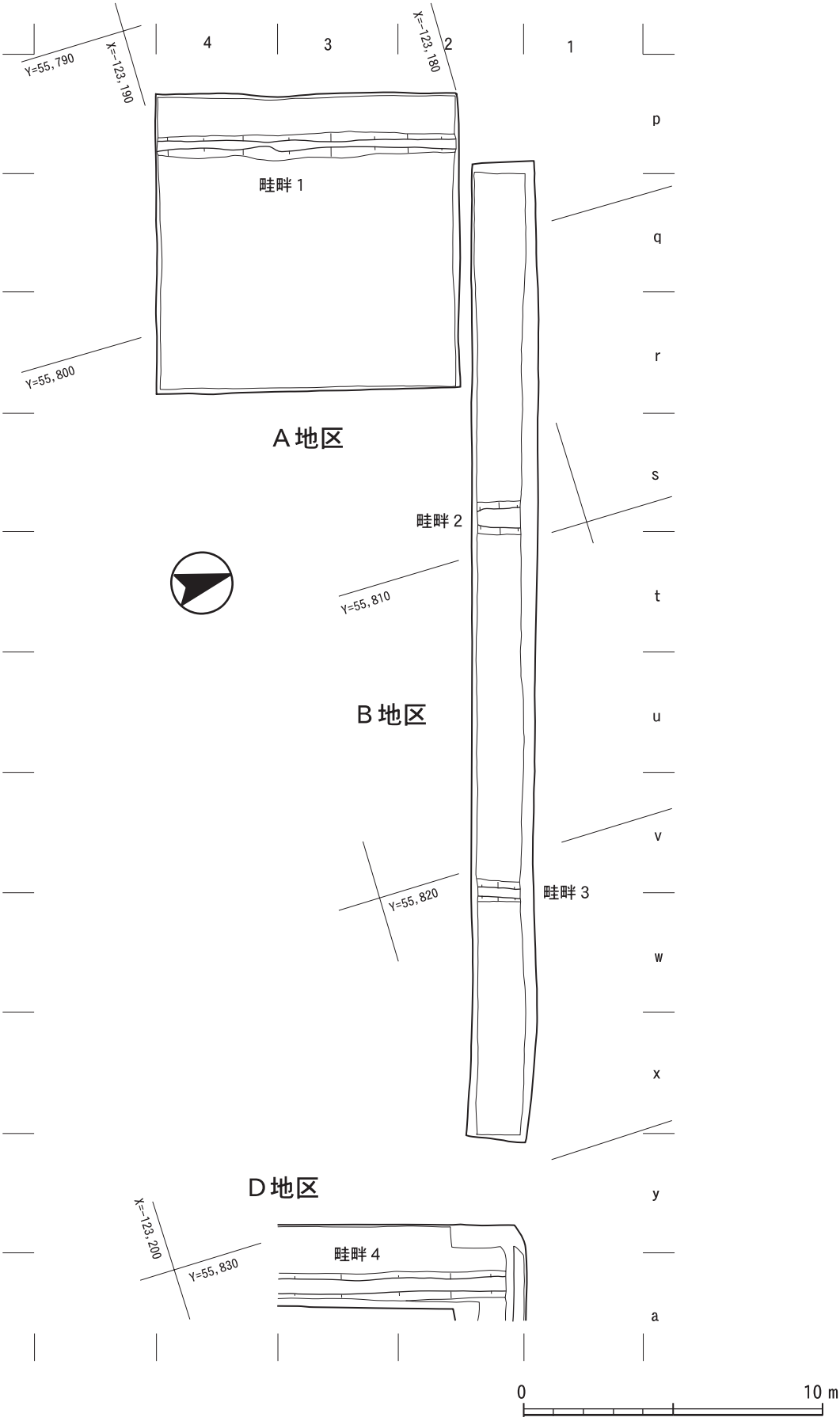
第13図　土層断面実測図（H18- 北地区）（ :100）



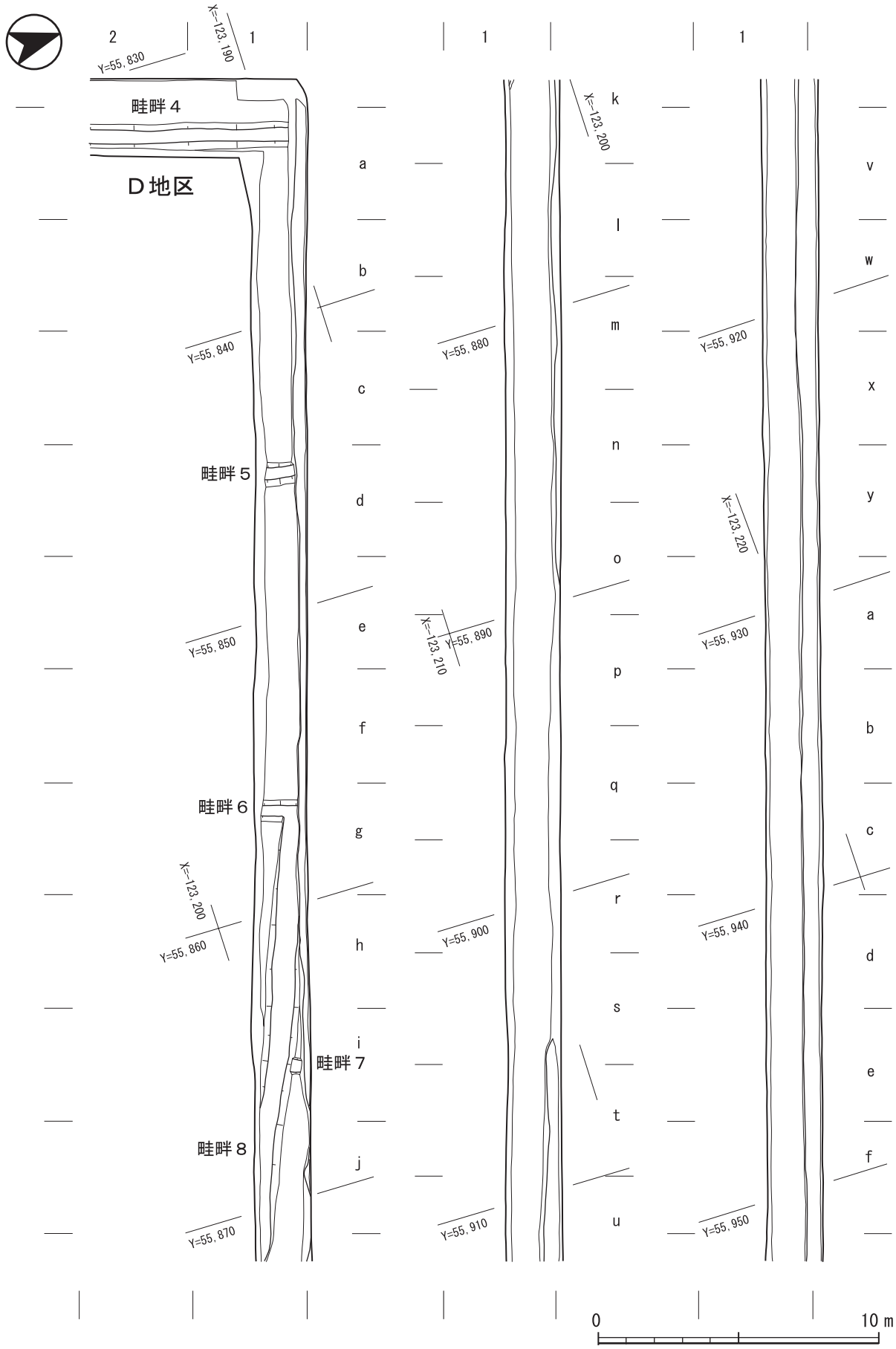
第14図　土層断面実測図（H18- 南地区①）（1:100）



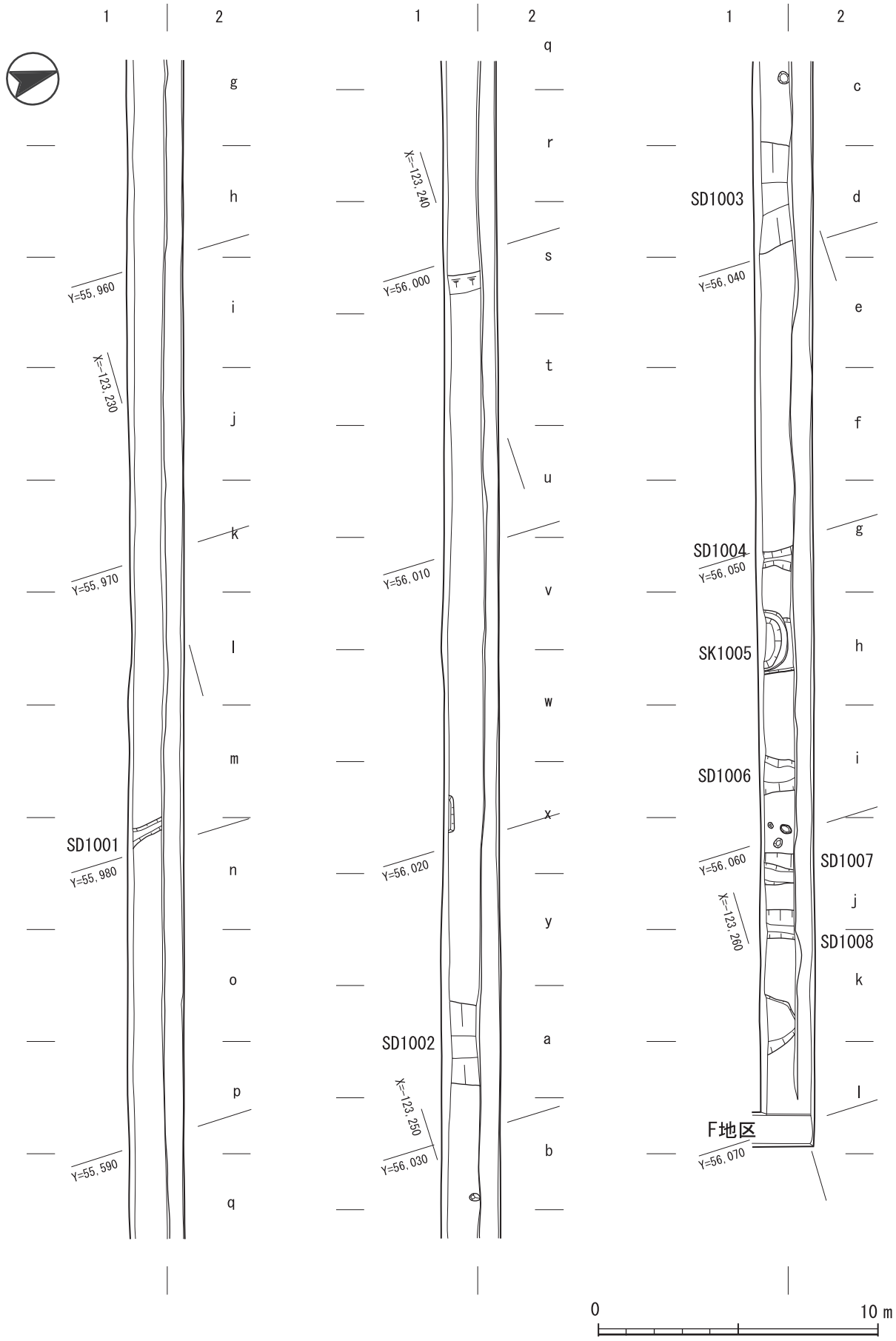
第15図　土層断面実測図（H18-南地区②）（1:100）



第16図　遺構実測図①（H17－A・B地区）（1:200）

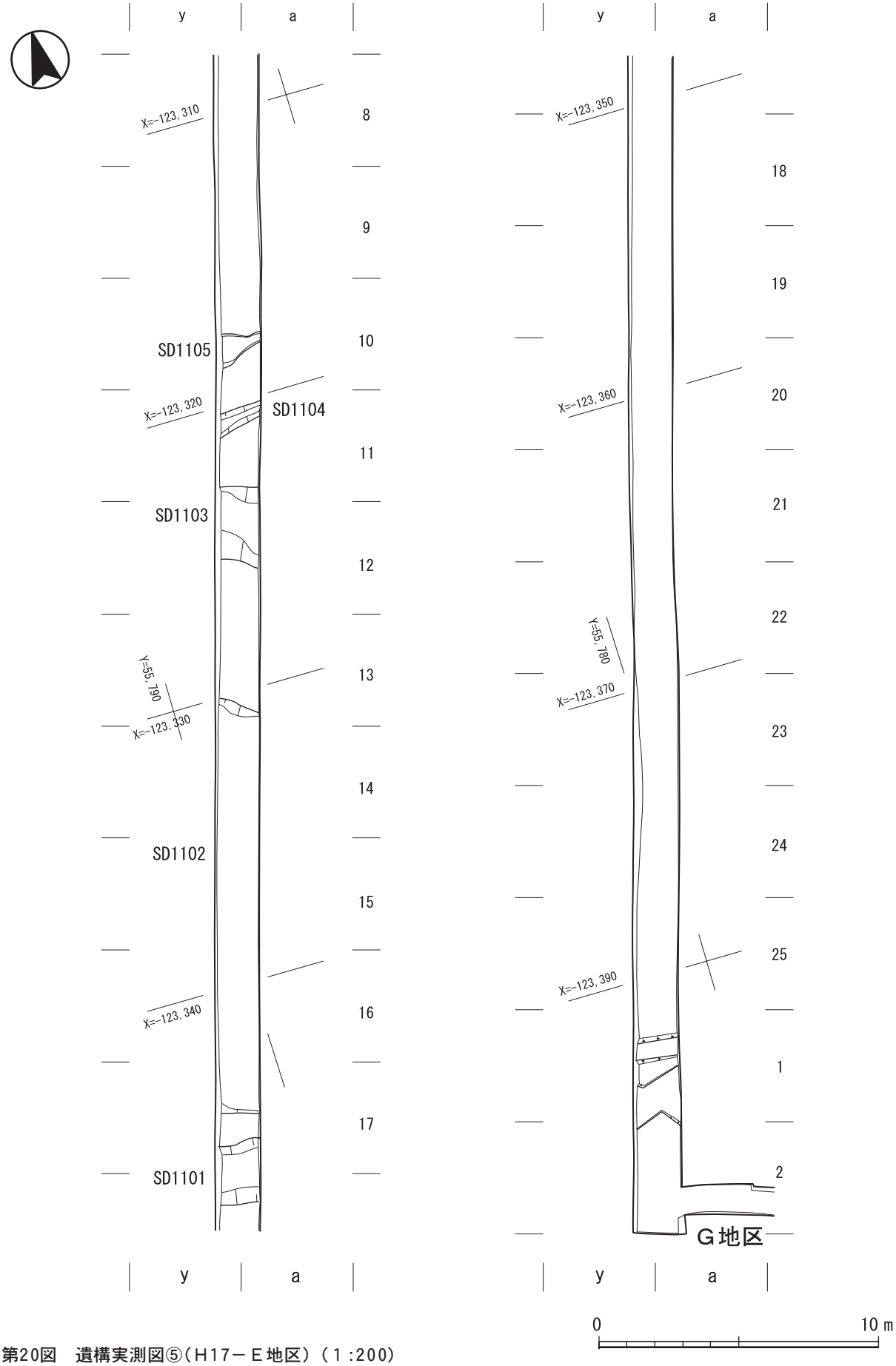


第17図　遺構実測図②（H17－Ｃ地区①）（１:200）

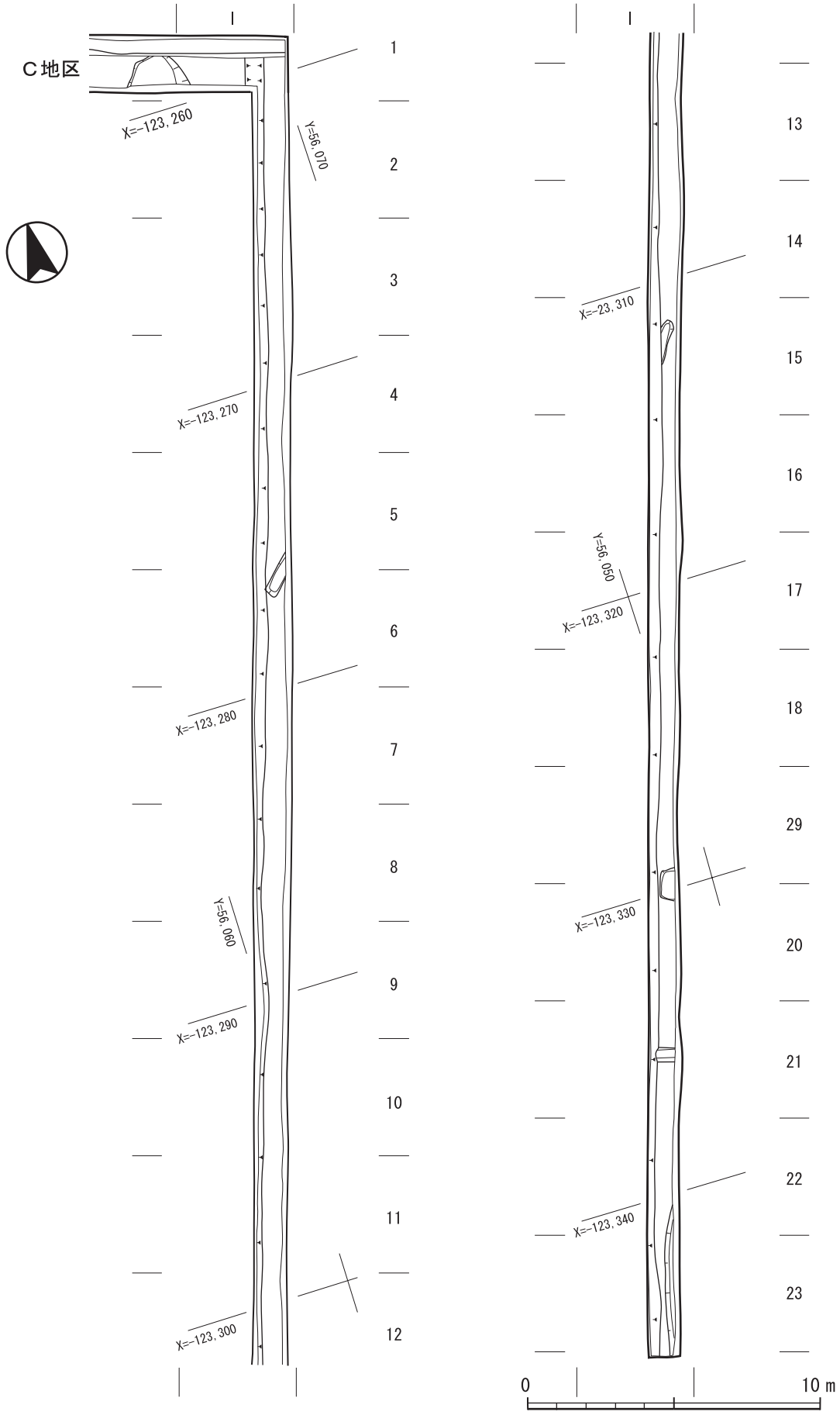


第18図　遺構実測図③（H17－C地区②）（1:200）

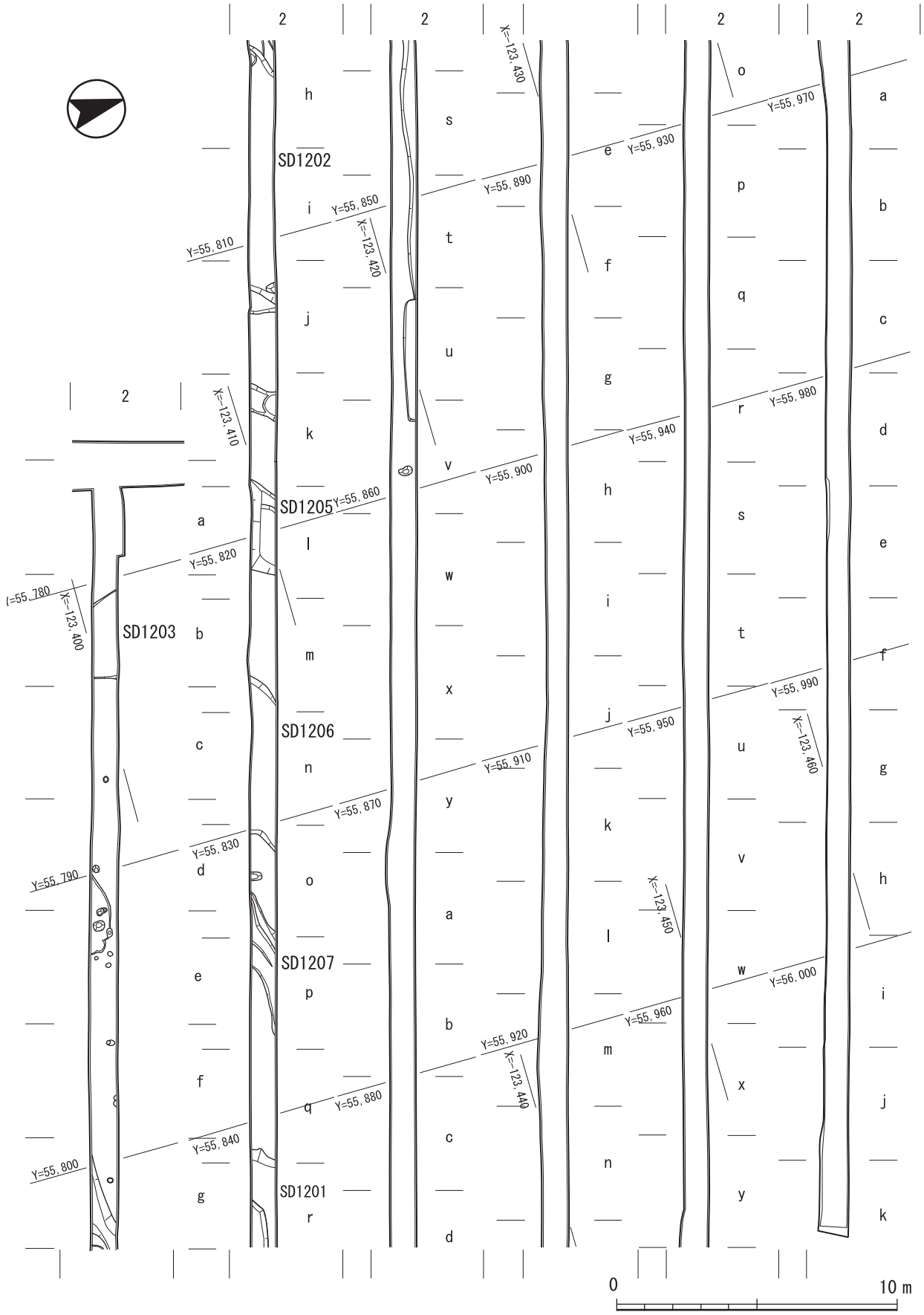
第19図　遺構実測図④（H17－D・E地区）（1:200）



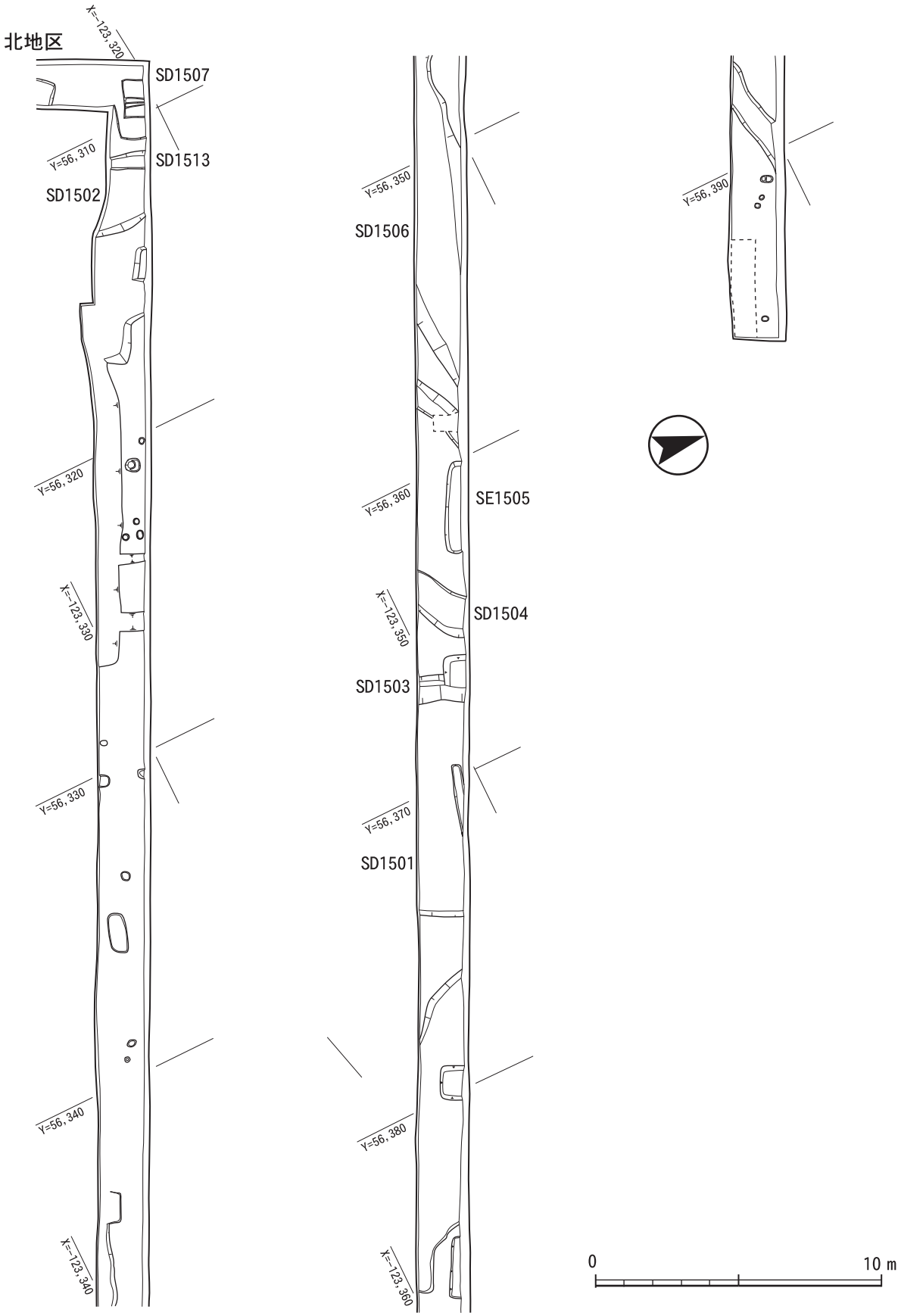
第20図　遺構実測図⑤（H17－E地区）（1:200）



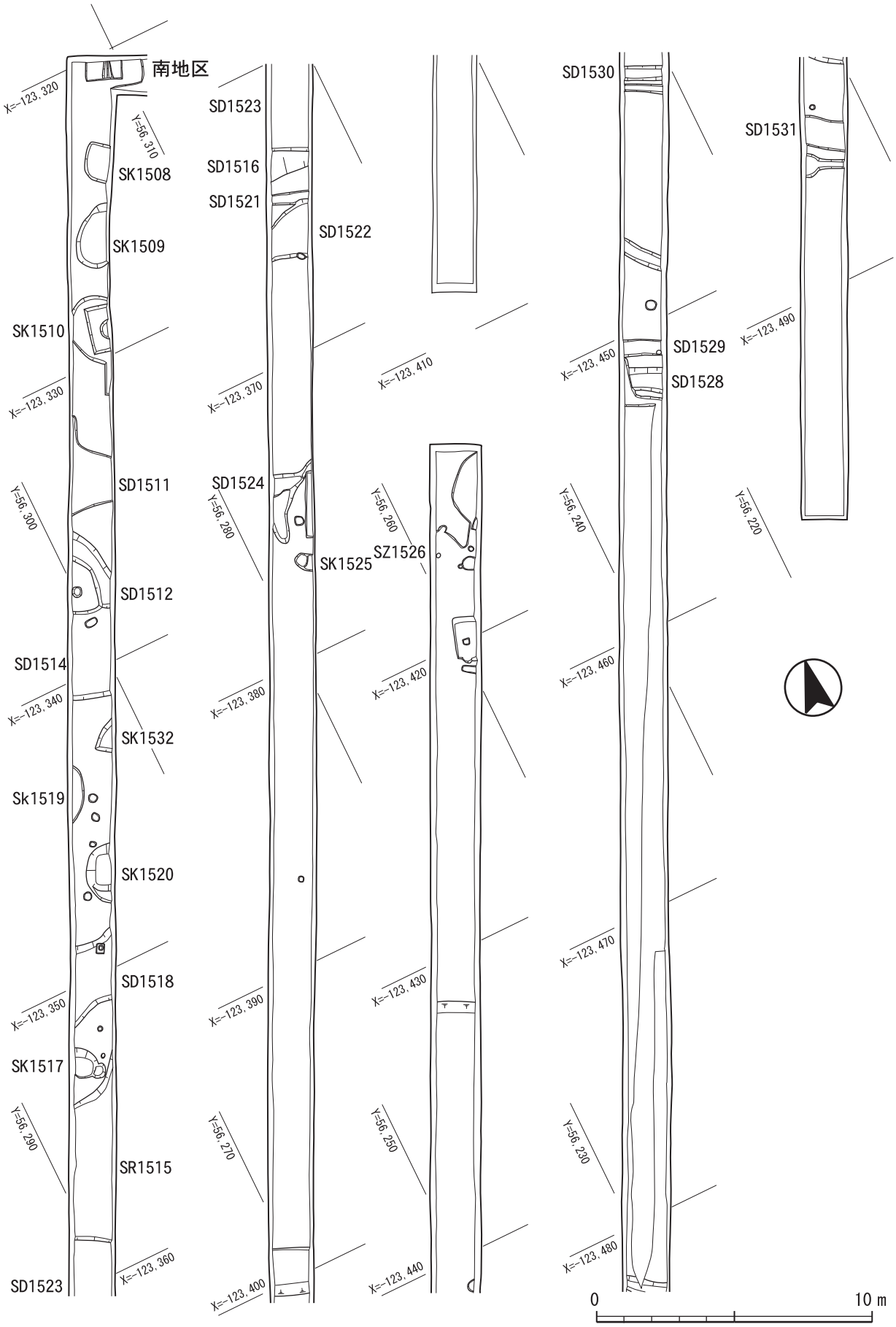
第21図　遺構実測図⑥（H17－F地区）（1:200）



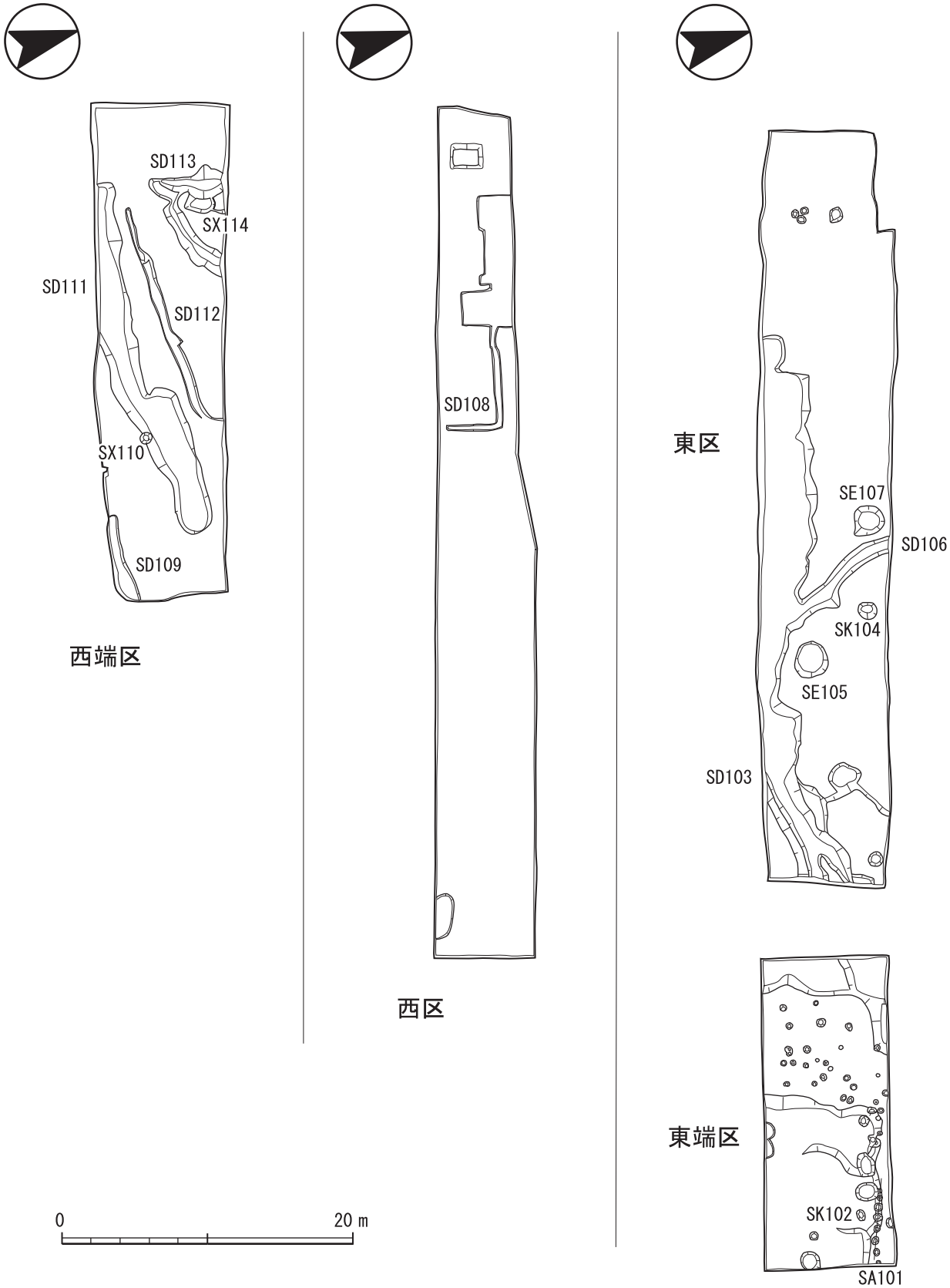
第22図　遺構実測図⑦（H17－G地区）（1:200）



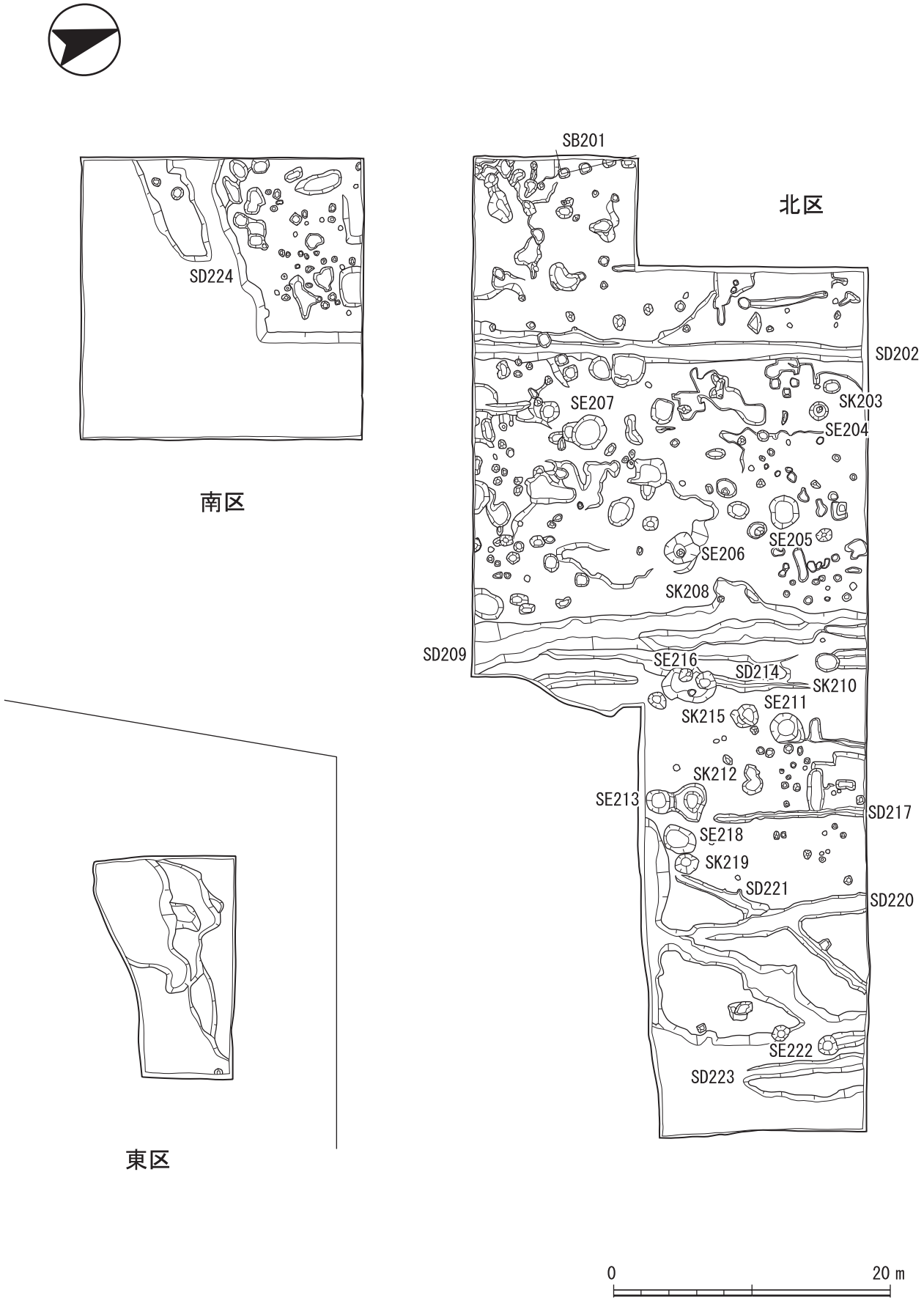
第23図　遺構実測図⑧（H18－北地区）（1:200）



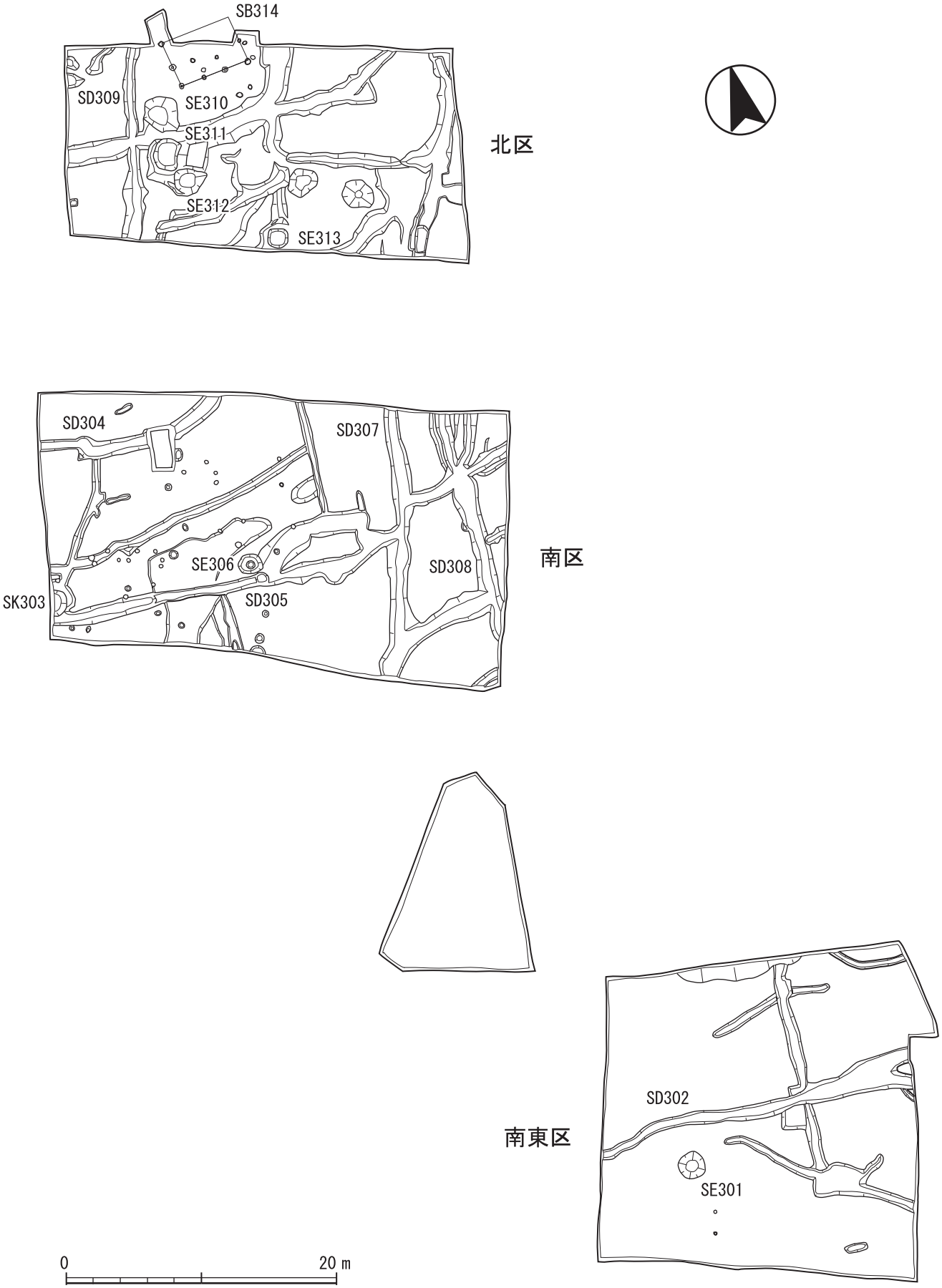
第24図　遺構実測図⑨（H18－南地区）（1:200）



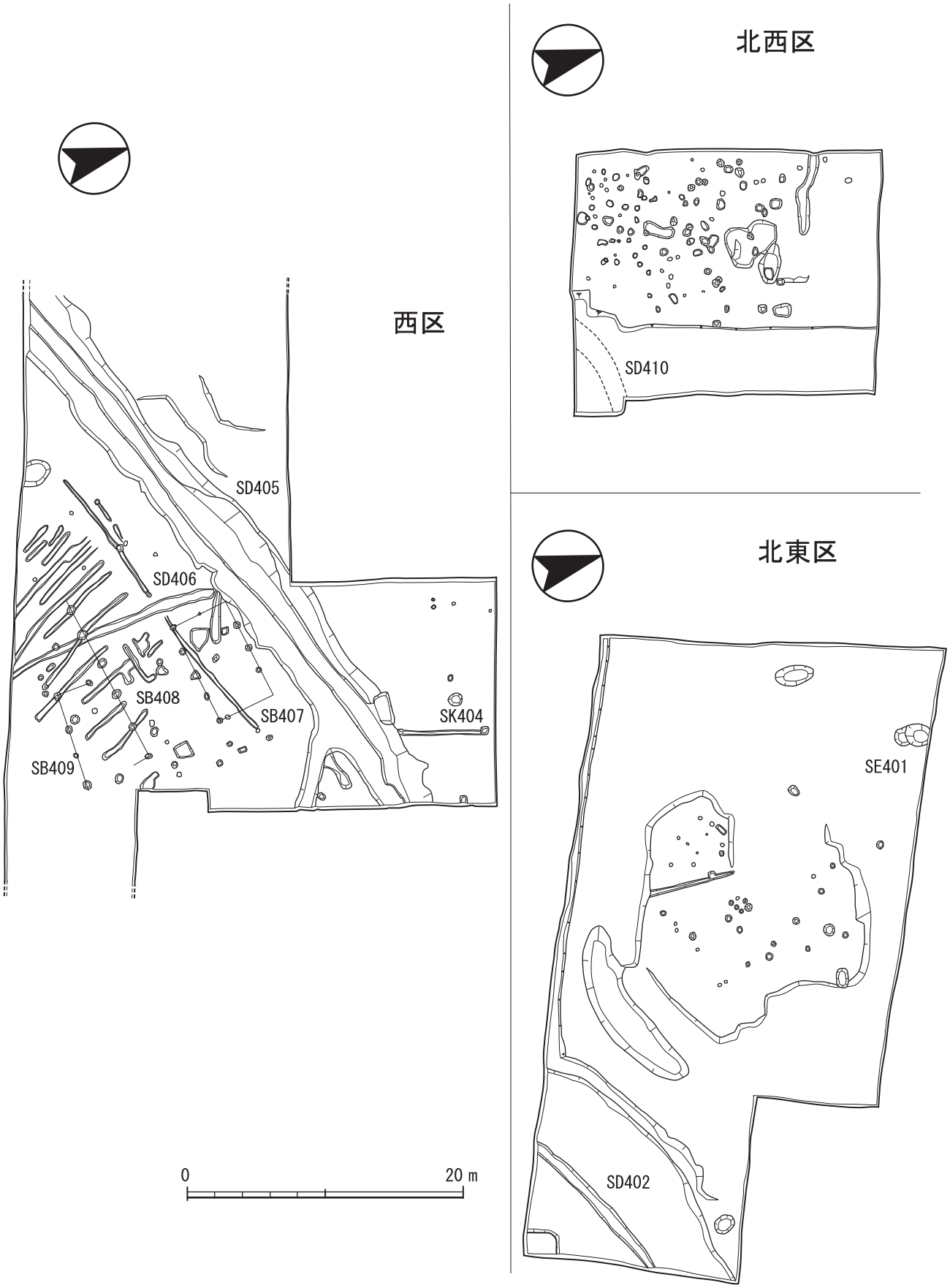
第25図　遺構実測図⑩（Ｓ54－幹線排水路地区）（１:400）



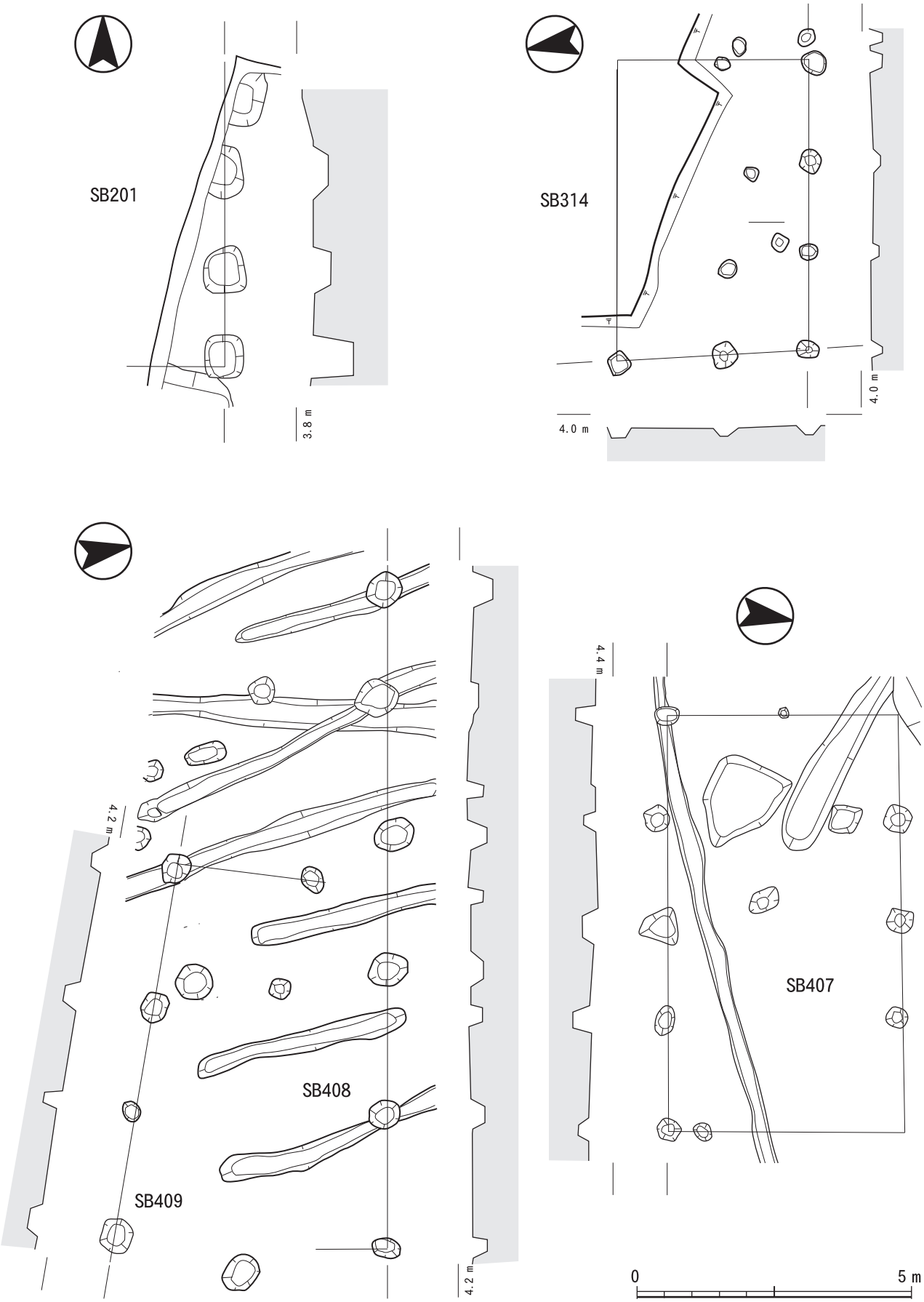
第26図　遺構実測図⑪（Ｓ54－Ａ地区）（１:400）



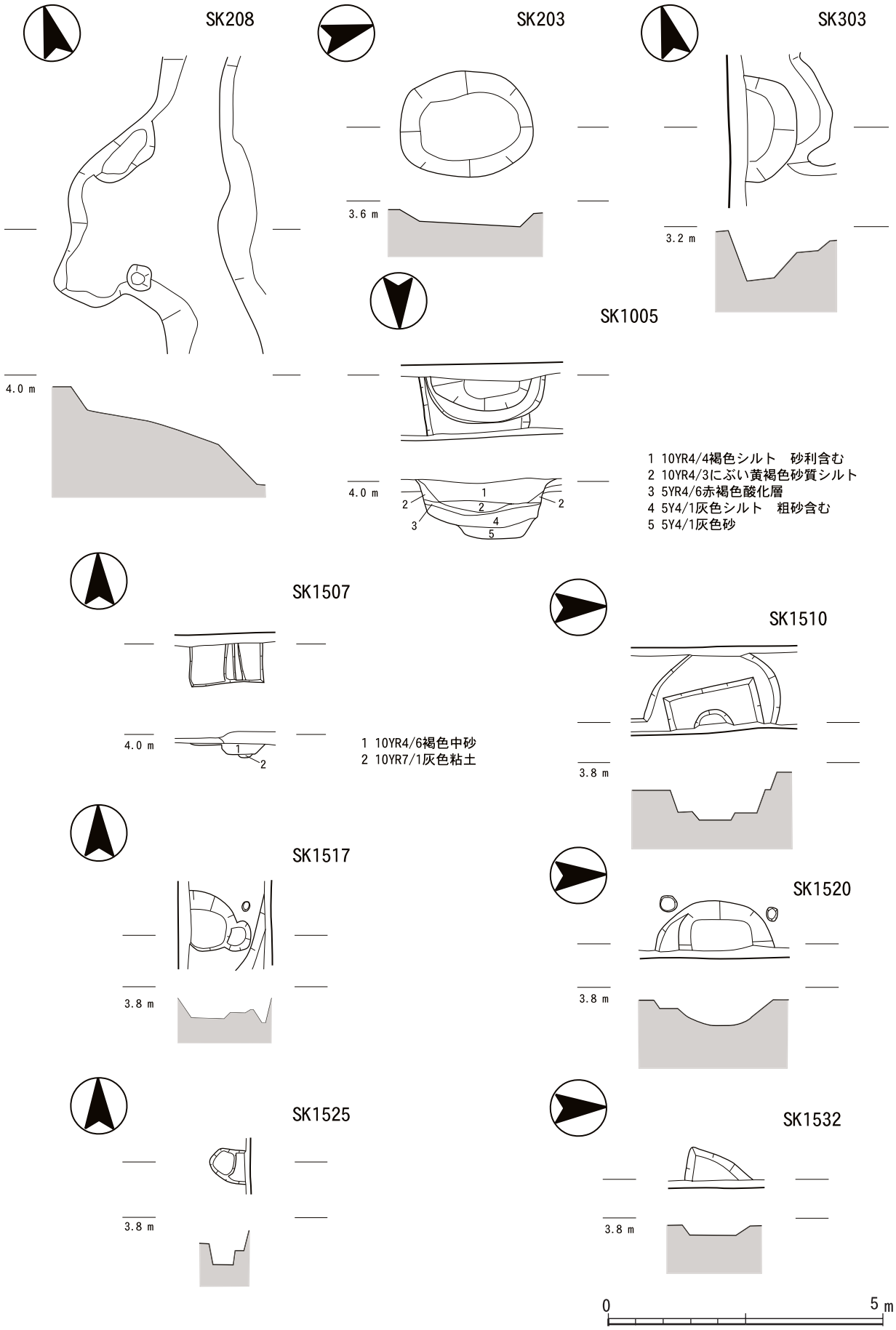
第27図　遺構実測図⑫（Ｓ54－Ｂ地区）（１:400）



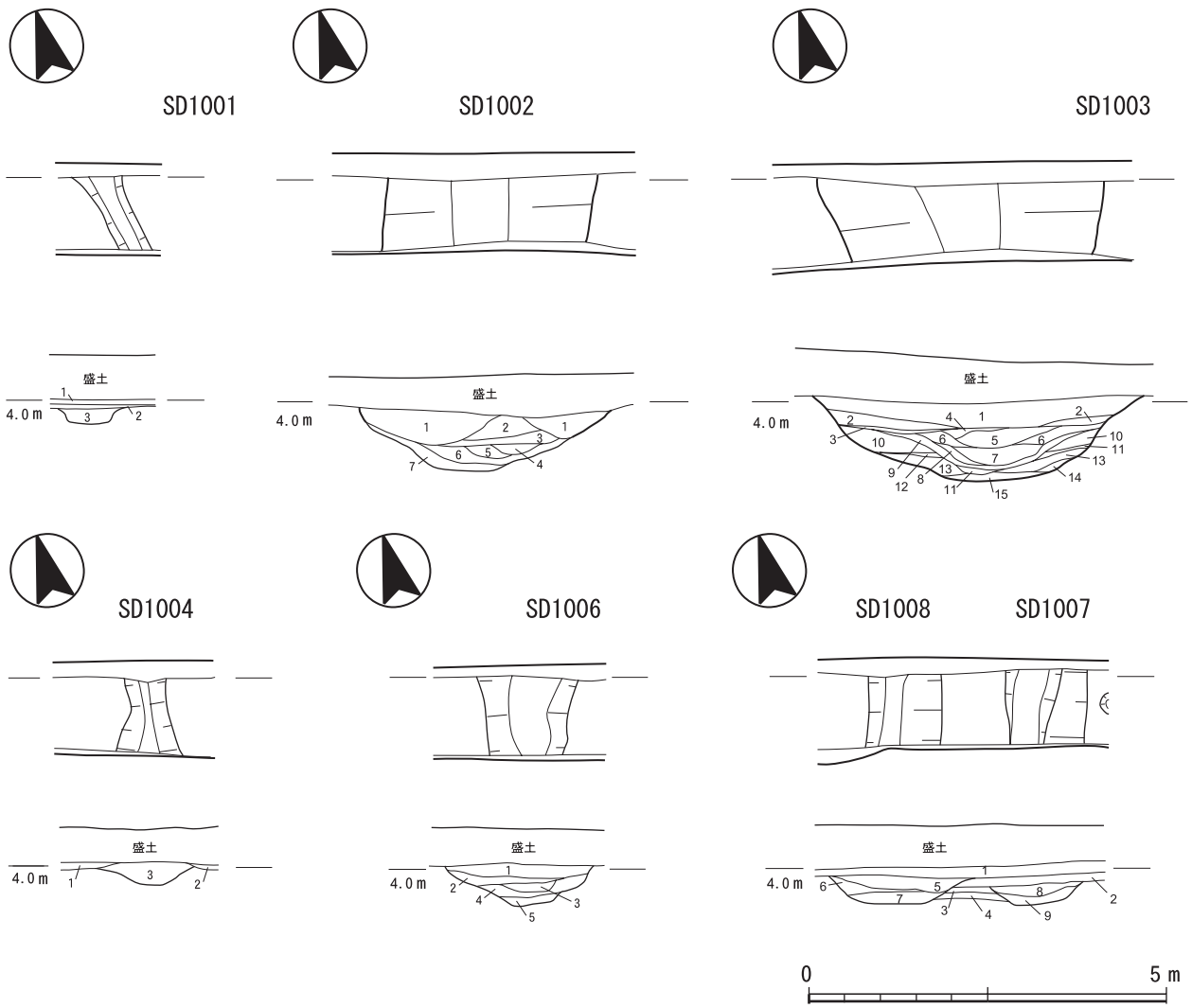
第28図　遺構実測図⑬（Ｓ54－Ｃ地区）（１:400）



第29図　掘立柱建物実測図（1:100）



第30図　土坑実測図(1:100)



《SD1001》
1 10YR5/6黄褐色シルト　砂利･酸化鉄含む
2 2.5Y4/2暗灰黄色シルト　細砂･酸化鉄含む
3 5Y4/2灰オリーブ色シルト　砂利・酸化鉄含む

《SD1002》
1 2.5YR5/2暗灰黄色シルト 砂利・酸化鉄含む
2 5Y5/2灰オリーブ色シルト　黒色粘土・砂利含む
3 7.5YR5/8明褐色シルト
4 5Y4/2灰オリーブ色シルト　黒灰色粘土含む
5 7.5Y4/2灰オリーブ色シルト　酸化鉄含む
6 5Y5/2灰オリーブ色粘質土　細砂含む
7 2.5GY4/1暗オリーブ灰色粘土　粘性強い

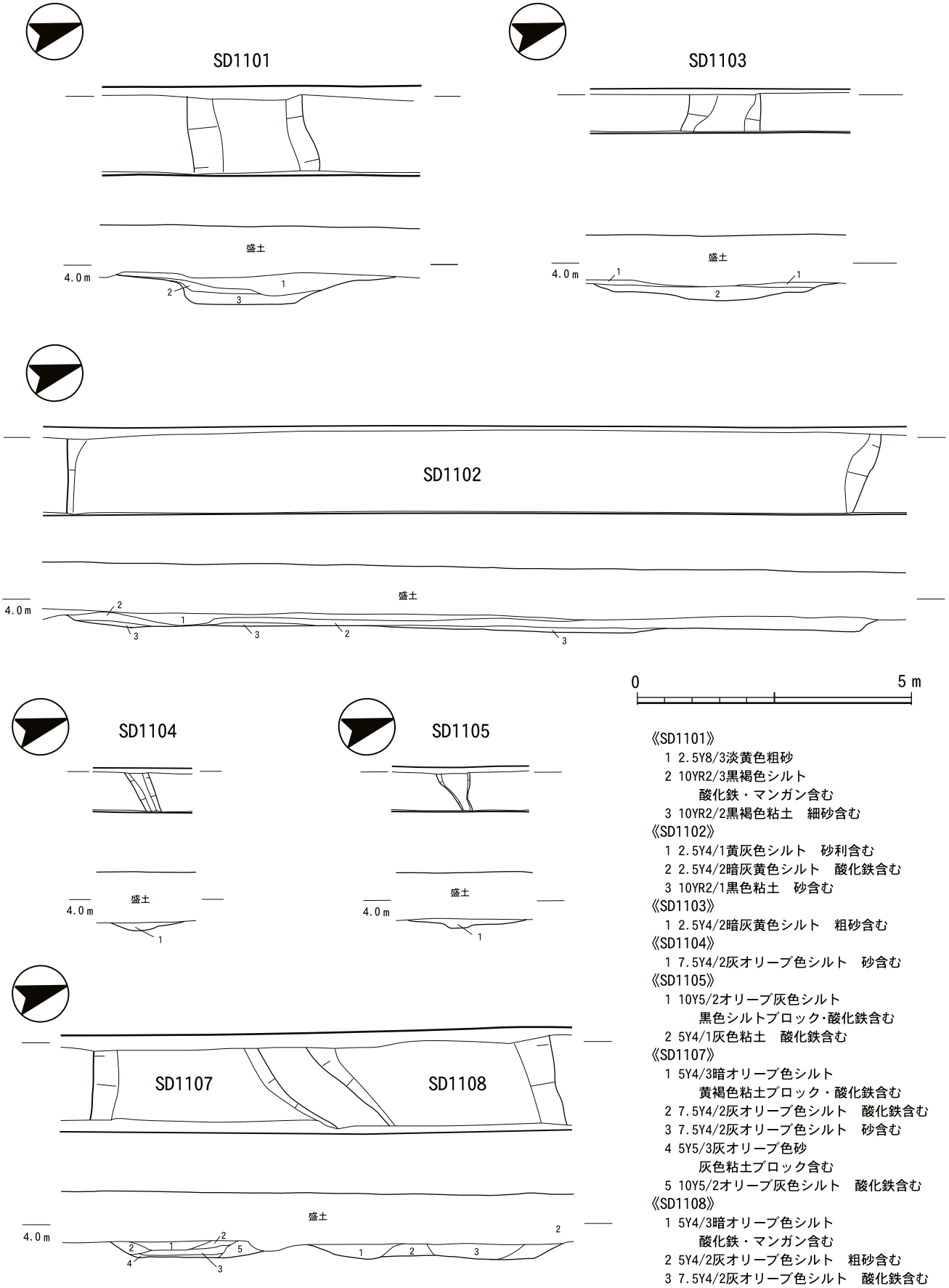
《SD1003》
1 10YR4/4褐色シルト　礫･炭化物含む
2 2.5Y4/3オリーブ褐色シルト　礫・酸化鉄含む
3 5Y4/6赤褐色シルト
4 5Y4/1灰色シルト　砂・酸化鉄含む
5 5Y3/1オリーブ黒色粘土　砂含む
6 5Y3/1オリーブ黒色シルト　酸化鉄含む
7 5Y2/2オリーブ黒色粘土　礫含む
8 5Y3/1オリーブ黒色シルト　砂含む
9 5Y2/2オリーブ黒色粘土
10 7.5Y4/2灰オリーブ色シルト　礫含む
11 5Y3/1オリーブ黒色粘土　細砂含む
12 白色砂　粗礫含む
13 5Y3/1オリーブ黒色シルト　砂・シルトブロック含む
14 5Y3/1オリーブ黒色シルト
15 5Y3/1オリーブ黒色粘土　砂・シルトブロック含む

《SD1004》
1 2.5Y4/3オリーブ褐色シルト　砂利・酸化鉄含む
2 2.5Y5/3黄褐色シルト
3 5Y4/2灰オリーブ色シルト　砂利・酸化鉄含む

《SD1006》
1 2.5Y4/4オリーブ褐色シルト　砂利・酸化鉄・マンガン含む
2 2.5Y5/3にぶい黄褐色シルト　砂利含む
3 5Y7/1灰白色砂
4 2.5Y4/3オリーブ褐色シルト　炭化物含む
5 10YR3/2黒褐色シルト

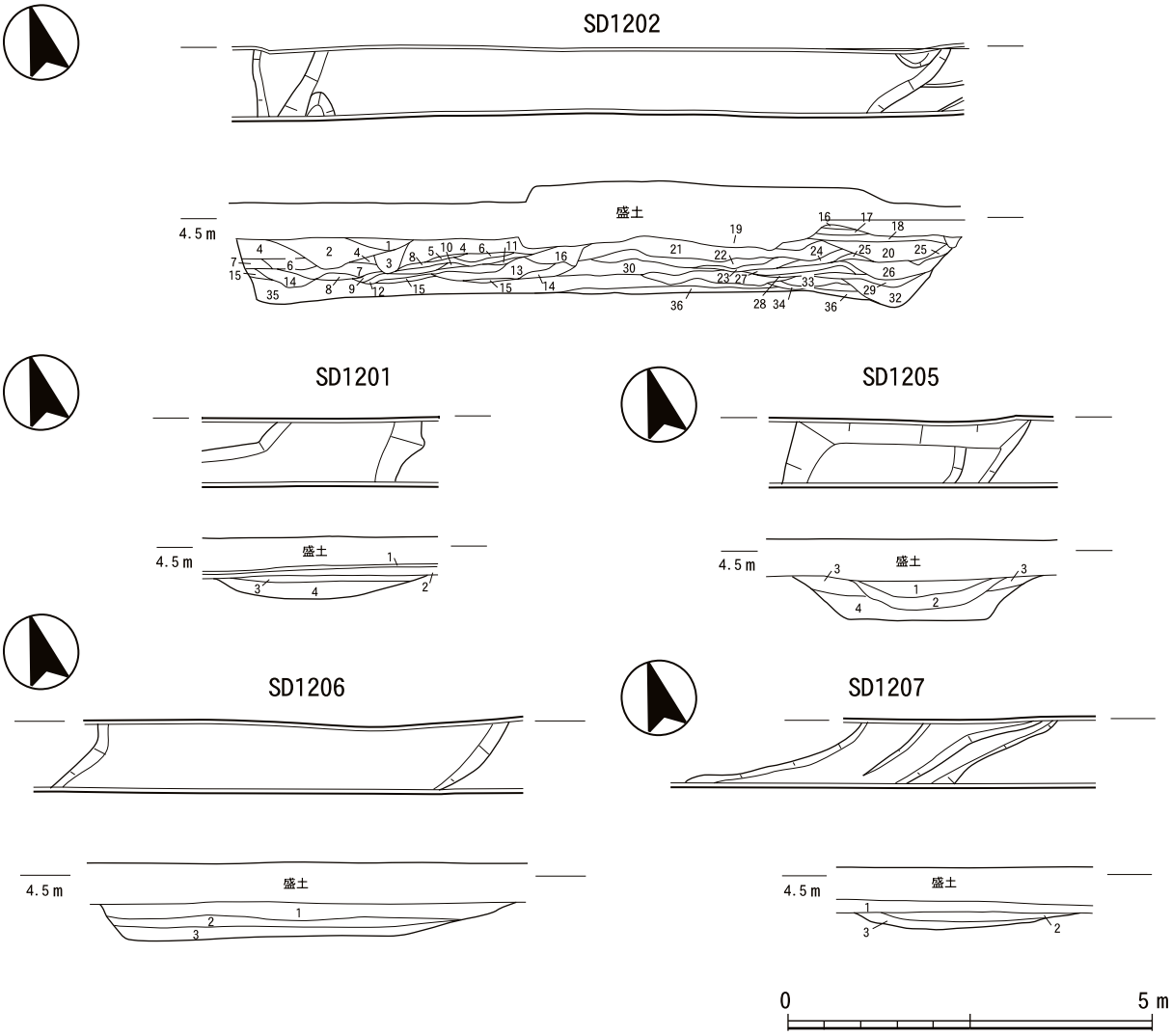
《SD1007・SD1008》
1 2.5Y4/3オリーブ褐色シルト　砂利･酸化鉄含む
2 2.5Y4/2暗灰黄色シルト　細砂・酸化鉄含む
3 5Y4/2灰オリーブ色砂　粘土含む
4 5Y5/1灰色粘土
5 10YR5/4にぶい黄褐色　礫・酸化鉄・マンガン含む
6 2.5Y4/2暗灰黄色シルト　細砂・酸化鉄含む
7 5Y5/2灰オリーブ色砂

第31図　溝実測図①(1:100)



《SD1101》
1 2.5Y8/3淡黄色粗砂
2 10YR2/3黒褐色シルト
酸化鉄・マンガン含む
3 10YR2/2黒褐色粘土　細砂含む
《SD1102》
1 2.5Y4/1黄灰色シルト　砂利含む
2 2.5Y4/2暗灰黄色シルト　酸化鉄含む
3 10YR2/1黒色粘土　砂含む
《SD1103》
1 2.5Y4/2暗灰黄色シルト　粗砂含む
《SD1104》
1 7.5Y4/2灰オリーブ色シルト　砂含む
《SD1105》
1 10Y5/2オリーブ灰色シルト
黒色シルトブロック･酸化鉄含む
2 5Y4/1灰色粘土　酸化鉄含む
《SD1107》
1 5Y4/3暗オリーブ色シルト
黄褐色粘土ブロック・酸化鉄含む
2 7.5Y4/2灰オリーブ色シルト　酸化鉄含む
3 7.5Y4/2灰オリーブ色シルト　砂含む
4 5Y5/3灰オリーブ色砂
灰色粘土ブロック含む
5 10Y5/2オリーブ灰色シルト　酸化鉄含む
《SD1108》
1 5Y4/3暗オリーブ色シルト
酸化鉄・マンガン含む
2 5Y4/2灰オリーブ色シルト　粗砂含む
3 7.5Y4/2灰オリーブ色シルト　酸化鉄含む

第32図　溝実測図②(1:100)



《SD1201》
1 10YR5/6黄褐色粘土　マンガン粒含む
2 2.5YR5/3黄褐色シルト　砂・マンガン含む
3 2.5Y4/2暗灰黄色シルト　酸化鉄含む
4 5Y4/2オリーブ色シルト　酸化鉄・マンガン含む

《SD1202》
1 2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト　礫･酸化鉄含む
2 5Y6/2灰オリーブ色砂質シルト　酸化鉄・マンガン粒含む
3 7.5Y4/2灰オリーブ色砂質シルト　砂利・酸化鉄含む
4 2.5Y4/3オリーブ褐色シルト　砂・粘土ブロック含む
5 7.5YR5/6明褐色砂　酸化鉄含む
6 5Y5/2灰オリーブ色シルト　砂・酸化鉄含む
7 2.5Y5/1黄灰色粘土
8 7.5YR5/8明褐色粗砂　砂含む
9 2.5Y3/2黒褐色粘土　粗砂含む
10 2.5Y4/2暗灰黄色粘土　酸化鉄・粘土ブロック含む
11 10YR4/6褐色砂質シルト　砂含む
12 2.5Y5/4黄褐色砂　砂含む
13 2.5Y4/4オリーブ褐色シルト質粘土　酸化鉄含む
14 2.5Y4/1黄灰色粘土　シルトブロック含む
15 2.5Y8/4淡黄色砂　酸化鉄・マンガン含む
16 2.5Y5/3黄褐色シルト　酸化鉄・マンガン含む
17 2.5Y5/2暗灰黄色シルト　酸化鉄・マンガン含む
18 2.5Y4/4オリーブ褐色シルト　酸化鉄・マンガン含む
19 攪乱
20 2.5Y4/3オリーブ褐色シルト　酸化鉄・炭化物含む
21 2.5Y5/2暗灰黄色シルト　酸化鉄・マンガン含む
22 2.5Y3/3暗オリーブ褐色シルト　酸化鉄・マンガン含む
23 2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト　酸化鉄・マンガン含む
24 7.5YR4/6褐色シルト　シルトブロック含む
25 10YR4/3にぶい黄褐色シルト　砂利含む
26 2.5Y3/2黒褐色粘土
27 2.5Y4/2暗灰黄色粘土
28 2.5Y3/2黒褐色粘土　炭化物含む
29 2.5Y3/1黒褐色粘土　砂含む
30 10YR4/3にぶい黄褐色砂質シルト　酸化鉄含む
31 2.5Y3/3暗オリーブ褐色差室シルト
32 5Y3/2オリーブ黒色粘土　砂含む
33 5Y3/1オリーブ黒色粘土　酸化鉄含む
34 5Y4/2灰オリーブ色粘土　砂含む
35 7.5Y5/1灰色粘土　酸化鉄含む
36 10YR5/1灰色粘土

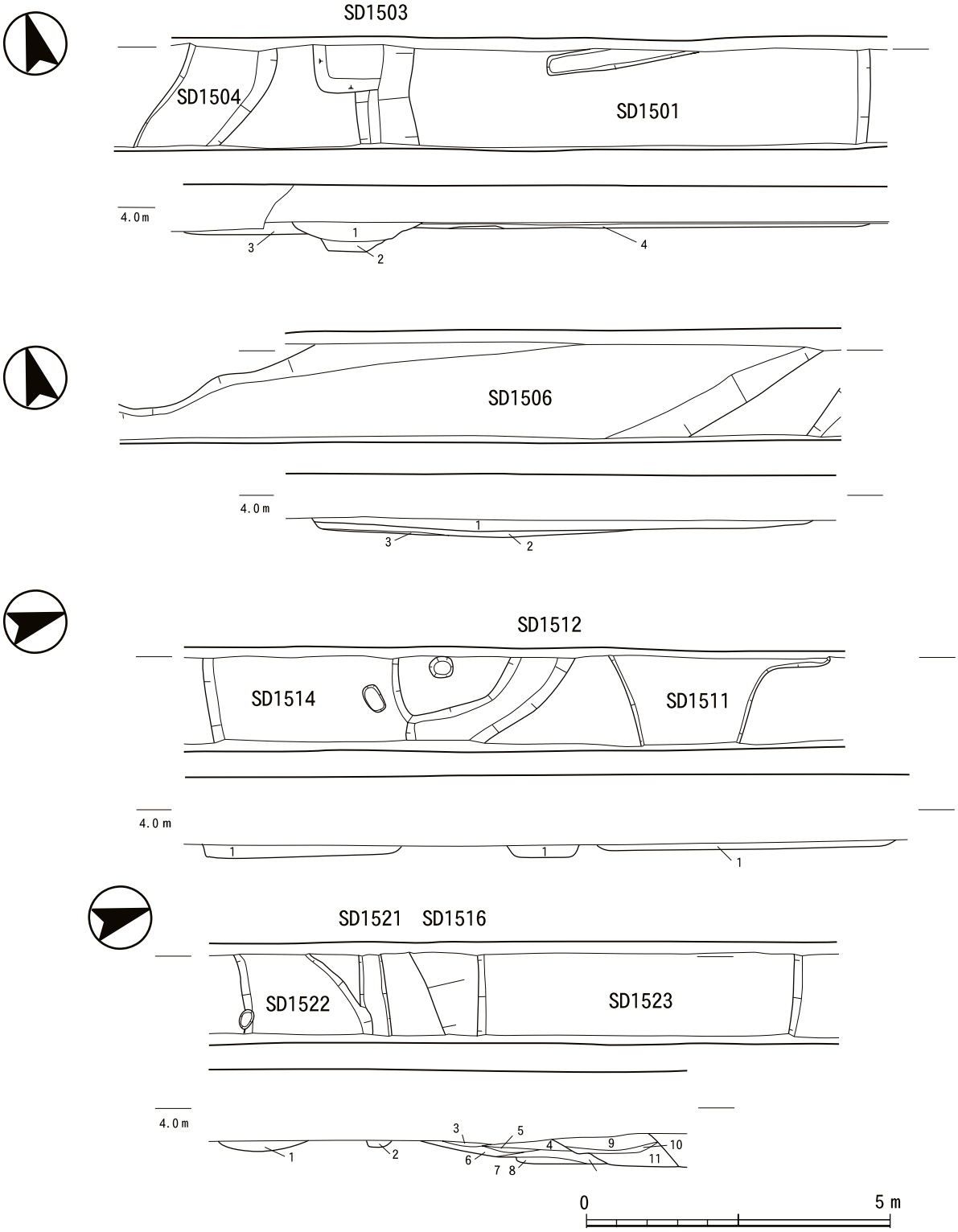
《SD1204》
1 10YR5/8黄褐色砂質シルト 砂利含む
2 2.5Y5/3黄褐色シルト 酸化鉄・マンガン含む

《SD1205》
1 5Y5/2灰オリーブ色シルト 砂・マンガン粒含む
2 2.5Y5/1黄灰色シルト　酸化鉄・粗砂含む
3 2.5Y5/3黄褐色シルト　砂利・酸化鉄・マンガン粒含む
4 5GY4/1暗オリーブ灰色シルト　酸化鉄含む

《SD1206》
1 5Y5/3灰オリーブ色シルト　砂利・マンガン粒含む
2 2.5Y5/2暗灰黄色シルト　酸化鉄・マンガン含む
3 5Y4/3オリーブ褐色シルト　砂利・酸化鉄含む

《SD1207》
1 2.5Y4/3オリーブ褐色シルト　砂・マンガン層含む
2 5Y4/2灰オリーブ色シルト
3 2.5Y4/2暗灰黄色シルト

第33図　溝実測図③(1:100)



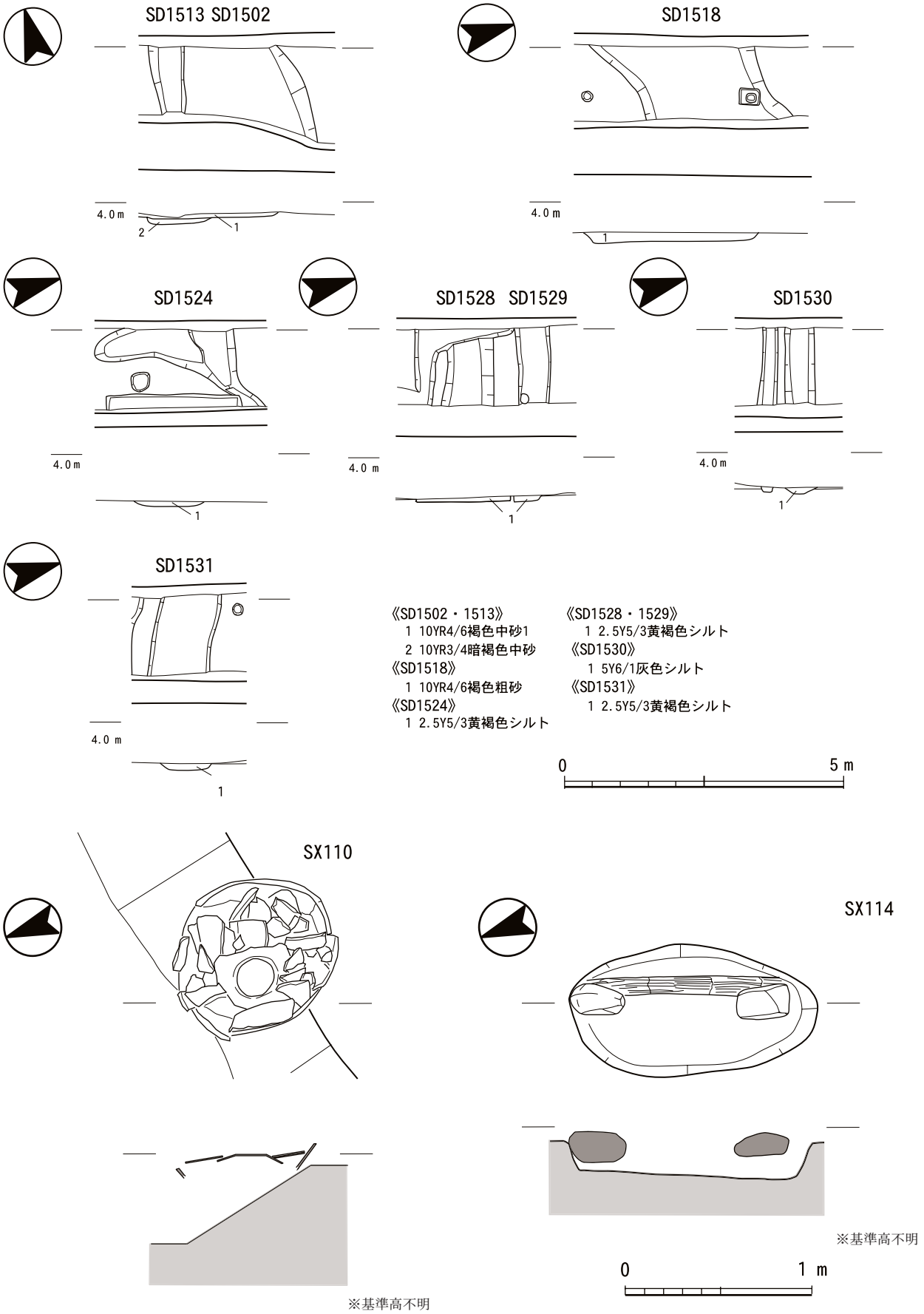
《SD1501・1503・1504》
1 10YR4/3にぶい黄褐色粘質土
2 10YR4/1褐灰色粘質土
3 10YR4/2灰黄色粘質土
4 10YR5/2灰黄褐色中砂

《SD1506》
1 10YR5/2灰黄褐色細砂
2 10YR6/2灰黄褐色中砂
3 10YR7/2にぶい基橙色中砂

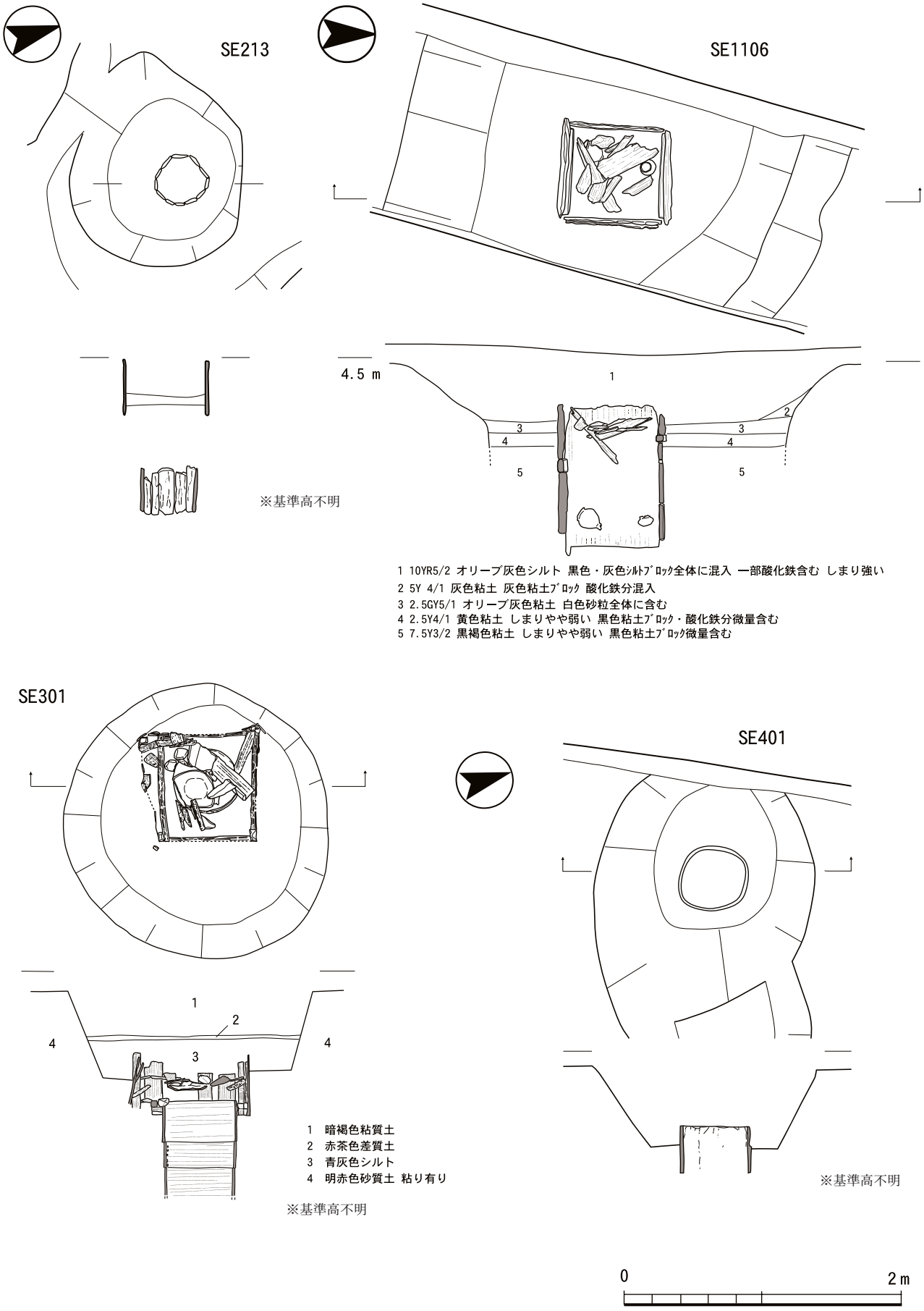
《SD1511・1512・1514》
1 10YR3/4暗褐色中砂

《SD1516・1521・1522・1523》
1 2.5Y5/1基灰色土
2 2.5Y5/3黄褐色シルト
3 10YR4/2灰黄褐色シルト
4 10YR4/3にぶい黄褐色シルト
5 10YR3/3褐色シルト
6 10YR4/1褐色シルト
7 10YR5/2灰黄褐色粘土
8 10YR5/1褐灰色粘土
9 10YR3/3褐色ｼﾙﾄシルト
10 10YR3/1黒褐色粘土
11 10YR4/1褐灰色粘土

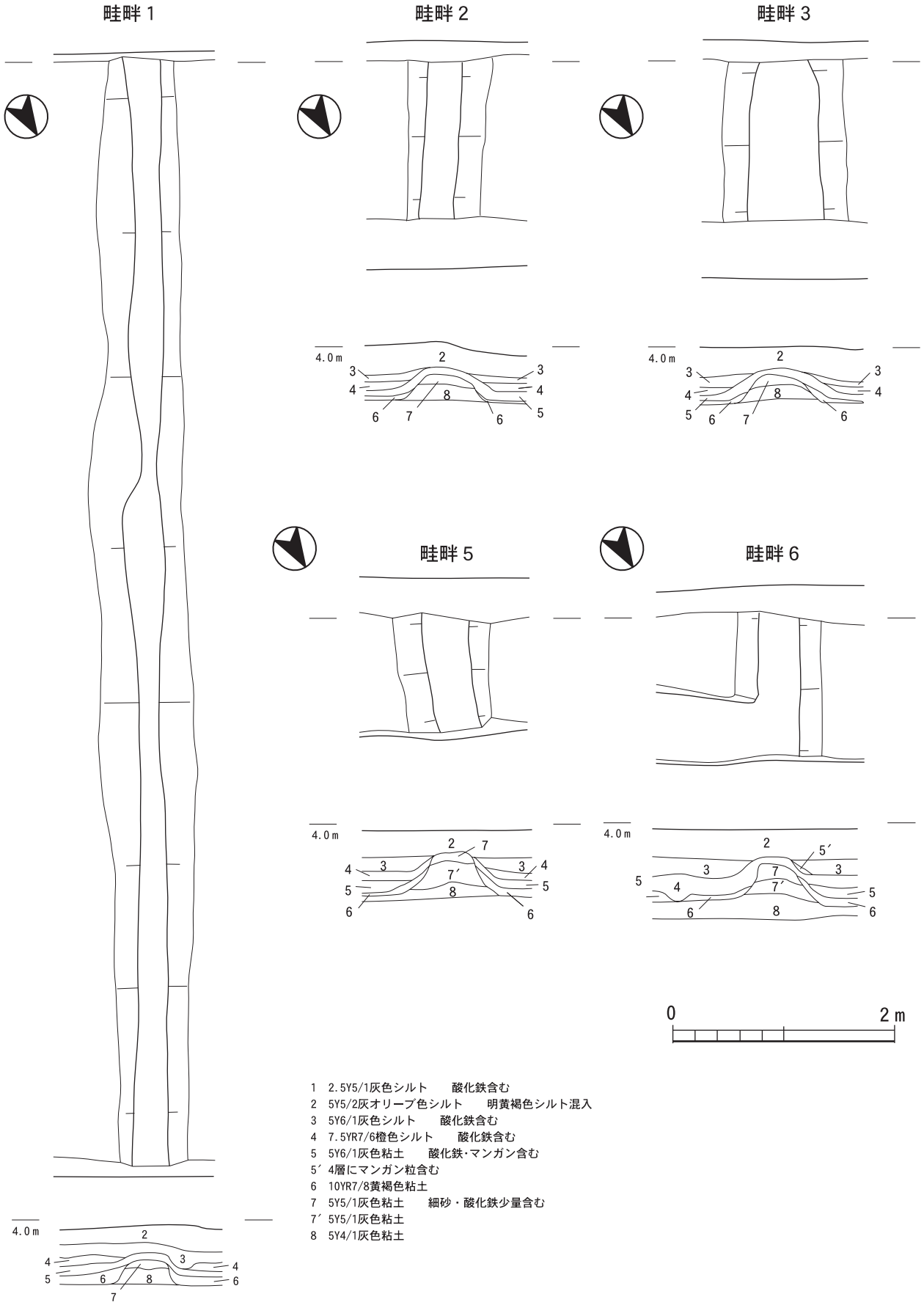
第34図　溝実測図④(1:100)



第35図　溝実測図⑤(1:100)・中世墓実測図(1:30)



第36図　井戸実測図(1:40)



1　2.5Y5/1灰色シルト　　酸化鉄含む
2　5Y5/2灰オリーブ色シルト　　明黄褐色シルト混入
3　5Y6/1灰色シルト　　酸化鉄含む
4　7.5YR7/6橙色シルト　　酸化鉄含む
5　5Y6/1灰色粘土　　酸化鉄･マンガン含む
5′ 4層にマンガン粒含む
6　10YR7/8黄褐色粘土
7　5Y5/1灰色粘土　　細砂・酸化鉄少量含む
7′ 5Y5/1灰色粘土
8　5Y4/1灰色粘土

第37図　畦畔実測図(1:50)

遺構番号	地 区	小地区	規 模(間)	柱 間(m)	棟方向	時 期	出 土 遺 物	備考
SA101	S54-幹	－	7以上	0.5～0.8	東西	中世		

遺構番号	地 区	小地区	桁行(間)	梁行(間)	桁間(m)	梁間(m)	棟方向	時 期	出 土 遺 物	備考
SB201	S54-A	－	3	－	1.8	－	南北	中世		
SB314	S54-B	－	3	2	1.8	1.8	東西	古代		
SB407	S54-C	－	5	2	1.8	1.8	東西	中世		
SB408	S54-C	－	4	－	1.8	1.8	東西	中世		
SB409	S54-C	－	3	1	1.8	1.8	東西	中世		

遺構番号	地 区	小地区	延 長(m)	幅(m)	深さ(cm)	時 期	出 土 遺 物	備考
SD103	S54-幹	－	37以上	2.2～3.2	25～35	中世		
SD106	S54-幹	－		1.2	30	中世		
SD108	S54-幹	－	6.5以上	0.7	10	中世		
SD109	S54-幹	－	6.0	－	－	中世		
SD111	S54-幹	－	25以上	2.5～3.0	30～40	中世		
SD112	S54-幹	－	15.0	0.7	20	中世		
SD113	S54-幹	－	17.4以上	1.5～2.0	20～30	中世		
SD202	S54-A	－	28.0以上	1.5	50	中世	陶器山茶椀(251～257)・山皿(258・259)・鉢(263)・瀬戸美濃製品(260～262)、土師器羽釜(264)	
SD209	S54-A	－	28.0以上	2.5～3.0	30～40	中世	土師器皿(302・303)・鍋(304～307・329)・羽釜(308～328)・茶釜(330)、陶器山茶椀(279～292)・小椀(293)・鉢(294・295)・壺(296)・常滑製品(297～299)、青白磁椀(300・301)	
SD214	S54-A	－	8.0以上	0.8	30	中世		
SD217	S54-A	－	10.8以上	0.4～0.7	10～15	中世	土師器羽釜(270)、陶器(266・267)・鉢(268)・壺(269)	
SD220	S54-A	－	13以上	1.3	10～25	中世	土師器羽釜(345)	
SD221	S54-A	－	16以上	0.6～0.8	10	中世	陶器山茶椀(272～278)・山皿(271)	
SD223	S54-A	－	7.8以上	1.0～1.2	10～30	中世	土師器皿(339～341)・羽釜(342～344)、陶器山茶椀(331～335)・鉢(337・338)・常滑製品(336)	
SD224	S54-A	－	14.2以上	1.8	35	中世		
SD302	S54-B	－	14.1以上	0.8～1.2	20～35	古墳	土師器杯(184)・鉢(185～187)・高杯(188～198)・甑(199)・甕(200～202)、須恵器杯蓋(205)・杯身(206～218)・高杯(219)・壺(220)・甕(221)、土錘(203・204)	
SD304	S54-B	－	14.5以上	0.8～1.3	25	中世		
SD305	S54-B	－	26.5以上			中世	須恵器杯身(346)、灰釉陶器(347～349)、陶器山茶椀(352～355)・山皿(350・351)、土師器甕(356)土錘(357)	
SD307	S54-B	－	20以上	1.0～1.5	30～65	中世	灰釉陶器(358～366)、陶器山茶椀(384～402)・小椀(367～373)・山皿(374～383)、ロクロ土師器(403)、土師器鍋(404・405)、土錘(406)	
SD308	S54-B	－	17以上	1.2～1.5	35～70	中世	土師器皿(437～439)・鍋(440・441)、陶器山茶椀(407～429)・山皿(430～434)・壺(435)・鉢(436)	道路側溝か？
SD309	S54-B	－	7.0以上	0.8	25	中世	陶器山茶椀(443～448)・山皿(442)	
SD402	S54-C	－	19.0	3.0	50	古墳		SD405と同一
SD403	S54-C	－	46.0	3.0	70	中世		
SD405	S54-C	－	16.0以上	0.4～0.8	10	古墳	土師器壺(222～227)・甕(228～232・235)・高杯(236)、須恵器杯蓋(237～242)・杯身(243～248)・甕(249)、土玉(250)	SD402と同一
SD406	S54-C	－	6.4以上	1.4		中世		
SD410	S54-C	－	－	0.4	20	中世		
SD1001	H17-C	Hn-1	－	0.4	20	中世		
SD1002	H17-C	Ja-1	－	2.3	50～60	中世		
SD1003	H17-C	Jd-1	－	3.4～4.0	80～90	中世		
SD1004	H17-C	Jg-1	－	0.5～0.9	15	中世		
SD1006	H17-C	Ji-1	－	1.1～1.4	20～25	中世	土師器鍋(42)、陶器山茶椀(43～50)	
SD1007	H17-C	Jj-1	－	2.0	30～50	中世		
SD1008	S54-C	Jj・k-1	－	1.0	25	中世		

第2表　遺構一覧①

遺構番号	地 区	小地区	延 長(m)	幅(m)	深さ(cm)	時 期	出 土 遺 物	備 考
SD1101	H17- E	Cy・Fa-16・17	−	5.0	45	弥生～古墳	甕(1～7)・壺(8～11・17)・鉢(12・18)・高杯(19～22)・土製品(23)・木製品(1177・1178)	
SD1102	H17- E	Cy・Fa-13～17	−	14.5	25	不明		自然流路？
SD1103	H17- E	Cy・Fa-10・11	−	2.5～3.0	20	不明		
SD1104	H17- E	Cy・Fa-10	−	0.6～0.8	10	不明		
SD1105	H17- E	Cy・Fa-9	−	0.4～1.3	10	不明		自然流路？
SD1107	H17- E	Cy・Fa-2・3	−	3.0～4.0	20～30	古墳	土師器甕(26)、須恵器杯身(24)・高杯(25)	
SD1108	H17- E	Cy・Fa-1・2	−	3.0～4.2	10～20	弥生～古墳	甕(27・28)	
SD1201	H17- G	Gr～t-2	−	10.6	80～100	中世		
SD1202	H17- G	Gh～j-2	−	10.6		飛鳥～奈良	土師器甕(29～34)・壺(32・33・36)・鉢(35)・杯(37)・椀(38)、須恵器杯身(39)、石製品(40)・土錘(41)	SD402・405と同一
SD1203	H17- G	Gb-2	−	1.4	15	不明		
SD1204	H17- G	Gi-2	−	1.0	20	中世	陶器山茶椀(51)	
SD1205	H17- G	Gm・n-2	−	2.9	50	中世	陶器山茶椀(58)	
SD1206	H17- G	Go・p-2	−	5.0	50	不明		
SD1207	H17- G		−	1.6	30	不明		
SD1501	H18- 北	−	−	−	300	中世		
SD1502	H18- 北	−	−	1.1	15～40	中世	土師器皿(101)、陶器山茶椀(104)・小椀(103)・山皿(102)・鉢(105)、土製品(106)	
SD1503	H18- 北	−	−	0.4	10～40	中世		
SD1504	H18- 北	−	−	0.55	10	中世	土師器皿(92)	
SD1505	H18- 北	−	−			中世	土師器鍋(97)	
SD1506	H18- 北	−	−	2.0	15	中世	土師器壺(甕)(93・94)、陶器山茶椀(95)・壺(96)	
SD1511	H18- 南	−	−	0.65～1.4	10～15	中世	陶器山茶椀(100)・山皿(99)	
SD1512	H18- 南	−	−	0.9	20	中世	陶器山茶椀(107)・鉢(108)	
SD1513	H18- 北	−	−	0.25	30	中世	土師器脚部(81)・陶器山茶椀(109)・鉢(110)	
SD1514	H18- 南	−	−	0.55	10	中世	土師器皿(112)・陶器山茶椀(113)	
SD1515	H18- 南	−	−	2.0	15	中世	土師器皿(111)	
SD1516	H18- 南	−	−	−	−	弥生～古墳	土師器甕(83)・壺(85)・高杯(84)	西肩のみ
SD1518	H18- 南	−	−	2.2	15	弥生～古墳	土師器甕(85・86)	
SD1521	H18- 南	−	−	0.4	10	中世		
SD1522	H18- 南	−	−	1.2～2.2	20	弥生～古墳		
SD1523	H18- 南	−	−	5.3	−	中世	土師器皿(115)、陶器山茶椀(116・117)・鉢(118)・甕(119)・木製品(1179)	
SD1524	H18- 南	−	−	1.2～2.2	20	弥生～古墳	土師器甕(82)	
SD1527	H18- 南	−	−			中世		
SD1528	H18- 南	−	−	0.8	10	中世	陶器山茶椀(114)	
SD1529	H18- 南	−	−	0.6	10	中世		
SD1530	H18- 南	−	−	0.55	15	中世		
SD1531	H18- 南	−	−	1.05	15	中世		

遺構番号	地 区	小地区	規 模(m)	深 さ(cm)	型 式	時 期	出 土 遺 物	備 考
SE105	S54- 幹	−	2.2～2.5	60	素掘	中世		
SE107	S54- 幹	−	2.1～2.5	50	素掘	中世		
SE204	S54- A	−	1.4	60	素掘	中世		曲物あり
SE205	S54- A	−	2.1	70	素掘	中世		覆屋の可能性のあり
SE206	S54- A	−	2.1～2.2	70	一木刳貫	中世		

第３表　遺構一覧②

遺構番号	地 区	小地区	規 模(m)	深さ(cm)	型 式	時 期	出 土 遺 物	備 考
SE207	S54- A	－	2.1～2.6	65	素掘	中世	陶器山茶椀(449～459)・山皿(460)	
SE211	S54- A	－	2.1	70	素掘	中世	陶器山茶椀(462・463)・小椀(461)	
SE213	S54- A	－	1.4	50	縦板組	中世	板材(1163～1169)	
SE216	S54- A	－	0.8～1.05	30	素掘	中世		
SE218	S54- A	－	0.9～1.5	30	素掘	中世	木製品(1163～1169)	
SE222	S54- A	－	1.3	40	素掘	中世	土師器羽釜(465)、陶器常滑製品(464)	
SE301	S54- B	－	1.9～2.0	120	縦板組 横桟留	中世	漆器椀(1170)、木製品(1172～1175)	曲物３段
SE306	S54- B	－	1.4～1.8	100	素掘	中世		
SE310	S54- B		2.4	55	素掘	中世	陶器椀(466～472)	
SE311	S54- B	－	1.8～2.4	110	素掘	中世	陶器山茶椀(473・474)	
SE312	S54- B	－	1.9	130	素掘	中世	陶器山茶椀(480・481)・山皿(478・479)、土錘(482)	曲物３段
SE313	S54- B	－	1.4	130	素掘	中世	陶器山茶椀(475～477)	
SE401	S54- C	－		85	一木刳貫	中世	井戸枠(1176)	
SE1106	H17- E	Cy・Fa-4	3.0	110		古墳	須恵器杯身(55)・壺(56)、土師器甕(57)、木製品(1153～1162)	
SE1505	H18- 南	－	1.3	－	－	中世	土師器鍋(97)	

遺構番号	地 区	小地区	長 軸(m)	短 軸(m)	深さ(cm)	時 期	出 土遺 物	備 考
SK102	S54- 幹	－	0.7	0.5	20	中世		
SK104	S54- 幹	－	1.4	1.2	15	中世		
SK203	S54- A	－	1.2	0.9	15～30	中世	土師器皿(265)	
SK208	S54- A	－	3	2	15～20	弥生	弥生土器壺(169～172)・甕(173～179)・底部(180～183)	
SK210	S54- A	－	1.8	1.3	40	中世		
SK212	S54- A	－	2	1.8	30	中世		
SK215	S54- A	－	0.8	0.8	45	中世	五輪塔・炭化物	
SK219	S54- A	－	1.8	1.3	50	中世		
SK303	S54- B	－	2.0以上	1.0以上	30	中世	灰釉陶器(483・484)、陶器山茶椀(485・486)、土師器鍋(487)	
SK404	S54- C	－	1.0	－	30	古墳		
SK1005	S54- C	Jh-1	2.2	－	90	平安	灰釉陶器(52)、山皿(53)、白磁椀(54)	
SK1507	H18- 南	－	1.3	0.8以上	－	弥生～古墳	土師器壺(88)・高杯(89)	
SK1508	H18- 南	－	0.55	－	20	中世	土師器鍋(98)	
SK1509	H18- 南	－	0.85	－	35	中世	陶器山茶椀(120～122)・鉢(123)	
SK1510	H18- 南	－	2.4	1.3以上	－	中世	土師器皿(124)・鍋(125)・陶器山茶椀(126～133)・鉢(134)・甕(135)、土製品(136)	
SK1517	H18- 南	－	1.1	0.8以上	－	中世	土師器壺(140)	
SK1519	H18- 南	－				中世	土師器皿(137)・杯(138)	
SK1520	H18- 南	－	2.2	0.8以上	－	中世	陶器山茶椀(143)	
SK1525	H18- 南	－	0.6以上	0.6	－	中世	陶器山茶椀(139)	
SK1532	H18- 南	－	1.2以上	0.6以上	－	中世	緑釉陶器椀(141・142)、陶器山茶椀(141)・鉢(142)	

遺構番号	地 区	小地区	長 軸(m)	短 軸(m)	深さ(cm)	時 期	出 土 遺 物	備 考
SX110	S54- 幹		－	－	－	中世		
SX114	S54- 幹		1.3	0.7	20	中世	炭化物・骨	

遺構番号	地 区	小地区	長 軸(m)	短 軸(m)	深さ(cm)	時 期	出 土 遺 物	備 考
SZ1501	H18- 北		－	3.0	10～20	中世	土師器鍋(146)、陶器山茶椀(145)	
SZ1526	H18- 北					弥生～古墳	土師器高杯(90)・脚部(91)	

遺構番号	地 区	小地区	上 幅(m)	下 幅(m)	高さ(cm)	時 期	出 土 遺 物	備 考
畦畔１	S17- A	Ap2～4	0.2～0.3	0.65～0.9	15～20	中世		
畦畔２	S17- B	As・t-2	0.6	1.1	10	中世		
畦畔３	S17- B	Av・w-2	0.3	0.65～0.75	20	中世		
畦畔４	S17- D	Ea-1～14	0.5	0.95	20～30	中世		
畦畔５	S17- C	Ed-1	0.4	0.75～0.9	25	中世		
畦畔６	S17- C	Eg-1	0.35	0.75	25	中世		
畦畔７	S17- C	Ej-1	0.4	0.6	10～25	中世		
畦畔８	S17- C	Eg～ j-1	0.6～0.8	1.2	10～25	中世		

第４表　遺構一覧③

Ⅳ　出土遺物

1　平成17年度(第４次)調査出土遺物

調査区が細長く、かつ検出された遺構の延長が短いため、出土した遺物量は全体的に少ない。H17－C・E地区を中心に、弥生時代後期以降の遺物が出土した。

A　遺構出土の遺物

弥生時代後期から古墳時代前期の遺物

ＳＤ1101出土遺物(１～23･1177･1178)　甕(１～７･13～16)、壺(８～11･17)、鉢(12･18)、高杯(19～22)、土製品(23)、木製品(1177･1178)がある。

甕はすべて受口状口縁である。口縁部の形態には、直立し上端部に明瞭な面をもつ(１・７)、はねあげ口縁的な(２)、内彎する(３～５)、内側に強く屈曲する(６)がある。脚台部(13～16)は厚みがあり、「ハ」字状に開く。端部は折り返さない。壺は、口縁部が内彎する(８)、外反する(９)、直線的な(10)、頸部が外反気味にのび口縁部を直立させる(11)がある。８･11は、外面に刺突文が施される。鉢(12)は受口状口縁である。体部外面には煤が付着する。高杯は、すべて有稜高杯である。杯部は下半が内彎し、上半部は外反してのびる。口縁端部は外側に面をもつ。脚部は長脚で、裾部に向かって外反する(21)と内彎する(22)がある。いずれも櫛描直線文を３段巡らし、最下段に透孔を３方向に開ける。

木製品(1177･1178)は、鍬もしくは鋤と考えられる。遺存状態が悪いが、製作途中の未製品であろう。

ＳＤ1108出土遺物(27･28)　Ｓ字状口縁台付甕が２点ある。27の口縁部は短く頸部内面にハケメが施されるのに対して、28の口縁部は長くのびる。

ＳＤ1202出土遺物(29～36･40･41)　甕(29～31･34)・壺(32･33)・底部(35･36)、石製品(40)、土玉(41)がある。

Ｓ字状口縁台付甕(29)の口縁部は外側に広がる。受口状口縁甕(30･31)は頸部に横線文、口縁部に刺突文を施す。広口壺(32)はまっすぐに立ち上がった頸部が屈曲して広がる。口縁端部を拡張し、頸部と体部の境に突帯を巡らせる。短頸壺(33)の口縁部は肥厚し、外反する。34は甕、35は鉢、36は壺の底部である。

古墳時代後期の遺物

ＳＤ1107出土遺物(24～26)　土師器甕(26)、須恵器杯身(24)・高杯(25)がある。

土師器甕(26)の口縁部は外反気味に開き、端部を丸く収める。須恵器杯身(24)は口縁端部が直立する。高杯(25)は脚裾部に突帯が巡る。

ＳＥ1106出土遺物(55～57･1153～1162)　土師器甕(57)、須恵器杯身(55)・壺(56)、木製品(1153～1162)がある。

台付甕(57)は、体部下半はケズリ状のナデを施した後、ハケメを施す。口縁部は直立に近く、端部は外方に折り曲げられ、上端に面をもつ。脚台部は「ハ」字状に大きく開き、端部の折り返しはない。須恵器杯身(55)は、高い立ち上がりをもち、口縁端部に段をもつ。直口壺(56)は、扁平な体部から口縁部がやや外反気味に立ち上がる。

木製品(1153～1162)は、井戸枠に転用された建築部材や板材である。1153～1157は、井戸枠の北辺に横方向に使用されたものである。1153は、軸が残っていることから本来は扉材だったと考えられる。1154は、長辺端部の片側が弧状に切り取られる。1155は、長辺の片側端部のみ凸状に加工する。1156は、スギ材である。長辺端部の片側に凹状の加工が見られる。1157は方形の穿孔が斜めにあけられ、線刻が施される。1158～1160は、井戸枠の南辺で横方向に使用された。1158は、ヒノキ科アスナロ属の角材である。長辺の両端が半分程度の厚さに加工される。1159は穿孔された箇所を別材の栓で充填し、両短辺は斜めに加工される。1160は軸が残っており、扉材の転用であると考えられる。軸と反対側の長辺が本来の３分の２程度の厚さに加工される。1161･1162は厚さ3.0～5.5㎝、幅約70㎝、長さ１m以上のスギ材の一枚板で、扉板であったと考えられる。井戸枠の東西辺で縦方向に使用されていたもので、1161は、軸が残る。1162は、短

辺端部に軸を切り取った痕跡が認められ、同じ側の長辺に凹形の加工がなされる。

飛鳥・奈良時代の遺物

ＳＤ1202出土遺物（37～39）　土師器杯（37・38）、須恵器杯身(39)がある。

37は、底部をユビオサエ、口縁部はヨコナデする。38は、高台がつく。

須恵器杯身(39)は、ほぼ平坦な高台がつく。

平安時代の遺物

ＳＫ1005出土遺物(52)　灰釉陶器椀(52)がある。52は、口縁端部が外反する。

鎌倉時代の遺物

ＳＤ1006出土遺物（42～50）　土師器鍋（42)と陶器山茶椀①(43～50)がある。

42は、南伊勢系土師器鍋である。山茶椀（43～50)は、藤澤編年の第５型式から第７型式に相当すると考えられる。49・50の底部外面には墨書が施される。判読できないものの、同一の記号もしくは文字と考えられる。

ＳＤ1204出土遺物（51）　陶器山茶椀（51)である。口縁部が直線的にのび、端部外側に面をもつ。高台は伴わない。藤澤編年の８型式に相当する。

ＳＤ1205出土遺物(58)　陶器山茶椀(58)は高台を欠損する。底部外面に「石」と墨書される。藤澤編年の７型式に相当する。

ＳＫ1005出土遺物（53・54）　陶器山皿（53)の体部下方は丸みを帯びる。白磁椀（54)は玉縁状口縁で、太宰府分類のⅣ類に相当する。

Ｂ　包含層出土の遺物

縄文時代の遺物（80）　80は、サヌカイト製の削器である。

古墳時代の遺物（59～61）　土師器壺（60・61)・高杯(59)がある。

60は口縁端部を拡張し、外面に竹管文を施す。頸部には刺突文が見られる。底部（61)は、穿孔が施される。高杯（59)の口縁部は外反し、端部をわずかに拡張させる。

飛鳥・奈良時代の遺物(62)　須恵器杯蓋(62)が１点ある。

鎌倉時代の遺物(63～79)　陶器山茶椀(69～78)・小椀(68)・山皿(63～67・79)がある。

藤澤編年の４型式から７型式のものと考えられる。78・79は、底部外面に墨書される。78は「ちた」、79は花押であろう。

２　平成18年度（第５次）調査出土遺物

部分的に検出された各遺構から、少量ながら中世を中心とした遺物が出土した。

Ａ　遺構出土の遺物

弥生時代後期から古墳時代前半の遺物

ＳＤ1506出土遺物（94・95）　94・95は、壺もしくは甕の底部である。

ＳＤ1513出土遺物(81)　81は、脚部もしくは蓋と考えられる。透孔が１箇所あけられる。

ＳＤ1516出土遺物（83～85）　Ｓ字状口縁台付甕(83)・高杯(84)・壺(85)がある。壺底部(85)は、穿孔が施される。

ＳＤ1518出土遺物（86・87）　受口状口縁甕（86)は口縁部に羽状の刺突文が施される。87は、く字状口縁甕である。

ＳＤ1524出土遺物（82）　Ｓ字状口縁台付甕の脚台部(82)がある。

ＳＫ1507出土遺物（88・89）　88は、突帯の巡る壺の頸部である。89の高杯は、脚部に櫛描直線文が施される。

ＳＫ1517出土遺物（140）　140は、穿孔の施された壺の底部である。

ＳＺ1526出土遺物（90・91）　高杯の杯部（90)と脚部(91)の一部がある。

鎌倉時代から室町時代の遺物

ＳＤ1502出土遺物（101～106）　土師器皿（101)、陶器山茶椀(104)・山皿(102)・小椀(103)、鉢(105)、土製品(106)がある。

102は、広い底部に対し器高は低い。103は、高台に籾殻痕が認められる。104は、内面に見られる底部と体部との境の凹みが明瞭である。土錘（106)は、断面長方形の大型品である。

ＳＤ1504出土遺物(92)　土師器皿(92)は、平らな底部から口縁部が緩やかに広がる。

ＳＤ1505出土遺物(97)　南伊勢系土師器鍋(97)がある。口縁端部をほぼ水平に、内側へ折り曲げる。

ＳＤ1506出土遺物（93・96）　陶器山茶椀（93)は、

高台に籾殻痕が残る。96は、常滑製品の甕である。

ＳＤ1511出土遺物（99･100）　陶器山茶椀（100）・山皿(99)がある。いずれも体部は直線的である。

ＳＤ1512出土遺物(107･108)　陶器山茶椀(107)、常滑製品(108)がある。

107の体部は直線的にのび、口縁端部は尖る。108は、鉢である。

ＳＤ1513出土遺物(109･110)　陶器山茶椀(109)・鉢（110)がある。109は、低い高台を持つ。110の体部は大きく開き、口縁端部は下方に拡張される。

ＳＤ1514出土遺物（112･113）　土師器皿（112)、陶器山茶椀（113)がある。113は、底部外面に地蔵菩薩を意味する梵字の「ह」が墨書される。

ＳＤ1515出土遺物（111）　断面形が弧状になる土師器皿(111)が１点ある。

ＳＤ1523出土遺物（115～119･1179）　土師器皿(115)、陶器山茶椀(116･117)･鉢(118)、甕(119)、木製品(1179)がある。

115は、平坦な底部から低い口縁部が内彎気味にのびる。山茶椀(116･117)のうち、117は高台が欠損する。118の体部は緩やかにひろがり、口縁端部がわずかに外反する。119は、強いヨコナデにより口縁端部外側に面をもつ。木製品（1179)は、菱形の両端を切り落とした形態で、中央に円孔が開けられる。用途は不明である。

ＳＤ1528出土遺物（114）　114は、陶器山茶椀の底部片である。

ＳＫ1508出土遺物(98)　南伊勢系土師器鍋(98)である。

ＳＫ1509出土遺物（120～123）　山茶椀（120～122)、鉢(123)がある。山茶椀(120～122)の底部は狭く、体部は直線的にのびる。鉢(123)は、口縁端部を丸くおさめる。

ＳＫ1510出土遺物(124～136)　土師器皿(124)・鍋(125)、陶器山茶椀(126～133)・鉢(134)、常滑製品(135)、土製品(136)等がある。

124の口縁部は厚みがあり、ヨコナデを施す。125は、南伊勢系鍋である。127･128は底部と体部との境が明瞭に凹み、129はやや角張る。134の鉢は口縁端部が肥厚し、外側に面をもつ。135は、底部のみ残る。土錘(136)は「×」のへら描きが施される。

ＳＫ1519出土遺物(137･138)　土師器皿(137)・杯(138)がある。137は、口縁部が肥厚し､138は、丸みを帯びる。

ＳＫ1520出土遺物（143）　陶器山茶椀（143)が１点ある。

ＳＫ1525出土遺物(139)　陶器山茶椀(139)がある。

ＳＫ1532出土遺物(141･142)　陶器山茶椀(141)・鉢(142)がある。片口鉢(142)は、口径が小さい。

ＳＺ1501出土遺物（144･145）　145は陶器山茶椀の底部､144は南伊勢系土師器鍋である。

Ｂ　包含層出土遺物

古墳時代の遺物(146～153)　土師器(146～152)、須恵器(153)がある。

高杯(146)は脚柱部に、直線文を２段施す。148･149は高杯の脚部であろうか。高杯（149)は底部に焼成後、穿孔が施される。150はＳ字状口縁台付甕である。須恵器は、杯蓋(153)がある。

鎌倉時代から室町時代の遺物（154～168）　陶器類(154～165)、円形加工品(166)、土製品(167)、石製品(168)がある。

154･155は小椀､156･157は山茶椀である。154･157の体部は直線的であり､155･156は丸みを帯びる。高台には籾殻痕が残る。158･159は､鉢である。他に、折縁鉢(160)、鉢(161)、折縁小皿(163)、椀(165)、白磁口禿皿（162)がある。166は、陶器椀の底部を円形に加工した加工円盤である。167は土錘、168は砥石である。

３　昭和54年度(第１・２次)調査出土遺物

詳細な出土状況は不明ながら、主に溝や井戸から大量の遺物が出土した。地区別にみるとＳ54－Ｃ地区からの出土量が圧倒的に多く、全体の約３分の２を占める。

Ａ　遺構出土の遺物

弥生時代前期の遺物②

ＳＫ208出土遺物（169～183）　壺（169～172)、甕(173～179)、底部(180～183)がある。

169は口縁部を大きく外反させ、頸部に４条の沈線を巡らせる。170は太い頸部に１条の突帯を貼付け、その下部に沈線を巡らせる。大きく開いた口縁

部の外端部にはキザミを施す。171は、頸部に貼付突帯と沈線を巡らせる。172は体部最大径の上位に２条の突帯を沈線を施した後に貼付ける。甕のうち(176･178･179)は口縁部が大きく開き、端部が肥厚する。183は、底部に穿孔が施される。

古墳時代の遺物

ＳＤ302出土遺物(184～221) 土師器杯(184)・鉢(185～187)・高杯(188～198)・甑(199)・甕(200～202)、須恵器杯蓋(205)・杯身(206～218)・高杯(219)・壺(220)・甕(221)、土錘(203･204)がある。

杯(184)は、全体に器壁が厚く、口縁端部をヨコナデする。鉢は、口縁端部内側に面をもつ(185)、口縁端部が外反する(186)、口縁部が外に開く(187)がある。高杯は、杯部が椀状になる(188～190)、口縁部が外反しながら広がり、端部をつまみ上げる(191)がある。脚部(192～198)は、縦方向のナデを施した脚柱部から屈折部をもって裾部が広がる。192は脚柱部が明瞭に膨らむ。甑(199)は、体部外面にタタキ、下部にケズリを施す。把手の端部は切り落としたかのように平らである。体部は直線的で、把手の下位で急激に窄まり、底部に１＋４の孔を開ける。200は、宇田型台付甕である。202は丸底の小型甕である。体部外面下半にケズリを施す。

須恵器杯蓋(205)は口径12㎝、器高はやや低く、口縁端部内面に段をもつ。杯身(206～218)は、立ち上がりが高く、口縁端部内面に段をもつ(206～211)と面をなす(212～217)がある。208･218は口径に対して器高が低く、底部の丸みが弱い。219は、無蓋高杯である。杯部に１条の突帯とその下位に波状文を施す。220は短頸壺。甕(221)は、口縁部に１条の突帯が巡り、大きく広がる。

土錘(203･204)は、大型で孔の大きい(203)と細長い(204)とがある。

ＳＤ305出土遺物(346) 須恵器杯身(346)があるが混入品である。体部は扁平で立ち上がりは短く内傾する。

ＳＤ405出土遺物(222～250) 壺(222～227)、甕(228～232･235)、高杯(236)、底部(233･234)、須恵器杯蓋(237～242)・杯身(243～248)・甕(249)、土玉(250)がある。

壺(222～227)は、225以外、口縁端部を拡張・垂下させて面をつくり、擬凹線を巡らせるものも見られる(222･226･227)。224･226は頸部に突帯が巡る。甕(228)は、受口状口縁甕である。頸部に櫛描横線、口縁端部外面に刺突文を施す。235は口縁端部をつまみ上げており、時期の下るものである。脚台部は、内彎する(229)、下端に面をもつ(230)、器壁の薄い(231)、大型の(232)がある。高杯(238)は、櫛描直線文を施し、その下位に円孔を開けた脚柱部から、裾部が内彎気味に開く。233･234は壺もしくは甕の底部である。

須恵器杯蓋(237～242)は、口径に対して器高が低く、天井部の丸みが弱い(237～239)、丸みをもった天井部に摘みの付く(240)、小型で天井部と口縁部との境に稜などがない(241)、天井部に摘みをもち、口縁部内面にかえりのつく(242)がある。杯身(243～248)は、概ね杯蓋に対応するものである。243～246は、立ち上がり端部内面に段をもつ。甕(249)は大きく広げた口縁端部外端に面をもつ。

平安時代の遺物

ＳＤ305出土遺物(347～349) 灰釉陶器(347～349)がある。底部のみ残り、折戸53号窯式から東山72号窯式に相当する。

ＳＤ307出土遺物(358～366･403) 灰釉陶器(358～366)、ロクロ土師器(403)がある。

灰釉陶器は、椀・皿がある。黒笹90号窯式から東山72号窯式に相当する。403は、底部から内彎気味に口縁部がのびる。

ＳＫ303出土遺物(483･484) 粗雑な三日月高台のつく、灰釉陶器皿(483)・椀(484)がある。

鎌倉時代から室町時代の遺物

ＳＤ202出土遺物(251～264) 陶器山茶椀(251～257)・山皿(258･259)・鉢(263)、古瀬戸製品(260～262)、土師器羽釜(264)がある。

山茶椀(251～257)は藤澤編年の第５・６型式に相当する。257は、底部に「久寸(＝くす)」の墨書が施される。地名を示すものであろうか。山皿(258･259)は口縁端部が肥厚する。古瀬戸製品は、縁釉小皿(260)、天目茶椀(261)、折縁深皿(262)である。

羽釜(264)は南伊勢系で、口縁部を内彎させる。

ＳＤ209出土遺物(279～330) 陶器山茶椀(279～292)・小椀(293)・鉢(294･295)・壺(296)、常

滑製品(297～299)、青磁椀(300)、白磁椀(301)、土師器皿(302･303)･鍋(304～307･329)･羽釜(308～328)･茶釜(330)がある。

山茶椀(279～292)は、藤澤編年の第３型式から第６型式に相当する。281･286･288は、渥美型である。常滑製品は、壺(297)・甕(298)・鉢(299)がある。中野編年の７・８型式に相当する。青磁椀(300)は龍泉窯系、白磁椀(301)は玉縁状口縁である。

土師器皿は２点ある。302は歪みが大きく、全体に扁平である。303は断面弧状になる。304～307は、南伊勢系鍋である。羽釜のうち(327･328)は南伊勢系である。329は、甕か鍋の口縁部であろう。外面に煤が付着する。茶釜(330)は耳をもたない。直立する口縁部付け根付近に円孔が開けられる。

ＳＤ217出土遺物(266～270)　陶器山茶椀(266･267)･鉢(268)･壺(269)、土師器羽釜(270)がある。

山茶椀は、藤澤編年の第７型式に相当する。鉢(268)は常滑製品で、中野編年の８ないし９形式に相当する。269は体部外面にタタキを施し、最大径上位に沈線が１条巡る。土師器羽釜(270)は、口縁部に２個１対の円孔が開けられる。

ＳＤ220出土遺物(345)　土師器羽釜(345)が１点ある。口縁部は内傾し、上端部に面を持つ。

ＳＤ221出土遺物(271～278)　陶器山茶椀(272～278)･山皿(271)がある。275は、渥美型である。

ＳＤ223出土遺物(331～344)　陶器山茶椀(331～335)･鉢(337･338)、常滑製品(336)、土師器皿(339～341)、羽釜(342～344)がある。

山茶椀は、藤澤編年の第３型式から第８型式に相当する。336の口縁縁帯は頸部に付着する。鉢(337･338)は、藤澤編年の第５型式に相当する。

土師器皿は、口縁端部付近が肥厚する(339)、底部から斜め上方にのびる(340)、断面形が弧状になる(341)がある。羽釜(342～344)は中北勢系で、口縁部は外反気味である。

ＳＤ305出土遺物(350～357)　陶器山茶椀(352～355)･山皿(350･351)、土師器甕(356)、土錘(357)がある。

山茶椀(352～355)は、藤澤編年の第３型式から第７型式に相当する。355は、底部に墨書が施されるが、判読不明である。

土師器甕(356)は口縁端部をつまみ上げる。土錘(357)は細長い。

ＳＤ307出土遺物(367～402･404～406)　陶器山茶椀(384～402)・小椀(367～373)・山皿(374～383)、土師器鍋(404･405)、土錘(406)がある。

山茶椀(384～402)は、藤澤編年の第３型式から第６型式に相当する。402は底部外面に「十」に似た墨書が施される。小椀(367～373)のうち、口縁端部が外反する371は、渥美型である。

土師器鍋(404･405)は、南伊勢系である。土錘(406)は、管状の小型品である。

ＳＤ308出土遺物(407～441)　陶器山茶椀(407～429)・山皿(430～434)・壺(435)・鉢(436)、土師器皿(437～439)･鍋(440･441)がある。

山茶椀(407～429)は、藤澤編年の第５型式から第７型式に相当する。410は、渥美型である。小皿は、端部を丸く収める433以外は、外端に面をもつ。434は底部に「をと」あるいは「なこ」と墨書が施される。「なこ」であれば地名(＝長太)を示すものであろうか。片口鉢(436)は口縁端部が肥厚し、外端に面をもつ。藤澤編年の第６型式に相当する。土師器小皿(437)は、断面形が弧状になる。皿(438･439)は、平らな底部から口縁部が斜め上方にのびる。439は口縁端部のヨコナデが顕著である。440･441は南伊勢系鍋である。

ＳＤ309出土遺物(442～448)　陶器山茶椀(443～448)･山皿(442)がある。

山皿は藤澤編年の第６型式に、山茶椀は第４・５型式に相当する。448は口縁部が直線的に開き、底部に墨書が施される。

ＳＥ207出土遺物(449～460)　陶器山茶椀(449～459)･山皿(460)がある。

456は輪花椀である。460は底部に「久寸(＝くす)」の墨書が施される。地名を示すものであろうか。藤澤編年の第４・５型式に相当する。

ＳＥ211出土遺物(461～463)　陶器山茶椀(462･463)・小椀(461)がある。463は、本来付いていた高台が剥離している。

ＳＥ213出土遺物(1163～1169)　1163～1169は、井戸枠に用いられた板材である。上端は腐食のため本来の長さは不明である。

ＳＥ222出土遺物(464･465)　常滑製品甕(464)と土師器羽釜(465)がある。

ＳＥ301出土遺物(1170･1172～1175)　曲物(1172～1175)と漆器椀(1170)が出土した。

1172は、本来１個体だったものである。帯の端部はキメカキが施され、小綴じも使われる。1173は帯２段で、端部上下縁をキメカキする。綴じは上段が右前、下段が左前である。側板と帯の綴じの箇所にヘギ板を挟む。釘穴は７箇所施され、そのうち４箇所に木釘が残る。1174は、端部にキメカキを施した帯を３段巡らす。側板と帯の綴じの箇所にはヘギ板を挟む。釘穴は７箇所認められるが、側板のみに施されていることから帯がずれたか、補強のため後になって帯を巡らせたと考えられる。1175は、帯３段で上位２段には小綴じも使われる。内面のケビキは、垂直方向以外に斜め方向にも施される。釘穴は、径1.2㎝の大きめの釘穴が10箇所開けられる。釘穴は７箇所施され､すべてに木釘が残る。1170は、井戸内から出土した漆器椀である。

ＳＥ310出土遺物（466～472）　陶器山茶椀（466～472)がある。

藤澤編年第５･６型式に相当する。470～472は底部に「☙」の墨書が施される。

ＳＥ311出土遺物（473･474）　陶器山茶椀（473･474)がある。473は、渥美型である。

ＳＥ312出土遺物（478～482）　陶器山茶椀（480･481）･山皿(478･479)、土錘(482)がある。

山茶椀は、藤澤編年の第５型式に相当する。土錘(482)は、管状の小型品である。

ＳＥ313出土遺物（475～477）　陶器山茶椀（475～477)がある。藤澤編年の第５･６型式に相当する。476は、渥美型である。

ＳＥ401出土遺物（1176）　井戸枠に使用された一木の刳抜き材(1176)がある。樹種は不明である。

ＳＫ203出土遺物(265)　土師器皿(265)が１点ある。平らな底部から、口縁部が斜め上方にのびる。

ＳＫ303出土遺物（485～487）　陶器山茶椀（485･486)、土師器鍋(487)がある。

山茶椀（485･486)は，藤澤編年の第５型式に相当する。486の体部は、直線的にのびる。487は、清郷型鍋である。

Ｂ 包含層出土の遺物

弥生時代前期の遺物(488～501)　壺(488～494)、甕(495～501)がある。

488は、頸部に２条の沈線を巡らせ、体部には段がみられる。口縁部は短く外反する。489は頸部に２条、体部に３条の削出突帯を巡らせる。490は頸部と体部に、491は体部に沈線を巡らせる。492は頸部に２条の貼付突帯を巡らせ、上段は右上がり、下段は左上がりのキザミを施す。493は体部上面に赤色顔料を塗布する。494は焼成後、底部に穿孔が施される。甕のうち、495～497は口縁部が大きく開き、端部が肥厚する。501は大型で、口縁部はく字状に開く。

弥生時代中期の遺物(502) 壺(502)の体部は、縦方向にハケ調整した後、櫛描直線文を施す。

弥生時代後期から古墳時代前期の遺物(503～566)

土師器壺（503～531）･甕（536～546）･鉢(532～535)･高杯(547～558)･器台(559～561)･ミニチュア土器(562～566)がある。

壺は、広口壺（503～513･518～522)、二重口縁壺（514･515)、直口壺（516･517)、小型壺（525～531)がある。広口壺は、口縁端部を垂下･拡張させ､口縁外端面や口縁部内面に可飾するものが多い。513は、拡張面に擬凹線を施す。二重口縁壺は、口縁部が短く広がる(514)と、大きく広がる(515)がある。519は、体部に羽状文→直線文→刺突文の順に文様を施す。直口壺は、窄まった頸部から口縁部がやや外反気味にのびる。516は口縁部外端に面を持つ。小型壺は530以外､口縁部が内彎してのびる。鉢は、口縁の形態によって、受口状(532･533)、外に広げた後、再び内傾させる(534)、端部を外方に大きく広げる(535)がある。

甕は、受口状口縁甕（536～540)とＳ字状口縁台付甕（541～543)がある。受口状口縁甕の口縁部の形態は、バラエティーに富み、端部外面に刺突文を施すものが多い。脚台部には、器壁が厚く端部に面を持つ(544･545)と薄い(546)がある｡高杯の杯部は、内彎気味の底部から口縁部が外反する(547)と内彎し、口縁内端部に面を持つ(548･549)がある。脚部は、裾部が広がる(550)は櫛描横線文を６段巡らせ、

その間に列点文を施す。551･552は内彎脚である。553～556は、脚柱部に櫛描直線文や列点文を施し、裾部は内彎する。557･558は、直線的に広がる。器台は、小型品である。559は、口縁部が外反する。561は、深い椀状の受け部を持つ。ミニチュア土器には、壺(562～564)、台付甕(565･566)がある。

古墳時代後期の遺物(567～596)

土師器甕(567～573)・鉢(574･575)・高杯(576～582)、須恵器杯蓋(583～586)・杯身(587～595)・壺(596)がある。

567～572は、宇田型台付甕である。脚台部(573)は大きく広がる。鉢は丸底で、口縁内端に面をもつ(574)と平底で口縁端部をヨコナデする(575)がある。高杯(577)は、口縁部が外反して広がり、端部をつまみ上げる。脚柱部(578～582)は屈折脚で、内面にはシボリ痕跡が残る。578は、屈折が弱い。

須恵器杯蓋(583～586)は、口径に対して器高が高く、天井部に丸みを持つ(583)と天井部が平坦になる(584～586)がある。杯身は、口縁端部に段を持つものが多い。587～590は、底部の大部分を回転ヘラケズリするのに対して、591～595は1/2～1/3程度である。壺(596)は、頸部に受け部を持ち、有蓋であった可能性も考えられる。外面に平行タタキ、内面には無文タタキを施す。鈴鹿市石薬師東48号墳や松阪市小谷11号墳等から類似した形態の壺が出土している。[3]

飛鳥･奈良時代の遺物(597～632)

土師器杯(597･598)・皿(599)・甕(600～603)、須恵器杯蓋(604～613)・杯身(614～620)・高杯(621～624)・瑞(625～627)・壺(628･629)・甕(630･631)・横瓶(632)がある。

土師器杯(597･598)は、外面をミガキ、内面に暗文を施す(597)と、体部をユビオサエ、口縁部をヨコナデする(598)がある。皿(599)は、底部をユビオサエし、口縁部にヨコナデを施す。甕(600～603)は口縁端部をつまみ上げる。

須恵器杯蓋(604～613)は、天井部と口縁部との境にわずかな稜が残る(604)、境が消失した(605～610)、口径が小さく、口縁部内面にかえりのつく(611)、口縁端部を折り返す(612･613)がある。610は歪みが著しい。杯身(614～620)は、蓋に対応したものがある。614～618は、短く内径する立ち上がりをもつ。620は腰が張り、高台は外端で接地する。高杯(621～624)の脚部は裾部外端に面をもつ。621は杯部下位にカキメを施す。622は有蓋高杯で、脚部に2方向の透孔が開けられる。瑞(625～627)の体部は2条の沈線で区画した中に刺突文を施す。壺(628)は、口縁端部を丸くおさめる。甕(630･631)は口縁端部を拡張させて面をつくる。630は、頸部に波状文が巡る。

平安時代の遺物(633～721)

土師器皿(633～643)・鍋(653～675)、ロクロ土師器皿(644～649)、黒色土器(650～652)、緑釉陶器(676～693)、灰釉陶器(694～721)がある。

土師器皿は、底部に丸みを残すもの(633･636)、器壁が薄く、平坦な底部から口縁部が開く(634･635･637～639)、器壁の厚い(640･641)がある。642･643は小皿である。653～657は口縁端部を内側に折り返す南伊勢系鍋、658～675は球胴・丸底の清郷型鍋である。ロクロ土師器小皿(644～646･648･649)は、口縁部が内彎気味に広がる。椀(647)は、口縁部が直線的に開く。黒色土器椀(650～652)は内面のみ黒色処理する。

緑釉陶器は、椀(676～683)・小椀(684･685)・皿(688～693)・耳皿(687)がある。このうち、677は輪花椀、680は稜椀、688は段皿である。676･677は三叉トチン痕が残る。灰釉陶器は、椀(694～706)・皿(707～720)・小壺(721)がある。714･718は段皿である。703～707･714は、底部に墨書や刻書が施される。705は「高」もしくは「富」、714は「寺」、704･707は「万保」、703は判読しがたいが、704と同様であろうか。706は「田」と刻書される。斎藤編年の黒笹90号窯式期から東山72号窯式期に相当する。

鎌倉時代から室町時代の遺物(722～914)

土師器皿(722～733)・鍋(734～739)・羽釜(740～754)、陶器山茶椀(815～886)・小椀(801～814)・山皿(755～800)・耳皿(887)・片口鉢(888･889･908)、古瀬戸製品(890～906)、常滑製品(907･909～914)がある。

土師器皿は、口縁端部が肥厚する(722～727･732)、底部から口縁部が斜め上方に立ち上がる(728

～731)、底部から口縁部が上方に立ち上がる(733)がある。734～739は、南伊勢系鍋である。羽釜は、(740～751)が中北勢系、(752～754)が南伊勢系と考えられる。

山茶椀・小椀・山皿は、藤沢編年の３型式から11型式までがあり、特に、11型式(886)は、三重県内では極めて希な出土例である。810は、玉縁状口縁である。産地では、尾張型が大半を占めるが渥美型（760･769･771･773･782)も一定量認められる。墨書が底部に施されたものもあり、866は「真済」、867は「久寸」､892は「里御内」と読めそうである。前者は人名であろうか。他に、記号の類(769･782･792･840･863･870･871)がある。耳皿(887)と片口鉢（888･889･908)は、それぞれ藤澤編年の３型式、10型式に相当する。

古瀬戸製品には、縁釉小皿（890～894)、卸目皿(895)､袴腰形香炉(896)､平椀(897～899)､洗(900)、天目茶椀（901･902)、仏具（904)、花瓶（905)、折縁深皿（906)がある。藤澤編年の古瀬戸前期から後期のものがあるが、全体的に見ると後期が多いようである。

その他の遺物

輸入陶磁器（915～924）青磁（915～920)は、龍泉窯系である。916は連弁文椀。917は内面に蓮花文を、皿(918･919)は櫛目文が施される。白磁(921～924)は、肉厚な玉縁状口縁椀である。高台は浅い削り出しで、太宰府編年のⅣ類に相当すると考えられる。

瓦（925～933）平瓦（925～928)と丸瓦（929～933)がある。内面に布目が、外面には縄目が見られる。

土製品(934～1126)　土錘(934～1124)、フイゴ羽口(1125)、多孔土製品(1126)がある。

土錘（934～1124)には、陶製（934)、形状が方形に近く、最大径に対して孔径の大きい(935～946)､最大径が中位付近にあって孔径の大きい(947～953)、最大径が中位付近にあって孔径の小さい(954～968)、細長い(969～1059)、小型の(1060～1084)がある。1066～1084は､一括で出土した。(1085～1124)は、いわゆる土玉である。[④] 土玉は大型の(1085～1087)、中型の(1088～1114)、小型の(1115～1124)がある。フイゴ羽口（1125)は先端部分が残る。多孔土製品（1126)は算盤玉状の形態をし、全体に孔が開けられる。上部に溝状の切れ込みがあり､紐状のものを通していた可能性がある。

石器･石製品(1127～1137) 各時代のものがあるが、石器･石製品として一括して記述する。

1127･1128は、石斧の剥離段階の未製品である。材質はハイアロクラスタイトで、形状から扁平片刃石斧であろうと考えられる。1132は扁平片刃石斧、1129･1130は磨製石斧の破損品であろう。1132は敲石である。1133は、砥石もしくは石庖丁であろうか。

1134は、滑石製紡錘車である。全体を丁寧に研磨している。1135･1136は砥石であろうか。1137は、温石と考えられる。中心に円孔が開けられる。

金属製品（1138～1152）　形状の判然としないものが多く、名称の特定困難なものが多い。1139･1140は火打金であろうか。1141･1142･1148は鉄釘。1143は鍋と考えられる。1144は薄板状製品、1145～1147はU字状製品とした。1149は、雁首である。他に、文久通宝(1150)･寛永通宝(1151)･一銭銅貨(1152)等の貨幣がある。

木製品（1171）1171は、棒状竹製品である。太い側の端部に五角形の孔が開けられる。

【註】

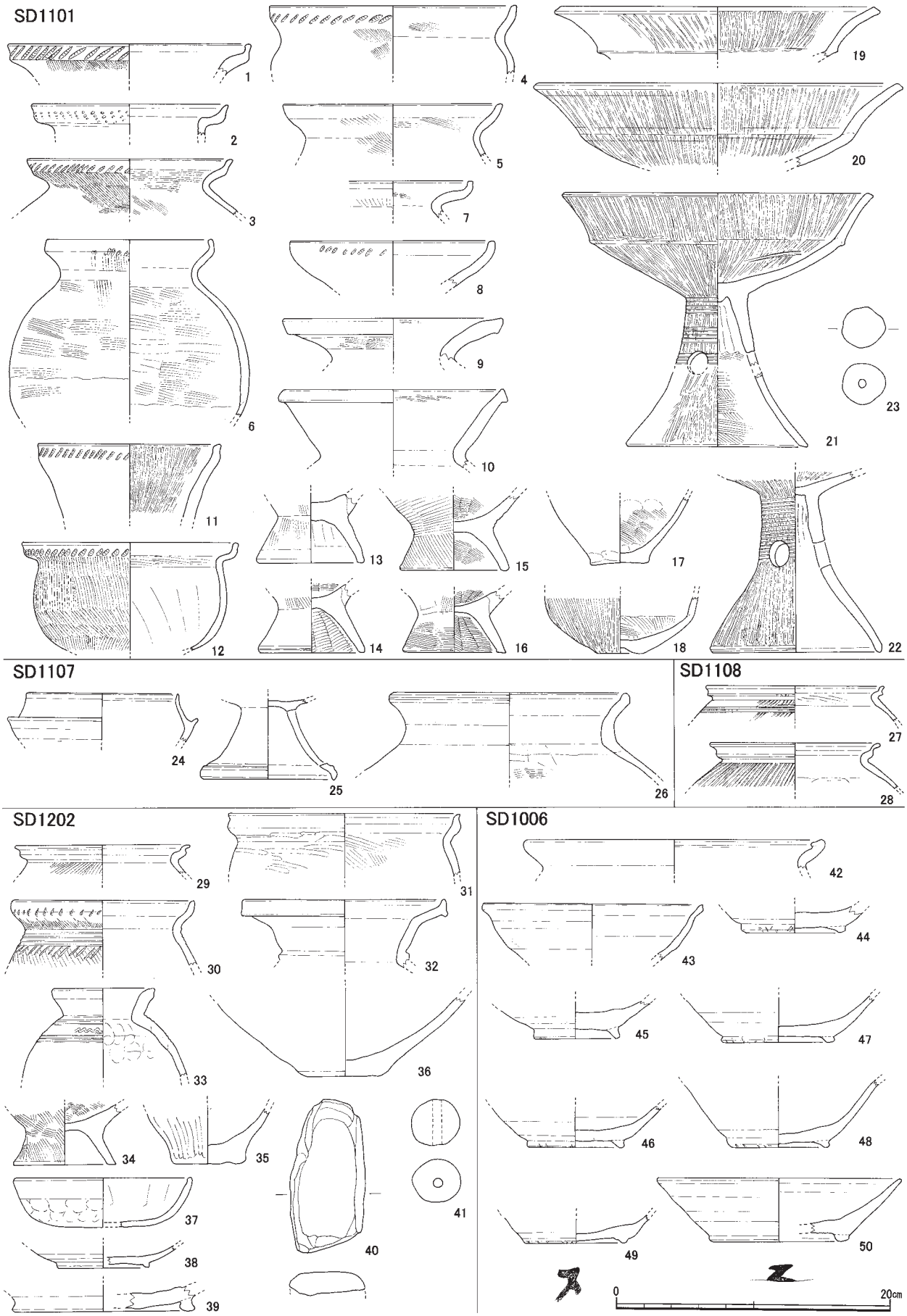
① 山茶椀および古瀬戸製品の一部については、藤澤良祐氏に実見の上、ご教示頂いた。産地については、特に記述のないものは尾張型である(土器類観察表参照)。

②弥生土器については、三重県埋蔵文化財センター上村安生氏からご教示頂いた。

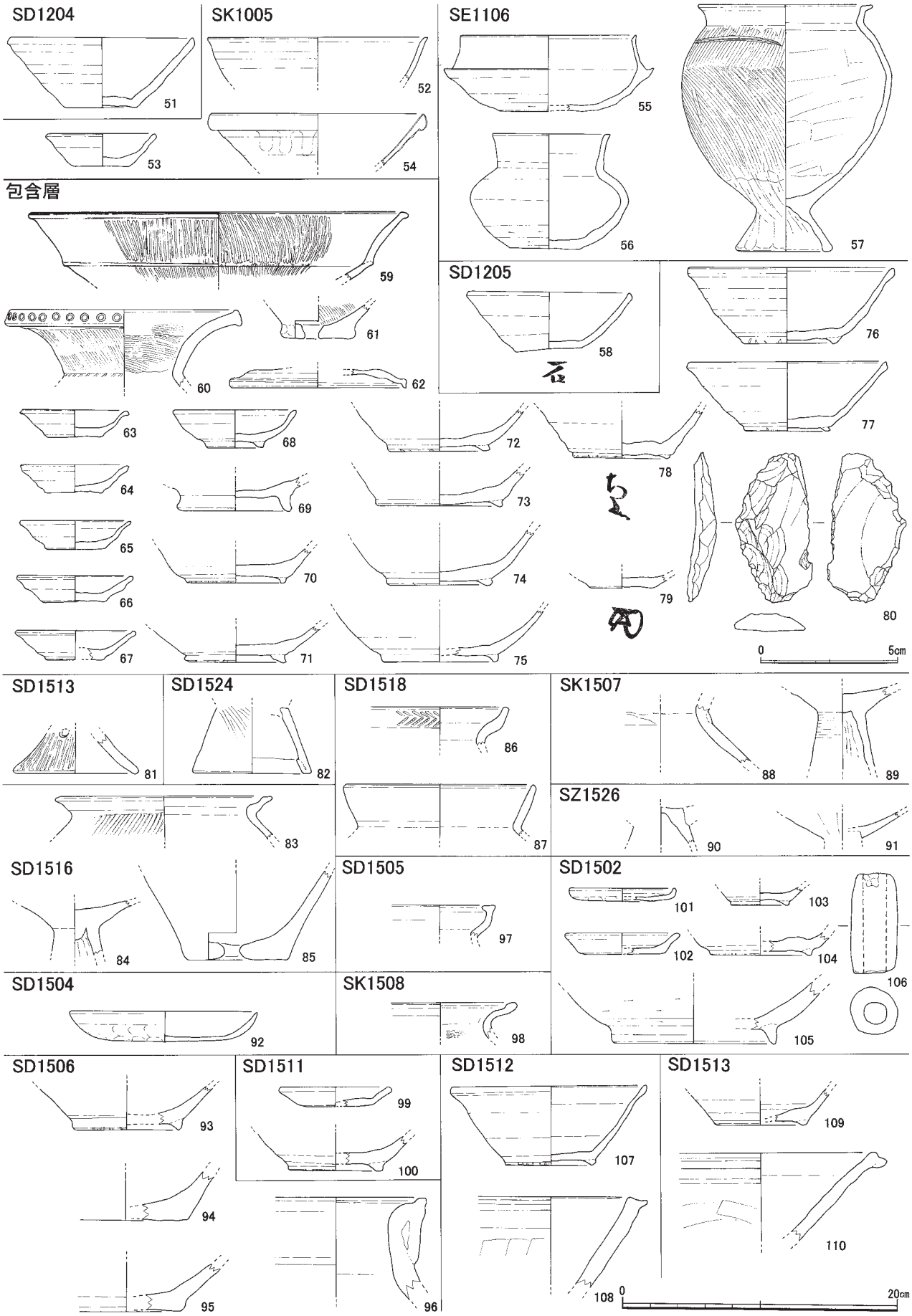
③ 三重県埋蔵文化財センター『石薬師東古墳群・石薬師東遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター 2000

同 『天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告Ⅵ　天花寺城跡・小谷赤坂遺跡･小谷古墳群(第６・７次調査)』

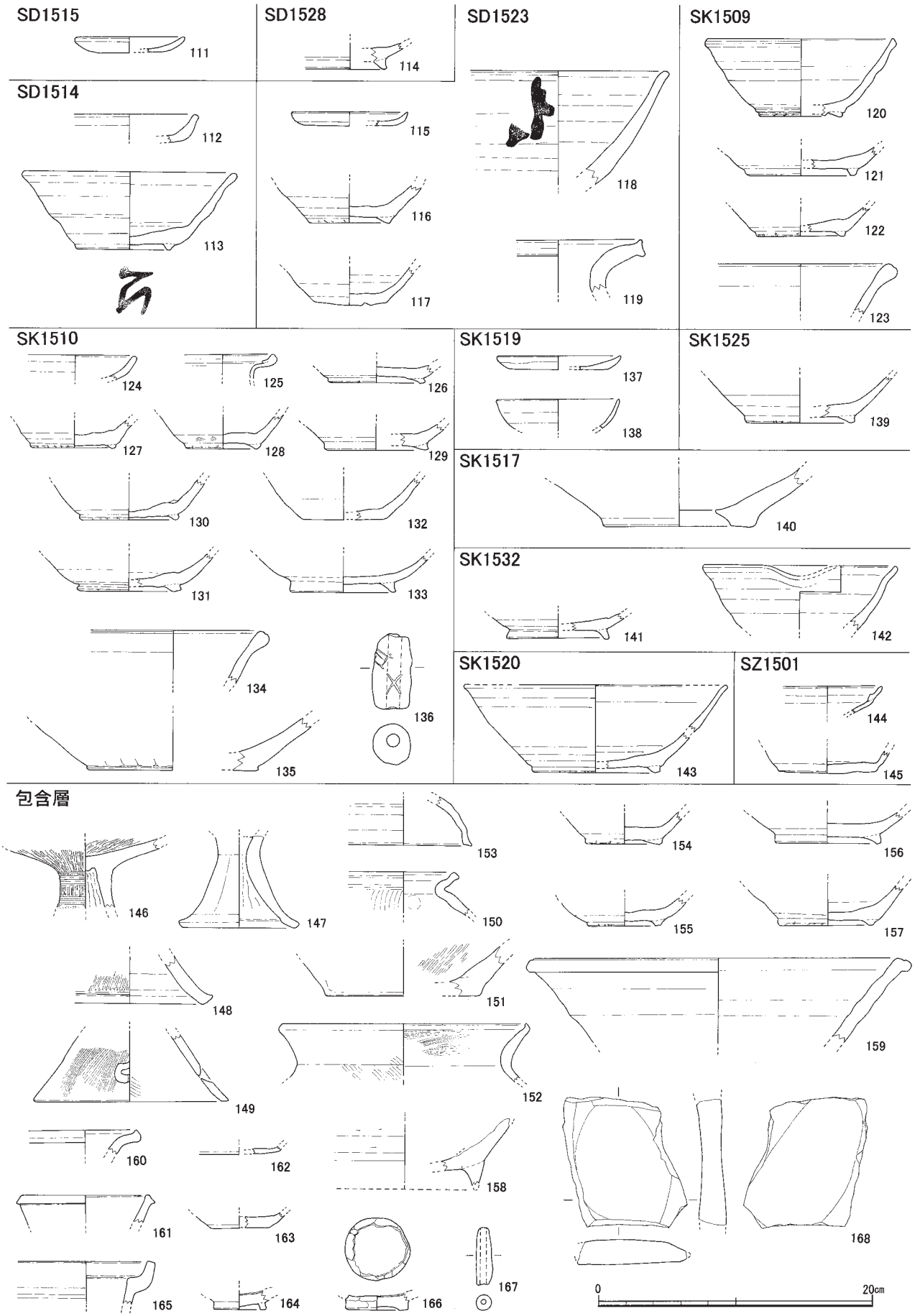
④ 紡錘車や祭祀具とする説もあるが、大木ノ輪遺跡出土の土玉については、そうした用途を想定する材料がないため、土錘の一形態とする。



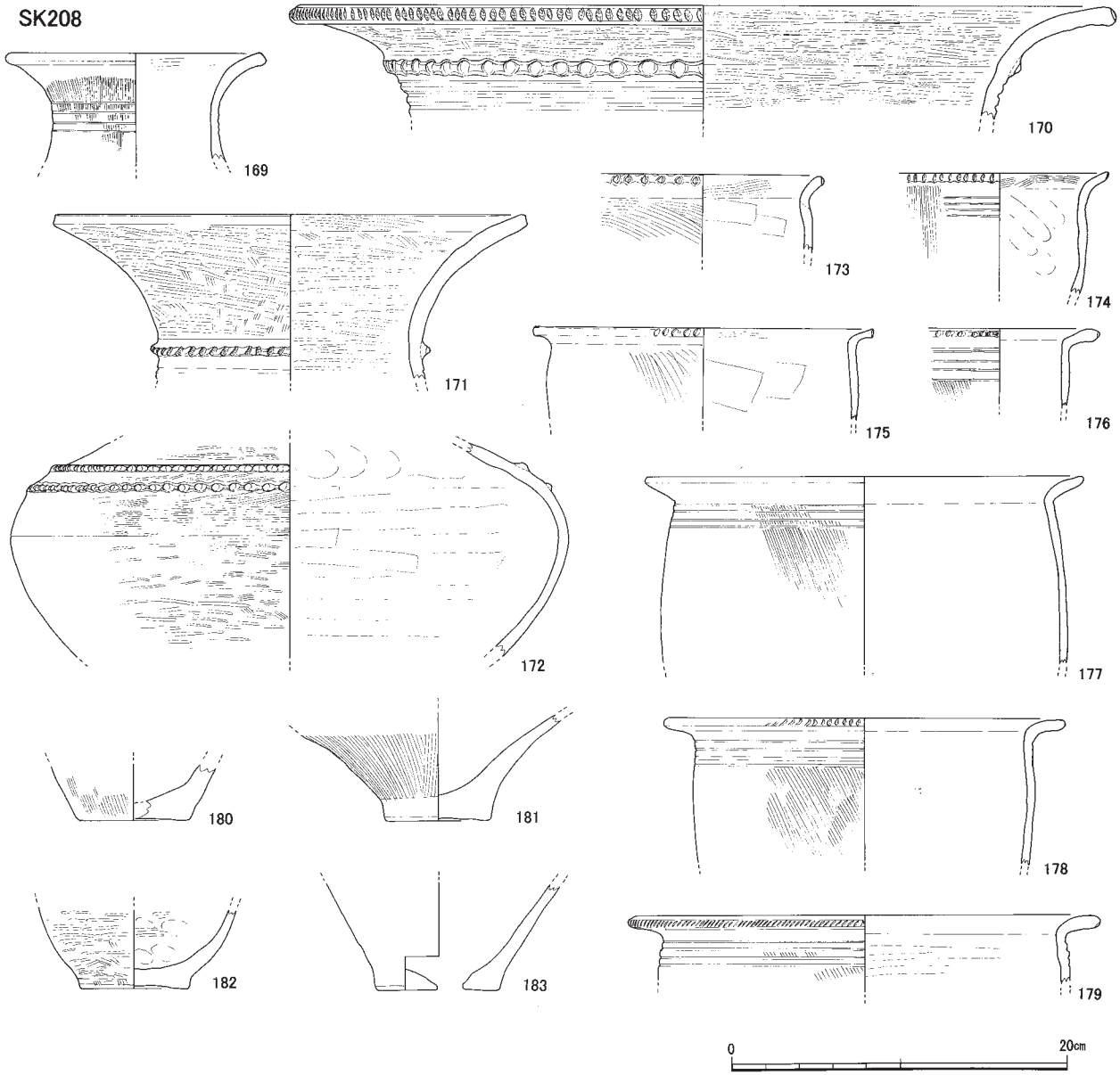
第38図　出土遺物実測図①（1：4）



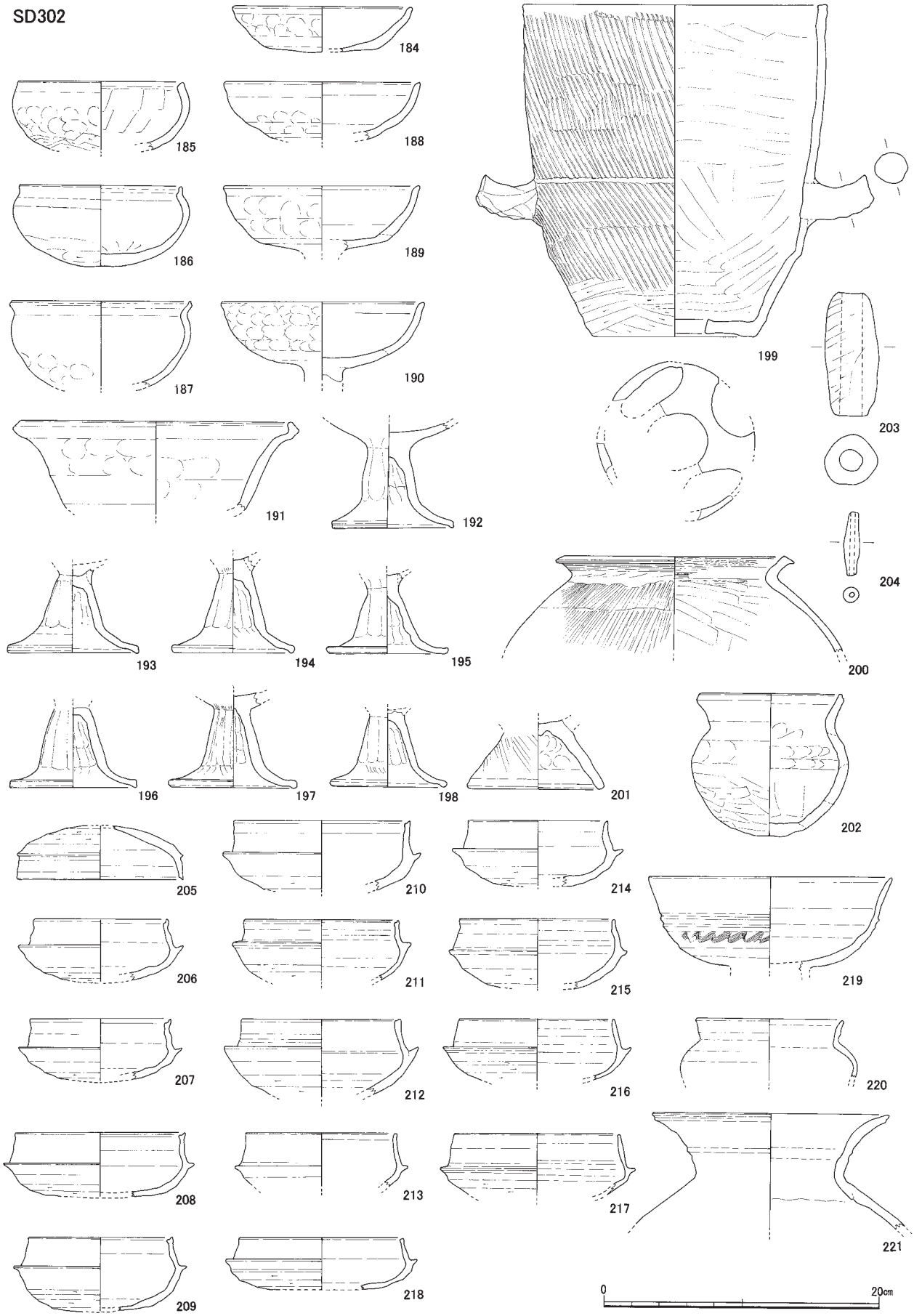
第39図　出土遺物実測図②（1：4）・（1：2）



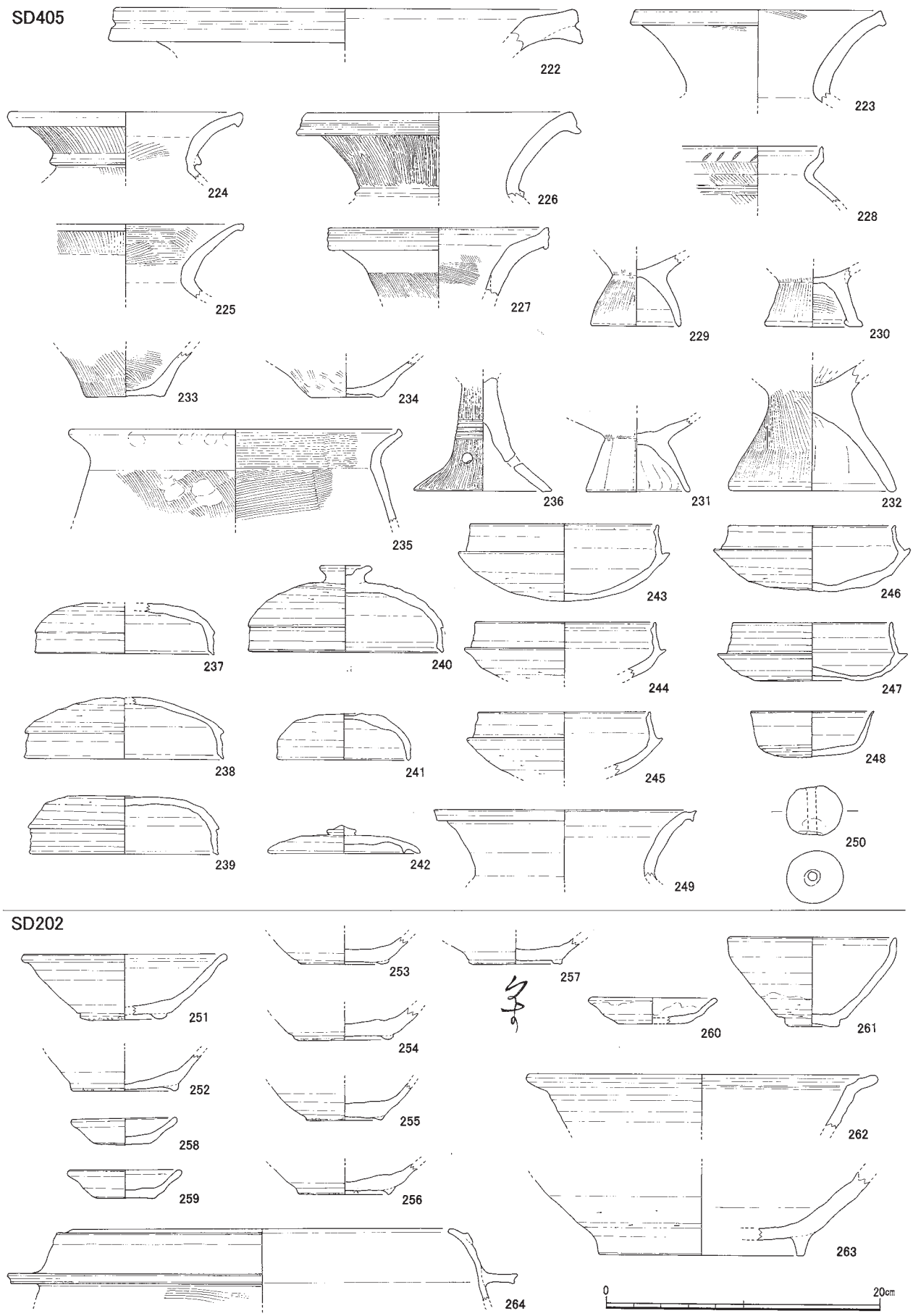
第40図　出土遺物実測図③（1：4）



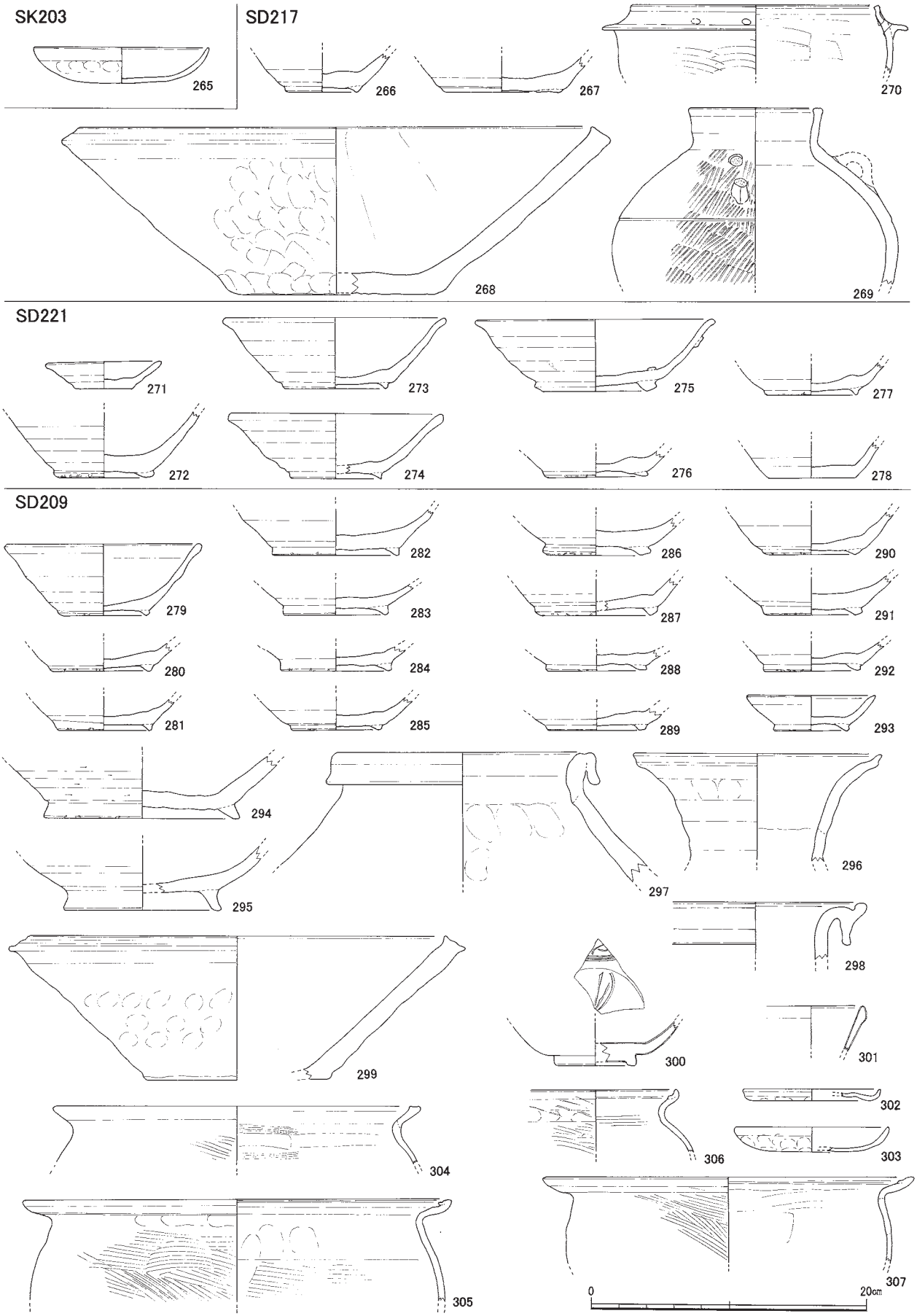
第41図　出土遺物実測図④（1：4）



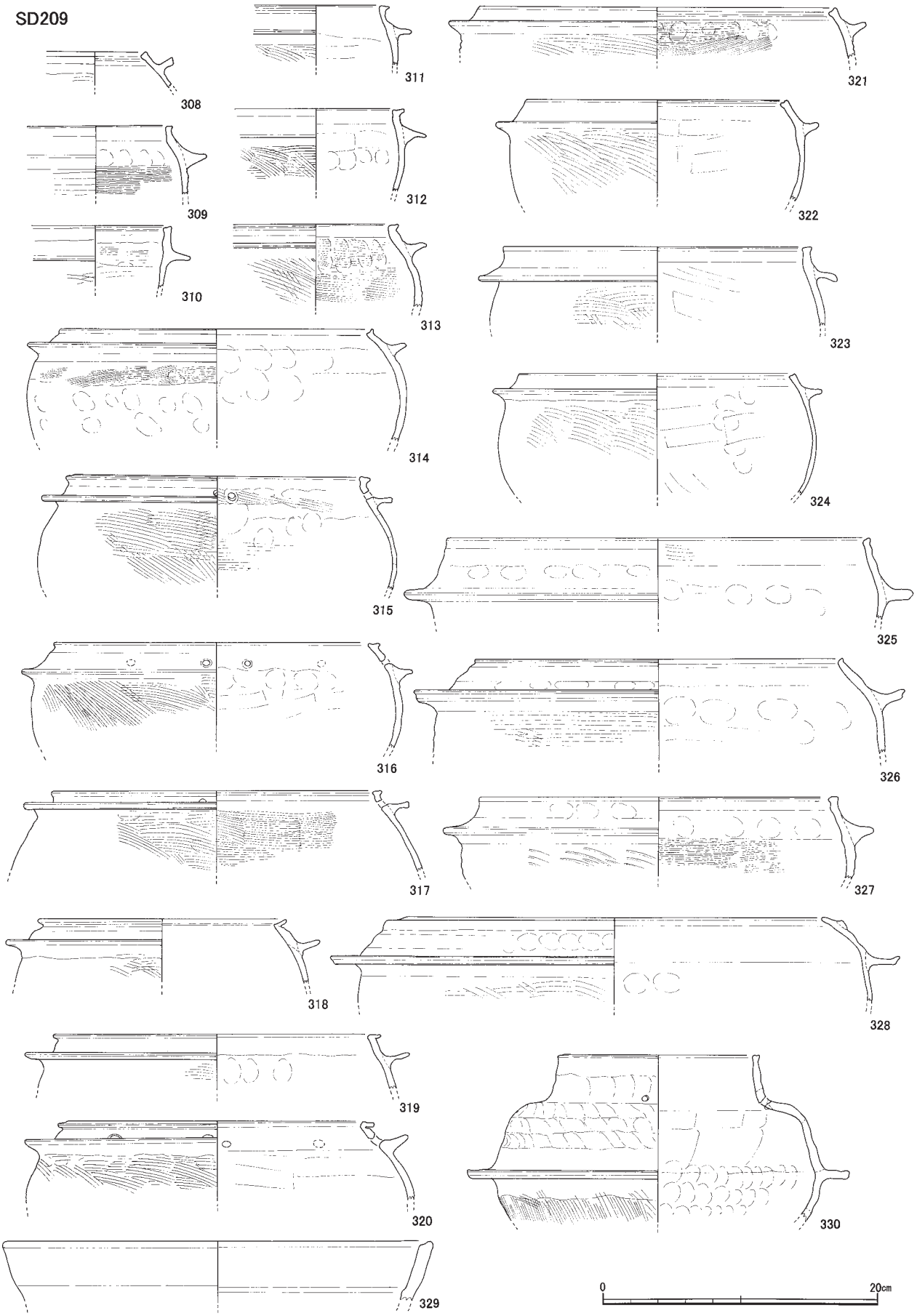
第42図　出土遺物実測図⑤（１：４）



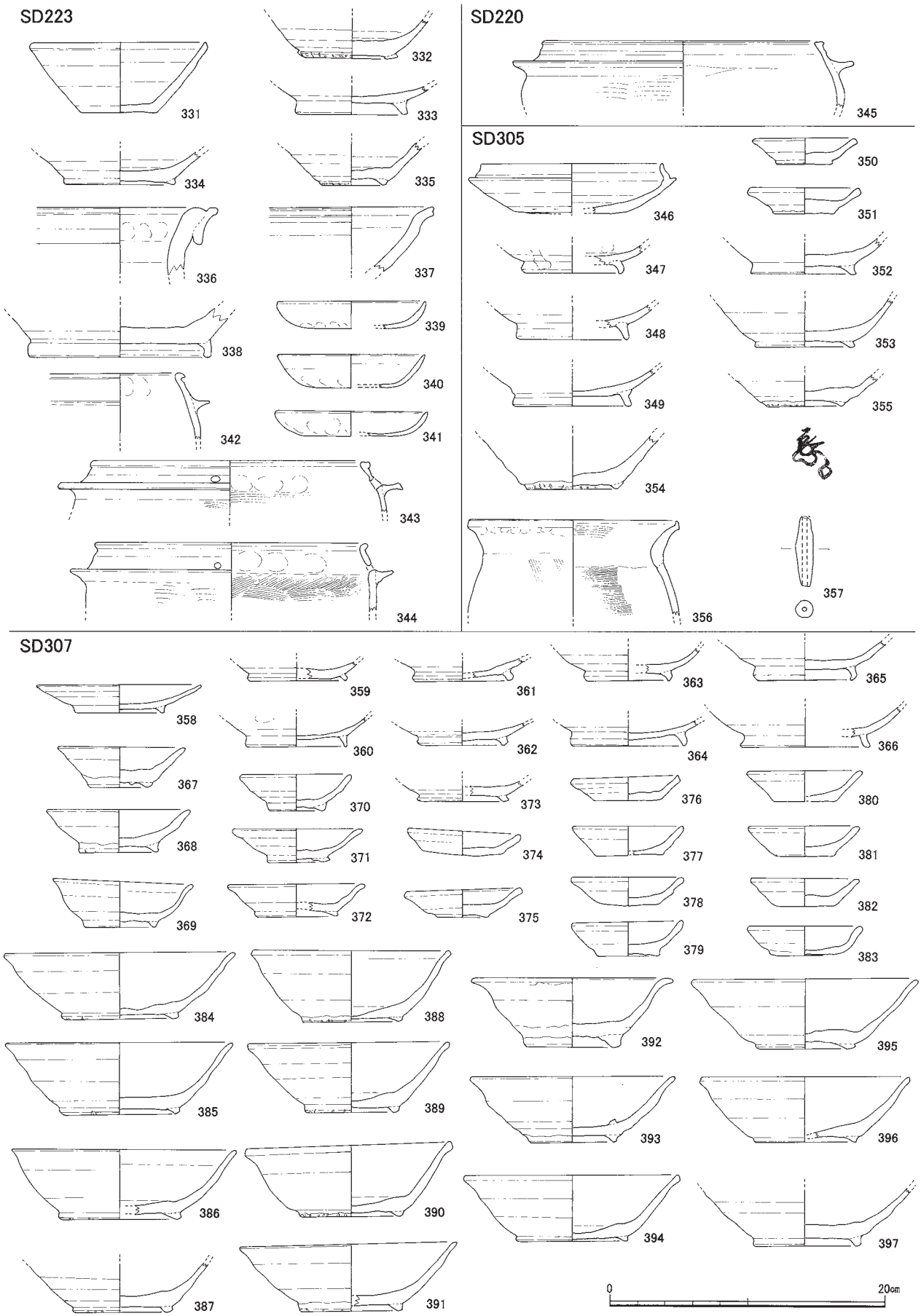
第43図　出土遺物実測図⑥（1：4）



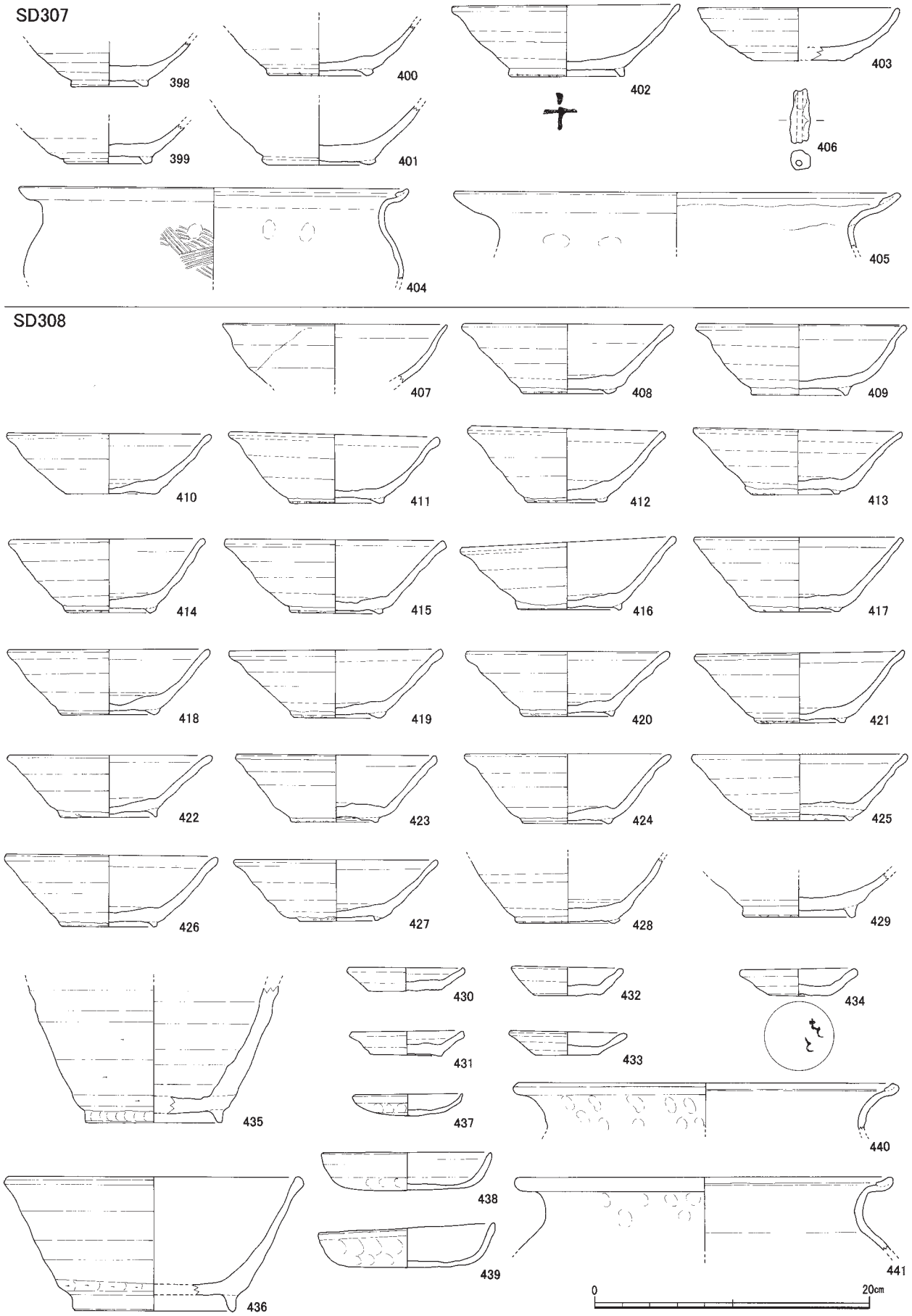
第44図　出土遺物実測図⑦（1：4）



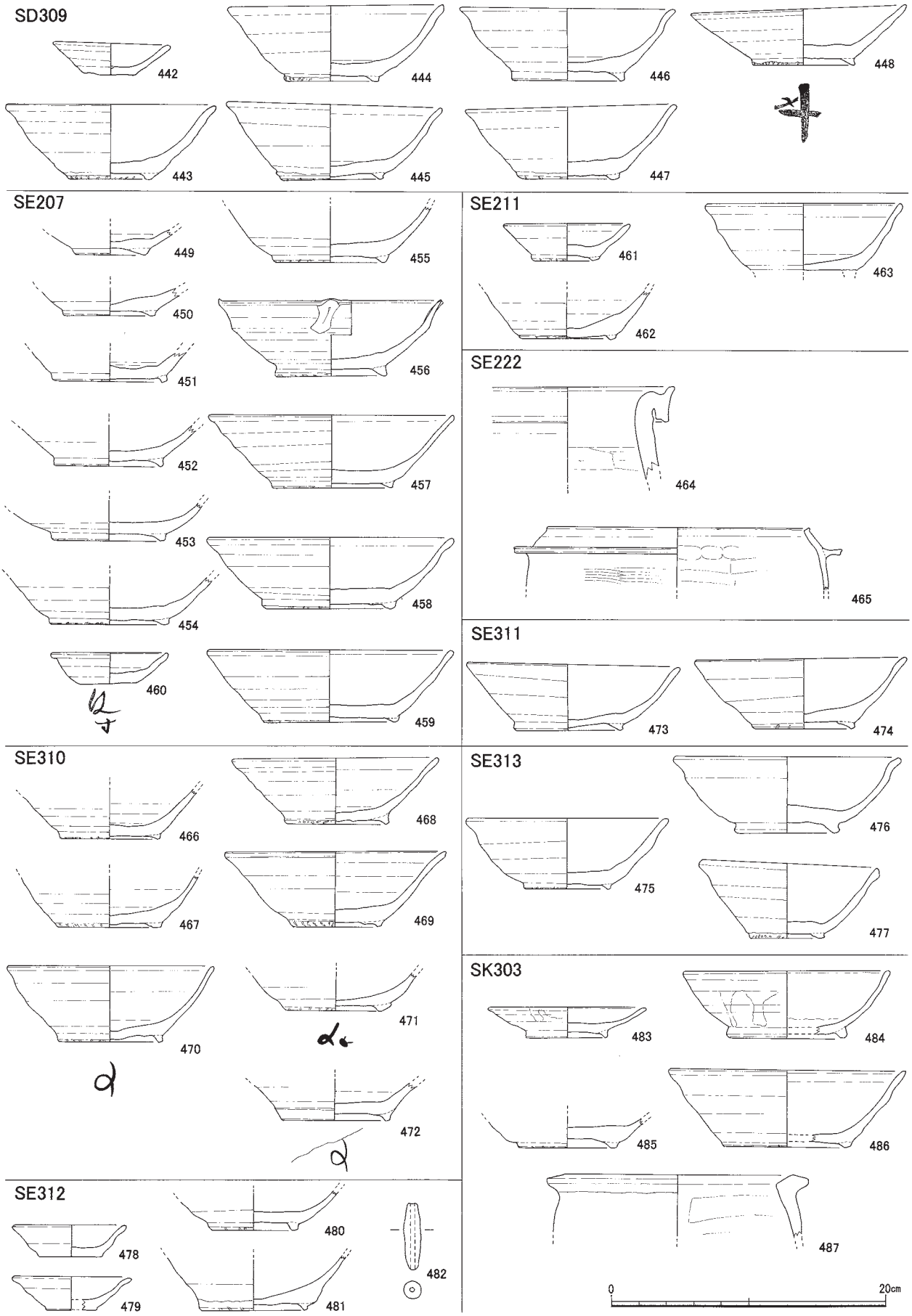
第45図　出土遺物実測図⑧（1：4）



第46図　出土遺物実測図⑨（1：4）

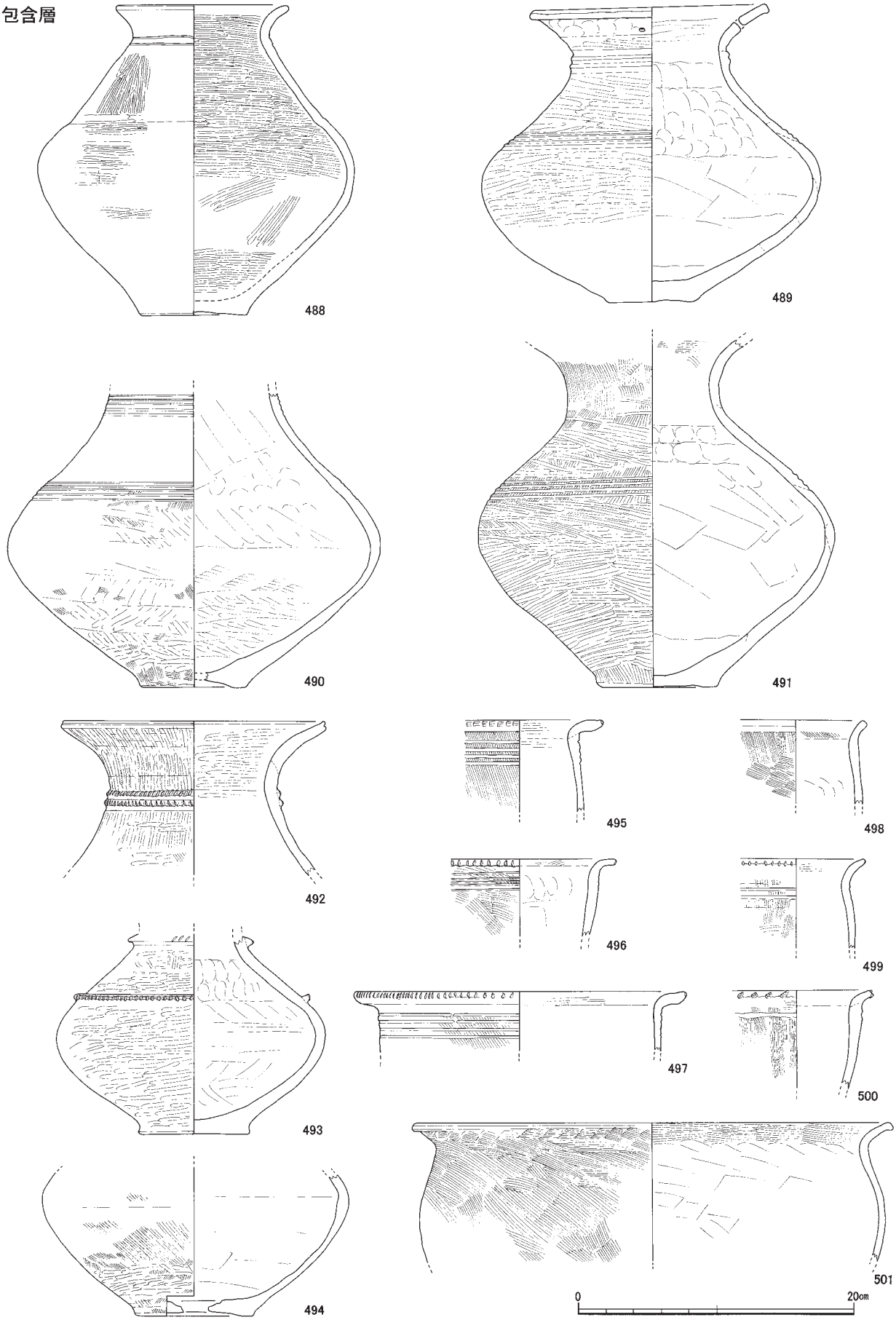


第47図　出土遺物実測図⑩（１：４）

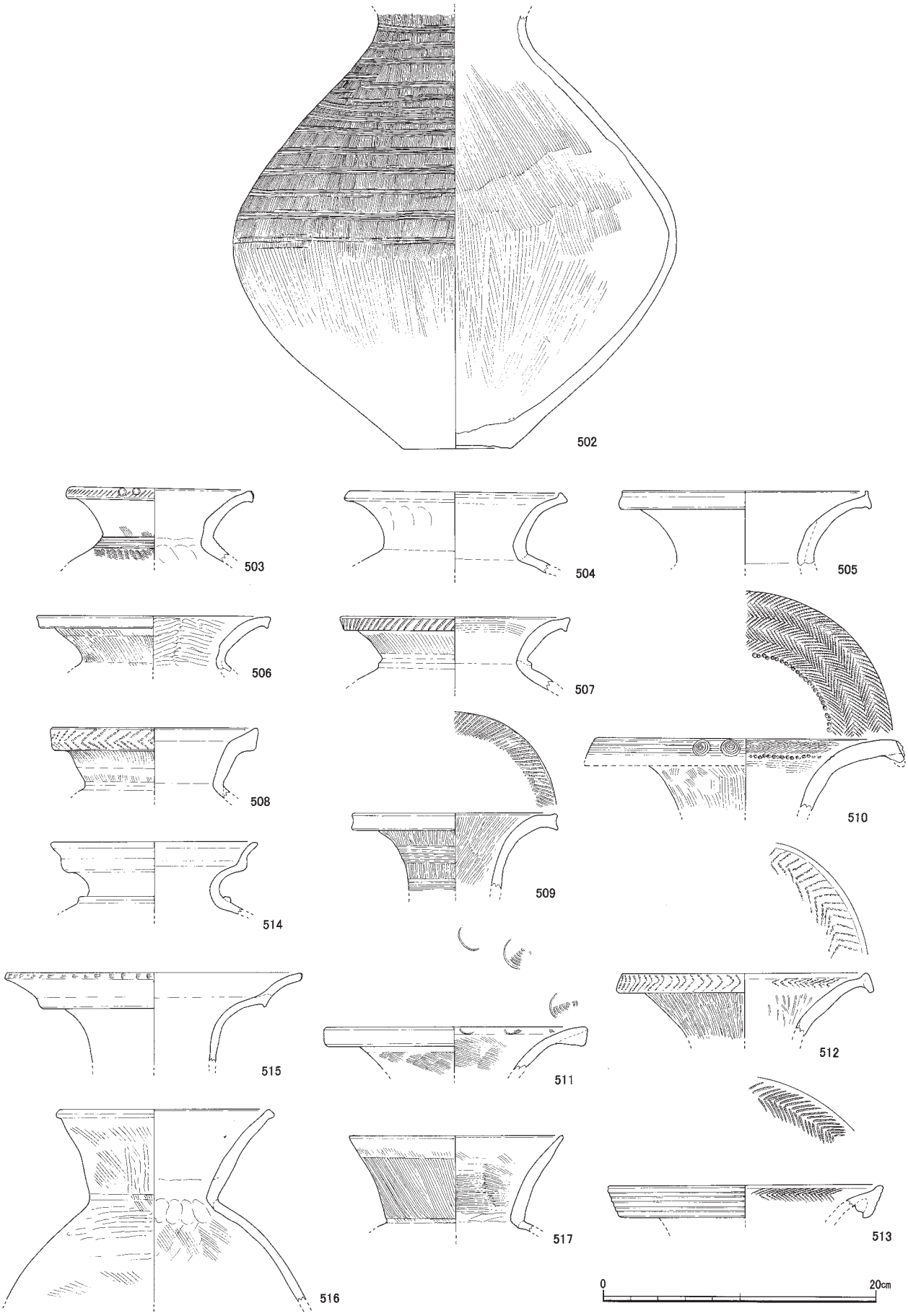


第48図　出土遺物実測図⑪（１：４）

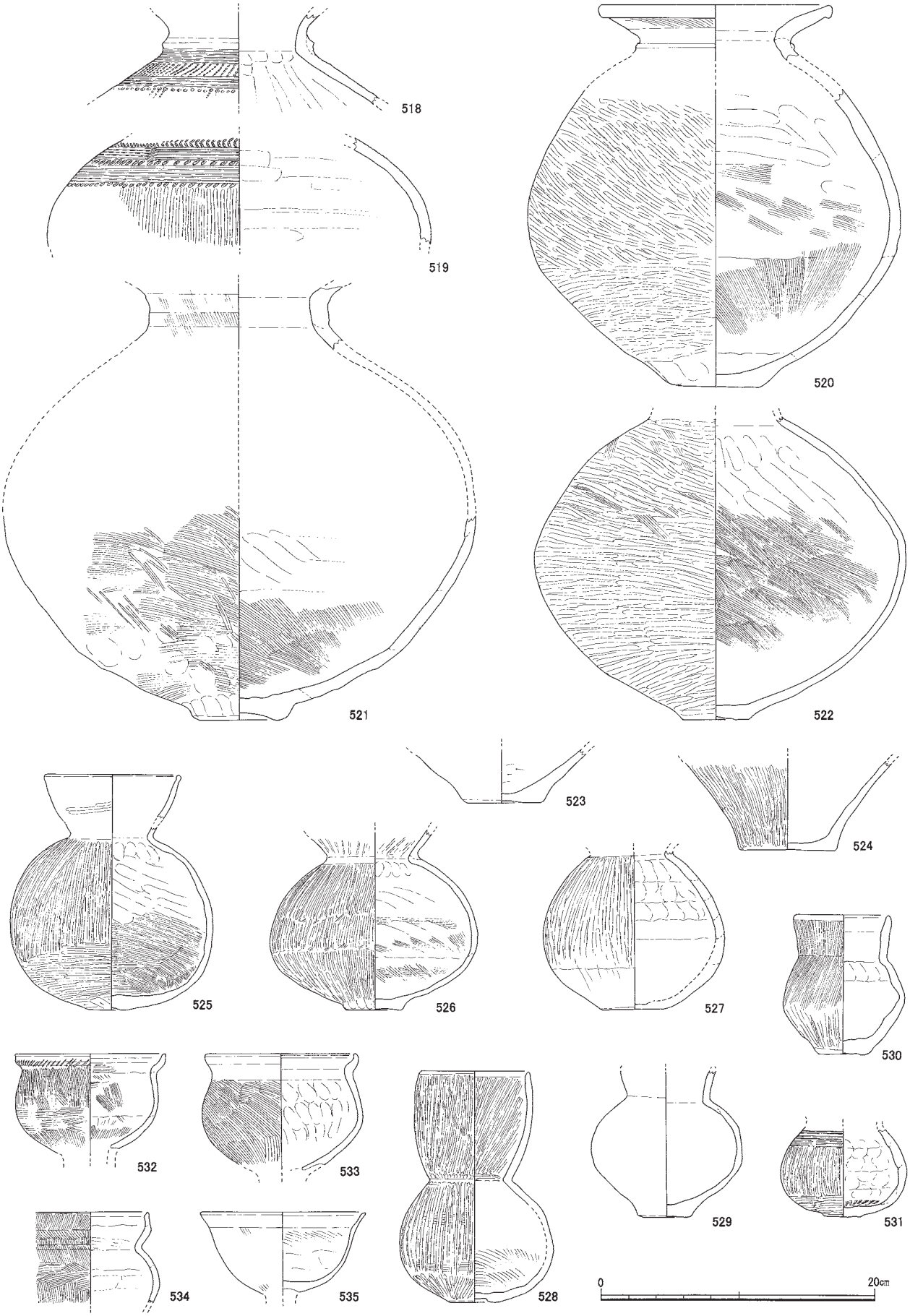
包含層



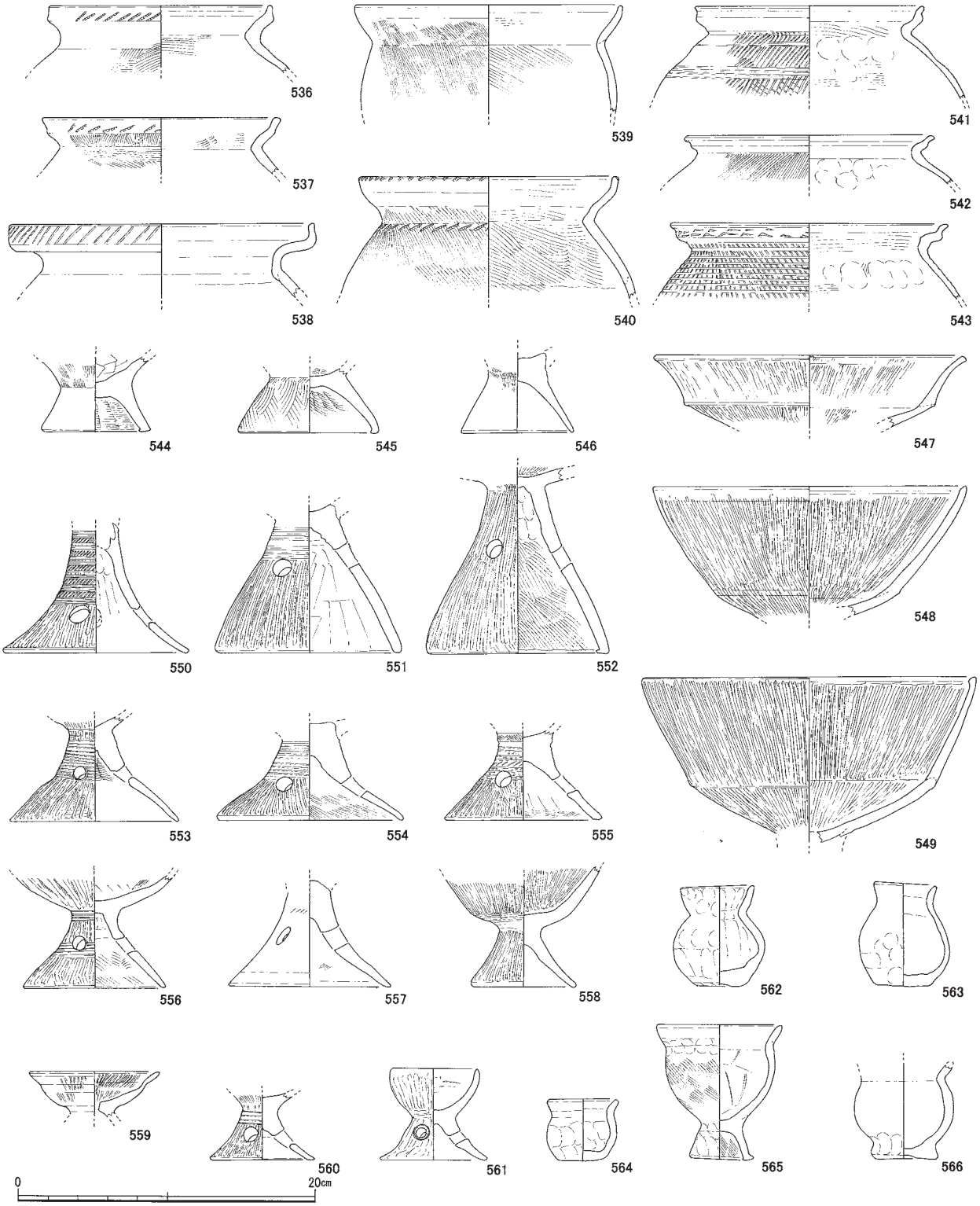
第49図　出土遺物実測図⑫（1：4）



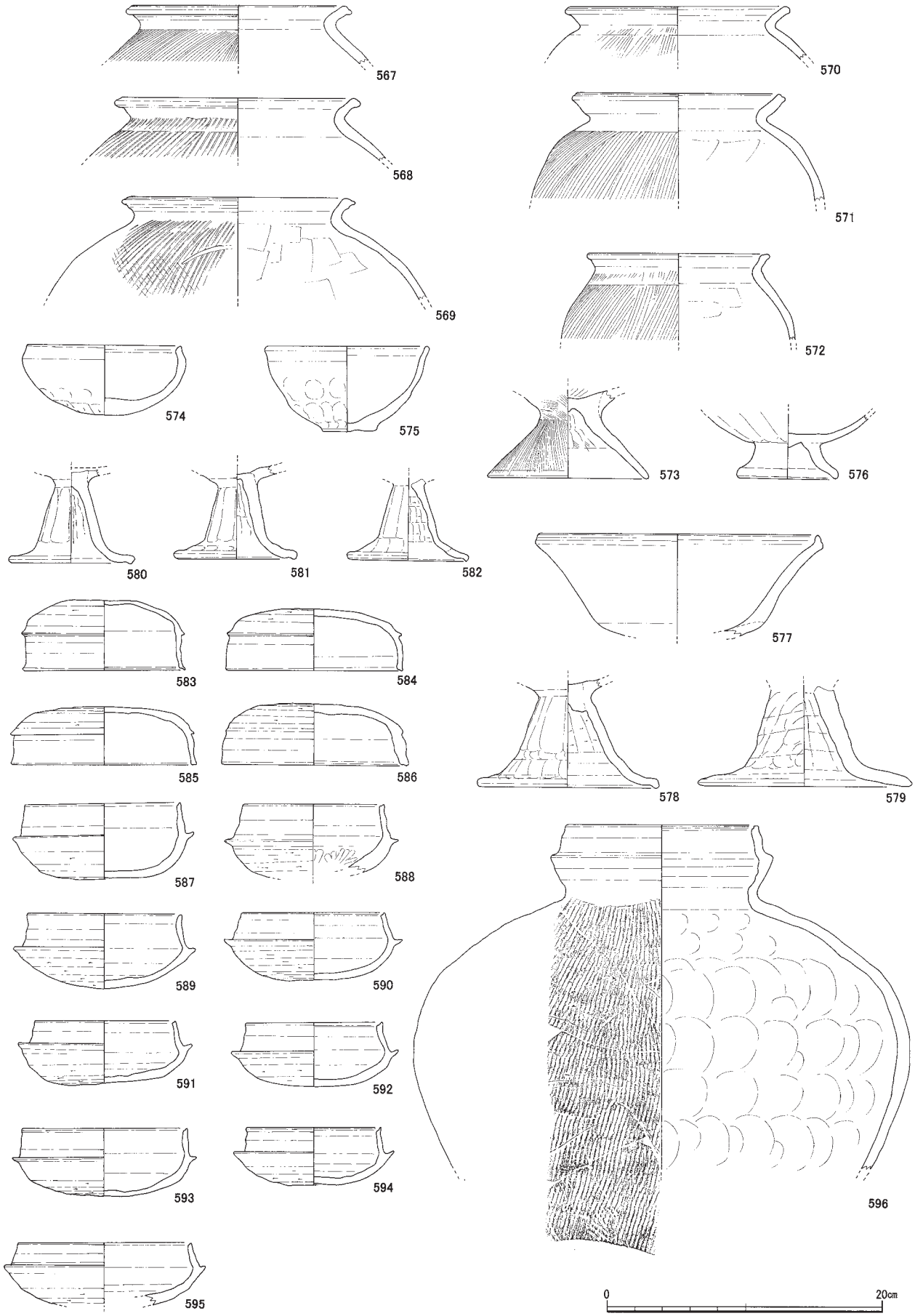
第50図　出土遺物実測図⑬（１：４）



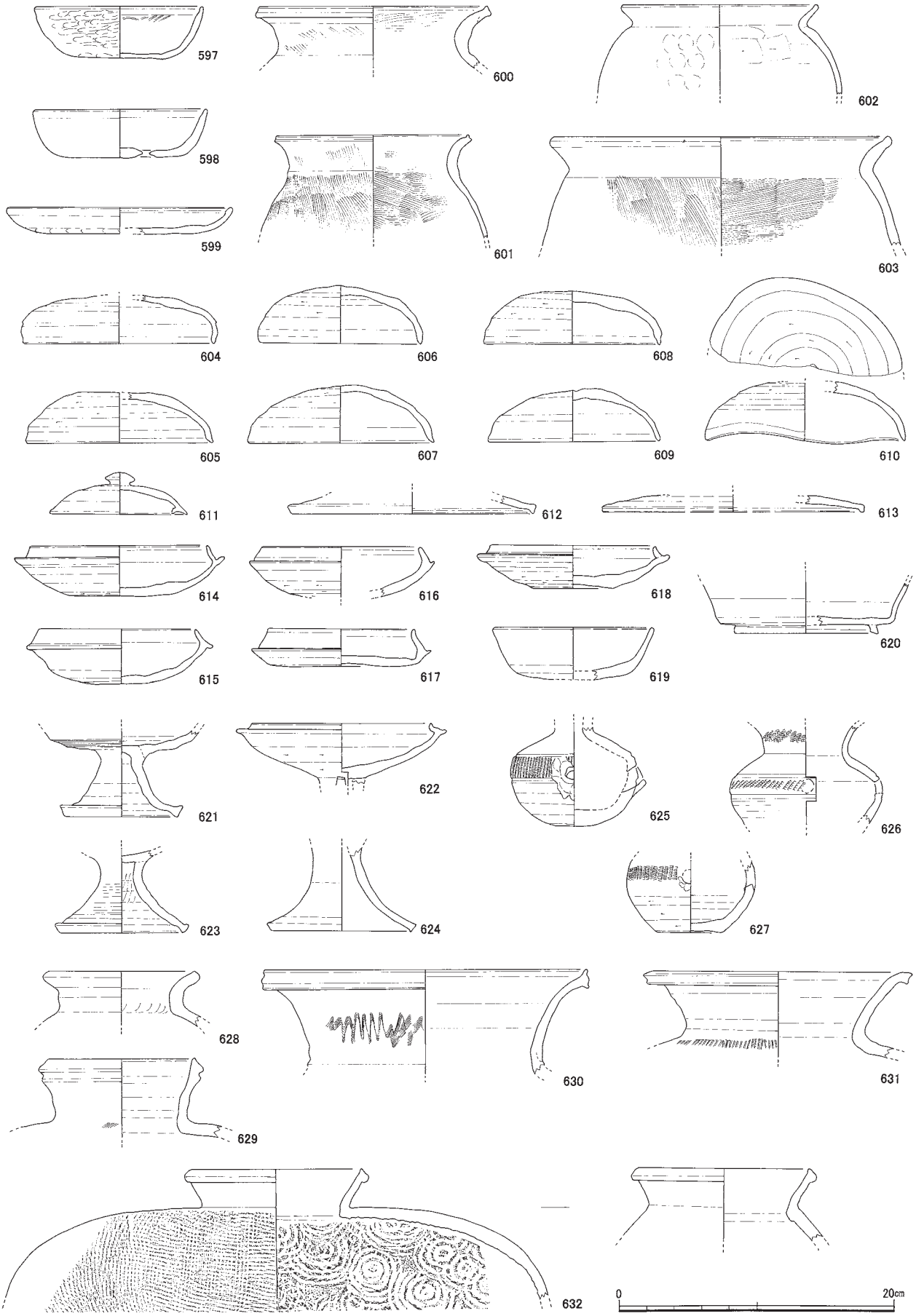
第51図　出土遺物実測図⑭（1：4）



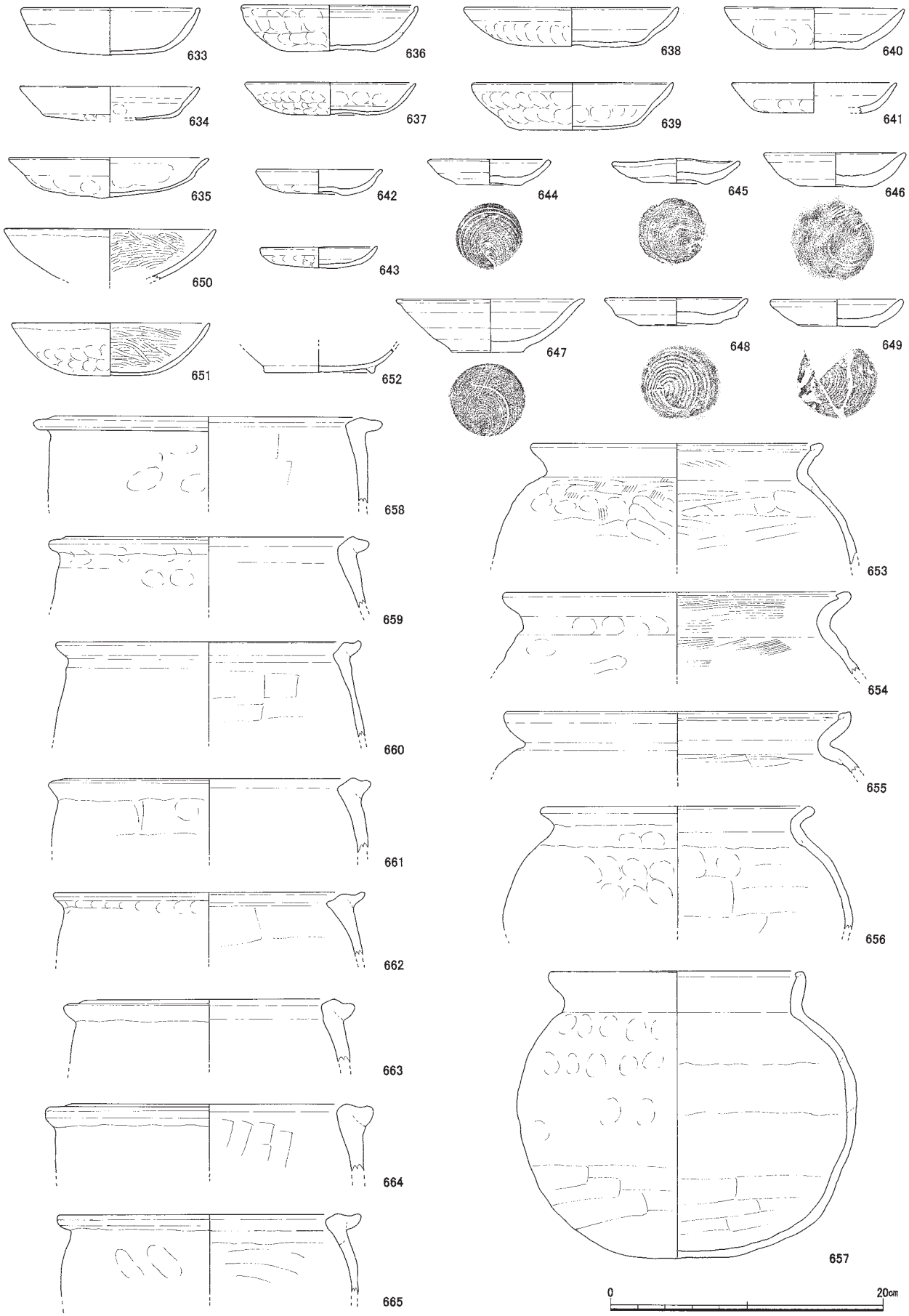
第52図　出土遺物実測図⑮（1：4）



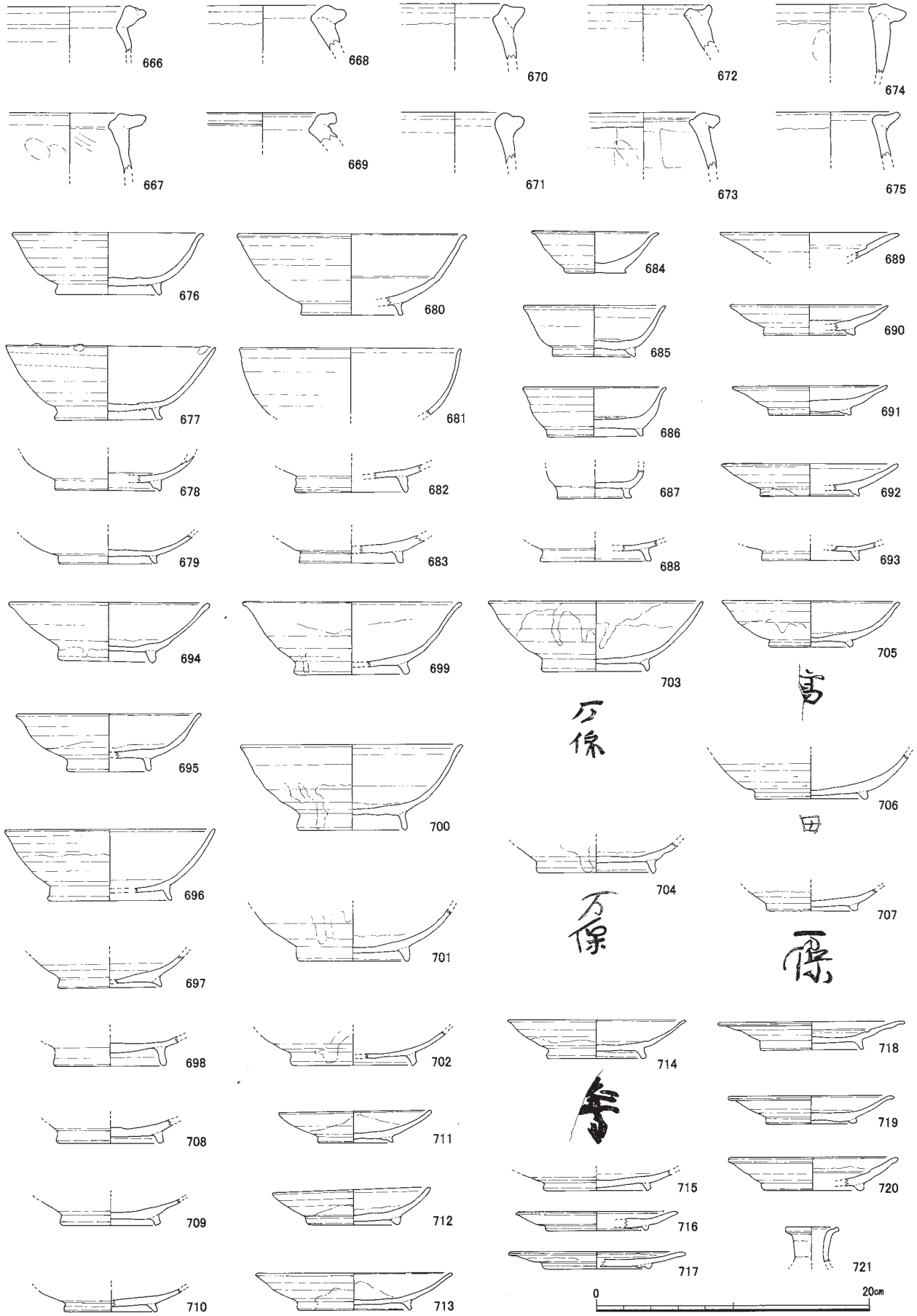
第53図　出土遺物実測図⑯（1：4）



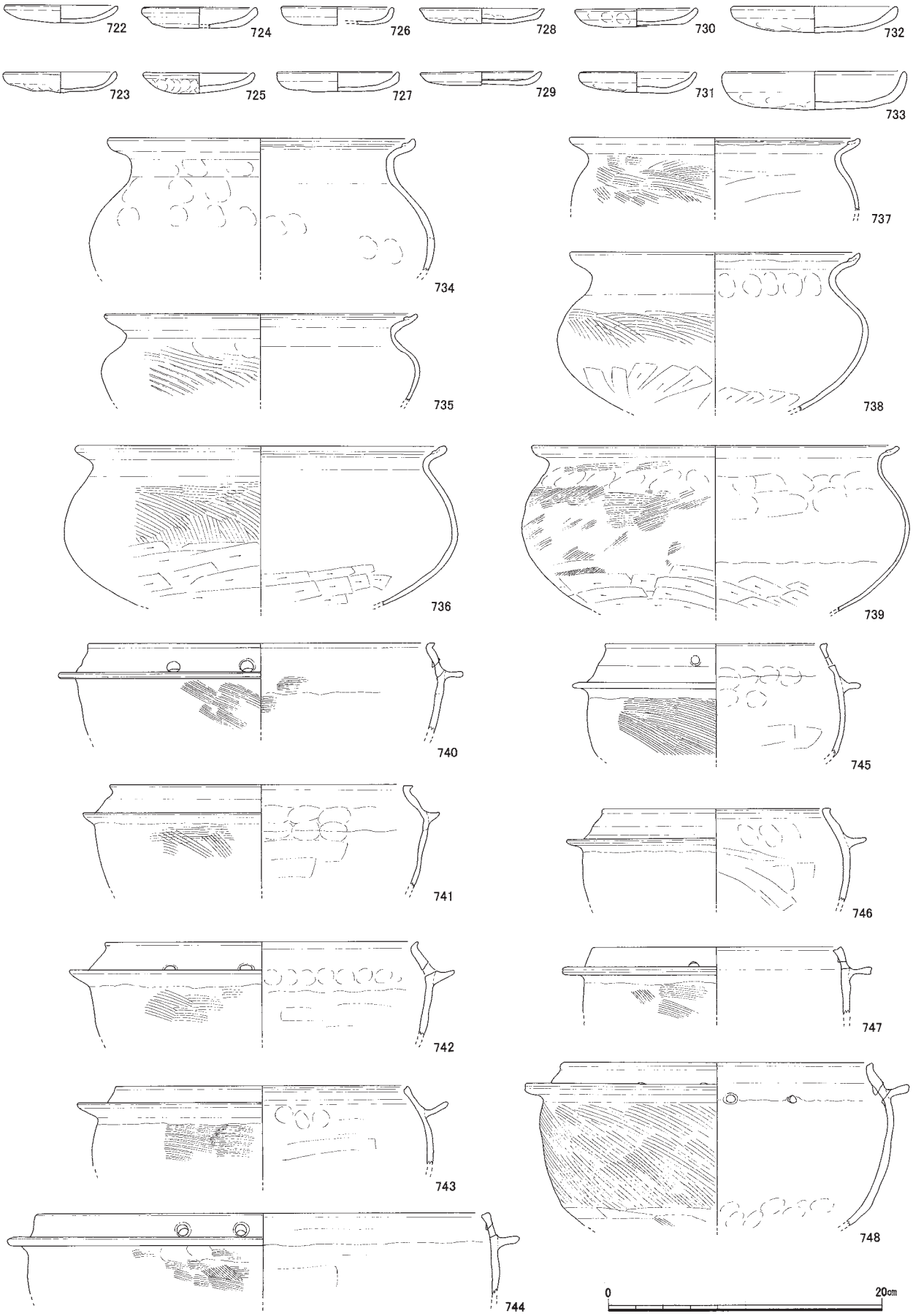
第54図　出土遺物実測図⑰（１：４）



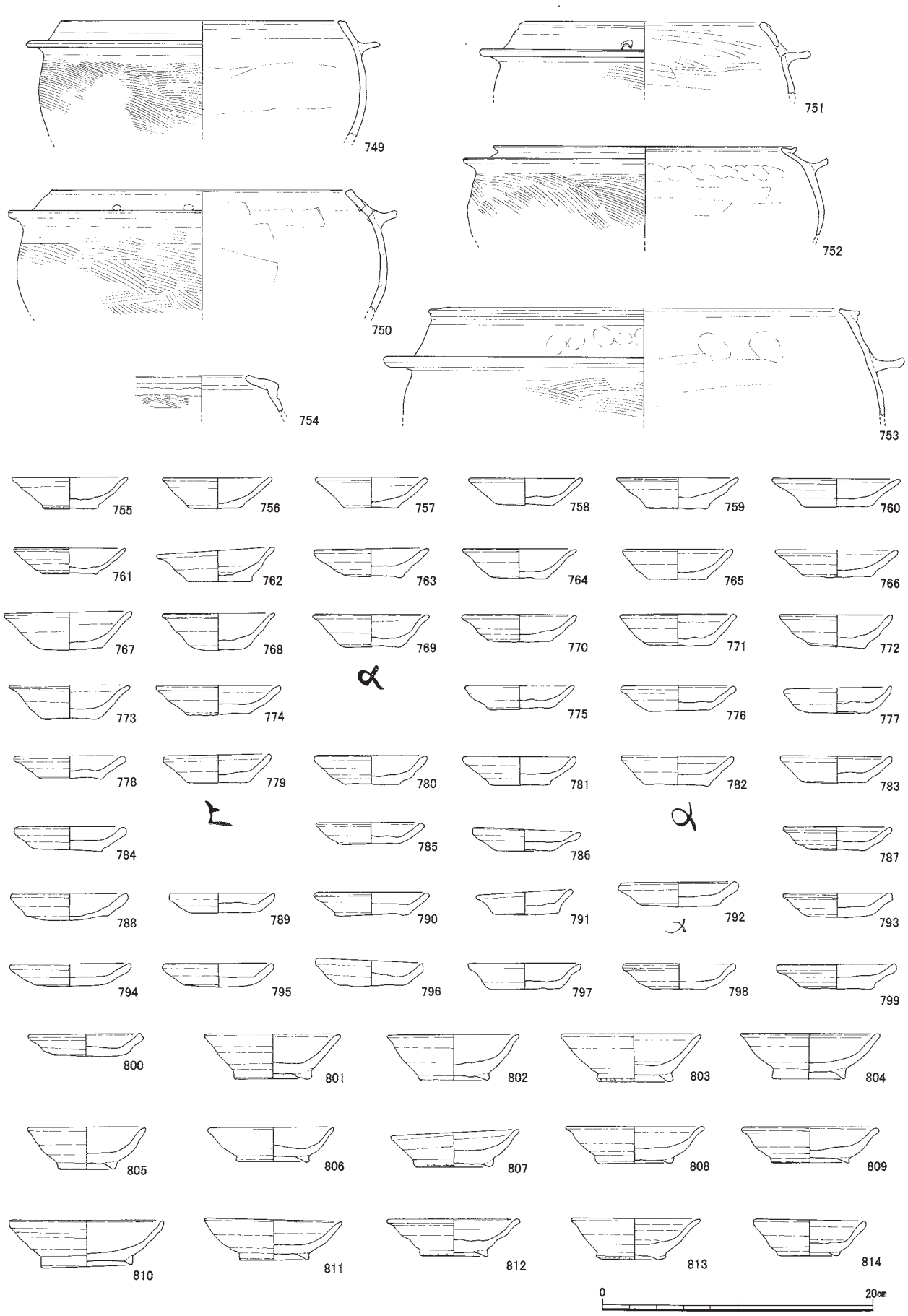
第55図　出土遺物実測図⑱（１：４）



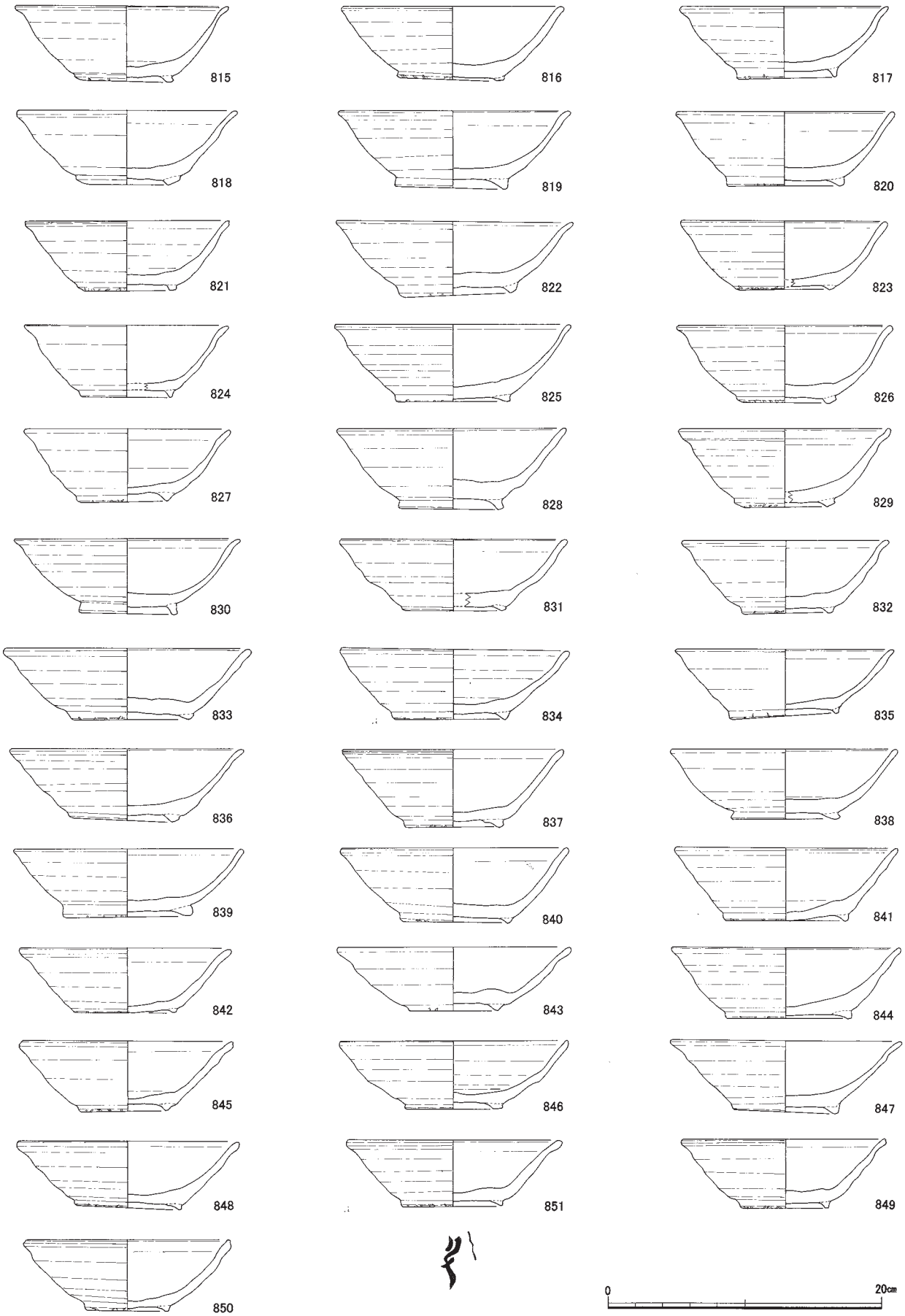
第56図　出土遺物実測図⑲（１：４）



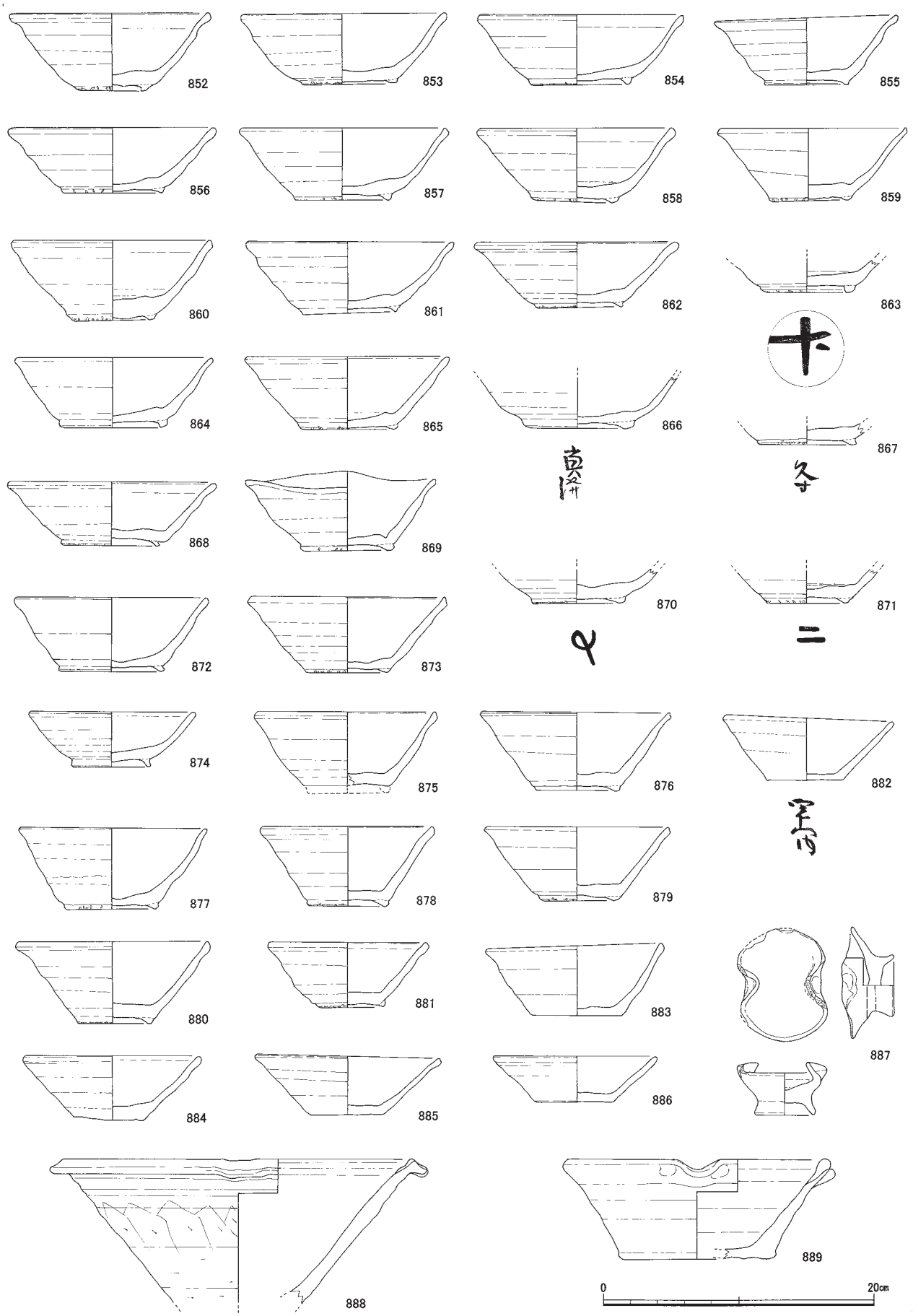
第57図　出土遺物実測図⑳（1：4）



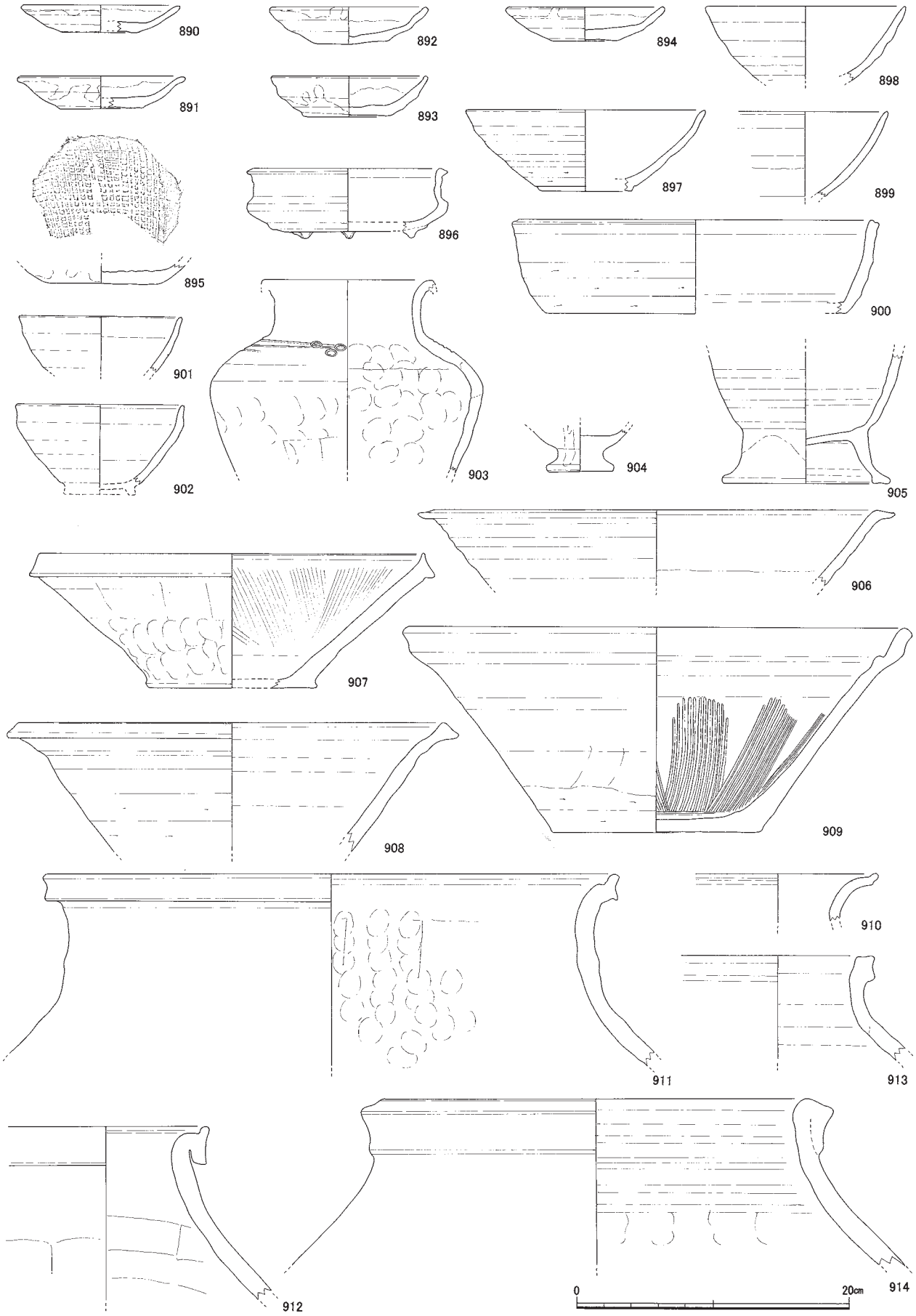
第58図　出土遺物実測図㉑（１：４）



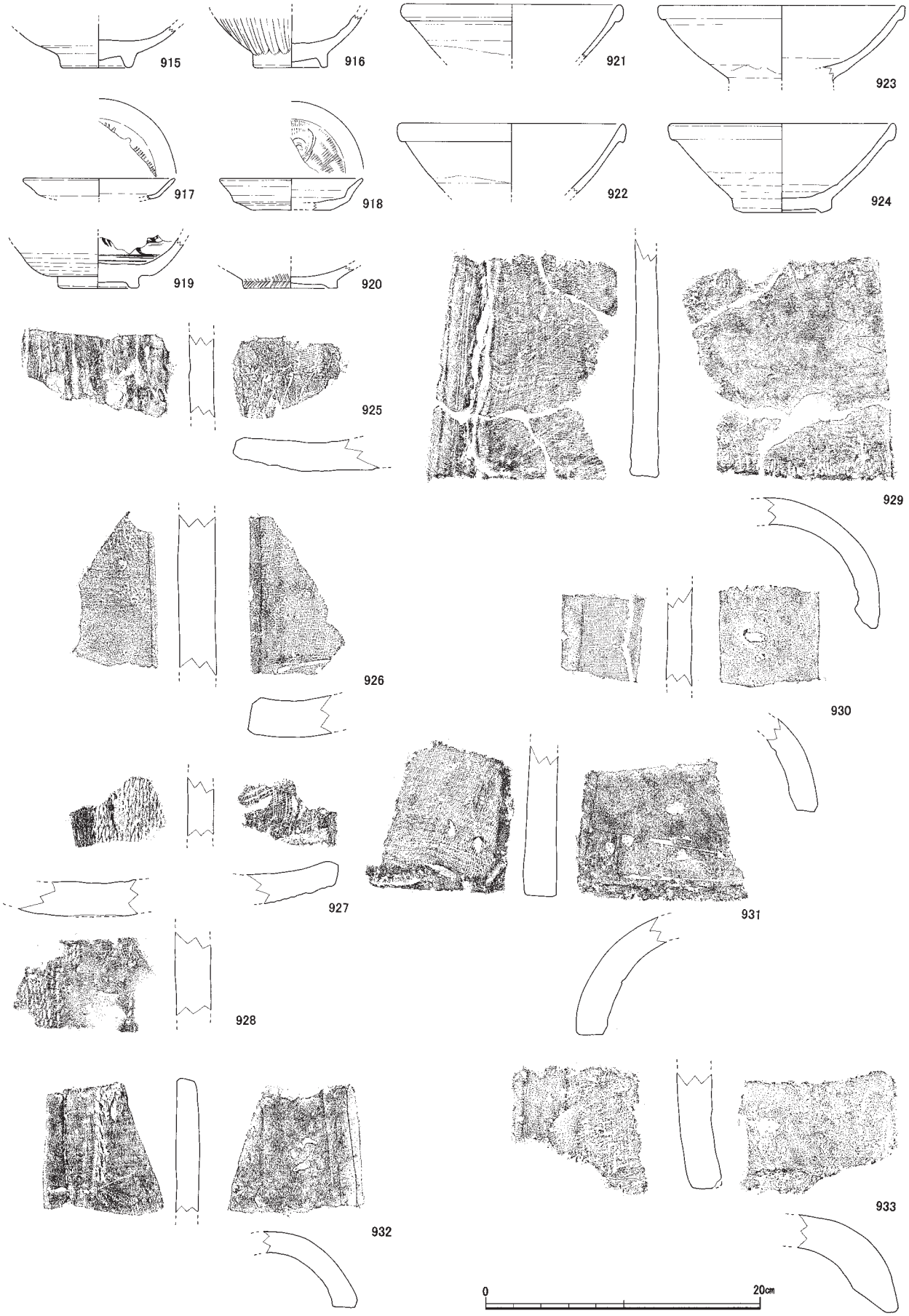
第59図　出土遺物実測図㉒（１：４）



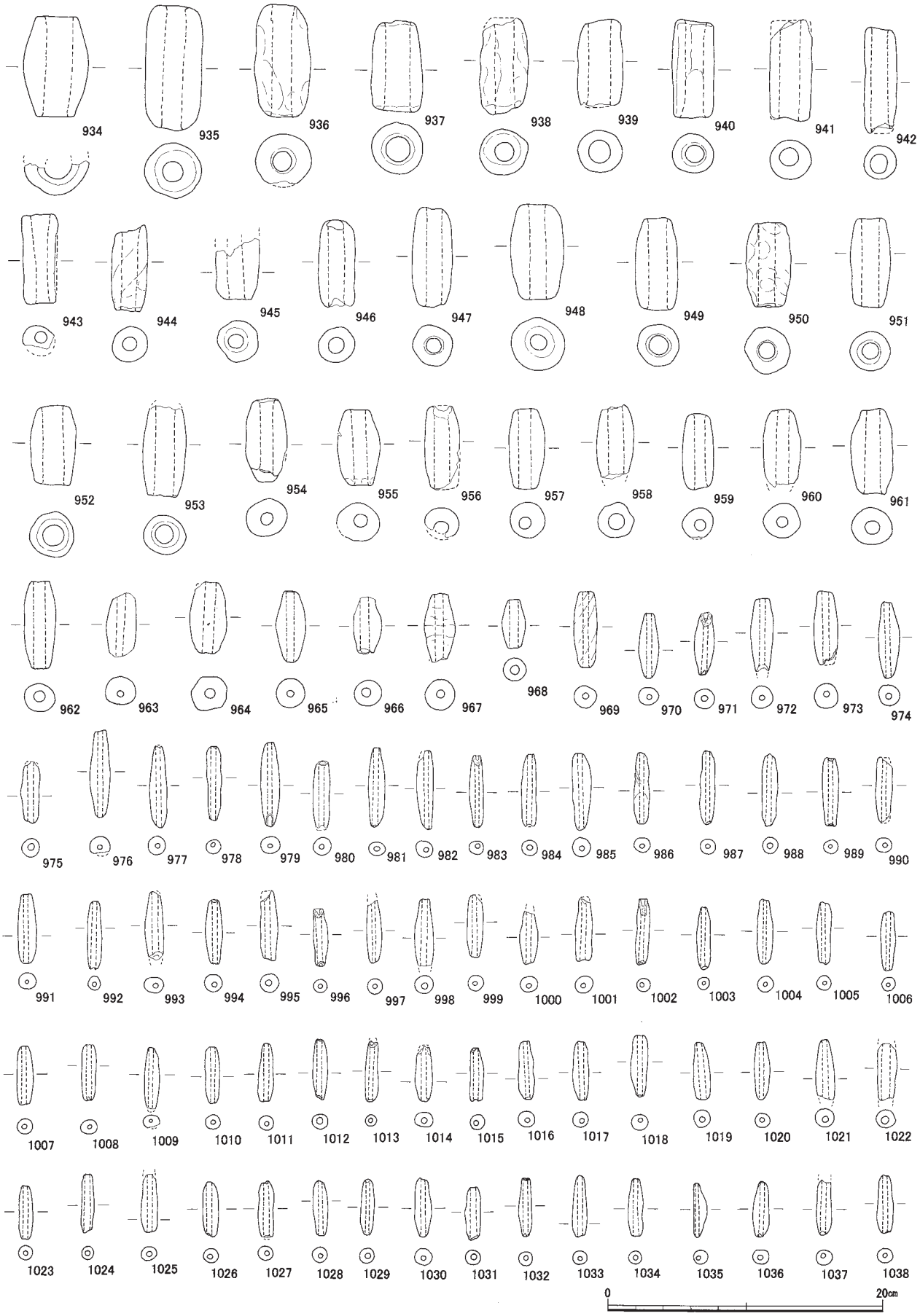
第60図　出土遺物実測図㉓（１：４）



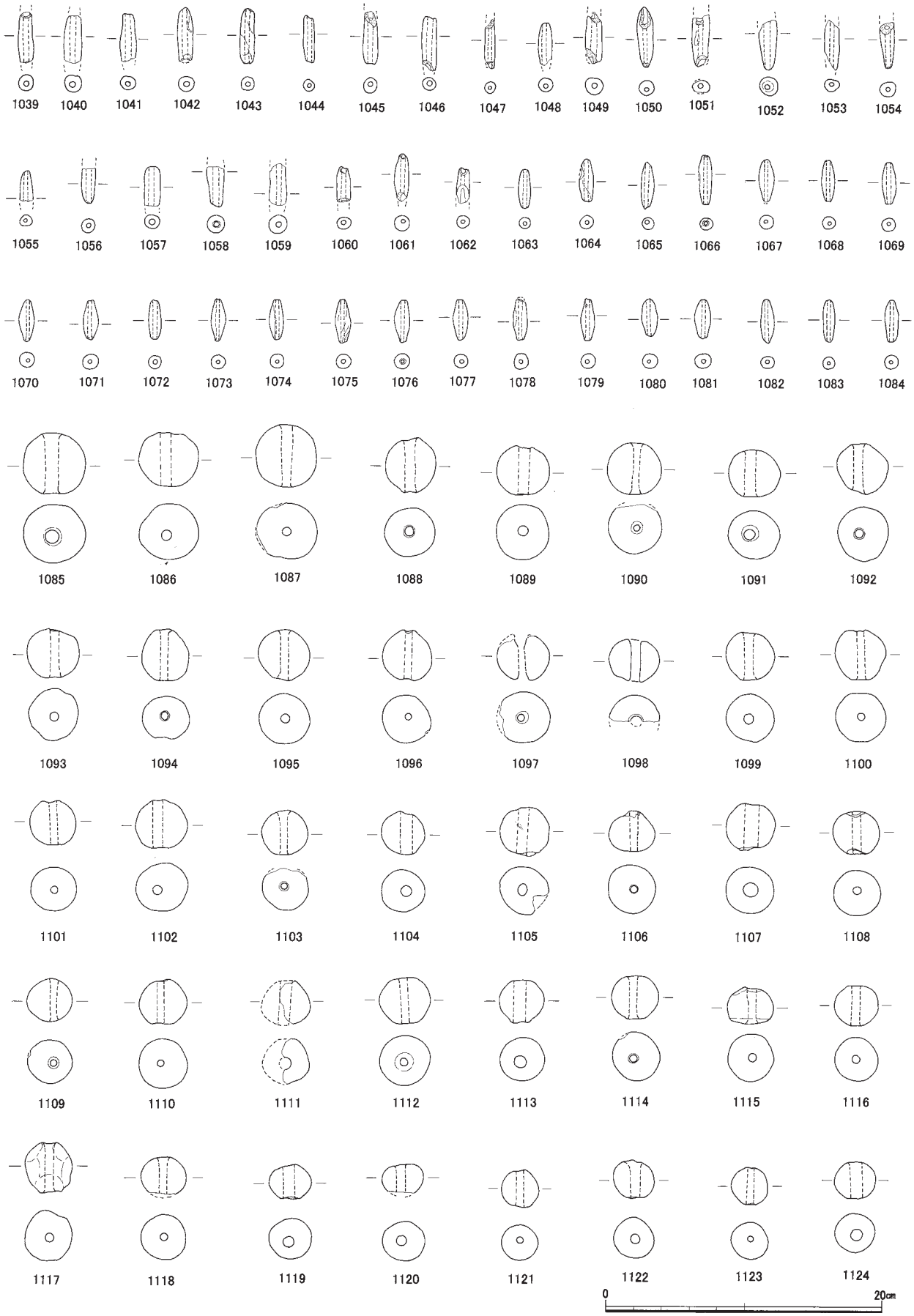
第61図　出土遺物実測図㉔（1：4）



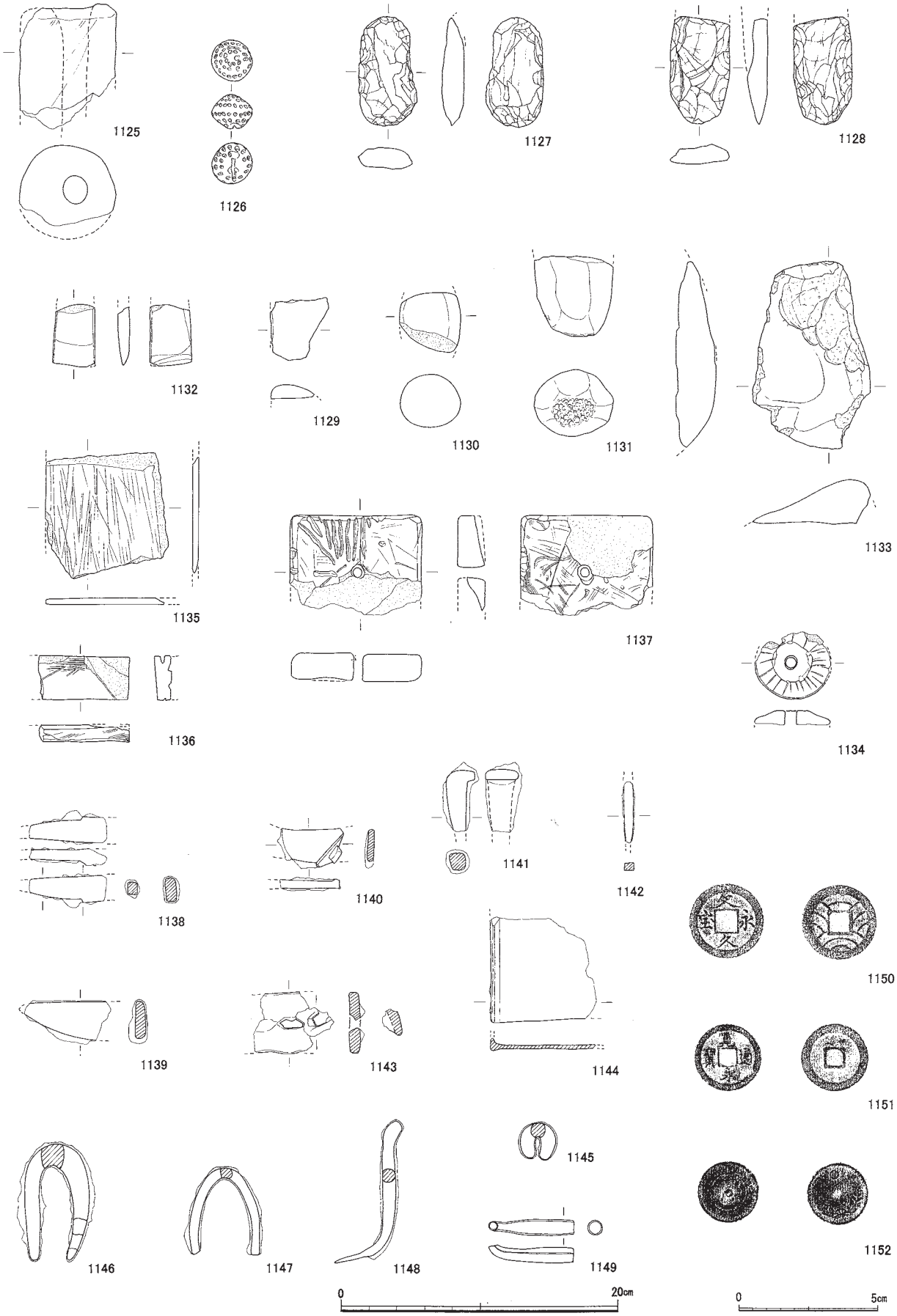
第62図　出土遺物実測図㉕（1：4）



第63図　出土遺物実測図㉖（1：4）

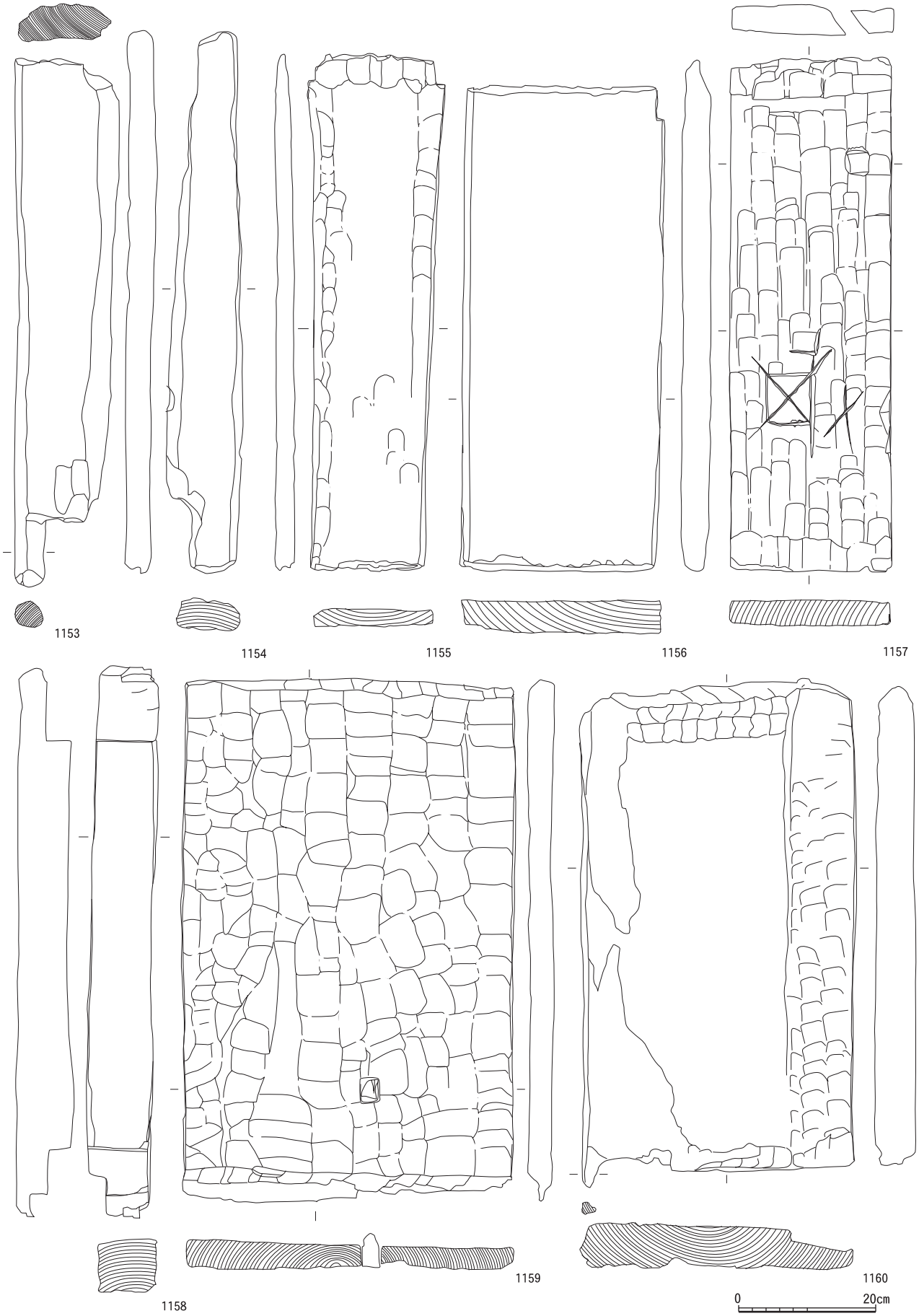


第64図　出土遺物実測図㉗（1：4）



第65図　出土遺物実測図㉘（１：４）・（１：２）

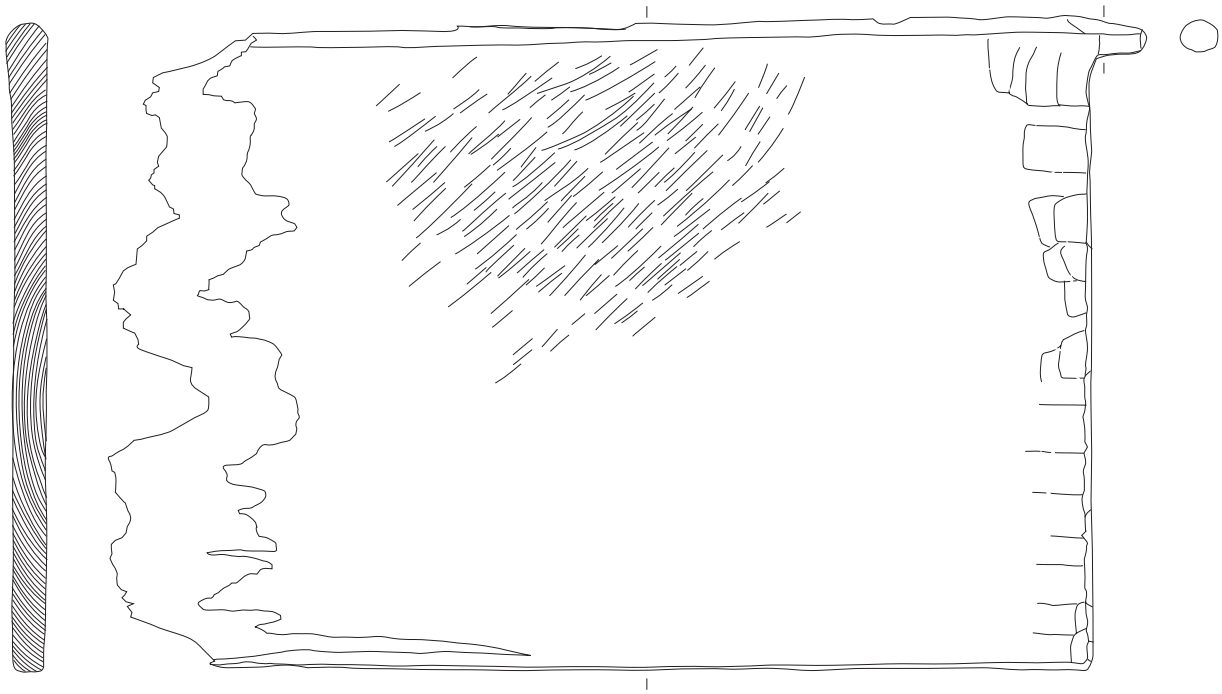
SE1106



第66図　出土木製品実測図①（１：８）

SE1106

1161

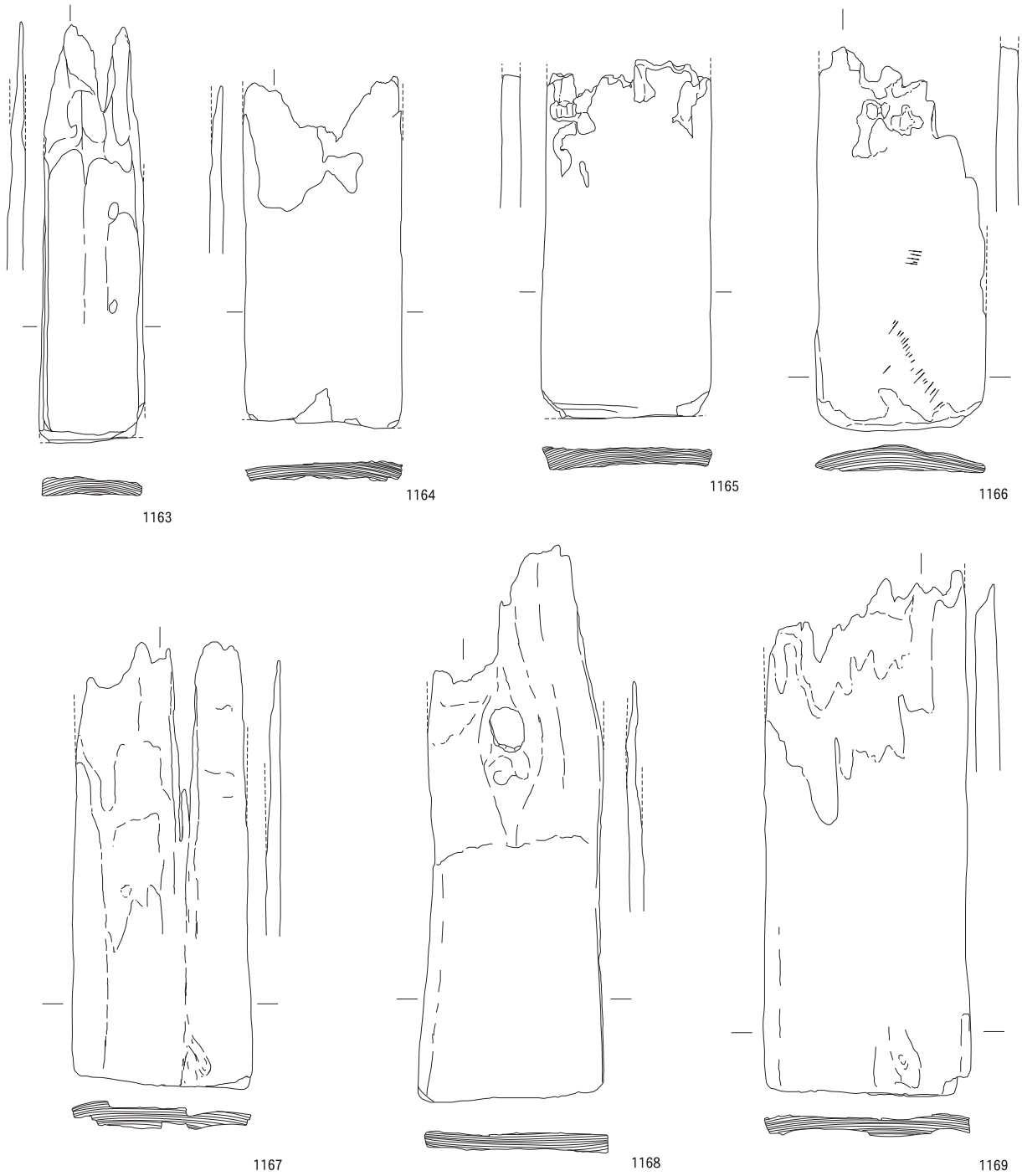


1162

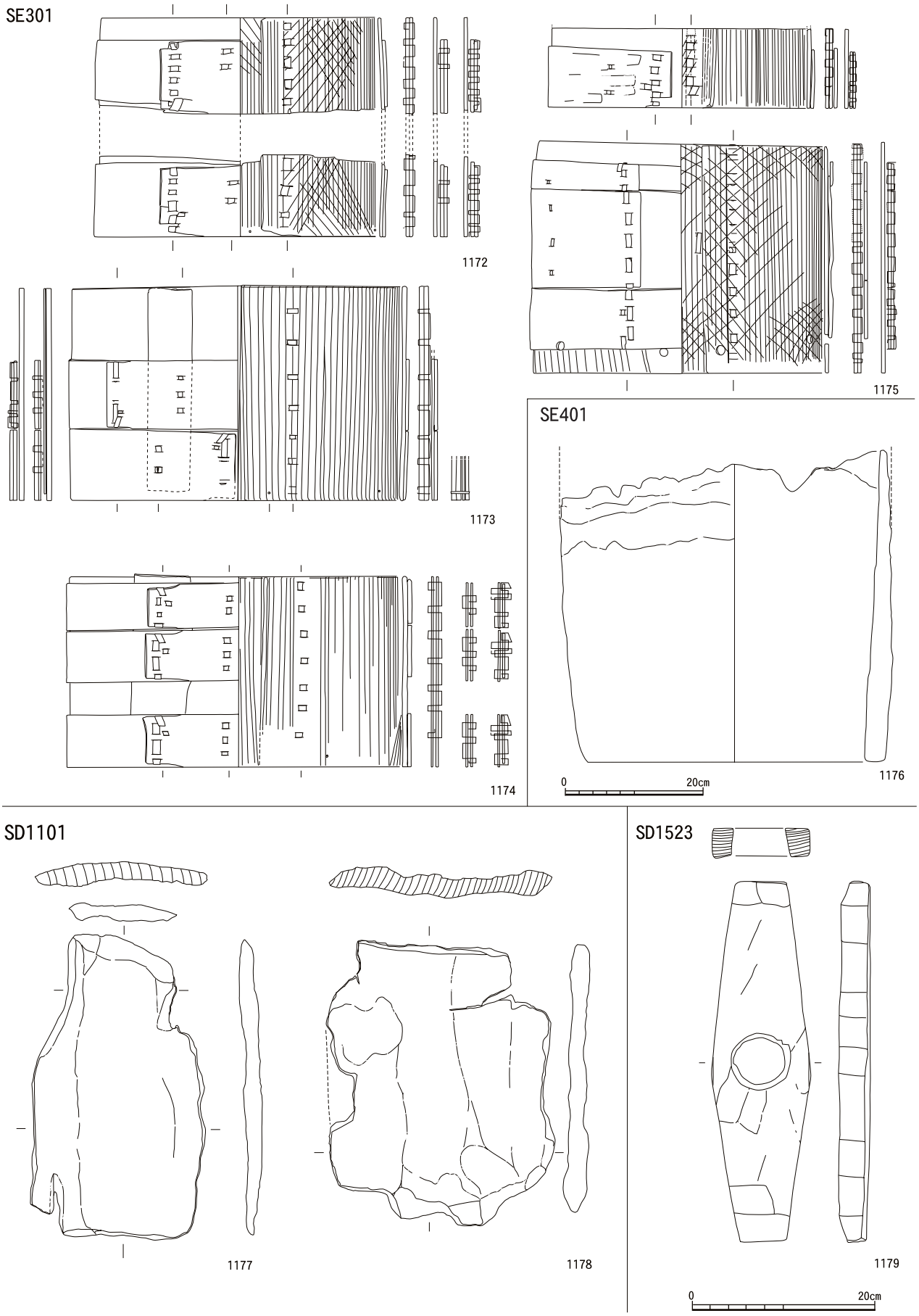
0　20cm

第67図　出土木製品実測図②（１：８）

SE213



第68図　出土木製品実測図③（1：6）・（1：4）



第69図　出土木製品実測図④（1：6）・（1：8）

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
1	020-01			土師器	甕	H17-E	Cy17	SD1101	(口) 17.7	やや密	にぶい黄橙 にぶい黄褐	10YR6/3 10YR5/3	口縁部2/12	
2	020-05			土師器	甕	H17-E	Cy17	SD1101	(口) 14.4	やや密	外:にぶい黄褐 内: 灰黄	10YR7/2 2.5Y7/2		
3	019-02			土師器	甕	H17-E	Cy17	SD1101 下層	(口) 15.0	密	外:にぶい橙 内:にぶい赤褐	5YR6/4 5YR5/4	口縁部3/12	
4	019-05			土師器	甕	H17-E	Fa16	SD1101	(口) 18.0	やや密	外: 灰黄褐 内: 灰黄褐	10YR5/2 10YR6/2	口縁部2/12	
5	019-06			土師器	甕	H17-E	Fa16	SD1101	(口) 16.0	やや密	にぶい黄橙	10YR6/4	口縁部2/12	
6	015-02			土師器	甕	H17-E	Fa16	SD1101	(口) 12.4	やや密	黒褐 にぶい黄橙	10YR3/1 10YR7/3	口縁部1/12	
7	019-04			土師器	甕	H17-E	Cy17	SD1101	—	やや密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部小片	
8	020-02			土師器	壺	H17-E	Fa16	SD1101	(口) 15.0	やや密	にぶい黄橙	10YR6/4	口縁部2/12	
9	018-05			土師器	壺	H17-E	Cy16	SD1101	(口) 16.1	やや密	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	7.5YR7/4 10YR7/4	口縁部2/12	
10	019-03			土師器	壺	H17-E	Cy17	SD1101	(口) 16.7	密	外:にぶい褐 内:にぶい橙	7.5YR6/3 7.5YR7/4	口縁部2/12	
11	020-04			土師器	壺	H17-E	Cy16	SD1101	(口) 13.4	やや密	にぶい黄橙	10YR7/2	口縁部3/12	
12	016-03			土師器	鉢	H17-E	Cy17	SD1101	(口) 15.7	やや密	にぶい黄橙	10YR6/3	口縁部5/12	
13	015-03			土師器	甕	H17-E	Fa16	SD1101	(底) 7.9	やや密	橙 黒褐	5YR7/6 10YR3/1	底部12/12	
14	015-05			土師器	甕	H17-E	Fa16	SD1101	(底) 7.8	やや密	にぶい黄橙	10YR7/4	底部6/12	
15	020-03			土師器	甕	H17-E	Cy17	SD1101	(底) 8.0	やや密	外: 灰黄褐 内:にぶい黄橙	10YR6/2 10YR6/3	底部5/12	
16	015-04			土師器	甕	H17-E	Fa16	SD1101	(底) 7.5	やや密	にぶい褐	7.5YR6/3	底部12/12	
17	016-04			土師器	壺	H17-E	Cy16	SD1101	(底) 4.1	やや密	灰黄褐	10YR5/2	底部12/12	
18	016-01			土師器	鉢	H17-E	Fa16	SD1101	(底) 3.3	やや密	にぶい黄橙	10YR7/3	底部12/12	
19	019-01			土師器	高杯	H17-E	Cy16	SD1101	(口) 4.4	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部1/12	
20	015-01			土師器	高杯	H17-E	Fa16	SD1101	(口) 27.0	密	にぶい橙	7.5YR7/4	口縁部2/12	
21	021-04			土師器	高杯	H17-E	Cy16	SD1101	(口) 22.6 (高) 18.5 (底) 13.2	密	にぶい黄橙	10YR6/3・7/4	口縁部11/12	
22	016-02			土師器	高杯	H17-E	Fa16	SD1101	(底) 12.5	やや密	褐灰 にぶい橙	7.5YR4/1 7.5YR7/4	底部9/12	
23	020-06			土製品	土玉	H17-E	Cy16	SD1101	(長) 2.9 (径) 3.1	密	灰黄褐	10YR6/2		
24	012-03			須恵器	杯身	H17-E	Fa3	SD1107	(口) 11.2	密	灰	N6/0	口縁部1/12	
25	012-04			須恵器	高杯	H17-E	Cy3	SD1107	(底) 10.0	密	灰白	N7/0	底部3/12	
26	012-05			土師器	甕	H17-E	Cy3	SD1107	(口) 17.5	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部4/12	
27	012-01			土師器	甕	H17-E	Cy2	SD1108	(口) 13.0	密	灰黄	2.5Y7/2	口縁部1/12	
28	012-02			土師器	甕	H17-E	Fa2	SD1108	(口) 12.4	密	浅黄	2.5Y7/3	口縁部1/12	
29	014-06			土師器	甕	H17-G	Gi2	SD1202	(口) 12.8	密	灰黄	2.5Y7/2	口縁部2/12	
30	014-05			土師器	甕	H17-G	Gi2	SD1202	(口) 13.3	密	灰黄	2.5YR6/2	口縁部1/12	
31	012-07			土師器	甕	H17-G	Gh2	SD1202	(口) 17.0	密	浅黄	2.5Y7/3	口縁部2/12	
32	013-01			土師器	壺	H17-G	Gh2	SD1202	(口) 14.9	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部1/12	
33	014-04			土師器	壺	H17-G	Gi2	SD1202	(口) 7.5	密	橙	5YR6/6	口縁部9/12	
34	013-04			土師器	甕	H17-G	Gh2	SD1202	(底) 7.4	密	黄灰	2.5Y6/1	脚台完存	
35	012-06			土師器	鉢	H17-G	Gg2	SD1202	(底) 5.5	密	にぶい黄橙	10YR7/3	底部完存	
36	013-02			土師器	壺	H17-G	Gh2	SD1202	(底) 6.5	密	外:にぶい橙 内: 黒褐	7.5YR6/4 2.5Y3/1	底部完存	
37	014-03			土師器	杯	H17-G	Gi2	SD1202	(口) 13.0 (高) 3.6	密	にぶい橙	7.5YR6/4	口縁部9/12	
38	014-02			土師器	杯	H17-G	Gi2	SD1202	(底) 6.8	密	灰白	5Y8/1		
39	013-05			須恵器	杯身	H17-G	Gh2	SD1202	(台) 13.3	密	灰	N6/1	台部1/12	底部に墨書あり
40	013-07			石製品	砥石	H17-G	Gh2	SD1202	(長) 11.2 (幅) 5.3	—	—	—	—	(重量) 178 g
41	013-06			土製品	土玉	H17-G	Gh2	SD1202	(長) 3.3 (径) 3.5	密	にぶい赤褐	5YR5/4	完存	(重量) 36 g
42	018-03			土師器	鍋	H17-C	Ji1	SD1006	(口) 22.0	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部2/12	
43	017-01			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	SD1006	(口) 16.2	密	灰白	5Y7/1	口縁部3/12	
44	017-04			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	SD1006	(台) 7.5	密	灰黄	2.5Y7/2	台部12/12	
45	017-02			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	SD1006	(台) 6.3	密	灰白	5Y7/1	台部7/12	
46	017-03			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	SD1006	(台) 7.1	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
47	018-04			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	SD1006	(台) 8.3	密	灰黄	2.5Y7/2	台部12/12	
48	018-02			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	SD1006	(台) 7.4	密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
49	018-01			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	SD1006	(台) 7.6	密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	底部に墨書あり
50	017-05			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	SD1006	(口) 17.8 (高) 4.6 (台) 10.2	密	灰白	5Y7/1	口縁部3/12	底部に墨書あり
51	014-01			陶器	山茶椀	H17-G	Gj2	SD1204	(口) 13.6 (高) 5.1 (底) 5.2	密	灰白	N8/0	底部8/12	
52	021-02			灰釉陶器	椀	H17-C	Jh1	SK1005	(口) 16.0	密	釉: 灰白	5Y7/1	口縁部1/12	

第５表　土器類観察表①

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
53	021-01			陶器	山皿	H17-C	Jh1	SK1005	(口) 8.1 (高) 2.4 (底) 4.0	密	灰白	N8/0	底部12/12	
54	021-03			白磁	椀	H17-C	Jh1	SK1005	(口) 16.0	密	釉: 灰白 素地: 灰黄	7.5Y7/1 2.5Y7/2	口縁部2/12	
55	022-03			須恵器	杯身	H17-E	Fa4	SE1106	(口) 12.8 (高) 5.5	密	外: 灰 内: 灰白	5Y6/1 5Y7/1	口縁部2/12	
56	022-01			須恵器	壺	H17-E	Cy4	SE1106	(口) 8.5 (高) 8.3 (底) 5.0	密	褐灰	10YR5/1・4/1	口縁部3/12	
57	022-02			土師器	甕	H17-E	Cy4	SE1106	(口) 12.6 (高) 18.0 (底) 7.0	密	にぶい黄橙 にぶい橙	10YR7/2 7.5YR7/3	口縁部7/12	
58	022-04			陶器	山茶椀	H17-E	Gl2	SD1205	(口) 12.0 (高) 4.1 (底) 4.8	密	灰白	2.5Y7/1	口縁部6/12	底部に墨書あり
59	011-01			土師器	高杯	H17-E	Gi7	包含層	(口) 27.6	密	外: 灰黄 内:にぶい黄橙	2.5Y7/2 10YR7/3	口縁部1/12	
60	022-05			土師器	壺	H17-F	-	包含層	(口) 17.2	密	外:にぶい黄橙 内: 灰白	10YR7/3 10YR8/2	口縁部4/12	
61	011-03			土師器	壺	H17-G	Gi2	包含層	(底) 5.4	密	にぶい黄橙	10YR7/4	底部12/12	
62	010-05			須恵器	杯蓋	H17-G	Go2	包含層	(口) 12.8	密	灰黄	2.5Y7/2	口縁部2/12	
63	010-02			陶器	山皿	H17-C	Ji1	包含層	(口) 7.9 (高) 1.95 (底) 4.3	密	灰白	N7/0	底部6/12	
64	010-03			陶器	山皿	H17-C	Ji1	包含層	(口) 7.9 (高) 2.0 (底) 4.2	密	灰白	5Y7/1	口縁部4/12	
65	011-02			陶器	山皿	H17-A	Bq3	包含層	(口) 8.1 (高) 2.1 (底) 4.5	密	外:にぶい橙 内: 灰白	7.5YR6/4 N8/0	底部12/12	
66	010-01			陶器	山皿	H17-C	Ji1	包含層	(口) 8.5 (高) 1.9 (底) 4.5	密	灰白	N7/0	底部12/12	
67	010-08			陶器	山皿	H17-A	Bp2	包含層	(口) 8.8 (底) 4.3	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 5Y7/1	口縁部4/12	
68	010-04			陶器	小椀	H17-C	Ji1	包含層	(口) 9.0 (高) 2.7 (台) 4.1	密	外: 灰白 内: 灰オリーブ	N7/0 7.5YR6/2	底部4/12	
69	009-06			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	包含層	(台) 8.3	密	灰白	N7/0	台部9/12	
70	009-02			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	包含層	(台) 7.3	密	灰白	5Y7/1	台部3/12	
71	010-07			陶器	山茶椀	H17-A	Bq3	包含層	(台) 7.4	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y8/1	台部9/12	
72	009-01			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	包含層	(台) 7.4	密	灰白	5Y7/1	台部3/12	
73	010-06			陶器	山茶椀	H17-D	Ea11	包含層	(台) 9.2	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y7/1 5Y8/1	台部6/12	
74	009-03			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	包含層	(台) 7.7	密	外: 灰白 内: 灰	N7/0 N6/0	台部12/12	
75	009-04			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	包含層	(台) 8.2	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 5Y7/1	台部4/12	
76	009-07			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	包含層	(口) 14.9 (高) 5.5 (台) 7.0	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 7.5Y7/1	台部12/12	
77	009-05			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	包含層	(口) 14.4 (高) 5.1 (台) 8.2	密	灰白	N7/0	台部12/12	
78	011-04			陶器	山茶椀	H17-C	Ji1	包含層	(台) 7.1	密	灰白	N7/0	台部12/12	底部に墨書あり
79	011-05			陶器	山皿	H17-B	Bv1	包含層	(底) 4.9	密	灰白	2.5Y8/2	底部11/12	底部に墨書あり
80	011-06			打製石器	削器	H17-A	Bp1	包含層	(長) 5.4 (幅) 2.6	-	—	-		(重さ) 12.24g
81	041-03			土師器	蓋or脚部	H18	B1	SD1513	(底) 9.0	密	褐灰	10YR4/1	底部2/12	
82	042-07			土師器	甕	H18	A15	SD1524	(底) 8.6	密	にぶい橙	5YR6/4	底部3/12	
83	042-01			土師器	甕	H18	A12 ・13	SD1516	(口) 15.7	密	にぶい黄橙	10YR7/2	口縁部2/12	
84	042-03			土師器	高杯	H18	A11	SD1516	(頸) 3.2	密	灰白	2.5Y8/2	頸部9/12	
85	042-02			土師器	壺	H18	A12 ・13	SD1516	(底) 7.3	密	橙	5YR6/8	底部12/12	
86	042-05			土師器	甕	H18	A9 ～11	SD1518	—	密	灰黄	2.5Y7/2	口縁部小片	
87	042-06			土師器	甕	H18	A9	SD1518	(口) 14.0	密	にぶい黄橙	10YR6/4	口縁部2/12	
88	036-06			土師器	壺	H18	A1	SK1507	—	やや密	橙	5YR7/6	小片	
89	036-07			土師器	高杯	H18	A1	SK1507	(頸) 3.5	やや密	にぶい橙	7.5YR7/4	頸部10/12	
90	044-05			土師器	高杯	H18	A27・ 28	SZ1526	(頸) 4.0	やや密	外: 橙 内: 浅黄橙	5YR6/6 10YR8/3	頸部	

第６表　土器類観察表②

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
91	044-04			土師器	高杯	H18	A27・28	SZ1526	(頸) 2.7	やや密	明褐灰	5YR5/6	頸部	
92	035-07			土師器	皿	H18	Q1	SD1504	(口) 13.7 (高) 2.1	密	灰白	2.5Y8/2	口縁部12/12	
93	037-03			陶器	山茶椀	H18	L・M・N1	SD1506	(台) 7.8	密	灰白	N8/0	台部2/12	
94	037-02			弥生土器	壺or甕	H18	L・M・N1	SD1506	—	やや密	明褐灰	7.5YR7/2	底部小片	
95	037-01			弥生土器	壺or甕	H18	L・M・N1	SD1506	—	やや密	にぶい橙	7.5YR6/4	底部小片	
96	037-04			陶器	甕	H18	L・M・N1	SD1506	—	密	灰白	N6/0	口縁部小片	常滑製品
97	035-08			土師器	鍋	H18	O・P1	SD1505	—	やや密	外: 褐灰 内:にぶい黄橙	5YR4/1 10YR7/2	口縁部小片	南伊勢系
98	036-01			土師器	甕	H18	A1	SK1508	—	やや密	灰白	10YR8/2	口縁部小片	南伊勢系
99	036-03			陶器	山皿	H18	A4・5	SD1511	(口) 8.2 (底) 5.1	密	灰白	7.5Y7/1	口縁部2/12	
100	036-02			陶器	山茶椀	H18	A4・5	SD1511	(台) 6.8	密	灰白	5Y7/1	台部5/12	
101	035-05			土師器	皿	H18	B1	SD1502	(口) 7.8 (高) 0.9	やや密	浅黄橙	7.5YR8/3	口縁部2/12	
102	035-03			陶器	山皿	H18	B1	SD1502	(口) 8.4 (高) 1.5 (底) 6.2	密	灰白	2.5Y8/2	口縁部2/12	
103	035-04			陶器	小椀	H18	B1	SD1502	(台) 4.2	密	外: 灰白 内: 灰オリーブ	5Y7/1 7.5Y6/2	台部6/12	
104	035-02			陶器	山茶椀	H18	B1	SD1502	(台) 7.2	密	灰白	N7/0	台部5/12	
105	035-01			陶器	片口鉢	H18	B1	SD1502	(台) 11.7	やや密	灰黄	2.5Y6/2	台部2/12	
106	035-06			土師質	土錘	H18	B1	SD1502	(長) 7.3 (幅) 3.4	やや密	浅黄橙	7.5YR8/3		(重さ) 82ｇ
107	038-01			陶器	山茶椀	H18	A5	SD1512	(口) 14.0 (高) 5.8	密	外: 灰黄 内: 灰白	2.5Y7/2 2.5Y7/1	台部4/12	
108	038-03			陶器	片口鉢	H18	A5	SD1512	—	密	外: 褐灰 内: 灰褐	7.5YR6/1 7.5YR5/2	口縁部小片	常滑製品
109	041-02			陶器	山茶椀	H18	B1	SD1513	(台) 6.5	密	灰白	2.5Y7/1	台部1/12	
110	041-01			陶器	片口鉢	H18	B1	SD1513	—	密	にぶい赤褐 褐灰	5YR5/3 5YR5/1	口縁部小片	
111	042-04			土師器	皿	H18	A10・11・12	SD1515	(口) 8.0 (高) 1.1	密	灰白	5Y7/1	口縁部2/12	
112	041-04			土師器	皿	H18	A6	SD1514	—	密	灰白	10YR8/2	口縁部小片	
113	041-05			陶器	山茶椀	H18	A6	SD1514	(口) 15.6 (高) 5.7 (台) 7.0	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	底部に墨書あり
114	044-02			陶器	山茶椀	H18	A37	SD1528	—	密	灰白	7.5Y7/1	台部小片	
115	045-04			土師器	皿	H18	A12	SD1523	(口) 8.5 (高) 1.0	やや密	灰白	10YR8/2	口縁部3/12	
116	045-03			陶器	山茶椀	H18	A12	SD1523	(台) 5.9	やや密	灰白	N8/0	台部6/12	
117	045-01			陶器	山茶椀	H18	A12	SD1523	(底) 5.2	やや密	灰白	5Y7/1	底部5/12	
118	045-05			陶器	片口鉢	H18	A12	SD1523	—	やや密	灰白	5YR5/6	口縁部小片	
119	045-02			陶器	甕	H18	A12	SD1523	—	やや密	灰白	5Y7/1	口縁部小片	
120	038-05			陶器	山茶椀	H18	A1・2	SK1509	(口) 13.4 (高) 5.6 (台) 6.2	密	灰黄	2.5YR7/2	口縁部2/12	
121	038-06			陶器	山茶椀	H18	A1・2	SK1509	(台) 8.0	密	外: 灰白 内: 灰	5Y7/1 N6/0	台部2/12	
122	038-04			陶器	山茶椀	H18	A2	SK1509	(台) 6.4	密	灰白	5Y8/1	台部5/12	
123	039-01			陶器	片口鉢	H18	A2	SK1509	—	密	外: 浅黄 内: 灰白	2.5Y7/3 5Y7/1	口縁部小片	
124	039-04			土師器	皿	H18	A3	SK1510	—	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部小片	
125	039-05			土師器	鍋	H18	A3	SK1510	—	密	外: 浅黄橙 内: 浅黄	10YR8/3 2.5Y8/3	口縁部小片	
126	040-08			陶器	山茶椀	H18	A3	SK1510	(台) 7.0	密	灰白	5Y7/1	台部2/12	
127	040-06			陶器	山茶椀	H18	A3	SK1510	(台) 6.1	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 5Y7/1	台部8/12	
128	040-05			陶器	山茶椀	H18	A3	SK1510	(台) 5.7	密	灰黄	2.5Y7/2	台部5/12	
129	040-04			陶器	山茶椀	H18	A3	SK1510	(台) 7.5	密	外: 灰白 内: 灰黄	2.5Y7/1 2.5Y6/1	台部3/12	
130	040-01			陶器	山茶椀	H18	A3	SK1510	(台) 7.2	密	灰白	5Y7/1	台部2/12	
131	040-02			陶器	山茶椀	H18	A3	SK1510	(台) 7.5	密	灰黄	2.5Y7/2	台部4/12	
132	040-07			陶器	山茶椀	H18	A3	SK1510	(底) 6.2	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y8/2 2.5Y7/1	底部3/12	
133	040-03			陶器	山茶椀	H18	A3	SK1510	(台) 7.7	密	外: 灰白 内: 灰黄	5Y7/1 2.5YR7/2	台部6/12	
134	039-02			陶器	片口鉢	H18	A3	SK1510	—	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部小片	
135	039-03			陶器	甕	H18	A3	SK1510	(底) 12.5	密	外: 黄灰 内:オリーブ灰	2.5Y4/1 10Y5/2	底部3/12	常滑製品
136	039-06			土師質	土錘	H18	A3	SK1510	(長) 5.5 (幅) 2.75	密	にぶい橙 褐灰	5YR6/4 7.5YR5/1		(重さ) 47.0ｇ

第７表　土器類観察表③

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
137	041-07			土師器	皿	H18	A7	SK1519	(口) 9.0 (高) 1.0	密	にぶい黄橙	10YR7/4	口縁部2/12	
138	041-08			土師器	杯	H18	A7	SK1519	(口) 9.0	密	にぶい橙	7.5YR7/3	口縁部2/12	
139	044-06			陶器	山茶椀	H18	A16	SK1525	(台) 8.0	やや密	灰白	5Y7/1	台部2/12	
140	041-06			土師器	甕	H18	A10	SK1517	(底) 11.0	密	外: 灰黄 内: 灰	2.5Y7/2 5Y4/1	底部3/12	
141	044-03			陶器	山茶椀	H18	A7	SK1532	(台) 7.5	密	釉:オリーブ灰 素地: 灰	10Y6/2 7.5Y6/1	台部3/12	
142	044-07			陶器	片口鉢	H18	A7	SK1532	(口) 14.2	やや密	灰白	2.5Y7/1	口縁部3/12	
143	044-01			陶器	山茶椀	H18	A8	SK1520	(口) 19.2 (台) 9.2	やや密	灰白	5Y7/1	台部5/12	
144	036-05			土師器	鍋	H18	R1	SZ1501	−	やや密	褐灰	7.5YR5/1	口縁小片	南伊勢系
145	036-04			陶器	山茶椀	H18	R1	SZ1501	(底) 7.1	密	灰白	5Y7/1	底部2/12	
146	043-08			土師器	高杯	H18	A2	包含層	(頸) 3.8	やや密	にぶい橙	7.5YR7/4	頸部12/12	
147	043-05			土師器	高杯	H18	A12	包含層	(底) 8.8	やや密	灰白	10YR8/2	底部1/12	
148	043-07			土師器	高杯	H18	A1	包含層	−	やや密	外:にぶい褐 内: 灰黄褐	7.5YR6/3 10YR6/2	底部小片	
149	043-04			土師器	高杯？	H18	A11	包含層	(底) 14.3	やや密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR6/3 10YR6/4	底部2/12	
150	043-03			土師器	甕	H18	A1	包含層	−	やや密	外: 褐灰 内:にぶい黄橙	7.5YR4/1 10YR5/3	口縁部小片	
151	043-06			土師器	壺	H18	A5	包含層	(底) 11.3	やや密	にぶい橙	7.5YR7/4	底部2/12	
152	043-02			土師器	甕	H18	A9	包含層	(口) 18.3	やや密	にぶい黄橙	10YR7/2	口縁部2/12	
153	047-07			須恵器	杯蓋	H18	N1	包含層	−	密	灰	N6/0	口縁部小片	
154	046-03			陶器	小椀	H18	A5	包含層	(台) 5.6	密	灰白	5Y7/1・8/1	台部7/12	
155	046-02			陶器	小椀	H18	A3	包含層	(台) 5.3	密	灰白	N8/0	台部11/12	
156	046-06			陶器	山茶椀	H18	X1	包含層	(台) 7.7	密	灰白	2.5Y7/1	台部9/12	
157	046-04			陶器	山茶椀	H18	A11	包含層	(台) 6.5 ～7.0	密	灰白	2.5Y7/1	台部6/12	
158	046-05			陶器	鉢	H18	A2	包含層	−	密	灰黄	2.5Y6/2		
159	046-01			陶器	鉢	H18	B1	包含層	(口) 28.0	密	灰白	2.5Y7/1	口縁部1/12	
160	047-03			陶器	折縁鉢	H18	U1	包含層	−	密	釉:にぶい橙 素地: 灰黄	2.5Y6/4 2.5Y7/2		
161	047-01			陶器	鉢	H18	A10	包含層	(口) 9.3	密	灰白	5Y7/1	口縁部1/12	
162	047-05			白磁	口禿皿	H18	A11	包含層	−	密	釉: 明緑灰 浅黄	7.5YG8/1 2.5Y7/3	底部小片	
163	047-02			陶器	折縁 小皿	H18	D1	包含層	(底) 4.2	密	釉: 浅黄 素地: 浅黄	5Y7/3 2.5Y7/3	底部5/12	
164	047-04			陶器	椀	H18	I1	包含層	(台) 3.8	密	釉:オリーブ灰 素地: 灰白	10YR6/2 5Y7/2	台部3/12	
165	047-08			陶器	椀	H18	D1	包含層	−	密	釉: 灰白	2.5Y8/2・7/1		
166	048-01			陶器	椀	H18	B1	包含層	(径) 4.7	密	釉: 黒褐 素地: 灰黄褐	10YR2/2 10YR6/2		(重量) 32g 加工円盤
167	043-01			土製品	土錘	H18	K1	包含層	(長) 4.2 (幅) 1.2	やや密				(重量) 5.11g
168	048-02			石製品	砥石	H18	A11	包含層	(長) 9.5 (幅) 9.0 (厚) 1.9	−	―	−	―	(重量) 222g
169	205-01			弥生 土器	壺	S54-A	B13 ・14	SK208	(口) 15.4	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部2/12	
170	203-01			弥生 土器	壺	S54-A	B13	SK208	(口) 49.0	密	橙 にぶい黄橙	5YR6/6 10YR7/2	口縁部4/12	
171	217-01	2	2	弥生 土器	壺	S54-A	B13 ・14	SK208	(口) 27.8	密	外:にぶい褐 内:にぶい黄橙	7.5YR6/3 10YR7/2	口縁部3/12	
172	204-01			弥生 土器	壺	S54-A	A21	SK208	(体) 33.0	密	外: 黄灰 内:にぶい黄橙	2.5Y4/1 10YR8/3	体部2/12	
173	205-03			弥生 土器	甕	S54-A	B13 ・14	SK208	−	密	外:にぶい褐 内: 褐灰	7.5YR6/3	口縁部小片	
174	205-04			弥生 土器	甕	S54-A	A21	SK208	−	密	外: 灰黄褐 内: 褐灰	10YR6/2 10YR6/1	口縁部小片	
175	205-02			弥生 土器	甕	S54-A	B13 ・14	SK208	(口) 20.2	密	外: 灰黄褐 内: 暗灰黄	10YR5/2 2.5Y5/2	口縁部2/12	
176	205-05			弥生 土器	甕	S54-A	B13 ・14	SK208	−	密	にぶい赤褐	5YR5/3	口縁部小片	
177	203-02			弥生 土器	甕	S54-A	B13	SK208	(口) 26.0	密	にぶい橙	7.5YR6/4	口縁部2/12	
178	217-02		46	弥生 土器	甕	S54-A	B13 ・14	SK208	(口) 23.8	密	外:にぶい橙 内: 橙	5YR6/4 5YR7/8	口縁部2/12	
179	216-03			弥生 土器	甕	S54-A	B9	SK208	(口) 28.0	密	橙	2.5YR6/8	口縁部2/12	
180	204-04			弥生 土器	壺or 甕	S54-A	G6	SK208	(底) 6.4	密	外:にぶい橙 内:にぶい黄	7.5YR7/4 2.5Y6/3	底部5/12	
181	204-03			弥生 土器	壺or 甕	S54-A	B13	SK208	(底) 6.4	密	外:にぶい黄橙 内: 灰	10YR7/3 N4/0	底部8/12	
182	203-03			弥生 土器	壺or 甕	S54-A	B13	SK208	(底) 6.4	密	にぶい橙	7.5YR6/4	底部12/12	

第８表　土器類観察表④

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
183	204-02			弥生土器	壺or甕	S54-A	B13	SK208	(底) 7.5	密	外:にぶい褐 内: 橙	7.5YR5/3 5YR6/6	底部12/12	
184	199-07			土師器	杯	S54-B		SD302	(口) 13.0	密	外:にぶい橙 内: 橙	7.5YR6/4 5YR6/6	口縁部3/12	
185	199-06			土師器	鉢	S54-B		SD302	(口) 12.0	密	にぶい赤褐	5YR5/4	口縁部3/12	
186	200-03			土師器	鉢	S54-B		SD302	(口) 11.8 (高) 5.9	密	橙	5YR6/6	口縁部9/12	
187	200-02			土師器	鉢	S54-B		SD302	(口) 13.2	密	外: 灰白 内:にぶい橙	10YR8/2 5YR7/4	口縁部3/12	
188	199-05			土師器	高杯	S54-B		SD302	(口) 14.2	密	外: 橙 内: 橙	5YR6/6 5YR7/6	口縁部3/12	
189	199-03			土師器	高杯	S54-B		SD302	(口) 14.2	密	橙	5YR6/6	口縁部3/12	
190	199-02			土師器	高杯	S54-B		SD302	(口) 14.7	密	橙	5YR6/6	口縁部8/12	
191	200-01			土師器	高杯	S54-B		SD302	(口) 20.6	密	橙	5YR6/6	口縁部2/12	
192	197-02			土師器	高杯	S54-B		SD302	(底) 8.9	密	外: 橙 内: 橙	2.5YR6/6 2.5YR7/6	底部2/12	
193	197-01			土師器	高杯	S54-B		SD302	(底) 9.5	密	橙	2.5YR7/6	底部6/12	
194	196-02			土師器	高杯	S54-B		SD302	(底) 8.9	密	橙	2.5YR6/8	底部10/12	
195	196-04			土師器	高杯	S54-B		SD302	(底) 8.8	密	橙	5YR7/6	底部5/12	
196	196-05			土師器	高杯	S54-B		SD302	(底) 9.1	密	橙	5YR6/6	底部9/12	
197	196-01			土師器	高杯	S54-B		SD302	(底) 9.2	密	外: 橙 内:にぶい橙	5YR7/6 5YR7/4	底部6/12	
198	196-03			土師器	高杯	S54-B		SD302	(底) 8.4	密	にぶい橙	10YR6/4	底部12/12	
199	198-01			土師器	甑	S54-B		SD302	(口) 22.0 (高) 24.1 (底) 11.7	密	外: 橙 内: 浅黄橙	5YR7/6 7.5YR8/4	口縁部8/12	
200	199-01			土師器	甕	S54-B		SD302	(口) 17.3	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部3/12	
201	199-04			土師器	甕	S54-B		SD302	(底) 10.0	密	にぶい褐	7.5YR6/3	底部4/12	
202	200-04			土師器	甕	S54-B		SD302	(口) 10.7 (高) 10.4	密	にぶい橙	7.5YR6/4	口縁部12/12	
203	197-03			土製品	土錘	S54-B		SD302	(長) 8.95 (幅) 3.8	密	灰黄褐	10YR6/2	重量 114.69g	
204	197-04			土製品	土錘	S54-B		SD302	(長) 4.65 (幅) 1.1	密	橙	5YR6/6	重量 5.22g	
205	195-03			須恵器	杯蓋	S54-B		SD302	(口) 12.0	密	灰	N6/0	口縁部3/12	
206	053-01			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口) 9.7	やや粗	黄灰	2.5Y5/1	口縁部3/12	
207	053-04			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口) 10.2	やや粗	灰	5Y6/1	口縁部2/12	
208	052-04			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口) 12.3	やや密	灰	5Y5/1	口縁部2/12	
209	052-07			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口) 10.3	やや粗	灰	7.5Y6/1	口縁部1/12	
210	052-06			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口) 12.6	やや粗	灰	5Y6/1	口縁部1/12	
211	195-06			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口) 11.2	密	灰	N5/0	口縁部2/12	
212	195-01			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口)11.6	密	灰	N6/0	口縁部1/12	
213	053-02			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口)10.9	密	灰	5Y5/1	口縁部1/12	
214	053-03			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口)10.1	密	灰	N5/0	口縁部1/12	
215	195-04			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口) 11.2	密	灰	N6/0	口縁部1/12	
216	195-05			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口) 11.2	密	灰	7.5Y6/1	口縁部2/12	
217	195-02			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口) 12.0	密	灰	N6/0	口縁部2/12	
218	052-05			須恵器	杯身	S54-B		SD302	(口) 11.8	やや粗	灰	N4/0	口縁部1/12	
219	052-01			須恵器	高杯	S54-B		SD302	(口) 17.6	やや密	灰	5Y5/1	口縁部3/12	
220	052-03			須恵器	壺	S54-B		SD302	(口) 10.6	やや密	灰白	2.5Y7/1	口縁部5/12	
221	052-02			須恵器	甕	S54-B		SD302	(口) 17.0	密	灰黄	2.5Y7/2	口縁部1/12	
222	145-03			土師器	壺	S54-C	01	SD405	(口) 34.5	密	褐灰	10YR4/1	口縁部1/12	
223	145-02			土師器	壺	S54-C	02	SD405	(口) 18.6	密	にぶい黄橙	7.5YR7/4	口縁部3/12	
224	146-01			土師器	壺	S54-C	06	SD405	(口) 17.2	密	浅黄	2.5YR7/3	口縁部2/12	
225	146-02			土師器	壺	S54-C	01	SD405	—	密	にぶい黄橙	10YR6/3	口縁部小片	
226	144-03			土師器	壺	S54-C	V17	SD405	(口) 20.8	密	外:にぶい黄橙 内: 灰白	2.5Y8/2	口縁部1/12	
227	144-05			土師器	壺	S54-C	P18	SD405	(口) 16.1	密	外: 灰黄褐 内:にぶい黄橙	10YR6/2 10YR7/2	口縁部5/12	
228	144-06			土師器	甕	S54-C	01	SD405	—	密	にぶい黄橙	10YR6/3	口縁部小片	
229	145-04			土師器	甕	S54-C	02	SD405	(底) 6.5	密	外:にぶい黄橙 内: 黄灰	10YR7/3 2.5Y4/1	底部12/12	
230	146-05			土師器	甕	S54-C	02	SD405	(底) 7.1	密	にぶい黄橙 黄灰	10YR6/4 2.5Y5/1	底部12/12	
231	146-04			土師器	甕	S54-C	02	SD405	(底) 7.5	密	にぶい黄橙 にぶい橙	10YR7/3 7.5YR6/4	底部9/12	
232	142-01			土師器	甕	S54-C	02	SD405	(底) 12.2	密	外:にぶい橙 内: 浅黄橙	5YR7/4 10YR8/3	底部12/12	
233	146-03			土師器	甕	S54-C	V17	SD405	(底) 5.8	密	外: 黄灰 内:にぶい黄橙	2.5Y5/1 10YR7/3	底部12/12	
234	145-05			土師器	壺	S54-C	02	SD405	(底) 5.3	密	にぶい黄橙	10YR7/3	底部12/12	
235	145-01			土師器	甕	S54-C	P19	SD405	(口) 24.3	密	にぶい黄橙	10YR6/3	口縁部2/12	

第９表　土器類観察表⑤

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
236	146-06			土師器	高杯	S54-C	P19	SD405	(底) 10.0	密	にぶい黄橙	10YR7/3	底部3/12	
237	144-02			須恵器	杯蓋	S54-C	P24	SD405	(口) 13.0	密	灰	N6/0	口縁部2/12	
238	142-03			須恵器	杯蓋	S54-C	V17	SD405	(口) 14.5 (高) 4.5	密	灰	N5/0	口縁部3/12	
239	143-05			須恵器	杯蓋	S54-C	V20	SD405	(口) 13.7 (高) 4.2	密	灰	N6/0	口縁部4/12	
240	142-04			須恵器	杯蓋	S54-C	V17	SD405	(口) 14.2 (高) 6.3	密	灰	5Y4/1	口縁部12/12	
241	142-02			須恵器	杯蓋	S54-C	V16	SD405	(口) 9.8 (高) 3.3	密	暗青灰	5PB4/1	口縁部6/12	
242	143-07			須恵器	杯蓋	S54-C	V12	SD405	(口) 11.0 (高) 2.0	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 N5/0	口縁部2/12	
243	143-02			須恵器	杯身	S54-C	V17	SD405	(口) 13.8 (高) 5.5	密	外: 灰白 内: 灰	N7/0 10Y6/1	口縁部12/12	
244	144-01			須恵器	杯身	S54-C	V17	SD405	(口) 13.2	密	黄灰	2.5Y5/1	口縁部1/12	
245	143-04			須恵器	杯身	S54-C	V17	SD405	(口) 12.6	密	灰白	N7/0	口縁部4/12	
246	143-01			須恵器	杯身	S54-C	V17	SD405	(口) 12.2 (高) 4.8	密	灰	N7/0	口縁部12/12	
247	143-03			須恵器	杯身	S54-C	U25	SD405	(口) 11.7 (高) 4.2	密	灰	N6/0	口縁部4/12	
248	143-06			須恵器	杯身	S54-C	V17	SD405	(口) 9.0 (高) 3.3	密	灰白	N7/0	口縁部4/12	
249	144-04			須恵器	甕	S54-C	P18	SD405	(口) 19.0	密	灰	5Y6/1	口縁部1/12	
250	142-05			土製品	土玉	S54-C	V16	SD405	(長) 3.6 (径) 4.1	密	灰白	10YR8/2	完存	(重さ)58.14g
251	224-07			陶器	山茶椀	S54-A	A14	SD202	(口) 15.0 (高) 4.8 (台) 6.3	密	灰白	5Y7/1	台部3/12	
252	224-05			陶器	山茶椀	S54-A	A24	SD202	(台) 7.8	密	灰白	2.5Y7/1	台部5/12	
253	224-03			陶器	山茶椀	S54-A	A24	SD202	(台) 6.6	密	灰白	N8/0	台部8/12	
254	224-02			陶器	山茶椀	S54-A	A24	SD202	(台) 6.7 ～7.1	密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
255	224-01			陶器	山茶椀	S54-A	H9	SD202	(台) 5.5	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
256	224-06			陶器	山茶椀	S54-A	A24	SD202	(台) 6.8	密	灰白	2.5Y7/1	台部5/12	
257	224-04			陶器	山茶椀	S54-A	A24	SD202	(台) 6.8	密	灰白	5Y7/1	台部8/12	底部に墨書あり
258	224-09			陶器	山皿	S54-A	A24	SD202	(口) 7.8 (高) 1.9 (底) 4.2	密	灰白	N8/0	底部7/12	
259	224-08			陶器	山皿	S54-A	A24	SD202	(口) 8.4 (高) 2.1 (底) 4.5	密	灰白	N8/0	底部12/12	
260	225-01			陶器	縁釉小皿	S54-A	A9	SD202	(口) 9.4 (高) 1.9 (底) 5.0	密	釉: 褐 素地: 灰白	7.5Y4/3 5Y7/1	底部3/12	
261	225-02			陶器	天目茶椀	S54-A	H9	SD202	(口) 12.4 (高) 6.5 (台) 3.9	密	釉: 灰褐・黒 素地: 灰白	7.5Y4/2 2.5Y7/1	台部12/12	
262	225-03			陶器	折縁深皿	S54-A	H9	SD202	(口) 25.6	密	釉: 灰黄 素地: 灰白	2.5Y7/2 2.5Y8/1	口縁部1/12	古瀬戸後Ⅱ期
263	225-05			陶器	片口鉢	S54-A	A24	SD202	(台) 15.0	密	灰白	5Y7/1		
264	225-04			土師器	羽釜	S54-A	H9	SD202	(口) 27.5	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部2/12	南伊勢系
265	210-04			土師器	皿	S54-A	D2	SK203	(口) 12.8 (高) 2.6	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部6/12	
266	209-03			陶器	山茶椀	S54-A	D17	SD217	(台) 5.2	密	灰白	N8/0	台部11/12	
267	209-06			陶器	山茶椀	S54-A	D17	SD217	(台) 8.6	密	灰白	N8/0	台部4/12	
268	209-01			陶器	片口鉢	S54-A	D17	SD217	(口) 39.8 (高) 12.2 (底) 15.5	密	橙 赤灰	2.5YR6/6 2.5YR5/1	底部5/12	
269	209-02			陶器	壺	S54-A	D17	SD217	(口) 9.6 (頸) 9.0				頸部3/12	
270	209-05			土師器	羽釜	S54-A	D17	SD217	(口) 18.0	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部2/12	
271	054-04			陶器	山皿	S54-A	C19	SD221	(口) 8.3 (高) 2.0 (底) 4.1	密	黄灰	2.5Y6/1		
272	054-02			陶器	山茶椀	S54-A	C18	SD221	(台) 7.3	密	灰白	5Y7/1	底部12/12	
273	054-01			陶器	山茶椀	S54-A	C19	SD221	(口) 15.9 (高) 5.15 (台) 7.2	密	灰白	2.5Y7/1	口縁部8/12	
274	054-05			陶器	山茶椀	S54-A	C18	SD221	(口) 15.3 (高) 4.7 (台) 6.4	密	灰白	2.5Y7/1	口縁部3/12	
275	054-03			陶器	山茶椀	S54-A	C18	SD221	(口) 16.9 (高) 5.2 (台) 7.5	密	灰白	5Y8/1	口縁部7/12	
276	054-06			陶器	山茶椀	S54-A	C18	SD221	(台) 7.5	密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
277	054-08			陶器	山茶椀	S54-A	C18	SD221	(台) 6.7	密	灰白	2.5Y7/1	台部6/12	
278	054-07			陶器	山茶椀	S54-A	C18	SD221	(底) 6.2	密	灰白	2.5Y7/1	底部7/12	

第10表　土器類観察表⑥

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
279	214-01			陶器	山茶椀	S54-A	B5	SD209	(口) 14.3 (高) 5.2 (台) 6.6	密	灰白	5Y7/1	口縁部2/12	尾張型 第６型式
280	214-02			陶器	山茶椀	S54-A	B14	SD209	(台) 7.4	密	灰白	2.5Y7/1	底部7/12	渥美型 第６型式
281	213-05			陶器	山茶椀	S54-A	B19	SD209	(台) 6.8	密	灰白	2.5Y7/1	底部6/12	尾張型 第５型式
282	213-07			陶器	山茶椀	S54-A	B9	SD209	(台) 9.2	密	灰白	2.5Y8/2	底部4/12	尾張型 第４型式
283	213-04			陶器	山茶椀	S54-A	B5	SD209	(台) 7.6	密	灰黄	2.5Y7/2	底部3/12	尾張型 第３型式
284	214-05			陶器	山茶椀	S54-A	B5	SD209	(台) 8.0	密	灰白	2.5Y7/1	底部6/12	尾張型 第３型式
285	214-04			陶器	山茶椀	S54-A	B5	SD209	(台) 6.6	密	灰白	5Y7/1	底部6/12	尾張型 第６型式
286	213-08			陶器	山茶椀	S54-A	B14	SD209	(台) 7.8	密	灰黄	2.5Y7/2	底部10/12	渥美型 第５型式
287	214-03			陶器	山茶椀	S54-A	B5	SD209	(台) 8.8	密	灰黄	2.5Y7/2	底部3/12	尾張型 第５型式
288	213-06			陶器	山茶椀	S54-A	B5	SD209	(台) 7.3	密	灰白	5Y7/1	底部12/12	渥美型 第５型式
289	214-06			陶器	山茶椀	S54-A	B24	SD209	(台) 7.1	密	灰黄	2.5Y6/2	底部6/12	尾張型 第６型式
290	214-07			陶器	山茶椀	S54-A	B5	SD209	(台) 7.0	密	灰黄	2.5Y7/2	底部7/12	尾張型 第６型式
291	213-03			陶器	山茶椀	S54-A	B24	SD209	(台) 7.0 ～7.5	密	灰	5Y6/1	底部12/12	尾張型 第５型式
292	213-09			陶器	山茶椀	S54-A	B19	SD209	(台) 7.0	密	灰白	N7/0	底部12/12	尾張型 第６型式
293	214-08			陶器	小碗	S54-A	B4	SD209	(口) 9.2 (高) 2.6 (台) 5.4	密	灰白	N7/0	底部12/12	尾張型 第４型式
294	213-01			陶器	片口鉢	S54-A	B24	SD209	(台) 14.1	密	灰白	2.5Y7/1	底部3/12	尾張型 第６型式
295	213-02			陶器	片口鉢	S54-A	B9	SD209	(台) 11.4	密	灰白	2.5Y7/1	底部4/12	尾張型 第５型式
296	215-02			陶器	壺	S54-A	B19	SD209	(口) 18.0 (頸) 9.8	密	灰	N6/0	頸部3/12	
297	216-01			陶器	甕	S54-A	H8	SD209	(口) 19.0	密	外: 灰白 内:にぶい赤褐	2.5Y7/1 2.5YR5/3	口縁部3/12	常滑
298	216-02			陶器	甕	S54-A	B16	SD209	－	密	黄灰	2.5Y6/1	口縁部小片	常滑
299	215-01			陶器	片口鉢	S54-A	B19	SD209	(口) 30.0 (高) 10.4 (底) 13.6	密	外:にぶい橙 内: 灰赤	2.5YR6/4 10R5/2	口縁部3/12	常滑
300	215-04			青磁	椀	S54-A	B19	SD209	(台) 5.9	密	釉:オリーブ灰 素地: 灰白	2.5GY6/1 N8/0	台部3/12	龍泉窯系
301	215-03			白磁	椀	S54-A	B24	SD209	－	密	釉: 灰白 素地: 灰白	7.5Y7/1 7.5Y8/1	口縁部小片	太宰府２類
302	221-06			土師器	皿	S54-A	B9	SD209	(口) 10.0 (高) 0.8	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部1/12	
303	221-05			土師器	皿	S54-A	B24	SD209	(口) 11.2 (高) 1.8	密	にぶい橙	7.5YR7/4	口縁部5/12	
304	221-03			土師器	鍋	S54-A	B24	SD209	(口) 26.6	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部2/12	南伊勢系
305	221-01			土師器	鍋	S54-A	－	SD209	(口) 31.0	密	灰白	10YR8/2	頸部2/12	南伊勢系
306	221-04			土師器	鍋	S54-A	B24	SD209	－	密	灰白	2.5Y8/2	口縁部小片	南伊勢系
307	221-02			土師器	鍋	S54-A	B4	SD209	(口) 26.8	密	灰褐	7.5YR6/2	口縁部2/12	南伊勢系
308	211-06			土師器	羽釜	S54-A	B19	SD209	－	密	灰黄褐	10YR6/2	口縁部小片	中北勢系
309	219-04			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	－	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部小片	中北勢系
310	211-05			土師器	羽釜	S54-A	B19	SD209	－	密	灰黄褐	10YR6/2	口縁部小片	中北勢系
311	211-04			土師器	羽釜	S54-A	B9	SD209	－	密	灰白	10YR8/2	口縁部小片	中北勢系
312	212-02			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	－	密	外:にぶい橙 内: 浅黄橙	7.5YR7/3 10YR8/3	口縁部小片	中北勢系
313	219-05			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	－	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部小片	中北勢系
314	219-01			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	(口) 22.8	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部4/12	中北勢系
315	220-02			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	(口) 22.0	密	灰白	10YR8/2	口縁部6/12	中北勢系
316	210-03			土師器	羽釜	S54-A	B19	SD209	(口) 23.6	密	灰白	10YR8/1	口縁部2/12	中北勢系
317	218-04			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	(口) 24.0	密	灰白	10YR8/2	口縁部3/12	中北勢系
318	211-02			土師器	羽釜	S54-A	B14	SD209	(口) 18.0	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部3/12	中北勢系
319	219-03			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	(口) 23.7	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部2/12	中北勢系
320	210-01			土師器	羽釜	S54-A	B19	SD209	(口) 22.8	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部11/12	中北勢系
321	218-03			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	(口) 26.0	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部3/12	中北勢系
322	211-01			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	(口) 19.2	密	にぶい黄橙	10YR7/2	口縁部3/12	中北勢系
323	211-03			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	(口) 22.4	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部1/12	中北勢系
324	212-01			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	(口) 20.0	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部2/12	中北勢系
325	218-02			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	(口) 30.6	密	灰白	10YR8/2	口縁部1/12	中北勢系
326	219-02			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	(口) 26.7	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部3/12	中北勢系
327	218-01			土師器	羽釜	S54-A	B24	SD209	(口) 26.0	密	灰白	2.7Y8/1	口縁部1/12	南伊勢系
328	210-02			土師器	羽釜	S54-A	B4	SD209	(口) 30.2	密	灰白	2.7Y8/2	口縁部1/12	南伊勢系
329	220-03			土師器	甕	S54-A	B19	SD209	(口) 31.2	密	黄灰	2.5Y5/1	口縁部2/12	
330	220-01			土師器	茶釜	S54-A	B24	SD209	(口) 14.6 (鍔) 27.7	密	外: 橙 内:にぶい黄橙	5YR6/6 10YR7/3	鍔部3/12	
331	207-07			陶器	山茶椀	S54-A	D7	SD223	(口) 12.9 (高) 5.1 (底) 5.5	密	灰白	2.5Y7/1	底部8/12	
332	208-04			陶器	山茶椀	S54-A	D7	SD223	(台) 7.2	密	灰白	5Y7/1	台部11/12	
333	207-04			陶器	山茶椀	S54-A	D12	SD223	(台) 8.2	密	灰白	5Y7/1	台部7/12	

第11表　土器類観察表⑦

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
334	207-05			陶器	山茶椀	S54-A	D2	SD223	(台) 8.0	密	灰白	5Y7/1	台部5/12	
335	207-06			陶器	山茶椀	S54-A	D7	SD223	(台) 4.8	密	灰白	2.5Y8/1	台部1/12	
336	208-06			陶器	甕	S54-A	D7	SD223	－	密	外:にぶい赤褐 内:灰黄褐	5YR5/3 10YR5/2	口縁部小片	常滑製品
337	208-05			陶器	片口鉢	S54-A	D2	SD223	－	密	灰黄	2.5Y6/2	口縁部小片	尾張型 第５型式
338	208-03			陶器	片口鉢	S54-A	D12	SD223	(台) 13.3	密	灰白	2.5Y7/1	台部1/12	尾張型 第５型式
339	207-03			土師器	皿	S54-A	D2	SD223	(口) 9.8 (高) 2.0	密	浅黄橙 にぶい橙	7.5YR8/3 7.5YR6/4	口縁部3/12	
340	207-02			土師器	皿	S54-A	D2	SD223	(口) 10.7 (高) 2.4	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部2/12	
341	207-01			土師器	皿	S54-A	D7	SD223	(口) 11.1 (高) 1.8	密	浅黄橙	7.5YR8/4	口縁部2/12	
342	208-07			土師器	羽釜	S54-A	D12	SD223	－	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部小片	中北勢系
343	208-02			土師器	羽釜	S54-A	D12	SD223	(口) 20.3	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部2/12	中北勢系
344	208-01			土師器	羽釜	S54-A	D12	SD223	(口) 19.8	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部2/12	中北勢系
345	209-04			土師器	羽釜	S54-A	C15	SD220	(口) 20.4	密	にぶい黄橙	10YR7/2	口縁部2/12	中北勢系
346	061-10			須恵器	杯身	S54-B	G10	SD305	(口) 13.0	密	灰	N6/1	口縁部3/12	
347	061-08			灰釉陶器	椀	S54-B	G9	SD305	(台) 7.0	密	灰白	10Y7/1	台部2/12	
348	061-07			灰釉陶器	椀	S54-B	G9	SD305	(台) 7.6	密	灰白	2.5Y7/1	台部2/12	
349	061-06			灰釉陶器	椀	S54-B	G9	SD305	(台) 8.3	密	灰白	2.5Y7/1	台部3/12	
350	061-11			陶器	山皿	S54-B	G9	SD305	(口) 7.3 (高) 1.9 (底) 4.0	やや密	黄灰	2.5Y6/1	底部12/12	
351	061-09			陶器	山皿	S54-B	G15	SD305	(口) 8.0 (高) 1.9 (底) 4.3	やや密	黄灰	2.5Y6/1	台部12/12	
352	061-04			陶器	山茶椀	S54-B	A24	SD305	(台) 7.5	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
353	061-01			陶器	山茶椀	S54-B	G9	SD305	(台) 7.1	やや密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
354	061-05			陶器	山茶椀	S54-B	G9	SD305	(台) 6.5	粗	灰白	5Y8/1	台部12/12	
355	061-02			陶器	山茶椀	S54-B	G9	SD305	(台) 5.3	やや密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	底部に墨書あり
356	061-13			土師器	甕	S54-B	G10	SD305	(口) 15.0	密	橙	7.5YR6/6	口縁部2/12	
357	061-12			土製品	土錘	S54-B	G9	SD305	(長) 5.0 (幅) 1.3	密	橙	5YR6/6	ほぼ完存	(重さ)5.6g
358	055-12			灰釉陶器	皿	S54-B	H20	SD307	(口) 11.8 (高) 2.0 (台) 6.4	密	灰白	5Y7/2	台部12/12	
359	055-10			灰釉陶器	皿	S54-B	H20	SD307	(台) 6.8	密	灰白	5Y7/2	台部3/12	
360	055-02			灰釉陶器	椀	S54-B	H5	SD307	(台) 7.2	密	釉:オリーブ灰 素地:灰白	N7/0 2.5GY6/1	台部4/12	
361	055-01			灰釉陶器	椀	S54-B	H5	SD307	(台) 7.0	密	灰白	N7/0	台部5/12	
362	055-05			灰釉陶器	椀	S54-B	H5	SD307	(台) 6.0	密	灰白	5Y7/1	台部5/12	
363	055-04			灰釉陶器	椀	S54-B	H5	SD307	(台) 6.0	密	灰白	5Y7/1	台部2/12	
364	055-06			灰釉陶器	椀	S54-B	H15	SD307	(台) 8.0	密	灰白	5Y7/1	台部5/12	
365	055-09			灰釉陶器	椀	S54-B	H20	SD307	(台) 6.4	密	灰白	5Y7/1	台部4/12	
366	055-07			灰釉陶器	椀	S54-B	H15	SD307	(台) 9.2	密	灰白	5Y7/1	台部3/12	
367	058-02			陶器	小椀	S54-B	H5	SD307	(口) 9.2 (台) 4.2	密	灰白	5Y7/1	口縁部3/12	渥美型 第４型式
368	063-14			陶器	小椀	S54-B	H15	SD307	(口) 10.2 (底) 5.6	やや密	灰白	5Y8/1	台部6/12	
369	063-13			陶器	小椀	S54-B	H5	SD307	(口) 10.0 (台) 5.0	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
370	058-03			陶器	小椀	S54-B	H10	SD307	(口) 7.9 (台) 3.9	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
371	058-04			陶器	小椀	S54-B	H5	SD307	(口) 9.2 (台) 4.0	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	渥美型 第３型式
372	058-05			陶器	小椀	S54-B	H10	SD307	(口) 9.8 (台) 5.6	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
373	055-03			陶器	小椀	S54-B	H5	SD307	(台) 6.0	密	灰白	5Y7/1	台部3/12	
374	063-08			陶器	山皿	S54-B	I11	SD307	(口) 8.2 (底) 5.9	やや密	灰白	2.5Y7/1	口縁部12/12	尾張型 第６型式
375	063-06			陶器	山皿	S54-B	H5	SD307	(口) 8.3 (底) 3.7	やや粗	灰白	5Y7/1	底部12/12	
376	058-06			陶器	山皿	S54-B	G15	SD307	(口) 7.7 (底) 5.0	やや密	灰白	2.5Y7/1	口縁部7/12	尾張型 第３型式
377	063-11			陶器	山皿	S54-B	H5	SD307	(口) 7.9 (底) 4.8	密	灰白	2.5Y7/1	底部6/12	

第12表　土器類観察表⑧

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
378	063-09			陶器	山皿	S54-B	H20	SD307	(口) 8.1 (底) 4.5	やや密	灰白	2.5Y7/1	口縁部12/12	
379	063-05			陶器	山皿	S54-B	H11	SD307	(口) 8.0 (底) 4.3	やや密	灰白	2.5Y7/1	底部12/12	
380	063-07			陶器	山皿	S54-B	H10	SD307	(口) 8.2 (底) 4.6	密	灰白	5Y7/1	底部12/12	
381	063-04			陶器	山皿	S54-B	E25	SD307	(口) 7.9 (底) 4.2	やや密	灰白	2.5Y7/1	底部4/12	
382	063-10			陶器	山皿	S54-B	H20	SD307	(口) 7.8 (底) 4.0	やや密	灰白	5Y8/1	口縁部6/12	
383	063-12			陶器	山皿	S54-B	H5	SD307	(口) 8.1 (底) 4.5	やや密	灰白	2.5Y7/1	口縁部4/12	
384	057-05			陶器	山茶椀	S54-B	H15	SD307	(口)16.6 (高) 4.8 (台) 7.4	密	灰白	5Y7/1	台部10/12	
385	057-06			陶器	山茶椀	S54-B	E25	SD307	(口) 16.4 (高) 4.8 (台) 8.0	密	灰白	N7/0	台部6/12	
386	062-03			陶器	山茶椀	S54-B	H5	SD307	(口) 16.2 (高) 5.1 (台) 8.3	やや密	灰白	2.5YR7/1	台部5/12	
387	057-02			陶器	山茶椀	S54-B	H10	SD307	(台) 6.4	密	灰	N6/0	台部12/12	
388	062-02			陶器	山茶椀	S54-B	H5	SD307	(口) 14.1 (高) 5.2 (台) 7.0	やや密	灰白	5Y7/1	口縁部6/12	渥美型 第４型式
389	062-05			陶器	山茶椀	S54-B	H5	SD307	(口) 14.5 (高) 5.1 (台) 6.6	やや密	灰白	5Y7/1	台部7/12	
390	062-01			陶器	山茶椀	S54-B	H20	SD307	(口) 14.8 (高) 5.2 (台) 7.0	密	灰白	5Y7/1	口縁部12/12	尾張型 第６型式
391	062-04			陶器	山茶椀	S54-B	H5	SD307	(口) 15.6 (高) 4.9 (台) 7.4	密	灰白	N7/0	台部5/12	
392	063-02			陶器	山茶椀	S54-B	H5	SD307	(口) 14.2 (高) 5.1 (台) 6.6	密	灰白	2.5Y7/1	台部4/12	底部にヘラ記号あり
393	058-01			陶器	山茶椀	S54-B	H10	SD307	(口) 14.8 (高) 4.8 (台) 6.0	密	灰白	5Y7/1	台部6/12	
394	063-01			陶器	山茶椀	S54-B	H20	SD307	(口) 15.6 (高) 4.8 (台) 7.9	やや密	灰白	5Y7/1	台部4/12	
395	057-03			陶器	山茶椀	S54-B	H10	SD307	(口) 16.2 (高) 5.1 (台) 6.4	密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
396	062-08			陶器	山茶椀	S54-B	H5	SD307	(口) 15.1 (高) 4.8 (台) 7.2	やや密	灰白	2.5Y7/1	台部3/12	
397	057-01			陶器	山茶椀	S54-B	H15	SD307	(台) 7.4	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
398	057-07			陶器	山茶椀	S54-B	H5	SD307	(台) 5.4	密	灰白	N7/0	台部12/12	
399	062-07			陶器	山茶椀	S54-B	H5	SD307	(台) 5.7	密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
400	057-04			陶器	山茶椀	S54-B	H10	SD307	(台) 7.0	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
401	062-06			陶器	山茶椀	S54-B	H5	SD307	(台) 7.6	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
402	063-03			陶器	山茶椀	S54-B	H5	SD307	(口) 16.5 (高) 5.2 (台) 8.1	やや密	灰白	5Y7/1	台部12/12	底部に墨書あり
403	055-08			ロクロ土師器	杯	S54-B	H15	SD307	(口) 14.6 (高) 3.85 (底) 6.4	密	橙	7.5YR7/6	口縁部4/12	
404	056-02			土師器	鍋	S54-B	E25	SD307	(口) 27.0	やや粗	浅黄橙	10YR8/3	口縁部1/12	南伊勢系
405	056-01			土師器	鍋	S54-B	E25	SD307	(口) 32.2	粗	にぶい黄橙	10YR5/3	口縁部2/12	南伊勢系
406	055-11			土製品	土錘	S54-B	H11	SD307	(長) 3.95 (幅) 1.45	密	橙	5YR6/6	ほぼ完存	(重さ) 8.5ｇ
407	069-03			陶器	山茶椀	S54-B	I1	SD308	(口) 16.2	密	灰白	N8/0	口縁部3/12	
408	067-06			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 15.0 (高) 5.0 (台) 5.9	やや密	灰白	N7/0	台部12/12	
409	065-01			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 15.0 (高) 5.3 (台) 6.9	やや粗	灰白	N7/1	台部12/12	尾張型 第５型式
410	067-02			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 14.7 (高) 4.4 (底) 6.7	やや密	灰白	5Y7/1	底部12/12	渥美型 第６型式
411	067-05			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 14.9 (高) 5.2 (台) 6.5	やや粗	灰白	N7/0	台部12/12	
412	067-03			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 13.8 (高) 5.6 (台) 5.3	やや粗	灰白	5Y7/1	台部12/12	

第13表　土器類観察表⑨

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
413	065-04			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 15.0 (高) 4.9 (台) 6.2	やや粗	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	尾張型 第6型式
414	068-04			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 13.9 (高) 5.4 (台) 5.9	やや粗	灰白	7.5Y7/1	台部12/12	
415	067-01			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 15.8 (高) 5.4 (台) 6.3	粗	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
416	068-02			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 15.4 (高) 5.3 (台) 7.2	やや粗	灰白	2.5Y7/1	台部7/12	
417	065-06			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 14.9 (高) 5.4 (台) 5.8	粗	灰白	N7/0	台部12/12	
418	068-07			陶器	山茶椀	S54-B	I11	SD308	(口) 14.4 (高) 4.7 (台) 6.7	やや粗	灰白	7.5Y7/1	台部12/12	
419	068-01			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 15.2 (高) 5.0 (台) 5.9	やや粗	灰	5Y6/1	台部12/12	
420	068-05			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 14.4 (高) 4.7 (台) 6.4	やや粗	灰白	5Y7/1	台部6/12	
421	065-03			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 15.0 (高) 5.2 (台) 6.2	やや密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
422	068-06			陶器	山茶椀	S54-B	I11	SD308	(口) 14.4 (高) 4.5 (台) 6.8	やや粗	灰白	N6/0	台部12/12	
423	067-04			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 14.3 (高) 4.9 (台) 5.7	粗	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
424	068-08			陶器	山茶椀	S54-B	I11	SD308	(口) 14.7 (高) 5.0 (底) 5.9	粗	灰白	5Y7/1	台部6/12	
425	067-08			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 15.4 (高) 4.8 (台) 7.0	粗	灰白	2.5Y7/1	台部4/12	
426	065-02			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 15.1 (高) 5.2 (台) 6.7	やや粗	灰白	5Y7/1	台部12/12	尾張型(瀬戸窯) 第7型式
427	065-05			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(口) 14.6 (高) 4.5 (台) 5.6	粗	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
428	068-03			陶器	山茶椀	S54-B	I6	SD308	(台) 6.9	やや密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
429	067-07			陶器	山茶椀	S54-B	I1	SD308	(台) 7.9	密	灰白	N8/0	台部12/12	
430	069-06			陶器	山皿	S54-B	I6	SD308	(口) 8.3 (高) 1.8 (底) 5.4	やや粗	灰白	N7/0	口縁部12/12	
431	069-05			陶器	山皿	S54-B	I6	SD308	(口) 8.0 (高) 1.8 (底) 5.2	やや粗	灰白	N7/0	口縁部12/12	
432	069-08			陶器	山皿	S54-B	I6	SD308	(口) 7.8 (高) 2.1 (底) 5.0	やや密	灰白	5Y7/1	底部12/12	
433	064-01			陶器	山皿	S54-B	I6	SD308	(口) 8.3 (高) 1.8 (底) 4.4	密	灰白	5Y7/1	底部12/12	
434	069-07			陶器	山皿	S54-B	I11	SD308	(口) 8.2 (高) 2.0 (底) 5.0	粗	灰白	N7/0	口縁部9/12	底部に墨書あり
435	069-02			陶器	壺	S54-B	I11	SD308	(台) 9.9	やや密	灰	N5/0	台部5/12	
436	069-01			陶器	片口鉢	S54-B	I11	SD308	(口) 21.1 (高) 9.8 (台) 11.4	やや粗	灰	5Y6/1	台部4/12	尾張型 第6型式
437	064-04			土師器	皿	S54-B	I11	SD308	(口) 7.9 (高) 1.6	密	灰白	10YR8/2	口縁部8/12	
438	064-05			土師器	皿	S54-B	I6	SD308	(口) 12.2 (高) 2.8	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部1/12	
439	064-06			土師器	皿	S54-B	I11	SD308	(口) 12.6 (高) 3.3	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部9/12	
440	064-02			土師器	鍋	S54-B	I6	SD308	(口) 27.2	粗	灰黄褐	10YR6/2	口縁部2/12	南伊勢系
441	064-03			土師器	鍋	S54-B	I6	SD308	(口) 27.2	粗	にぶい褐	7.5YR5/3	口縁部1/12	南伊勢系
442	070-06			陶器	山皿	S54-B	A24	SD309	(口) 8.5 (高) 2.3 (底) 3.8	密	灰白	2.5Y7/1	底部12/12	尾張型 第5型式
443	061-03			陶器	山茶椀	S54-B	G9	SD309	(口) 15.0 (高) 5.4 (台) 6.0	やや粗	灰白	2.5Y7/1	台部6/12	
444	070-04			陶器	山茶椀	S54-B	A24	SD309	(口) 15.6 (高) 5.5 (台) 6.6	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	尾張型 第4型式

第14表　土器類観察表⑩

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
445	070-02			陶器	山茶椀	S54-B	A24	SD309	(口) 15.5 (高) 5.5 (台) 7.0	やや密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
446	070-03			陶器	山茶椀	S54-B	A24	SD309	(口) 15.5 (高) 5.3 (台) 8.0	やや密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
447	070-01			陶器	山茶椀	S54-B	A24	SD309	(口) 15.0 (高) 5.3 (台) 6.4	密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
448	070-05			陶器	山茶椀	S54-B	A20	SD309	(口) 15.6 (高) 5.4 (台) 7.2	密	黄灰	2.5Y6/1	台部12/12	底部に墨書あり
449	223-04			陶器	山茶椀	S54-A	G5	SE207	(台) 5.0	密	灰白	5Y7/1	台部9/12	
450	222-04			陶器	山茶椀	S54-A	G4	SE207	(台) 6.6	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 7.5Y7/1	台部9/12	
451	223-02			陶器	山茶椀	S54-A	G4	SE207	(台) 8.4	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 5Y7/1	台部4/12	
452	222-02			陶器	山茶椀	S54-A	G5	SE207	(台) 8.0	密	灰白	7.5Y7/1	台部9/12	
453	206-06			陶器	山茶椀	S54-A	G5	SE207	(台) 8.1	密	灰白	N8/0	台部12/12	尾張型 第４型式
454	206-04			陶器	山茶椀	S54-A	G5	SE207	(台) 8.8	密	灰黄	2.5Y7/2	台部12/12	尾張型 第４型式
455	206-05			陶器	山茶椀	S54-A	G5	SE207	(台) 8.2	密	灰黄	2.5Y7/2	台部12/12	尾張型 第４型式
456	206-03			陶器	山茶椀	S54-A	G5	SE207	(口) 16.3 (高) 4.5 (台) 8.3	密	灰白	2.5Y8/1	台部5/12	尾張型 第４型式 輪花
457	206-01			陶器	山茶椀	S54-A	G5	SE207	(口) 17.8 (高) 5.35 (台) 8.9	密	灰白	5Y7/1	口縁部6/12	尾張型 第４型式
458	206-02			陶器	山茶椀	S54-A	G5	SE207	(口) 18.0 (高) 5.2 (台) 9.8	密	灰白	5Y7/1	口縁部3/12	尾張型 第４型式
459	206-07			陶器	山茶椀	S54-A	G5	SE207	(口) 17.9 (高) 5.3 (台) 9.8	密	灰白	5Y8/1	台部7/12	尾張型 第４型式
460	222-03			陶器	山皿	S54-A	G4	SE207	(口) 8.6 (高) 4.3 (底) 4.3	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 2.5Y7/1	底部12/12	底部に墨書あり
461	223-03			陶器	小椀	S54-A	C6	SE211	(口) 9.2 (高) 2.7 (台) 4.8	密	灰白	7.5Y7/1	台部12/12	
462	222-06			陶器	山茶椀	S54-A	C6	SE211	(台) 7.2	密	黄灰	2.5Y6/1	台部4/12	
463	222-05			陶器	山茶椀	S54-A	C6	SE211	(口) 14.3	密	灰白	2.5Y7/1	口縁部3/12	
464	222-01			陶器	甕	S54-A	D2	SE222	－	密	外: 灰 内: 灰黄褐	N6/0 10YR5/2	口縁部小片	常滑
465	223-01			土師器	羽釜	S54-A	D2	SE222	(口) 19.0	密	にぶい黄橙		口縁部4/12	
466	193-04			陶器	山茶椀	S54-B	A15	SE310	(台) 7.2	密	灰	5Y6/1	台部10/12	
467	193-05			陶器	山茶椀	S54-B	A15	SE310	(台) 7.5	密	外: 灰黄 内: 灰白	2.5Y7/2 5Y7/1	台部12/12	
468	192-01			陶器	山茶椀	S54-B	A15	SE310	(口) 15.1 (高) 4.8 (台) 7.6	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	尾張型 第６型式
469	192-02			陶器	山茶椀	S54-B	A15	SE310	(口) 16.0 (高) 5.5 (台) 6.4	密	灰黄	2.5Y7/2	台部12/12	
470	193-02			陶器	山茶椀	S54-B	A15	SE310	(口) 15.1 (高) 5.5 (台) 7.6	密	にぶい褐 灰白	7.5YR6/3 2.5Y7/1	台部12/12	底部に墨書あり
471	193-03			陶器	山茶椀	S54-B	A15	SE310	(台) 7.3	密	灰白 にぶい黄橙	2.5Y7/1 10YR6/3	台部12/12	底部に墨書あり
472	193-01			陶器	山茶椀	S54-B	A15	SE310	(台) 7.2	密	灰白	5Y7/1	台部1/12	底部に墨書あり 尾張型 第５型式
473	059-01			陶器	山茶椀	S54-B	A20	SE311	(口) 15.4 (高) 4.9 (台) 7.2	密	灰	5Y6/1	台部11/12	
474	059-02			陶器	山茶椀	S54-B	A20	SE311	(口) 15.4 (高) 5.1 (台) 6.9	密	灰	5Y6/1		渥美型 第６型式
475	060-03			陶器	山茶椀	S54-B		SE313	(口) 14.6 (高) 5.1 (底) 6.0	密	灰白	5Y7/1		
476	060-01			陶器	山茶椀	S54-B		SE313	(口) 16.2 (高) 5.5 (台) 7.2	密	灰白	7.5Y8/1		渥美型 第５型式
477	060-02			陶器	山茶椀	S54-B		SE313	(口) 12.8 (高) 5.4 (台) 5.2	やや密	灰白	7.5Y8/1		

第15表　土器類観察表⑪

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
478	059-07			陶器	山皿	S54-B	A25	SE312	(口) 8.0 (高) 2.3 (底) 4.2	密	灰白	5Y7/1		尾張型 第５型式
479	059-06			陶器	山皿	S54-B	A25	SE312	(口) 8.5 (高) 2.4 (底) 3.6	密	灰白	5Y7/1	口縁部4/12	
480	059-04			陶器	山茶椀	S54-B	A25	SE312	(台) 6.0	密	灰	N6/0	台部12/12	
481	059-03			陶器	山茶椀	S54-B	A25	SE312	(台) 7.4	密	灰白	2.5Y7/1	台部11/12	
482	059-08			土製品	土錘	S54-B	A25	SE312	(長) 4.9 (幅) 1.2	密	橙	2.5YR6/6	－	(重さ)6.9ｇ
483	194-03			灰釉陶器	皿	S54-B	G14	SK303	(口) 11.4 (高) 2.2 (台) 5.9	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
484	194-04			灰釉陶器	椀	S54-B	G14	SK303	(口) 15.0 (高) 4.9 (台) 8.8	密	灰白	5Y7/1	台部3/12	
485	194-02			陶器	山茶椀	S54-B	G14	SK303	(台) 7.0	密	灰白	N7/0	台部12/12	第５型式
486	194-05			陶器	山茶椀	S54-B	G14	SK303	(口) 17.2 (高) 5.6 (台) 9.2	密	灰白	5Y7/1	台部3/12	第５型式
487	194-01			土師器	鍋	S54-B	G14	SK303	(口) 19.0	密	にぶい赤褐	5YR4/3	口縁部2/12	清郷型
488	050-01	1	1	弥生土器	壺	S54-B	K6	包含層	(口) 12.2 (高) 22.5 (底) 7.6	密	黄橙	10YR8/6	底部12/12	
489	167-01			弥生土器	壺	S54-幹線		包含層	(口) 17.3 (高) 21.4 (底) 6.0	密	外:にぶい橙 内: 黄灰	7.5YR7/3 2.5Y4/1	底部12/12	
490	082-01			弥生土器	壺	S54-A	C14	包含層	(体) 27.0 (底) 7.8	密	外: 灰白・灰褐 内:にぶい黄橙	7.5YR8/2・6/2 10YR7/2	底部4/12	
491	166-01			弥生土器	壺	S54-幹線		包含層	(頸) 11.0 (体) 25.9 (底) 8.8	密	にぶい黄橙	10YR7/4	底部11/12	
492	084-02	3	3	弥生土器	壺	S54-A	C18	包含層	(口) 18.2	密	外:にぶい黄褐 内:にぶい橙	10YR5/3 7.5YR7/4	口縁部5/12	
493	084-01		196	弥生土器	壺	S54-A	C16	包含層	(体) 19.5 (底) 8.0	密	にぶい黄橙	10YR7/3	底部10/12	朱あり
494	083-01			弥生土器	壺	S54-A	A23・24	包含層	(体) 22.1 (底) 8.6	密	外: 灰白 内: 灰	2.5YR7/1 N8/0	底部12/12	
495	084-04			弥生土器	甕	S54-A	C5	包含層	－	密	外: 褐 内:にぶい橙	7.5YR4/3 5YR7/4	口縁部小片	
496	085-03	6		弥生土器	甕	S54-A	J7	包含層	－	密	外: 暗灰黄 内:にぶい黄橙	2.5Y5/2 10YR6/3	口縁部小片	
497	085-01			弥生土器	甕	S54-A	C4	包含層	(口) 24.1	密	にぶい橙	5YR6/4	口縁部2/12	
498	085-05		53	弥生土器	甕	S54-A	C4	包含層	－	密	外: 褐灰 内:にぶい黄橙	10YR5/1 10YR7/2	口縁部小片	
499	084-03	5	5	弥生土器	甕	S54-A	J6	包含層	－	密	外: 灰黄褐 内: 黄褐	10YR5/2 2.5Y5/3	口縁部小片	
500	085-04	4	4	弥生土器	甕	S54-A	C4	包含層	－	密	外: 黄灰 内:にぶい黄橙	2.5Y5/1 10YR6/3	口縁部小片	
501	089-02			弥生土器	甕	S54-A	G2	包含層	(口) 34.4	密	外: 浅黄橙 内:にぶい黄橙	10YR8/3 10YR7/3	口縁部3/12	
502	073-01			弥生土器	壺	S54-A	C4	包含層	(体) 32.4 (底) 7.7	やや密	にぶい橙	7.5YR7/4	底部12/12	
503	154-04			土師器	広口壺	S54-C	P15	包含層	(口) 13.5	密	外: 浅黄橙 内: 浅黄橙	7.5YR8/4 7.5YR8/3	口縁部5/12	
504	114-02			土師器	広口壺	S54-B	M14	包含層	(口) 16.3	密	外: 橙 内: 橙	5YR6/6 7.5YR6/6	口縁部10/12	
505	154-01			土師器	広口壺	S54-C	Q6	包含層	(口) 18.0	密	外:にぶい黄橙 内: 灰白	10YR7/2 10YR8/2	口縁部5/12	
506	154-03			土師器	広口壺	S54-C	O3	包含層	(口) 17.0	密	外: 浅黄橙 内: 灰白	10YR8/3 2.5Y8/2	口縁部2/12	
507	170-01			土師器	広口壺	S54-幹線	A33	包含層	(口) 17.0	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部12/12	
508	188-04		167	土師器	広口壺	S54-C	R7	包含層	(口) 15.1	密	にぶい橙	7.5YR7/4	口縁部3/12	
509	086-04			土師器	広口壺	S54-A	J4	包含層	(口) 13.0	密	にぶい黄	2.5Y6/3	口縁部5/12	
510	188-03		166	土師器	広口壺	S54-C	Q1	包含層	(口) 22.0	密	にぶい橙	5YR6/4	口縁部3/12	朱あり
511	114-05			土師器	広口壺	S54-B	L18	包含層	(口) 19.2	密	外:にぶい黄褐 内: 浅黄	10YR7/4 2.5Y7/3	口縁部5/12	
512	152-01			土師器	広口壺	S54-C	O3	包含層	(口) 18.8	密	褐灰	7.5YR4/1	口縁部3/12	
513	114-04			土師器	広口壺	S54-B	C3	包含層	(口) 20.1	密	にぶい黄橙	10YR6/3	口縁部○/12	
514	188-01		168	土師器	二重口縁壺	S54-C	R7	包含層	(口) 15.1	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部3/12	
515	132-01			土師器	二重口縁壺	S54-B	L21	包含層	(口) 21.8	密	にぶい黄橙	10YR7/4	口縁部11/12	
516	182-02		199	土師器	直口壺	S54-C	B33	包含層	(口) 16.0 (頸) 9.4	密	にぶい黄橙	10YR7/2	頸部10/12	
517	154-02			土師器	直口壺	S54-C	C18	包含層	(口) 15.6	密	外: 浅黄橙 内: 橙	7.5YR8/4 5YR7/6	口縁部6/12	
518	188-02		169	土師器	広口壺	S54-C	R15	包含層	(頸) 10.0	密	にぶい橙	7.5YR7/4	頸部5/12	

第16表　土器類観察表⑫

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
519	141-01		172	土師器	広口壺	S54-C	D6	包含層	(体) 22.0	密	黒褐	2.5Y3/1	体部3/12	
520	172-01			土師器	広口壺	S54-幹線	29	包含層	(口) 17.0 (底) 6.5	密	にぶい黄橙	10YR6/4	底部12/12	
521	171-01			土師器	広口壺	幹線排水路	B35	包含層	(頸) 13.1 (底) 7.0	密	外:にぶい橙 内: 褐灰	7.5YR7/4 10YR5/1	底部12/12	
522	074-02			土師器	広口壺	S54-C	C24	包含層	(体) 27.2 (底) 4.8	やや密	にぶい橙	7.5YR7/4	底部12/12	
523	190-01		163	土師器	壺	S54-C	O3	包含層	(底) 6.0	密	外:にぶい黄橙 内: 灰白	10YR7/3 5Y7/1	底部12/12	
524	170-03			土師器	壺	S54-幹線	A34	包含層	(底) 7.0	密	にぶい橙	7.5YR6/4	底部9/12	
525	155-01			土師器	小型壺	S54-C	R14	包含層	(口) 10.0 (高) 17.2 (底) 3.0	密	外: 橙 内: 橙	5YR7/6 2.5YR6/6		
526	183-02		198	土師器	小型壺	S54-C	C24	包含層	(頸) 6.6 (体) 15.1 (底) 4.1	密	外: 浅黄橙 内: 褐灰	7.5YR8/4 7.5YR6/1		
527	190-03			土師器	小型壺	S54-C	P19	包含層	(体) 13.2 (底) 5.0	密	にぶい橙	7.5YR7/4	底部12/12	
528	182-03		200	土師器	小型壺	S54-C	B32	包含層	(口) 8.1 (高) 6.95 (底) 3.5	密	黄橙	7.5YR7/8	口縁部12/12	
529	140-04			土師器	小型壺	S54-C	R14	包含層	(体) 11.0 (底) 4.0	密	灰白	5Y7/1	底部12/12	
530	189-06		197	土師器	小型壺	S54-C	第1トレンチ	包含層	(口) 7.2 (高) 9.2 (底) 3.3	密	にぶい黄橙	10YR7/4	口縁部12/12	
531	186-06		171	土師器	小型壺	S54-C	C20	包含層	(体) 9.2 (底) 3.0	密	にぶい橙	7.5YR7/4	底部12/12	ミニチュア土器
532	153-03			土師器	鉢	S54-C	Q1	包含層	(口) 11.0	密	外: 淡黄 内:にぶい黄橙	2.5Y8/3 10YR7/4	口縁部11/12	
533	153-04			土師器	鉢	S54-C	R7	包含層	(口) 11.2	密	にぶい黄橙	10YR7/2	口縁部9/12	
534	153-02			土師器	鉢	S54-C	O3	包含層	—	密	外:にぶい褐 内: 灰黄褐	7.5YR5/4 10YR6/2	口縁部小片	
535	153-01			土師器	鉢	S54-C	A19	包含層	(口) 10.2	密	にぶい橙	7.5YR7/4	口縁部6/12	
536	087-02			土師器	受口甕	S54-A	G8	包含層	(口) 15.1	密	にぶい橙	7.5YR6/4	口縁部2/12	内面黒変
537	151-01			土師器	受口甕	S54-C	E4	包含層	(口) 16.0	密	にぶい黄橙	10YR6/3	口縁部2/12	
538	086-02			土師器	受口甕	S54-A	A14	包含層	(口) 20.6	密	にぶい橙	7.5YR6/4	口縁部2/12	
539	152-02			土師器	受口甕	S54-C	C19	包含層	(口) 18.0	密	外: 灰黄 内: 灰黄	2.5Y7/2	口縁部3/12	
540	180-03			土師器	受口甕	東	No.8 No.9	包含層	(口) 17.4	密	外: 灰黄褐 内:にぶい黄橙	10YR4/2 10YR6/3	口縁部2/12	試掘
541	187-02		205	土師器	S字甕	S54-C	Q11	包含層	(口) 15.5	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部2/12	
542	151-03			土師器	S字甕	S54-C	D12	包含層	(口) 16.9	密	にぶい黄橙	10YR7/2	口縁部2/12	
543	150-02			土師器	S字甕	S54-C	R20	包含層	(口) 18.8	密	にぶい黄橙	10YR6/3	口縁部5/12	
544	150-04			土師器	台付甕	S54-C	C6	包含層	(台) 7.3	密	灰黄褐	10YR5/2	台部11/12	
545	150-05			土師器	台付甕	S54-C	D12	包含層	(台) 9.4	密	外:にぶい黄橙 内: 黒	10YR7/2	台部4/12	
546	148-03			土師器	台付甕	S54-C	D12	包含層	(底) 7.6	密	外:にぶい橙 内:にぶい橙	5YR7/4 5YR7/4	底部9/12	
547	114-03			土師器	高杯	S54-B	B23	包含層	(口) 21.1	密	灰白	2.5Y8/2	口縁部4/12	
548	140-01			土師器	高杯	S54-C	C16	包含層	(口) 21.1	密	浅黄橙 灰黄褐	7.5YR8/3 10YR6/2	口縁部9/12	
549	074-01			土師器	高杯	S54-C	C24	包含層	(口) 22.4	密	橙	7.5YR6/6	6/12	
550	189-03		157	土師器	高杯	S54-C	—	包含層	(底) 11.5	密	灰白	5Y7/1	底部2/12	
551	140-03			土師器	高杯	S54-C	O2	包含層	(基) 4.2 (底) 12.7	密	橙	7.5YR6/6	基部7/12	
552	140-02			土師器	高杯	S54-C	R19	包含層	(基) 3.9 (底) 12.4	密	にぶい黄橙	10YR6/3	基部6/12	
553	075-01			土師器	高杯	S54-A	B23	包含層	(底) 11.4	密	にぶい橙	7.5YR6/4	12/12	
554	147-01			土師器	高杯	S54-C	R3	包含層	(基) 3.8 (底) 12.5	密	にぶい褐	7.5YR6/3	底部11/12	
555	148-02			土師器	高杯	S54-C	—	包含層	(底) 10.6	密	外: 橙 内: 橙	5YR7/6 5YR7/6	底部12/12	
556	148-01			土師器	高杯	S54-C	P19	包含層	(底) 9.6	密	外: 橙 内: 橙	5YR7/6 5YR7/6	底部12/12	
557	148-04			土師器	高杯	S54-C	D12	包含層	(底) 10.9	密	外: 橙 内: 淡橙	2.5YR7/6 5YR8/4	底部9/12	
558	075-03		170	土師器	高杯	S54-C	C15	包含層	(底) 6.9	密	にぶい黄橙	10YR7/3	6/12	
559	148-05			土師器	器台	S54-C	D12	包含層	(口) 8.6	密	外: 橙 内: 橙	5YR7/6 5YR7/6	口縁部2/12	
560	148-06			土師器	器台	S54-C	C20	包含層	(底) 7.0	密	外: 橙 内: 橙	5YR7/6 5YR7/6	底部4/12	
561	075-02		205	土師器	器台	S54-C	Q11	包含層	(底) 7.2 (口) 5.7 (高) 6.1	やや密	にぶい黄橙	10YR6/3	9/12	

第17表　土器類観察表⑬

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
562	189-05		202	土師器	壺	S54-C	V22	包含層	(口) 5.0 (高) 6.7 (底) 2.0	密	橙	7.5YR6/6	完形	ミニチュア
563	189-04		201	土師器	壺	S54-C	P13	包含層	(口) 4.2 (高) 6.9 (底) 3.5	密	橙	7.5YR6/6	完形	ミニチュア
564	186-05		203	土師器	壺	S54-B	B3	包含層	(口) 4.8 (高) 4.1	密	にぶい黄橙	10YR7/3	底部完存	手捏ね
565	186-07		204	土師器	台付甕	S54-B	B5	包含層	(口) 8.5 (高) 9.1 (底) 4.3	密	にぶい橙	7.5YR7/3	底部12/12	ミニチュア
566	141-02			土師器	壺	S54-C	O1	包含層	(体) 6.7 (底) 4.4	密	にぶい黄橙	7.5YR7/4	底部12/12	ミニチュア
567	147-05			土師器	宇田甕	S54-C	D12	包含層	(口) 16.3	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部3/12	
568	150-01			土師器	宇田甕	S54-C	M12	包含層	(口) 17.8	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部4/12	
569	187-01		176	土師器	宇田甕	S54-C	D12	包含層	(口) 16.9	密	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	7.5YR6/4 10YR7/3	口縁部2/12	
570	151-02			土師器	宇田甕	S54-C	C11	包含層	(口) 16.3	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部2/12	
571	147-04			土師器	宇田甕	S54-C	E9	包含層	(口) 15.5	密	にぶい黄褐	10YR4/3	口縁部4/12	
572	147-06			土師器	宇田甕	S54-C	A17	包含層	(口) 13.2	密	にぶい橙	7.5YR7/4	口縁部3/12	
573	147-02			土師器	宇田甕	S54-C	—	包含層	(基) 4.4 (底) 11.7	密	にぶい黄	2.5Y6/3	底部12/12	
574	190-02			土師器	鉢	S54-B	—	包含層	(口) 11.3 (高) 5.1	密	橙	5YR6/6	口縁部12/12	
575	114-01			土師器	鉢	S54-B	N6	包含層	(口) 12.0 (高) 6.2	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部7/12	
576	147-07			土師器	高杯	S54-C	A17	包含層	(底) 7.3	密	橙	5YR6/6	底部4/12	
577	147-03			土師器	高杯	S54-C	E9	包含層	(口) 21.0	密	明赤褐	5YR5/6	口縁部4/12	
578	149-02			土師器	高杯	S54-C	C5	包含層	(底) 13.2	密	外:にぶい橙 内: 橙	7.5YR7/4 7.5YR7/6	底部4/12	
579	149-01			土師器	高杯	S54-C	C11	包含層	(底) 15.5	密	にぶい赤褐	5YR5/4	底部12/12	
580	149-04			土師器	高杯	S54-C	C11	包含層	(底) 9.1	密	赤褐	2.5YR4/8	底部8/12	
581	149-03			土師器	高杯	S54-C	C16	包含層	(底) 9.5	密	明赤褐	2.5YR5/6	底部3/12	
582	149-05			土師器	高杯	S54-C	E9	包含層	(底) 8.8	密	明赤褐	2.5YR5/6	底部8/12	
583	165-04			須恵器	杯蓋	S54-C	A19	包含層	(口) 11.8 (高) 5.1	密	外: 灰 内: 灰	N4/0 N6/0	口縁部6/12	
584	165-01		173	須恵器	杯蓋	S54-C	C11	包含層	(口) 12.8 (高) 4.5	密	外: 灰白 内: 灰黄	5Y7/1 2.5Y7/2	口縁部6/12	
585	165-02			須恵器	杯蓋	S54-C	D22	包含層	(口) 13.5 (高) 4.25	密	外: 灰 内: 灰	N6/0 N5/0	口縁部3/12	
586	165-03	7	7	須恵器	杯蓋	S54-C	O7	包含層	(口) 13.6 (高) 4.4	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 N7/0	口縁部9/12	
587	175-01	12	12	須恵器	杯身	—	H1	包含層	(口) 11.4 (高) 5.4	密	外: 灰 内: 灰	N6/0 N6/0	受部12/12	
588	163-02	9	9	須恵器	高杯	S54-C	C22	包含層	(口) 10.4	密	外: 黄灰 内:にぶい黄橙	2.5Y6/1 10YR7/2	受部9/12	
589	163-01			須恵器	杯身	S54-C	C5	包含層	(口) 11.3 (高) 5.4	密	黄灰	2.5Y6/1	受部8/12	
590	163-04	11	11	須恵器	杯身	S54-C	C11	包含層	(口) 10.4 (高) 4.9	密	外: 灰 内: 灰	N6/ N6/	口縁部10/12	
591	162-05			須恵器	杯身	S54-C	E11	包含層	(口) 10.3 (高) 4.7	密	外: 灰 内: 灰	N5/ N5/	受部11/12	
592	163-03	10	10	須恵器	杯身	S54-C	S23	包含層	(口) 10.0 (高) 4.6	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y8/2 2.5Y8/2	口縁部12/12	
593	162-04			須恵器	杯身	S54-C	M12	包含層	(口) 10.0 ～12.0 (高) 4.9	密	外: 黄灰 内: 黄灰	2.5Y6/1 2.5Y6/1	受部5/12	
594	162-02			須恵器	杯身	S54-C	M7	包含層	(口) 9.8 (高) 4.2	密	外: 黄灰 内: 黄灰	2.5Y6/1 2.5Y6/1	受部4/12	
595	162-03			須恵器	杯身	S54-C	B4	包含層	(口) 12.7	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y7/1 2.5Y7/1	口縁部2/12	
596	101-01		206	須恵器	壺	S54-B	C4	包含層	(口) 13.6	密	灰黄	7/2Hue2.5Y	口縁部12/12	韓式系か？
597	152-03			土師器	杯	S54-C	C12	包含層	(口) 12.2 (高) 3.8	密	外: 橙 内: 橙	5YR6/6 5YR6/6	口縁部9/12	
598	136-07			土師器	坏	S54-B	A5	包含層	(口) 12.7 (高) 3.6	密	にぶい橙	7.5YR6/4		
599	182-01			土師器	皿	S54-B	A5	包含層	(口) 16.4 (高) 2.0	密	外: 橙 内: 橙	5YR6/6 5YR6/6	口縁部4/12	
600	086-03			土師器	甕	S54-A	D7	包含層	(口) 17.0	密	にぶい橙	7.5YR7/4	口縁部2/12	
601	184-01		55	土師器	甕	S54-A	C13	包含層	(口) 7.2	密	外:にぶい橙 内:にぶい橙	7.5YR6/4 7.5YR6/4	口縁部5/12	
602	133-03			土師器	甕	S54-B	E25	包含層	(口) 14.2	密	外: 灰黄褐 内: 灰黄褐	10YR5/2 10YR5/2	口縁部2/12	
603	150-03			土師器	甕	S54-C	C7	包含層	(口) 24.8	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部2/12	
604	071-06		127	須恵器	杯蓋	S54-A		包含層	(口) 15.8	密	灰	N6/	1/12	
605	071-04		57	須恵器	杯蓋	S54-A	C1	包含層	(口) 13.6	やや密	灰	N5/	2/12	

第18表　土器類観察表⑭

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
606	071-05		56	須恵器	杯蓋	S54-A	A14	包含層	(口) 11.6 (高) 4.2	密	灰	5Y6/1	7/12	
607	121-02			須恵器	杯蓋	S54-B	B24	包含層	(口) 13.6 (高) 4.2	密	灰	N4/0	口縁部6/12	
608	121-01	8	8	須恵器	杯蓋	S54-B	R8	包含層	(口) 12.8 (高) 3.8	密	灰	N6/0	口縁部9/12	
609	071-08		58	須恵器	杯蓋	S54-A	C4	包含層	(口) 2.5 (高) 4.3	やや密	灰	N5/	5/12	
610	121-03		107	須恵器	杯蓋	S54-B	H1	包含層	(口) 14.6	密	灰	N5/0	口縁部5/12	
611	164-03			須恵器	杯蓋	S54-C	E9	包含層	(口) 9.9 (高) 2.0	密	外: 灰 内: 灰	N5/0 N5/0	口縁部6/12	
612	122-03			須恵器	杯蓋	S54-B		包含層	(口) 18.0	密	灰	N5/0	口縁部1/12	
613	164-05			須恵器	杯蓋	S54-C	C12	包含層	(口) 19.0	密	外: 灰 内: 黄灰	5Y6/1 2.5Y6/1	口縁部1/12	
614	121-05			須恵器	杯身	S54-B	B24	包含層	(口) 13.0 (高) 3.6 (受) 15.2	密	灰	N6/0	受部8/12	
615	121-04	13	13	須恵器	杯身	S54-B	R13	包含層	(口) 11.5 (高) 4.0 (受) 13.5	密	外: 灰 内: 灰白	N6/0 2.5Y8/1	口縁部9/12	
616	122-02		125	須恵器	杯身	S54-B	H6	包含層	(口) 11.6 (受) 13.4	密	灰	N6/0	口縁部2/12	
617	168-08			須恵器	杯身	S54-幹線	B79	包含層	(口) 10.6 (高) 2.7	密	灰	7.5Y6/1	口縁部2/12	
618	122-01		123	須恵器	杯身	S54-B	H1	包含層	(口) 12.0 (高) 3.1 (受) 14.0	密	灰	N5/0	口縁部3/12	
619	121-06		128	須恵器	杯身	S54-B	H6	包含層	(口) 11.6 (高) 3.8	密	灰	N6/0	口縁部1/12	
620	162-01		180	須恵器	杯身	S54-C	H7	包含層	(底) 10.5	密	外: 黄灰 内: 黄灰	2.5Y5/1 2.5Y6/1	底部4/12	
621	123-03			須恵器	高杯	S54-B	—	包含層	(底) 8.2	密	灰白	7.5Y7/1	底部2/12	
622	071-07		59	須恵器	高杯	S54-A	D8	包含層	(口) 14.0	やや密	灰	N5/0	3/12	
623	123-04			須恵器	高杯	S54-B	G14	包含層	(底) 9.0	密	灰白	2.5Y7/1	底部8/12	
624	071-03		60	須恵器	高杯	S54-A	A9	包含層	(底) 10.2	やや密	黄灰	2.5Y6/1	4/12	
625	123-06		124	須恵器	甕	S54-B	H2	包含層	(底) 3.3	密	灰白	7.5Y7/1	底部12/12	
626	164-04		174	須恵器	甕	S54-C	C11	包含層	(頸) 6.0 (体) 11.0	密	外: 灰 内: 灰	N5/0 N5/0	口縁部4/12	
627	123-05			須恵器	甕	S54-B	D3	包含層	(底) 4.6	密	灰	N4/0	底部12/12	
628	123-01			須恵器	壺	S54-B	G14	包含層	(口) 11.4	密	灰	5Y5/1	口縁部12/12	
629	123-02			須恵器	壺	S54-B	A5	包含層	(口) 10.6	密	外: 灰黄 内: 灰白	2.5Y7/2 2.5Y7/1	口縁部3/12	
630	164-02			須恵器	甕	S54-C	R4	包含層	(口) 23.2	密	外: 褐灰 内: 褐灰	5YR5/1 5YR5/1	口縁部2/12	
631	164-01		175	須恵器	甕	S54-C	C11	包含層	(口) 19.5	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 N7/0	口縁部12/12	
632	072-01			須恵器	横瓶	S54-A	C13	包含層	(口) 2.4	やや密	灰	5Y5/1	4/12	
633	152-05			土師器	皿	S54-C	C12	包含層	(口) 13.0 (高) 3.5	密	外:にぶい橙 内:にぶい橙	7.5YR6/4 7.5YR6/4	口縁部3/12	
634	185-06		148	土師器	皿	S54-A	—	包含層	(口) 13.0	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR7/3 10YR7/3	口縁部2/12	
635	136-01			土師器	皿	S54-B	D4	包含層	(口) 14.6 (高) 2.4	密	外: 橙 内: 橙	7.5YR7/6 7.5YR7/6	口縁部8/12	
636	152-04			土師器	皿	S54-C	E4	包含層	(口) 13.0 (高) 3.35	密	外: 灰黄褐 内: 灰黄褐	10YR6/2 10YR6/2	口縁部4/12	
637	185-02		65	土師器	皿	S54-A	C2	包含層	(口) 12.4 (高) 2.4	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR7/3 10YR7/3	口縁部3/12	
638	184-03		63	土師器	皿	S54-A	B17	包含層	(口) 15.6	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR7/3 10YR7/3	口縁部6/12	
639	184-04		64	土師器	皿	S54-A	B17	包含層	(口) 14.6	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR7/2 10YR7/2	口縁部9/12	
640	136-03			土師器	小皿	S54-B	D4	包含層	(口) 13.1 (高) 3.0	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部7/12	
641	136-04			土師器	皿	S54-B	C3	包含層	(口) 12.0 (高) 2.2	密	にぶい黄橙	10YR7/4		
642	191-01	35	35	土師器	皿	S54-B	H5	包含層	(口) 9.2 (高) 1.7	密	外: 灰黄 内: 灰黄	2.5Y7/2 2.5Y7/2	口縁部11/12	
643	184-05		49	土師器	皿	S54-A	C15	包含層	(口) 8.6 (高) 1.5	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR7/3 10YR7/3	ほぼ完存	
644	191-04	33	33	ロクロ土師器	皿	S54-B	H5	包含層	(口) 9.0 ～9.5 (高) 1.9 (底) 4.7	密	外: 橙 内: 橙	5YR6/6 5YR6/6	口縁部12/12	
645	186-03	34	34	ロクロ土師器	皿	S54-B	H6	包含層	(口) 9.3 (高) 1.8	密	にぶい橙	7.5YR7/4	口縁部9/12	
646	186-04			ロクロ土師器	皿	S54-B	H6	包含層	(口) 10.3 (高) 2.5	密	にぶい橙	7.5YR7/3	口縁部10/12	

第19表　土器類観察表⑮

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
647	136-06			ロクロ土師器	皿	S54-B	D3	包含層	(口) 13.7 (高) 4.0	密	にぶい橙	10YR6/4	口縁部10/12	
648	191-06		118	ロクロ土師器	皿	S54-B	M9	包含層	(口) 10.4 (高) 2.0 (底) 5.5	密	外:にぶい橙 内:にぶい橙	7.5YR7/4 7.5YR7/4	底部12/12	
649	191-05			ロクロ土師器	皿	S54-幹線	B74	包含層	(口) 9.7 (高) 2.0 (底) 5.6	密	外:にぶい橙 内:にぶい橙	7.5YR6/4 7.5YR6/4	口縁部9/12	
650	125-04			黒色土器	椀	S54-B	D5	包含層	(口) 15.4	密	外: 浅黄橙 内: 黒	10YR8/3 7.5Y2/1	口縁部3/12	
651	125-05			黒色土器	椀	S54-B	D4	包含層	(口) 14.4	密	外: 橙 内: 黒	7.5YR6/6 N2/	口縁部1/12	
652	125-06			黒色土器	椀	S54-B	D4	包含層	(台) 8.2	密	外:にぶい黄橙 内: 黒	10YR7/3 2.5Y2/1	台部4/12	
653	183-01			土師器	鍋	S54-B	M5	包含層	(口) 21.0	密	外:にぶい橙 内: 浅黄橙	5YR7/4 7.5YR8/3		
654	170-02			土師器	鍋	S54-幹線	A59	包含層	(口) 25.3	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR7/3 10YR7/3	口縁部2/12	
655	088-01			陶器	鍋	S54-A	G4	包含層	(口) 25.2	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y8/1 2.5Y8/1	口縁部2/12	
656	133-01			土師器	鍋	S54-B	N6	包含層	(口) 20.0	密	にぶい橙 にぶい黄橙	7.5YR7/4 10YR6/3	口縁部5/12	
657	079-01			土師器	鍋	—	N0.2	包含層	(口) 18.2 (高) 20.9	やや粗	浅黄橙	10YR8/3	10/12	試掘
658	181-02			土師器	鍋	東	No.9	包含層	(口) 25.4	密	外: 橙 内: 明赤褐	7.5YR6/6 5YR5/6	口縁部4/12	試掘 清郷型
659	139-01			土師器	鍋	S54-B	L23	包含層	(口) 23.2	密	外: 明赤褐 内: 明赤褐	2.5YR5/6 2.5YR5/6	口縁部2/12	清郷型
660	137-02			土師器	鍋	S54-B	B6	包含層	(口) 22.2	密	外: 褐灰 内:にぶい赤褐	7.5YR4/1 5YR5/4	口縁部2/12	清郷型
661	138-01			土師器	鍋	S54-B	M5	包含層	(口) 23.4	密	外: 黒褐 内: 明赤褐	7.5YR3/1 2.5YR5/6	口縁部1/12	清郷型
662	137-03			土師器	鍋	S54-B	B13	包含層	(口) 22.6	密	外:にぶい赤褐 内:にぶい橙	5YR5/3 7.5YR6/4	口縁部2/12	清郷型
663	138-02			土師器	鍋	S54-B	B13	包含層	(口) 21.2	密	外: 灰褐 内: 灰褐	5YR5/2 7.5YR5/2	口縁部2/12	清郷型
664	138-03			土師器	鍋	S54-B	G14	包含層	(口) 23.8	密	外: 灰黄褐 内: 灰黄褐	10YR5/2 10YR5/2	口縁部2/12	清郷型
665	137-01			土師器	鍋	S54-B	L17	包含層	(口) 22.0	密	外:にぶい褐 内:にぶい褐	7.5YR5/4 7.5YR5/4	口縁部3/12	清郷型
666	139-03			土師器	鍋	S54-B	G14	包含層	—	密	外: 灰褐 内: 灰褐	7.5YR6/2 7.5YR6/2	口縁部1/12	清郷型
667	138-06			土師器	鍋	S54-B	B13	包含層	—	密	外: 黄灰 内: 黄灰	2.5Y4/1 2.5Y4/1	口縁部1/12	清郷型
668	139-02			土師器	鍋	S54-B	F21	包含層	—	密	外:にぶい赤褐 内:にぶい赤褐	5YR5/4 5YR5/4	口縁部1/12	清郷型
669	088-04			土師器	鍋	S54-A	G4	包含層	—	密	外: 灰褐 内: 灰褐	5YR5/2 5YR5/2		清郷型
670	137-04			土師器	鍋	S54-B	B25	包含層	—	密	にぶい赤褐	2.5YR5/4	口縁部1/12	清郷型
671	137-05			土師器	鍋	S54-B	L19	包含層	—	密	にぶい橙	7.5YR6/4	口縁部1/12	清郷型
672	139-04			土師器	鍋	S54-B	B19	包含層	—	密	外: 明赤褐 内: 明赤褐	2.5YR5/6 2.5YR5/6	口縁部1/12	清郷型
673	138-05			土師器	鍋	S54-B	E25	包含層	—	密	灰褐	7.5YR5/2	口縁部1/12	清郷型
674	138-04			土師器	鍋	S54-B	B11	包含層	—	密	外:にぶい褐 内:にぶい褐	7.5YR5/4 7.5YR5/4	口縁部1/12	清郷型
675	137-06			土師器	鍋	S54-B	E25	包含層	—	密	にぶい褐	7.5YR5/4	口縁部小片	清郷型
676	051-01		15	緑釉陶器	椀	S54-C	—	包含層	(口) 13.8 (高) 4.5 (台) 7.5	硬・密	釉: 灰オリーブ 素地: 灰	7.5Y4/2 N4/	8/10	全面施釉
677	051-02		14	緑釉陶器	輪花椀	—	—	包含層	(口) 15.1 (高) 5.2 ～5.5 (台) 7.3	硬・密	釉: 暗オリーブ灰 素地: 灰	7.5Y4/3 N4/	8/10	全面施釉 四方輪花
678	175-06			緑釉陶器	椀	—	B15	包含層	(台) 7.6	密	素地: 灰白 釉: 濃黄緑色	7.5Y7/1	台部3/12	
679	156-02		230	緑釉陶器	椀	S54-C	M7	包含層	(台) 7.1	密	素地: 灰白 釉:オリーブ黄	N7/0 7.5Y6/3	台部5/12	
680	115-01		225	緑釉陶器	稜椀	S54-B	A5	Ⅱ層	(口) 16.4 (高) 5.9 (台) 7.4	密	釉:オリーブ灰 素地: 灰白	10Y6/2 7.5Y7/1	台部3/12	
681	115-04		234	緑釉陶器	椀	S54-B	A6	包含層	(口) 16.0	密	釉:オリーブ灰 素地: 灰白	10Y5/2 5Y7/1	台部1/12	
682	175-03			緑釉陶器	椀			包含層	(台) 8.2	密	素地: 灰 釉: 濃黄緑色	N6/0	台部3/12	
683	156-03		164	緑釉陶器	椀	S54-C	O3	包含層	(台) 7.7	密	素地: 灰白 釉: 浅黄	N8/0 7.5Y7/3	台部2/12	
684	115-06		228	緑釉陶器	小椀	S54-B	A4	包含層	(口) 9.2 (高) 3.0 (台) 4.5	密	釉: 明オリーブ灰 素地: 浅黄橙	2.5GY7/1 10YR8/3	台部12/12	
685	115-02		226	緑釉陶器	小椀	S54-B	B25	包含層	(口) 10.3 (高) 3.7 (台) 6.0	密	釉:オリーブ灰 素地:にぶい黄橙	10Y4/2 10YR7/2	台部9/12	

第20表　土器類観察表⑯

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
686	175-07		227	緑釉陶器	小椀	S54	－	包含層	(台) 6.8 (高) 3.6	密	素地:にぶい橙 釉: 緑	7.5Y7/4	台部6/12	
687	115-05			緑釉陶器	耳皿	S54-B	G9	包含層	(台) 5.3	密	釉:ｵﾘｰﾌﾞ灰 素地: 灰	10Y4/2 N6/0	台部12/12	
688	175-05			緑釉陶器	皿	S54	A6	包含層	(台) 8.0	密	素地: 白 釉: 濃黄緑色		台部2/12	
689	156-04		235	緑釉陶器	段皿	S54-C	E12	包含層	(口) 13.0	密	素地: 黄灰 釉: 灰ｵﾘｰﾌﾞ	2.5Y5/1 7.5Y5/3	口縁部1/12	
690	115-03		223	緑釉陶器	皿	S54-B	E25	包含層	(口) 11.4 (高) 2.1 (台) 6.6	密	釉:ｵﾘｰﾌﾞ灰 素地: 灰	10Y5/2 5Y6/1	台部3/12	
691	115-07		231	緑釉陶器	皿	S54-B	B13	包含層	(口) 11.2 (高) 2.1 (台) 6.0	密	釉: 若草色 素地: 浅黄	2.5GY8/3	台部10/12	
692	156-01		232	緑釉陶器	皿	S54-C	H2	包含層	(口) 12.8 (高) 2.35 (台) 7.2	密	素地: 灰白 釉:ｵﾘｰﾌﾞ灰	N7/0 10Y6/2	台部3/12	
693	175-04			緑釉陶器	皿	S54	－	包含層	(台) 7.0	密	素地: 灰 釉: 濃黄緑色	N5/0	台部1/12	
694	116-01			灰釉陶器	椀	S54-B	D4	包含層	(口) 14.5 (高) 4.4 (台) 7.2	密	釉: 暗ｵﾘｰﾌﾞ 素地: 灰黄	5Y4/3 2.5Y6/2	台部12/12	
695	116-03			灰釉陶器	椀	S54-B	D4	包含層	(口) 13.4 (高) 4.2 (台) 6.3	密	釉: 灰ｵﾘｰﾌﾞ 素地: 灰黄	10Y6/2 2.5Y7/2	口縁部5/12	
696	116-05			灰釉陶器	椀	S54-B	N8	包含層	(口) 15.2 (高) 5.2 (台) 9.0	密	釉:ｵﾘｰﾌﾞ灰 素地: 灰	10Y5/2 7.5Y6/1	台部4/12	
697	116-06			灰釉陶器	椀	S54-B	B25	包含層	(台) 7.6	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	台部5/12	
698	119-05			灰釉陶器	椀	S54-B	F21	包含層	(台) 8.1	密	釉: 灰白 素地: 灰白	7.5Y7/2 2.5Y8/1	台部12/12	
699	116-04			灰釉陶器	椀	S54-B	E24	包含層	(口) 15.8 (高) 5.3 (台) 8.4	密	釉: 灰ｵﾘｰﾌﾞ 素地: 灰黄	7.5Y5/3 2.5Y6/2	台部5/12	
700	116-02			灰釉陶器	椀	S54-B	H10	包含層	(口) 16.2 (高) 6.15 (台) 8.0	密	釉: 灰ｵﾘｰﾌﾞ 素地: 灰黄	5Y5/3 2.5Y7/2	台部12/12	
701	118-01		182	灰釉陶器	椀	S54-C	D24	包含層	(台) 8.2	密	外: 灰白 内: 灰白	10Y8/1 7.5Y7/	台部3/12	
702	118-02		183	灰釉陶器	椀	S54-C	D24	包含層	(台) 9.2	密	外: 灰白 内: 灰白	7.5Y8/1 7.5Y7/1	台部5/12	
703	117-02		185	灰釉陶器	椀	S54-C		包含層	(口) 15.6 (高) 5.1 (台) 7.9	密	釉: 灰ｵﾘｰﾌﾞ 素地: 灰	7.5Y5/2 7.5Y6/1	口縁部11/12	底部に墨書あり
704	118-03		184	灰釉陶器	椀	S54-C	H2	包含層	(台) 8.6	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y8/1 2.5Y7/1	台部9/12	底部に墨書あり
705	117-03		18	灰釉陶器	椀	S54-C	R18	包含層	(口) 12.8 (高) 3.3 (台) 6.2	密	釉: 灰ｵﾘｰﾌﾞ 素地: 灰白	5Y6/2 N7/	台部6/12	底部に墨書あり
706	117-01		242	灰釉陶器	椀	S54-B	C6	包含層	(台) 8.2	密	釉: 灰ｵﾘｰﾌﾞ 素地: 灰白	7.5Y6/2 5Y7/1	台部5/12	底部に墨書あり
707	117-04		210	灰釉陶器	皿	S54-C	H2	包含層	(台) 6.6	密	外: 灰白 内: 灰白	7.5Y8/1 7.5Y7/1	台部12/12	底部に墨書あり
708	119-04			灰釉陶器	皿	S54-B	F21	包含層	(台) 7.8	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 N8/0	台部12/12	
709	119-02			灰釉陶器	皿	S54-B	C6	包含層	(台) 7.2	密	外: 灰白 内: 灰白	10Yr7/1 10Yr7/1	台部12/12	
710	119-09		181	灰釉陶器	皿	S54-C	D24	包含層	(台) 6.7	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 N8/0	台部4/12	
711	119-01		239	灰釉陶器	皿	S54-B	C6	包含層	(口) 11.1 (高) 2.25 (台) 5.5	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y7/1 2.5Y7/1	台部12/12	
712	120-02		238	灰釉陶器	皿	S54-B	A6	包含層	(口) 11.5 (高) 2.55 (台) 6.7	密	釉: 灰白 素地:にぶい黄橙	10Y7/2 10YR7/2	台部12/12	
713	119-03			灰釉陶器	皿	S54-B	G14	包含層	(口) 14.2 (高) 3.65 (台) 8.2	密	外: 灰白 内: 灰白	7.5Y8/1 5Y7/1	台部8/12	
714	120-05	17	17	灰釉陶器	段皿	S54-C	R17	包含層	(口) 12.8 (高) 2.8 (台) 7.2	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 N7/0	口縁部8/12	底部に墨書あり
715	156-05			灰釉陶器	皿	S54-C	K12	包含層	(台) 7.8	密	灰白	2.5Y8/2	台部12/12	
716	119-08			灰釉陶器	皿	S54-B	G15	包含層	(口) 11.8 (高) 1.4 (台) 7.2	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 N7/0	台部1/12	
717	120-04			灰釉陶器	皿	S54-B	E24	包含層	(口) 12.8 (高) 1.3 (台) 7.6	密	釉: 灰白 素地: 灰白	2.5Y8/1 2.5Y7/1	口縁部4/12	
718	120-03		240	灰釉陶器	段皿	S54-B	I16	包含層	(口) 13.6 (高) 2.0 (台) 7.5	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y8/1 2.5Y8/1	台部5/12	

第21表　土器類観察表⑰

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
719	120-01			灰釉陶器	皿	S54-B	B13	包含層	(口) 12.0 (高) 2.0 (台) 6.0	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y8/1 N8/0	台部12/12	
720	119-06		241	灰釉陶器	皿	S54-B	B21	包含層	(口) 12.2 (高) 2.4 (台) 7.2	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 N7/0	台部3/12	
721	156-06			灰釉陶器	小壺	S54-C	A22	包含層	(口) 3.8	密	灰白 灰	N7/0 N5/0	口縁部12/12	
722	191-03		115	土師器	皿	S54-B	I6	包含層	(口) 8.2 (高) 1.3	密	外: 浅黄橙 内: 浅黄橙	10YR8/3 10YR8/3	口縁部8/12	
723	191-02	36	36	土師器	皿	S54-B	I6	包含層	(口) 8.3 (高) 1.5	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR7/3 10YR7/3	口縁部12/12	
724	087-04			土師器	皿	S54-A	G3	包含層	(口) 8.4 (高) 1.5	密	にぶい橙	7.5YR7/4	4/12	
725	186-02	37	37	土師器	皿	S54-B	F21	包含層	(口) 8.1 (高) 1.5	密	浅黄橙	10YR8/3	完形	
726	087-03			土師器	皿	S54-A	G8	包含層	(口) 8.2 (高) 1.3	密	にぶい黄橙	10YR7/3	5/12	
727	184-06			土師器	皿	S54	A33	包含層	(口) 8.9 (高) 1.4	密	外: 橙 内: 橙	2.5YR6/6 2.5YR6/6	口縁部7/12	
728	185-07			土師器	皿	S54- 幹線	A76	包含層	(口) 9.0 (高) 1.1	密	外: 灰白 内: 灰白	10YR8/2 10YR8/2	口縁部9/12	
729	185-04			土師器	皿	S54-A	G3	包含層	(口) 8.8 (高) 0.9	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5YR8/2 2.5YR8/2	口縁部4/12	
730	185-03		61	土師器	皿	S54-A	C2	包含層	(口) 9.0 (高) 1.3	密	外: 黄灰 内: 黄灰	2.5YR7/2 2.5YR7/2	口縁部9/12	
731	136-05			土師器	皿	S54-B	M9	包含層	(口) 8.5 (高) 1.5	密	にぶい橙	10YR7/4	口縁部11/12	
732	136-08			土師器	皿	S54-B	G9	包含層	(口) 14.6 (高) 2.11	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部4/12	
733	136-02			土師器	皿	S54-B	B20	包含層	(口) 13.3 (高) 2.8	密	にぶい橙	7.5YR7/4	口縁部6/12	
734	192-03		106	土師器	鍋	S54-B	G25	包含層	(口) 22.3	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR6/3 10YR7/3	口縁部6/12	
735	088-02			陶器	鍋	S54-A	E2	包含層	(口) 22.6	密	外: 灰白 内: 淡黄	10YR8/2 2.5Y8/3	口縁部2/12	
736	187-03	40	40	土師器	鍋	S54-C	76A	包含層	(口) 26.8	密	灰白	2.5Y8/3	口縁部3/12	
737	134-02			土師器	鍋	S54-A	C18	包含層	(口) 21.0	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y7/1 2.5Y8/1	口縁部3/12	
738	132-02			土師器	鍋	S54-B	L21	包含層	(口) 21.8	密	にぶい黄橙 にぶい黄橙	10YR7/4 10YR7/4	口縁部11/12	
739	089-01			陶器	鍋	S54-A	G8	包含層	(口) 26.5	密	外: 灰褐 内:にぶい黄橙	7.5YR5/2 10YR6/3	8/12	
740	134-01			土師器	羽釜	S54-B	B11	包含層	(口) 25.0 (鍔) 29.2	密	外: 灰黄褐 内: 灰白	10YR4/2 10YR7/1	口縁部4/12	
741	184-02	39	39	土師器	羽釜	S54-A	C18	包含層	(口) 21.8	密	外: 灰白 内: 灰白	10YR7/1 10YR7/1	口縁部1/12	
742	178-01			土師器	羽釜	東	No9	包含層	(口) 22.6	密	外: 灰黄 内: 灰黄	2.5Y7/2 2.5Y7/2	口縁部5/12	試掘
743	179-03			土師器	羽釜	東	No12	包含層	(口) 21.2	密	外: 灰黄 内: 灰黄	2.5Y7/2 2.5Y7/2	口縁部3/12	試掘
744	178-03			土師器	羽釜	東	No9	包含層	(口) 32.8	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR7/3 10YR7/3	口縁部2/12	試掘
745	179-01			土師器	羽釜	東	No10	包含層	(口) 16.0	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR7/3 10YR7/3	口縁部5/12	試掘
746	179-02			土師器	羽釜	東	No 9・10	包含層	(口) 16.4	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR7/2 10YR7/2	口縁部3/12	試掘
747	178-02			土師器	羽釜	東	No9	包含層	(口) 18.0	密	外:にぶい黄橙 内: 浅黄橙	10YR5/3 10YR8/3	口縁部3/12	試掘
748	181-01			土師器	羽釜	東	No9	包含層	(口) 22.6	密	にぶい黄橙	10YR7/2	口縁部4/12	試掘
749	180-01			土師器	羽釜	東	No10	包含層	(口) 21.0	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR7/3 10YR7/3	口縁部4/12	試掘
750	180-02			土師器	羽釜	東	No10	包含層	(口) 22.2	密	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	10YR6/3 10YR6/3	口縁部3/12	試掘
751	087-01			土師器	羽釜	S54-A	D7	包含層	(口) 18.4 (鍔) 24.2	密	にぶい黄橙	10YR7/3	口縁部2/12	
752	185-01		86	土師器	羽釜	S54-A	I11	包含層	(口) 22.0	密	外: 灰白 内: 灰白	10YR8/2 10YR8/2	口縁部6/12	
753	086-01			土師器	羽釜	S54-A	B16	包含層	(口) 31.4	密	浅黄橙	10YR8/3	口縁部2/12	
754	088-03			土師器	羽釜	S54-A	H9	包含層	—	密	外:にぶい褐 内: 灰白	7.5YR6/3 10YR8/2		
755	106-05			陶器	山皿	S54-B	H5	包含層	(口) 8.4 (高) 2.3 (底) 4.0	密	外: 灰白 内: 灰白	10Y6/2 10Y6/2	底部12/12	
756	106-01			陶器	山皿	S54-B	B16	包含層	(口) 8.0 (高) 2.3 (底) 4.0	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 N8/0	完存	
757	105-08			陶器	山皿	S54-B	A15	包含層	(口) 8.2 (高) 2.2 (底) 4.1	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y8/1 2.5Y8/1	底部12/12	

第22表　土器類観察表⑱

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
758	106-08			陶器	山皿	S54-B	B25	包含層	(口) 8.35 (高) 1.95 (底) 4.3	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 5Y7/1	底部12/12	
759	106-03			陶器	山皿	S54-B	B32	包含層	(口) 8.8 (高) 2.3 (底) 4.5	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y7/1 2.5Y7/1	底部12/12	
760	104-06			陶器	山皿	S54-B	N6	包含層	(口) 9.4 (高) 2.1	密	灰白	5Y7/1	口縁部9/12	渥美型 第5型式
761	106-02			陶器	山皿	S54-B	I1	包含層	(口) 8.1 (高) 1.9 (底) 4.1	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	底部12/12	
762	078-11			陶器	山皿	S54-A	G3	包含層	(口) 8.5 (高) 2.3 (底) 4.6	密	灰白	2.5Y7/1	10/12	
763	106-09			陶器	山皿	S54-B	B16	包含層	(口) 8.4 (高) 2.0 (底) 4.4	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 N8/0	底部12/12	
764	105-04			陶器	山皿	S54-B	A15	包含層	(口) 8.3 (高) 2.2 (底) 4.3	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y8/1 2.5Y8/1	底部12/12	
765	105-07			陶器	山皿	S54-B	A15	包含層	(口) 8.0 (高) 2.2 (底) 4.4	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 N8/0	底部12/12	
766	105-09			陶器	山皿	S54-B	A15	包含層	(口) 8.9 (高) 2.0 (底) 5.2	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 N8/0	底部12/12	
767	078-02		74	陶器	山皿	S54-A	C16	包含層	(口) 9.2 (高) 2.8 (底) 4.6	やや密	灰黄	2.5Y6/2	2/12	
768	105-10			陶器	山皿	S54-B	B10	包含層	(口) 8.2 (高) 2.7 (底) 4.3	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 N7/0	底部12/12	
769	103-02		26	陶器	山皿	S54-B	A15	包含層	(口) 8.5 (高) 2.4	密	灰白	N8/0	口縁部10/12	底部に墨書あり 渥美型 第5型式
770	105-02			陶器	山皿	S54-B	B16	包含層	(口) 8.3 (高) 2.0 (底) 4.5	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y7/1 2.5Y7/1	底部12/12	
771	104-04			陶器	山皿	S54-B	C20	包含層	(口) 8.6 (高) 1.3	密	灰白	N8/0	口縁部4/12	渥美型 第5型式
772	105-06			陶器	山皿	S54-B	A15	包含層	(口) 8.2 (高) 2.35 (底) 4.1	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 2.5Y8/1	底部12/12	
773	104-05			陶器	山皿	S54-B	B13	包含層	(口) 8.8 (高) 2.5	密	灰白	N8/0	口縁部11/12	渥美型 第5型式
774	105-03			陶器	山皿	S54-B	B15	包含層	(口) 9.0 (高) 2.1 (底) 4.5	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 N7/0	底部12/12	
775	104-08	18	102	陶器	山皿	S54-B	C20	包含層	(口) 8.0 (高) 1.8	密	灰白	N8/0	口縁部12/12	尾張型 第6型式
776	177-02			陶器	山皿	—	No26	包含層	(口) 8.4 (高) 1.9 (底) 4.6	密	灰白	N8/0	底部12/12	試掘
777	078-12		69	陶器	山皿	S54-A	A19	包含層	(口) 7.8 (高) 1.8 (底) 4.7	やや粗	灰白	2.5Y7/1	5/12	
778	104-02		144	陶器	山皿	S54-B	H1	包含層	(口) 8.2 (高) 1.8	密	灰白	2.5Y7/1	口縁部8/12	尾張型 第6型式
779	078-15			陶器	山皿	S54-A	A25	包含層	(口) 7.7 (底) 4.5	密	灰黄	2.5Y6/2	12/12	
780	103-04		140	陶器	山皿	S54-B	A15	包含層	(口) 8.3 (高) 2.1	密	灰白	5Y8/1	口縁部11/12	尾張型 第5型式
781	078-08		68	陶器	山皿	S54-A	A18	包含層	(口) 8.0 (高) 2.1 (底) 4.4	やや密	灰白	5Y7/1	3/12	
782	103-03			陶器	山皿	S54-B	A15	包含層	(口) 8.2 (高) 2.2	密	灰白	N7/0	口縁部10/12	底部に墨書あり 渥美型 第5型式
783	106-10			陶器	山皿	S54-B	B16	包含層	(口) 8.2 (高) 2.0 (底) 4.8	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	底部12/12	
784	103-06			陶器	山皿	S54-B	F21	包含層	(口) 8.2 (高) 1.5 ～1.9	密	灰白	7.5Y7/1	口縁部11/12	尾張型 第7型式
785	105-05			陶器	山皿	S54-B	B16	包含層	(口) 7.8 (高) 1.6 (底) 4.4	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 5Y7/1	底部11/12	
786	078-03			陶器	山皿	S54-A	I11	包含層	(口) 7.7 (高) 1.8 (底) 4.3	やや密	灰	7.5Y6/1	12/12	
787	106-06			陶器	山皿	S54-B	H5	包含層	(口) 7.9 (高) 2.2 (底) 4.4	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 N8/0	底部12/12	
788	105-01			陶器	山皿	S54-B	B16	包含層	(口) 8.4 (高) 2.0 (底) 6.0	密	外: 灰白 内: 灰白	N7/0 N7/0	完存	

第23表　土器類観察表⑲

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
789	078-06		71	陶器	山皿	S54-A	B20	包含層	(口) 9.5 (高) 1.4 (底) 5.1	やや密	灰	5Y6/1	2/3	
790	104-03			陶器	山皿	S54-B	G4	包含層	(口) 8.5 (高) 1.7	密	灰黄	2.5Y7/2	口縁部5/12	尾張型 第７型式
791	078-09		147	陶器	山皿	S54-A	－	包含層	(口) 7.0 (高) 1.7 (底) 4.7	やや密	灰白	2.5Y7/1	1/12	
792	103-01		146	陶器	山皿	S54-B	I16	包含層	(口) 8.8 (高) 1.9	密	灰	7.5Y6/1	口縁部11/12	底部に墨書あり
793	106-04			陶器	山皿	S54-B	B20	包含層	(口) 8.0 (高) 1.8 (底) 5.2	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	底部12/12	
794	104-01		145	陶器	山皿	S54-B	H11	包含層	(口) 8.9 (高) 1.7	密	灰白	N8/0	口縁部11/12	
795	103-08		142	陶器	山皿	S54-B	F22	包含層	(口) 8.2 (高) 1.7	密	灰白	N7/0	完存	尾張型 第６型式
796	078-10		52	陶器	山皿	S54-A	－	包含層	(口) 7.8 (高) 1.9	やや密	灰白	N7/	4/12	
797	078-04		72	陶器	山皿	S54-A	C1	包含層	(口) 8.2 (高) 1.9 (底) 5.0	やや粗	黄灰	2.5Y6/1	1/12	
798	103-05		143	陶器	山皿	S54-B	G25	包含層	(口) 8.2 ～8.4 (高) 1.6 ～2.2	密	灰白	N8/0	口縁部11/12	尾張型 第５型式
799	103-07		143	陶器	山皿	S54-B	F21	包含層	(口) 8.8 (高) 1.9	密	灰	5Y6/1	完存	尾張型 第６型式
800	106-07			陶器	山皿	S54-B	A20	包含層	(口) 8.3 (高) 1.65 (底) 5.3	密	外: 灰白 内: 灰白	7.5Y7/1 7.5Y7/1	底部8/12	
801	108-01			陶器	小椀	S54-B	N1	包含層	(口) 10.0 (高) 3.3 (台) 5.7	密	外: 灰黄 内: 灰黄	2.5Y7/2 2.5Y7/2	口縁部12/12	
802	078-14			陶器	小椀	S54-A	I2	包含層	(口) 9.4 (高) 3.4 (底) 4.7	やや密	にぶい黄橙	10YR7/2	2/3	
803	107-04			陶器	小椀	S54-B	E25	包含層	(口) 10.3 (高) 3.5 (台) 5.6	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	台部12/12	
804	168-04			陶器	小椀	S54-幹線	A26	包含層	(口) 10.2 (高) 3.3 (台) 5.2	密	灰白	N8/0	台部7/12	
805	078-13		67	陶器	小椀	S54-A	A20	包含層	(口) 8.5 (高) 3.1 (底) 3.9	やや密	灰白	2.5Y7/1	3/12	尾張型 第４型式
806	078-01			陶器	小椀	S54	G4	包含層	(口) 9.0 (高) 2.6 (底) 5.0	やや密	灰白	5Y7/1		
807	107-07			陶器	小椀	S54-B	N1	包含層	(口) 9.4 (高) 2.3 ～2.8 (台) 5.8	密	外: 灰黄 内: 灰黄	2.5Y7/2 2.5Y7/2	台部12/12	
808	107-01			陶器	小椀	S54-B	F22	包含層	(口) 10.2 (高) 2.7 (台) 5.8	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	底部12/12	尾張型 第４型式
809	168-03			陶器	小椀	S54-幹線	A39	包含層	(口) 10.0 (高) 2.7 (台) 5.7	密	灰白	5Y8/1	口縁部4/12	
810	168-07			陶器	小椀	S54-幹線	B35	包含層	(口) 11.2 (高) 3.5 (台) 6.7	密	灰白	5Y7/0	口縁部8/12	玉縁口縁 渥美型 第３型式
811	107-05			陶器	小椀	S54-B	N1	包含層	(口) 10.0 (高) 3.0 (台) 5.0	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	口縁部11/12	
812	107-02			陶器	小椀	S54-B	E25	包含層	(口) 9.7 (高) 2.7 (台) 4.9	密	外: 灰褐 内: 灰白	7.5YR5/2 2.5Y7/1	底部12/12	尾張型 第４型式
813	107-03			陶器	小椀	S54-B	I16	包含層	(口) 9.5 (高) 3.0 (台) 5.1	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y8/2 2.5Y8/2	口縁部5/12	
814	107-06			陶器	小椀	S54-B	M4	包含層	(口) 8.3 (高) 2.7 (台) 4.4	密	外: 灰黄 内: 灰黄	2.5Y7/2 2.5Y7/2	口縁部12/12	
815	112-02			陶器	山茶椀	S54-B	B25	埋土	(口) 15.4 (高) 5.5 (台) 7.1	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	台部12/12	
816	168-01			陶器	山茶椀	S54-幹線	A72	埋土	(口) 16.0 (高) 5.4 (台) 7.7	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
817	102-01		135	陶器	山茶椀	S54-B	H19		(口) 15.2 (高) 5.3 (台) 7.2	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	尾張型 第３型式

第24表　土器類観察表⑳

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
818	112-03			陶器	山茶椀	S54-B	A15	包含層	(口) 16.0 (高) 5.4 (台) 7.5	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	台部12/12	
819	109-03			陶器	山茶椀	S54-B	K20	包含層	(口) 16.8 (高) 5.7 (台) 8.2	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y8/1 2.5Y8/1	台部12/12	尾張型 第3型式
820	111-01			陶器	山茶椀	S54-B	C20	包含層	(口) 15.8 (高) 5.4 (台) 8.5	密	灰白	N8/0	台部12/12	尾張型 第3型式
821	110-02			陶器	山茶椀	S54-B	B16	包含層	(口) 14.8 (高) 5.1 (台) 7.1	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	台部11/12	尾張型 第6型式
822	109-01			陶器	山茶椀	S54-B	N17	包含層	(口) 17.2 (高) 5.6 (台) 8.5	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	台部12/12	
823	176-06			陶器	山茶椀		No47	包含層	(口) 15.0 (高) 5.0 (台) 7.2	密	灰白	N8/0	口縁部4/12	試掘
824	076-08		80	陶器	山茶椀	S54-A	C16	包含層	(口) 14.6 (高) 5.2 (底) 6.4	密	灰白	2.5Y7/1	4/12	
825	113-05			陶器	山茶椀	S54-B	N21	包含層	(口) 17.1 (高) 5.6 (台) 8.2	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
826	176-02			陶器	山茶椀	―	No76	包含層	(口) 15.6 (高) 5.7 (台) 7.2	密	灰白	2.5Y7/1	台部11/12	試掘
827	112-06			陶器	山茶椀	S54-B	B25	包含層	(口) 15.0 (高) 5.3 (台) 6.1	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y7/1 2.5Y7/1	台部12/12	
828	102-03		138	陶器	山茶椀	S54-B	L24	包含層	(口) 16.7 (高) 5.9 (台) 7.6	密	灰白	5Y7/1	口縁部3/12	
829	111-05			陶器	山茶椀	S54-B	B20	包含層	(口) 15.5 (高) 5.7 (台) 7.2	密	灰	5Y6/1 ～5/1	台部4/12	
830	169-03			陶器	山茶椀	S54- 幹線	A26	包含層	(口) 16.3 (高) 5.5 (台) 7.1	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
831	102-05			陶器	山茶椀	S54-B	M10	包含層	(口) 16.4 (高) 5.2 (台) 7.5	密	灰白	N7/0	口縁部4/12	
832	168-02			陶器	山茶椀	S54- 幹線	A72	包含層	(口) 15.0 (高) 5.4 (台) 6.5	密	灰白	N8/0	台部10/12	
833	169-01			陶器	山茶椀	S54- 幹線	A60	包含層	(口) 18.0 (高) 5.3 (台) 9.0	密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
834	110-05			陶器	山茶椀	S54-B	M14	包含層	(口) 16.0 ～16.6 (高) 5.2 (台) 8.0	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y7/2 2.5Y7/2	台部12/12	尾張型 第5型式
835	112-05			陶器	山茶椀	S54-B	M4	包含層	(口) 15.7 (高) 5.1 (台) 7.9	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	台部12/12	
836	109-02			陶器	山茶椀	S54-B	N17	包含層	(口) 16.9 (高) 5.3 (台) 7.9	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 N8/0	台部12/12	
837	169-06			陶器	山茶椀	S54- 幹線	A53	包含層	(口) 16.0 (高) 5.6 (台) 7.2	密	灰白	5Y7/1	台部6/12	
838	110-01			陶器	山茶椀	S54-B	N17	包含層	(口) 16.4 (高) 5.1 (台) 7.7 ～7.9	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	台部12/12	尾張型 第5型式
839	169-05			陶器	山茶椀	S54- 幹線	A60	包含層	(口) 16.6 (高) 4.9 (台) 9.3	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
840	113-02	21	21	陶器	山茶椀	S54-B	A25	包含層	(口) 16.5 (高) 5.4 (台) 8.0	密	灰白	N8/0	口縁部11/12	
841	102-04		137	陶器	山茶椀	S54-B	L24	包含層	(口) 16.1 (高) 5.3 (台) 9.0	密	灰白	7.5Y7/1	高台部4/12	
842	113-03		133	陶器	山茶椀	S54-B	H15	包含層	(口) 15.3 (高) 4.7 (台) 7.4	密	灰白	5Y7/1	台部12/12	
843	076-02		78	陶器	山茶椀	S54-A	B20	包含層	(口) 16.8 (高) 4.6 (底) 6.4	密	灰白	5Y7/1	5/12	
844	111-02			陶器	山茶椀	S54-B	B24	包含層	(口) 16.6 (高) 5.1 (台) 9.1	密	灰白	2.5Y8/1	台部12/12	

第25表　土器類観察表㉑

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
845	112-01			陶器	山茶椀	S54-B	B25	包含層	(口) 15.5 (高) 5.1 (台) 6.6	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	台部12/12	
846	110-06			陶器	山茶椀	S54-B	H11	包含層	(口) 16.6 (高) 4.9 (台) 7.2	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	台部8/12	尾張型 第5型式
847	169-02			陶器	山茶椀	S54-幹線	A31	包含層	(口) 16.3 (高) 5.5 (台) 7.1	密	灰白	N8/0	台部8/12	
848	111-03			陶器	山茶椀	S54-B	A19	包含層	(口) 16.1 (高) 5.0 (台) 7.7	密	灰白	N8/0	台部12/12	
849	176-03			陶器	山茶椀	—	No76	試掘	(口) 14.8 (高) 5.0 (台) 6.4	密	灰白	N8/0	台部12/12	試掘
850	176-01			陶器	山茶椀	—	No76	試掘	(口) 15.0 (高) 5.2 (台) 6.0	密	灰白	N7/4	台部10/12	試掘
851	113-06		207	陶器	山茶椀	S54-B	E21	包含層	(口) 15.6 (高) 4.8 (台) 7.3					底部に墨書あり
852	102-02		136	陶器	山茶椀	S54-B	I1	包含層	(口) 14.7 (高) 5.7 (台) 5.8	密	灰白	N7/0	高台部12/12	
853	111-04		101	陶器	山茶椀	S54-B	C20	包含層	(口) 15.0 (高) 5.3 (台) 6.5 ～7.3	密	灰白	N8/0	台部12/12	
854	112-04			陶器	山茶椀	S54-B	A20	包含層	(口) 15.0 (高) 5.1 (台) 7.3	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y7/1 2.5Y7/1	台部12/12	
855	076-04		81	陶器	山茶椀	S54-A	C17	包含層	(口) 13.3 (高) 4.6 ～5.1 (底) 5.9	密	灰白	5Y7/1	5/12	
856	076-05		79	陶器	山茶椀	S54-A	B20	包含層	(口) 14.7 (高) 4.8 (底) 7.0	密	灰白	5Y7/1	7/12	
857	077-04			陶器	山茶椀	S54-A	G2	包含層	(口) 14.8 (高) 5.2 ～5.3 (底) 6.7	密	灰白	2.5Y7/1	9/12	
858	110-03			陶器	山茶椀	S54-B	B16	包含層	(口) 14.5 (高) 5.5 (台) 6.5	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y7/1 5Y7/1	台部12/12	尾張型 第6型式
859	077-06		75	陶器	山茶椀	S54-A	B8	包含層	(口) 13.6 (高) 5.2 ～5.4 (底) 5.2	密	灰白	7.5Y7/1	8/12	
860	110-04			陶器	山茶椀	S54-B	E25	包含層	(口) 14.7 (高) 5.9 (台) 6.0	密	外: 灰白 内: 灰黄	2.5Y7/2 2.5Y7/2	台部12/12	尾張型 第6型式
861	076-01			陶器	山茶椀	S54-A	G22	包含層	(口) 15.0 (高) 5.0 ～5.45 (底) 6.8	密	灰白	2.5Y7/1	7/12	
862	113-01	23	23	陶器	山茶椀	S54-B	I1	包含層	(口) 15.0 (高) 4.8 (台) 6.4	密	灰白	N7/0	完存	
863	108-04		130	陶器	山茶椀	S54-B	A15	包含層	(台) 6.8	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y7/1 2.5Y7/1	台部12/12	底部に墨書あり
864	076-03			陶器	山茶椀	S54-A	G2	包含層	(口) 14.4 (高) 5.1 (底) 7.2	密	灰黄	2.5Y7/2	11/12	
865	169-04			陶器	山茶椀	S54-幹線	A27	包含層	(口) 14.8 (高) 5.3 (台) 7.0	密	灰黄	2.5Y7/2	台部12/12	
866	175-02		208	陶器	山茶椀	S54	—	包含層	(台) 7.9	密	外: 灰 内: 灰	N6/0 N6/0	台部12/12	底部に墨書あり
867	071-01		211	陶器	山茶椀	S54-A	I11	包含層	(底) 7.2	やや粗	灰	7.5Y6/1	底部完存	底部に墨書あり
868	113-04		132	陶器	山茶椀	S54-B	G25	包含層	(口) 15.2 (高) 4.7 (台) 7.1	密	灰白	N8/0	台部12/12	
869	077-02			陶器	山茶椀	S54-A	G6	包含層	(口) 13.8 (高) 4.6 ～5.7 (底) 6.4	密	灰黄	2.5Y6/2	12/12	
870	108-03		212	陶器	山茶椀	S54-B	B20	包含層	(台) 6.8	密	外: 灰白 内: 灰白	2.5Y7/1 2.5Y7/1	台部12/12	底部に墨書あり
871	108-02		213	陶器	山茶椀	S54-B	H10	包含層	(台) 6.0	密	外: 灰黄 内: 灰黄	2.5Y7/2 2.5Y7/2	底部4/12	底部に墨書あり
872	076-07		77	陶器	山茶椀	S54-A	B20	包含層	(口) 13.9 (高) 5.45 (底) 7.2	密	浅黄	2.5Y7/3	4/12	

第26表　土器類観察表 ㉒

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
873	168-06			陶器	山茶椀	S54-幹線	A32	包含層	(口) 14.6 (高) 5.5 (台) 6.1	密	灰白	N8/0	台部4/12	
874	169-07			陶器	山茶椀	S54-幹線	B36	包含層	(口) 12.2 (高) 4.1 (台) 5.8	密	灰白	2.5Y7/1	台部12/12	
875	109-05			陶器	山茶椀	S54-B	B20	包含層	(口) 13.4 (底) 6.2	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 N8/0	口縁部5/12	
876	077-01		76	陶器	山茶椀	S54-A	B8	包含層	(口) 13.7 (高) 5.7 (底) 5.8	密	灰黄	2.5Y6/2	8/12	
877	077-03			陶器	山茶椀	S54-A	I21	包含層	(口) 13.6 (高) 5.8 ～6.0 (底) 6.2	密	灰白	N7/0	11/12	
878	109-06			陶器	山茶椀	S54-B	M9	包含層	(口) 12.8 (高) 5.8 (台) 6.0	密	外: 灰白 内: 灰白	N8/0 N8/0	口縁部3/12	
879	176-04			陶器	山茶椀	S54	A34	包含層	(口) 13.5 (高) 5.4 (台) 5.8	密	灰白	2.5Y7/1	口縁部11/12	
880	109-04			陶器	山茶椀	S54-B	M9	包含層	(口) 14.2 (高) 6.0 (台) 5.5	密	外: 灰白 内: 灰白	5Y8/1 5Y8/1	口縁部5/12	
881	176-05			陶器	山茶椀	S54	No32	包含層	(口) 11.8 (高) 4.7 (台) 5.0	密	灰白	N8/0	台部10/12	試掘
882	071-02		97	陶器	山茶椀	S54-A	C7	包含層	(口) 12.2 (高) 4.6 (底) 5.6	やや粗	灰白	2.5Y8/1	6/12	底部に墨書あり 尾張型 第８型式
883	077-05		82	陶器	山茶椀	S54-A	I15	包含層	(口) 12.7 (高) 4.9 ～5.3 (底) 6.6	密	灰白	N7/	7/12	尾張型 第８型式
884	168-05			陶器	山茶椀	S54-幹線	B78	包含層	(口) 13.0 (高) 4.7 (底) 5.2	密	灰白	N7/0	底部12/12	
885	076-09		195	陶器	山茶椀	S54-A	—	包含層	(口) 13.3 (高) 4.0 ～4.5 (底) 5.2	密	灰白	2.5Y7/1	12/12	尾張型 第９型式
886	177-01			陶器	山茶椀	東	No10	包含層	(口) 12.0 (高) 3.4 (底) 5.8	密	灰	N7/0	底部5/12	試掘 尾張型 第11型式
887	078-16			陶器	耳皿	S54-A	A4	包含層	(口) 8.2 (底) 4.4	密	灰白	2.5Y7/1	4/5	尾張型 第３型式
888	201-01		88	陶器	片口鉢	S54-A	G2	包含層	(口) 27.5	密	にぶい黄	2.5Y6/3	口縁部3/12	
889	125-02		149	陶器	片口鉢	S54-B	J10	包含層	(口) 19.6 (底) 11.5	密	灰白	5Y7/1	口縁部2/12	
890	095-05		84	陶器	縁釉小皿	S54-A	C2	包含層	(口) 11.6 (高) 2.0 (底) 5.5	密	素地: 灰黄 釉色:ｵﾘｰﾌﾞ黄	2.5Y7/2 5Y6/4	底部4/12	古瀬戸後Ⅱ期
891	095-06		83	陶器	縁釉小皿	S54-A	B17	包含層	(口) 12.2 (高) 2.35 (底) 6.5	密	素地: 灰黄 釉色:ｵﾘｰﾌﾞ黄	2.5Y7/2 7.5Y6/3	底部6/12	古瀬戸後Ⅱ期
892	096-05			陶器	縁釉小皿	S54-A	H6	包含層	(口) 11.6 (高) 2.75	密	素地: 浅黄 釉色:ｵﾘｰﾌﾞ黄	2.5Y7/3 7.5Y6/3	口縁部8/12	古瀬戸後Ⅲ期
893	096-06		262	陶器	縁釉小皿	S54-A	B11	包含層	(口) 11.4 (高) 3.0	密	素地: 灰黄 釉色:ｵﾘｰﾌﾞ黄	2.5Y7/2 5Y5/4	口縁部6/12	古瀬戸後Ⅰ期
894	095-04		249	陶器	縁釉小皿	S54-A	B9	包含層	(口) 11.6	密	素地: 浅黄 釉色:ｵﾘｰﾌﾞ黄	2.5Y8/3 5Y6/4	口縁部6/12	古瀬戸後Ⅲ期
895	096-04		87	陶器	卸目皿	S54-A	A13	包含層	—	密	素地: 灰黄 釉色: 浅黄	2.5Y7/2 5Y7/3	底部	古瀬戸中期
896	094-04		246	陶器	袴腰香炉	S54-A	I11	包含層	(口) 13.6	密	灰白	7/1Hue2.5Y	口縁部2/12	古瀬戸後Ⅲ期
897	096-03		250	陶器	平椀	S54-A	T18	包含層	(口) 17.4 (高) 5.9 (台) 7.0	密	素地: 浅黄 釉色: 浅黄	2.5Y7/3 5Y7/3	口縁部1/12	古瀬戸後Ⅲ期
898	096-02		85	陶器	平椀	S54-A	C17	包含層	(口) 14.6	密	素地: 浅黄 釉色: 浅黄	2.5Y8/3 5Y7/3	口縁部3/12	古瀬戸後Ⅰ期
899	095-03		251	陶器	平椀	S54-A	D2	包含層	—	密	素地: 灰黄 釉色: 浅黄	2.5Y7/2 5Y7/3		古瀬戸後Ⅲ期
900	095-02			陶器	洗	S54-A	B21	包含層	(口) 26.6	密	素地: 灰白 釉色: 灰白	5YR8/2 5YR8/2	口縁部1/12	古瀬戸前Ⅱ期
901	094-03		247	陶器	天目茶椀	S54-A	D2	包含層	(口) 11.2	密	灰白	8/1Hue2.5Y	口縁部2/12	古瀬戸後Ⅰ期
902	094-05		150	陶器	天目茶椀	S54-A	—	包含層	(口) 12.0	密	灰黄	7/2Hue2.5Y	口縁部1/12	古瀬戸後Ⅲ期
903	202-01		44	陶器	壺	S54-A	B4	包含層	(口) 12.7	密	外:にぶい赤褐 内:にぶい赤褐	5YR4/3 5YR4/3	口縁部1/12	
904	087-06			陶器	仏具	S54-A	G15	包含層	(底) 4.9	密	外: 浅黄橙 釉:にぶい褐	10YR8/3 7.5YR5/4	底部9/12	
905	094-02		92	陶器	花瓶	S54-A	A2	包含層	(底) 12.0	密	にぶい黄橙	7/2Hue10YR	底部5/12	古瀬戸後Ⅰ期
906	095-01			陶器	折縁深皿	S54-A	B21	包含層	(口) 34.6	密	素地: 浅黄 釉色: 浅黄	2.5Y7/3 5Y7/3	口縁部1/12	古瀬戸後Ⅳ古期

第27表　土器類観察表 ㉓

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
907	092-01			陶器	片口鉢	S54-A	I13	包含層	(口) 28.0	密	にぶい赤褐	5/3Hue5YR	4/12	常滑製品
908	093-01			陶器	片口鉢	S54-A	B21	包含層	(口) 30.8	やや粗	灰白	7/1Hue5Y	口縁部2/12	瀬戸窯 第10型式
909	124-01			陶器	擂鉢	S54-B	G15	包含層	(口) 37.0 (高) 14.9 (底) 14.9	密	釉: 褐 素地: 浅黄橙	7.5YR4/3 10YR8/3	底部4/12	常滑製品
910	125-03			陶器	壺	S54-B	A23	包含層	—	密	外:にぶい褐 内:にぶい褐	7.5Y5/3 7.5Y5/3		常滑製品
911	201-02		121	陶器	甕	S54-B	M10	包含層	(口) 20.9	密	灰黄	2.5Y6/2	口縁部1/12	常滑製品
912	202-03		90	陶器	甕	S54-A	C18	包含層	—	密	灰白 灰黄褐	N7/ 10YR4/2		常滑製品
913	202-02		89	陶器	甕	S54-A	B15	包含層	—	密	素地: 淡黄 釉:にぶい赤褐	2.5Y8/3 4/4		常滑製品
914	094-01			陶器	甕	S54-A	D13	包含層	(口) 30.2	やや粗	灰白	8/1Hue7.5YR	口縁部3/12	常滑製品
915	092-02		94	青磁	椀	S54-A	B19	包含層	(底) 5.0	密	灰白	8/1Hue5Y	底部12/12	
916	092-03		93	青磁	椀	S54-A	B15	包含層	(底) 5.2	密	浅黄橙	8/3Hue10YR	底部12/12	
917	092-04		95	青磁	椀	S54-A	C16	包含層	(口) 11.0	密	灰黄	7/2Hue2.5Y	3/12	
918	093-02		151	青磁	皿	S54-B	B25	包含層	(口) 10.2	密	灰白	8/1Hue7.5Y	口縁部3/12	
919	093-03		152	青磁	皿	S54-B	H2	包含層	(底) 5.8	密	灰白	8/N	底部3/12	
920	093-04		96	青磁	椀	S54-A	I15	包含層	—	密	灰白	8/1Hue5Y	底部2/12	
921	124-02			白磁	椀	S54-B	G4	包含層	(口) 16.2	密	釉: 灰白 素地: 灰白	5Y7/2 5Y8/1	口縁部3/12	
922	124-03		244	白磁	椀	S54-B	H8	包含層	(口) 16.6	密	釉: 灰白 素地: 灰白	5Y7/2 7.5´8/1	口縁部2/12	
923	125-01			白磁	椀	S54-B	B19	包含層	(口) 18.0	密	釉: 灰白 素地: 灰白	5Y7/2 5Y8/1	口縁部2/12	
924	096-01		245	白磁	椀	S54-A	B11	包含層	(口) 16.6 (高) 6.45 (台) 7.2	密	素地: 灰白 釉色: 灰黄	2.5Y8/2 2.5Y7/2	底部7/12	
925	161-03			瓦	平瓦	S54-C	A19	包含層	—	密	灰白	2.5Y8/2		
926	142-06			瓦	平瓦	S54-C	K17	包含層	—	密				
927	161-04			瓦	平瓦	S54-C	H18	包含層	—	密	灰白	2.5Y8/2		
928	128-03			瓦	平瓦	S54-B	E25	包含層	—	密	灰 灰白	N5/0 2.5Y8/1		
929	160-01			瓦	丸瓦	S54-C	C12	包含層	—	密	灰白	2.5Y8/2		
930	128-02			瓦	丸瓦	S54-B	B20	包含層	(長) 7.0 (厚) 1.9	密	黄灰	2.5Y6/1		
931	161-01			瓦	丸瓦	S54-C	V14	包含層	—	密	灰白	2.5Y8/2		
932	161-02			瓦	丸瓦	S54-C	K12	包含層	—	密	灰黄	2.5Y7/2		
933	128-01			瓦	丸瓦	S54-B	G15	包含層	(長) 8.5 (厚) 2.5	密	にぶい橙	7.5YR6/4		
934	099-04			陶質	土錘	S54-A	I14	包含層	(長) 7.3 (幅) 4.7	密	暗赤褐	5YR3/4	残存重61.58g	
935	099-08			土師質	土錘	S54-A	A15	包含層	(長) 9.1 (幅) 4.1	密	灰白	5Y7/1	残存重157.6g	
936	131-02			土師質	土錘	S54-B	H3	包含層	(長) 8.25 (幅) 4.0	密	にぶい橙	7.5YR6/4	残存重107.1g	
937	131-06			土師質	土錘	S54-B	B74	包含層	(長) 6.6 (幅) 1.8	密	灰黄	2.5Y7/2	残存重75.84g	
938	131-03			土師質	土錘	S54-B	B39	包含層	(長) 7.1 (幅) 3.5	密	にぶい橙	YR6/4	残存重66.69g	
939	127-01			土師質	土錘	S54-B	E23	包含層	(長) 6.4 (幅) 3.2	密	灰黄褐 褐灰	10YR6/2 10YR5/1	残存重50.85g	
940	160-02			土師質	土錘	S54-C	V16	包含層	(長) 7.1 (幅) 3.0	密	灰白	10YR8/2	残存重53.4g	
941	158-04		186	土師質	土錘	S54-C	—	包含層	(長) 7.35 (幅) 3.05	密	にぶい黄橙	10YR6/3	残存重61.9g	
942	126-08		216	土師質	土錘	S54-B	E25	包含層	(長) 7.7 (幅) 2.4	密	浅黄橙	10YR8/4	残存重33.42g	
943	158-07			土師質	土錘	S54-C	H1	包含層	(長) 6.6 (幅) 2.6	密	浅黄 黄灰	2.5Y7/3 2.5Y4/1	残存重35.0g	
944	131-04			土師質	土錘	S54-B	I7	包含層	(長) 6.3 (幅) 2.5	密	褐灰 明褐	7.5YR4/1 7.5YR5/8	残存重36.28g	
945	099-07			土師質	土錘	S54-A	B11	包含層	(長) 4.3 (幅) 3.2	密	黒褐	2.5Y3/1	残存重35.7g	
946	226-02			土師質	土錘	S54	No61	包含層	(長) 6.35 (幅) 2.6	密	にぶい橙	7.5YR7/4	残存重37.42g	
947	099-06			土師質	土錘	S54-A	C17	包含層	(長) 7.2 (幅) 2.9	密	にぶい橙	7.5YR6/4	残存重56.48g	
948	099-09			土師質	土錘	S54-A	A3	包含層	(長) 7.1 (幅) 3.8	密	にぶい橙	5YR6/4	残存重101.0g	
949	099-03			土師質	土錘	S54-A	C17	包含層	(長) 6.8 (幅) 3.05	密	浅黄橙	10YR8/3	残存重41.96g	

第28表　土器類観察表 ㉔

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
950	131-01			土師質	土錘	S54-B	E22	包含層	(長) 6.1 (幅) 3.25	密	浅黄	2.5Y7/3	残存重62.45g	
951	099-02			土師質	土錘	S54-A	B9	包含層	(長) 6.5 (幅) 2.9	密	灰白	2.5Y8/2	残存重39.87g	
952	099-01			土師質	土錘	S54-A	D12	包含層	(長)5.85 (幅) 3.25	密	にぶい黄橙	10YR6/4	残存重53.36g	
953	099-05			土師質	土錘	S54-A	I15	包含層	(長) 6.7 (幅) 3.1		灰白	10YR8/2	残存重43.51g	
954	131-05			土師質	土錘	S54-B	H7	包含層	(長) 6.1 (幅) 2.95	密	にぶい橙	7.5YR6/4	残存重40.28g	
955	126-10			土師質	土錘	S54-B	E23	包含層	(長) 5.5 (幅) 3.0	密	にぶい橙 にぶい黄褐	7.5YR6/4 10YR5/3	残存重38.16g	
956	158-06			土師質	土錘	S54-C	O2	包含層	(長) 6.15 (幅) 2.5	密	にぶい橙	5YR6/4	残存重23.1g	
957	158-03			土師質	土錘	S54-C	D19 ・20	包含層	(長) 5.9 (幅) 2.6	密	黄灰	2.5Y5/1	残存重41.1g	
958	227-08			土師質	土錘		B17	包含層	(長) 5.5 (幅) 2.6	密	にぶい黄橙	10YR7/4	残存重28.12g	
959	126-09			土師質	土錘	S54-B	B10	包含層	(長) 5.5 (幅) 2.2	密	にぶい黄橙	10YR6/4	残存重25.55g	
960	158-05			土師質	土錘	S54-C	P10	包含層	(長) 5.7 (幅) 2.75	密	浅黄橙	10YR8/3	残存重29.2g	
961	226-09			土師質	土錘	S54-C		包含層	(長) 6.2 (幅) 3.0	密	にぶい黄橙	10YR7/3	残存重45.54g	
962	158-01			土師質	土錘	S54-C	O1	包含層	(長) 6.4 (幅) 2.2	密	にぶい黄橙	10YR7/3	残存重28.5g	
963	228-02			土師質	土錘		A16	包含層	(長) 4.7 (幅) 2.2	密	淡橙	5YR8/3	残存重18.31g	
964	228-04			土師質	土錘	S54-C	E4	包含層	(長) 5.2 (幅) 2.6	密	にぶい橙	7.5YR7/4	残存重31.24g	
965	126-11			土師質	土錘	S54-B	D5	包含層	(長) 5.2 (幅) 2.15	密	灰白 黄灰	10YR8/2 2.5Y4/1	残存重19.36g	
966	228-03			土師質	土錘	S54-C	M6	包含層	(長) 4.2 (幅) 2.0	密	灰白	N8/0	残存重13.75g	
967	228-01			土師質	土錘	S54-C	A16	包含層	(長) 5.1 (幅) 2.2	密	にぶい橙	7.5YR7/4	残存重20.71g	
968	226-08			土師質	土錘	S54-C	—	包含層	(長) 3.6 (幅) 1.7	密	にぶい橙	5YR7/4	残存重8.77g	
969	226-01			土師質	土錘	—	No42	包含層	(長) 5.5 (幅) 1.65	密	橙	5YR6/6	残存重13.45g	試掘
970	130-09			土師質	土錘	S54-B	H7	包含層	(長) 4.7 (幅) 1.5	密	橙	7.5YR6/6	残存重6.71g	
971	097-01			土師質	土錘	S54-A	A8	包含層	(長) 4.7 (幅)1.45	密	浅黄橙	10YR8/3	残存重8.37g	
972	098-13			土師質	土錘	S54-A	I6	包含層	(長)5.35 (幅) 1.6	密	にぶい橙	5YR7/4	残存重13.95g	
973	158-02			土師質	土錘	S54-C	P6	包含層	(長) 5.4 (幅) 1.75	密	灰白	2.5Y8/2	残存重14.7g	
974	129-12			土師質	土錘	S54-B	E22	包含層	(長) 5.5 (幅) 1.5	密	橙	5YR6/6	残存重11.50g	
975	131-10			土師質	土錘	S54-B	A24	包含層	(長) 4.5 (幅) 1.3	密	明赤褐	5YR5/8	残存重5.00g	
976	126-06			土師質	土錘	S54-B	B20	包含層	(長) 6.3 (幅) 1.4	密	にぶい黄橙 黒褐	10YR6/3 2.5Y3/1	残存重5.07g	
977	129-05			土師質	土錘	S54-B	A20	包含層	(長) 5.8 (幅) 1.3	密	橙	7.5YR6/6	残存重7.49g	
978	158-09			土師質	土錘	S54-C	M7	包含層	(長) 3.4 (幅) 1.1	密	にぶい橙	5YR7/4	残存重6.1g	
979	129-10			土師質	土錘	S54-B	A20	包含層	(長) 6.1 (幅) 1.4	密	にぶい橙	7.5YR5/4	残存重8.70g	
980	129-07			土師質	土錘	S54-B	A20	包含層	(長) 4.7 (幅) 1.2	密	明赤褐	5YR5/6	残存重6.51g	
981	097-02			土師質	土錘	S54-A	A9	包含層	(長) 5.8 (幅)1.15	密	橙	5YR6/6	残存重6.59g	
982	129-06			土師質	土錘	S54-B	A20	包含層	(長) 5.8 (幅) 1.2	密	橙	7.5YR6/6	残存重6.39g	
983	098-11		91	土師質	土錘	S54-A	G25	包含層	(長) 5.2 (幅) 1.0	密	にぶい橙	5YR7/4	残存重5.12g	
984	098-08			土師質	土錘	S54-A	E15	包含層	(長) 5.3 (幅) 1.1	密	にぶい橙	7.5YR6/4	残存重6.61g	
985	129-03			土師質	土錘	S54-B	A20	包含層	(長) 5.5 (幅) 1.3	密	橙	7.5YR6/6	残存重7.26g	
986	174-10		194	土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 5.2 (幅) 1.15	密	明赤褐	2.5YR5/6	残存重5.45g	
987	227-02			土師質	土錘	S54	A48	包含層	(長) 5.35 (幅) 1.1	密	にぶい黄橙	10YR7/4	残存重6.96g	

第29表　土器類観察表 ㉕

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
988	226-04			土師質	土錘	S54	No76	包含層	(長) 5.2 (幅) 1.1	密	浅黄橙	7.5YR8/3	残存重6.40g	試掘
989	098-14			土師質	土錘	S54-A	J4	包含層	(長) 5.0 (幅) 1.2	密	にぶい橙	7.5YR7/4	残存重5.84g	
990	126-04			土師質	土錘	S54-B	A15	包含層	(長) 4.7 (幅) 1.2	密	にぶい橙	7.5YR7/4	残存重6.13g	
991	226-06			土師質	土錘	－	No26	包含層	(長) 5.1 (幅) 1.3	密	橙	2.5YR6/8	完存7.63g	試掘
992	226-11			土師質	土錘	S54-C	表採	包含層	(長) 4.95 (幅) 0.9	密	橙	7.5YR7/6	完存4.64g	
993	126-07			土師質	土錘	S54-B	A20	包含層	(長) 5.0 (幅) 1.4	密	橙	5YR6/8	残存重5.72g	
994	130-01			土師質	土錘	S54-B	E22	包含層	(長) 4.7 (幅) 1.3	密	にぶい黄橙	10YR7/4	残存重6.82g	
995	126-02			土師質	土錘	S54-B	E25	包含層	(長) 5.0 (幅) 1.3	密	にぶい橙	2.5YR6/4	残存重6.92g	
996	098-10			土師質	土錘	S54-A	G6	包含層	(長) 4.2 (幅) 1.1	密	にぶい黄橙	10YR7/3	残存重4.60g	
997	098-05			土師質	土錘	S54-A	E10	包含層	(長) 4.6 (幅) 1.1	密	にぶい橙	5YR6/4	残存重6.06g	
998	130-04			土師質	土錘	S54-B	E25	包含層	(長) 4.8 (幅) 1.3	密	褐灰	10YR4/1	残存重8.51g	
999	126-05			土師質	土錘	S54-B	M10	包含層	(長) 4.5 (幅) 1.2	密	にぶい橙	7.5YR7/4	残存重5.07g	
1000	129-11			土師質	土錘	S54-B	E22	包含層	(長) 3.8 (幅) 1.3	密	にぶい橙	7.5YR6/4	残存重4.59g	
1001	126-03			土師質	土錘	S54-B	A20	包含層	(長) 4.5 (幅) 1.2	密	にぶい橙	7.5YR6/4	残存重5.51g	
1002	098-12		99	土師質	土錘	S54-A	I4	包含層	(長) 4.8 (幅) 0.9	密	橙	5YR6/6	残存重5.48g	
1003	227-01			土師質	土錘	S51	A48	包含層	(長) 4.5 (幅) 0.9	密	橙	2.5YR7/6	残存重4.30g	
1004	226-05			土師質	土錘	S52	No72	包含層	(長) 4.6 (幅) 1.1	密	浅黄橙	10YR8/3	残存重5.35g	試掘
1005	226-07			土師質	土錘	S53	No71	包含層	(長) 4.55 (幅) 1.05	密	にぶい黄橙	10YR7/3	残存重4.60g	試掘
1006	227-09			土師質	土錘	S54	O4	包含層	(長) 4.4 (幅) 1.0	密	橙	5YR7/6	残存重3.96g	
1007	126-01			土師質	土錘	S54-B	A20	包含層	(長) 4.3 (幅) 1.2	密	橙	2.5YR6/8	残存重4.05g	
1008	158-08			土師質	土錘	S54-C	排水トレンチ	包含層	(長) 4.05 (幅) 1.1	密	橙	7.5YR6/6	残存重4.6g	
1009	226-10			土師質	土錘	S54	A16	包含層	(長) 4.55 (幅) 1.1	密	にぶい褐	7.5YR6/3	残存重4.01g	
1010	173-03			土師質	土錘	S54	－	包含層	(長) 4.1 (幅) 1.1	密	にぶい橙	5YR6/4	残存重5.01g	
1011	097-15			土師質	土錘	S54-A	D12	包含層	(長) 4.2 (幅) 1.1	密	橙	2.5YR6/6	残存重5.05g	
1012	098-07			土師質	土錘	S54-A	E10	包含層	(長) 4.5 (幅) 1.1	密	にぶい黄橙	10YR7/4	残存重4.71g	
1013	098-02			土師質	土錘	S54-A	D13	包含層	(長) 4.4 (幅) 0.95	密	にぶい赤褐	5YR5/4	残存重3.47g	
1014	131-09			土師質	土錘	S54-B	H7	包含層	(長) 4.1 (幅) 1.3	密	にぶい赤褐	2.5YR5/4	残存重5.15g	
1015	097-11			土師質	土錘	S54-A	C7	包含層	(長) 3.9 (幅) 1.0	密	にぶい橙	7.5YR6/3	残存重4.18g	
1016	130-05			土師質	土錘	S54-B	G9	包含層	(長) 4.3 (幅) 1.2	密	橙	5YR6/6	残存重5.20g	
1017	130-12		153	土師質	土錘	S54-B	H18	包含層	(長) 4.3 (幅) 1.1	密	にぶい黄橙	10YR7/3	残存重5.40g	
1018	158-10		193	土師質	土錘	S54-C	B25	包含層	(長) 4.45 (幅) 1.2	密	橙	5YR6/6	残存重6.1g	
1019	129-04			土師質	土錘	S54-B	A20	包含層	(長) 4.2 (幅) 1.1	密	明赤褐	2.5YR5/8	残存重5.24g	
1020	098-09			土師質	土錘	S54-A	E15	包含層	(長) 4.1 (幅) 1.1	密	橙	2.5YR6/6	残存重5.15g	
1021	130-13		154	土師質	土錘	S54-B	H18	包含層	(長) 4.3 (幅) 1.4	密	にぶい橙	5YR6/4	残存重7.12g	
1022	130-10			土師質	土錘	S54-B	H15	包含層	(長) 4.1 (幅) 1.4	密	にぶい黄橙	10YR7/3	残存重6.02g	
1023	226-03			土師質	土錘	東	No10	包含層	(長) 3.9 (幅) 1.0	密	にぶい橙	7.5YR7/4	残存重4.56g	試掘
1024	130-07			土師質	土錘	S54-B	G15	包含層	(長) 4.3 (幅) 0.9	密	黄灰	2.5Y5/1	残存重2.66g	
1025	130-06			土師質	土錘	S54-B	G9	包含層	(長) 4.3 (幅) 1.1	密	橙	2.5YR6/6	残存重4.86g	

第30表　土器類観察表 ㉖

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
1026	227-05			土師質	土錘	S54	B23	包含層	(長) 4.0 (幅) 1.1	密	橙	5YR7/6	残存重4.36g	
1027	227-11			土師質	土錘	S54	P17	包含層	(長) 4.15 (幅) 1.05	密	橙	2.5YR6/6	残存重4.86g	
1028	130-11			土師質	土錘	S54-B	J10	包含層	(長) 4.0 (幅) 1.1	密	橙	5YR6/6	残存重4.93g	
1029	097-14			土師質	土錘	S54-A	D6	包含層	(長) 4.0 (幅) 1.0	密	橙	5YR6/6	残存重4.85g	
1030	130-03			土師質	土錘	S54-B	E23	包含層	(長) 4.3 (幅) 1.3	密	橙	2.5YR6/6	残存重5.87g	
1031	226-13			土師質	土錘	S54	A35・36	包含層	(長) 3.85 (幅) 1.1	密	橙	2.5YR6/6	残存重4.60g	
1032	097-05		98	土師質	土錘	S54-A	B3	包含層	(長) 4.25 (幅) 0.9	密	橙	2.5YR7/6	残存重4.82g	
1033	130-02			土師質	土錘	S54-B	E23	包含層	(長) 4.5 (幅) 1.0	密	赤橙	10R6/6	残存重4.04g	
1034	129-01			土師質	土錘	S54-B	A14	包含層	(長) 4.2 (幅) 1.0	密	橙	5YR6/6	残存重5.13g	
1035	098-03			土師質	土錘	S54-A	D16	包含層	(長) 3.9 (幅) 1.1	密	にぶい橙	7.5YR7/4	残存重3.40g	
1036	097-12			土師質	土錘	S54-A	C2	包含層	(長) 4.0 (幅) 1.2	密	橙	2.5YR7/6	残存重4.61g	
1037	097-04			土師質	土錘	S54-A	B4	包含層	(長) 4.1 (幅) 1.1	密	橙	2.5YR6/6	残存重4.41g	
1038	227-07			土師質	土錘	S54	C25	包含層	(長) 4.2 (幅) 1.1	密	にぶい橙	7.5YR7/4	残存重3.60g	
1039	129-09			土師質	土錘	S54-B	A20	包含層	(長) 3.7 (幅) 1.0	密	橙	7.5YR6/6	残存重3.58g	
1040	129-08			土師質	土錘	S54-B	A20	包含層	(長) 3.6 (幅) 1.2	密	にぶい橙	7.5YR7/4	残存重5.82g	
1041	130-08			土師質	土錘	S54-B	G15	包含層	(長) 3.5 (幅) 1.1	密	にぶい橙	5YR6/4	残存重3.46g	
1042	173-01			土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 4.0 (幅) 1.1	密	にぶい橙	5YR6/4	残存重5.04g	
1043	129-02			土師質	土錘	S54-B	A15	包含層	(長) 3.9 (幅) 1.0	密	にぶい橙	7.5YR6/4	残存重4.24g	
1044	174-11		192	土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 3.4 (幅) 0.8	密	褐	7.5YR4/4	残存重2.29g	
1045	098-01			土師質	土錘	S54-A	D12	包含層	(長) 3.8 (幅) 1.05	密	にぶい橙	5YR6/4	残存重3.80g	
1046	227-10			土師質	土錘	S54	S7	包含層	(長) 3.9 (幅) 1.0	密	橙	2.5YR6/6	残存重3.61g	
1047	097-08			土師質	土錘	S54-A	B14	包含層	(長) 3.5 (幅) 0.8	密	浅黄橙	10YR8/3	残存重2.11g	
1048	227-12			土師質	土錘	S54	R13	包含層	(長) 3.1 (幅) 1.0	密	浅黄橙	7.5YR8/4	残存重2.65g	
1049	097-06			土師質	土錘	S54-A	B5	包含層	(長) 3.7 (幅) 1.15	密	橙	2.5YR6/6	残存重4.31g	
1050	097-10			土師質	土錘	S54-A	B15	包含層	(長) 4.35 (幅) 1.15	密	にぶい橙	2.5YR6/4	残存重4.12g	
1051	097-13			土師質	土錘	S54-A	C19	包含層	(長) 3.7 (幅) 1.25	密	にぶい橙	5YR7/4	残存重4.33g	
1052	131-11		155	土師質	土錘	S54-B	H10	包含層	(長) 3.6 (幅) 1.3	密	明赤褐	2.5YR5/8	残存重4.16g	
1053	227-03			土師質	土錘	S54	A50	包含層	(長) 3.6 (幅) 1.1	密	橙	5YR7/6	残存重3.09g	
1054	097-07			土師質	土錘	S54-A	B5	包含層	(長) 3.3 (幅) 1.1	密	浅黄橙	7.5YR8/4	残存重3.42g	
1055	173-02			土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 2.2 (幅) 1.0	密	橙	2.5YR6/6	残存重1.62g	
1056	098-06			土師質	土錘	S54-A	E9	包含層	(長) 2.55 (幅) 1.0	密	橙	5YR6/6	残存重2.56g	
1057	227-06			土師質	土錘	S54	B73	包含層	(長) 2.9 (幅) 1.1	密	橙	2.5YR7/6	残存重3.14g	
1058	131-12			土師質	土錘	S54-B	H7	包含層	(長) 2.9 (幅) 1.2	密	にぶい橙	5YR6/4	残存重3.09g	
1059	131-13			土師質	土錘	S54-B	H7	包含層	(長) 3.0 (幅) 1.35	密	明赤褐	5YR5/6	残存重4.19g	
1060	097-03			土師質	土錘	S54-A	B4	包含層	(長) 2.6 (幅) 0.95	密	にぶい橙	5YR6/4	残存重2.53g	
1061	097-09			土師質	土錘	S54-A	B14	包含層	(長) 3.5 (幅) 1.0	密	橙	5YR7/6	残存重3.08g	
1062	098-04			土師質	土錘	S54-A	E4	包含層	(長) 2.6 (幅) 0.9	密	灰黄	2.5Y7/2	残存重1.55g	
1063	227-04			土師質	土錘	S52	A50	包含層	(長) 2.8 (幅) 0.85	密	浅黄橙	7.5YR8/4	残存重1.73g	
1064	173-04			土師質	土錘	S53	A31	包含層	(長) 3.1 (幅) 1.0	密	にぶい黄橙	10YR7/2	残存重2.49g	

第31表　土器類観察表㉗

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
1065	226-12			土師質	土錘	S54	B21	包含層	(長) 2.9 (幅) 0.9	密	浅黄橙	10YR8/3	残存重2.15g	
1066	173-14			土師質	土錘	S55	—	包含層	(長) 3.65 (幅) 0.95	密	にぶい橙 ～褐灰	5YR6/6 5YR4/1	残存重2.87g	
1067	173-07			土師質	土錘	S56	—	包含層	(長) 3.0 (幅) 1.05	密	にぶい赤褐	2.5YR5/4	残存重2.78g	
1068	173-06			土師質	土錘	S57	—	包含層	(長) 3.0 (幅) 0.95	密	明赤褐	5YR5/6	残存重2.27g	
1069	173-11			土師質	土錘	S58	—	包含層	(長) 3.0 (幅) 1.0	密	明赤褐	5YR5/6	残存重2.65g	
1070	174-03			土師質	土錘	S59	—	包含層	(長) 3.0 (幅) 1.1	密	明赤褐	2.5YR5/6	残存重2.80g	
1071	174-06			土師質	土錘	S60	—	包含層	(長) 2.8 (幅) 1.1	密	明赤褐	5YR5/6	残存重2.76g	
1072	174-08			土師質	土錘	S61	—	包含層	(長) 2.9 (幅) 0.9	密	明赤褐	5YR5/6	残存重2.21g	
1073	174-09			土師質	土錘	S62	—	包含層	(長) 3.0 (幅) 1.1	密	明赤褐	5YR5/6	残存重2.52g	
1074	173-13			土師質	土錘	S63	—	包含層	(長) 3.0 (幅) 1.0	密	赤褐	2.5YR4/6	残存重2.49g	
1075	174-05			土師質	土錘	S64	—	包含層	(長) 3.1 (幅) 1.1	密	明赤褐	5YR5/6	残存重2.83g	
1076	174-01			土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 3.05 (幅) 1.1	密	明赤褐 暗赤灰	2.5YR5/6 2.5YR3/1	残存重2.90g	
1077	173-10			土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 2.95 (幅) 1.05	密	明赤褐	5YR5/6	残存重2.70g	
1078	174-04			土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 3.0 (幅) 1.0	密	明赤褐	5YR5/6	残存重2.81g	
1079	173-05			土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 3.0 (幅) 1.0	密	橙	2.5Y6/6	残存重2.40g	
1080	174-02			土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 2.7 (幅) 1.1	密	明赤褐 暗赤灰	2.5YR5/6 2.5YR3/1	残存重2.88g	
1081	173-12			土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 2.8 (幅) 1.15	密	明赤褐	5YR5/6	残存重3.00g	
1082	173-08			土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 3.1 (幅) 1.0	密	橙	2.5YR6/6	残存重2.36g	
1083	173-09			土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 3.1 (幅) 0.9	密	橙	5YR6/6	残存重2.14g	
1084	174-07			土師質	土錘	S54	—	包含層	(長) 3.0 (幅) 1.0	密	明赤褐	5YR5/6	残存重2.45g	
1085	100-03			土師質	土玉	S54-A	B8	包含層	(長) 4.5 (幅) 4.5	密	にぶい黄橙	10YR7/3	残存重76.44g	
1086	159-04			土師質	土玉	S54-C	R20	包含層	(長) 3.9 (幅) 4.3	密	にぶい黄橙	7/3	残存重66.1g	
1087	100-11			土師質	土玉	S54-A	A9	包含層	(長) 4.5 (幅) 4.4	密	にぶい橙	7.5YR6/4	残存重69.90g	
1088	100-04			土師質	土玉	S54-A	B3	包含層	(長) 4.0 (幅) 3.6	密	にぶい黄橙	10YR6/3	残存重44.55g	
1089	159-10			土師質	土玉	S54-C	O2	包含層	(長) 3.6 (幅) 3.8	密	黒褐	2.5Y3/1	残存重53.0g	
1090	099-13			土師質	土玉	S54-A	C6	包含層	(長) 3.7 (幅) 3.9	密	橙	5YR6/6	残存重48.47g	
1091	100-06			土師質	土玉	S54-A	A5	包含層	(長) 3.4 (幅) 3.8	密	灰黄	2.5Y7/2	残存重40.45g	
1092	100-05			土師質	土玉	S54-A	A9	包含層	(長) 3.65 (幅) 3.7	密	浅黄橙	10YR8/3	残存重45.12g	
1093	159-07			土師質	土玉	S54-C	O6	包含層	(長) 3.6 (幅) 3.7	密	黄灰	2.5Y4/1	残存重47.8g	
1094	100-07			土師質	土玉	S54-A	C12	包含層	(長) 3.7 (幅) 3.4	密	浅黄	2.5Y7/3	残存重35.74g	
1095	127-04			土師質	土玉	S54-B	D4	包含層	(長) 3.7 (幅) 3.7	密	にぶい黄橙	10YR7/4	残存重19.40g	
1096	159-12			土師質	土玉	S54-C	Q5	包含層	(長) 3.7 (幅) 3.5	密	灰黄	2.5Y6/2	残存重45.1g	
1097	099-12			土師質	土玉	S54-A	A20	包含層	(長) 3.25 (幅) 3.8	密	にぶい橙	5YR6/4	残存重35.14g	
1098	100-10			土師質	土玉	S54-A	B12	包含層	(長) 3.05 (幅) 3.6	密	にぶい黄橙	10YR7/4	残存重18.40g	
1099	099-10			土師質	土玉	S54-A	A14	包含層	(長) 3.4 (幅) 3.5	密	にぶい橙	5YR6/4	残存重33.38g	
1100	228-05			土師質	土玉	S54-C	A16	包含層	(長) 3.6 (幅) 3.6	密	橙	5YR6/6	残存重41.15g	
1101	127-03			土師質	土玉	S54-B	A3	包含層	(長) 3.2 (幅) 3.3	密	にぶい橙	7.5YR6/4	残存重33.45g	
1102	159-08			土師質	土玉	S54-C	O1	包含層	(長) 3.6 (幅) 3.7	密	橙	7.5YR7/6	残存重47.8g	
1103	100-09			土師質	土玉	S54-A	A9	包含層	(長) 3.25 (幅) 3.35	密	にぶい黄橙	10YR7/3	残存重29.85g	

第32表　土器類観察表 ㉘

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
1104	168-09			土師質	土玉	S54-幹線	A31	包含層	(長) 3.1 (幅) 3.1	密	にぶい黄橙	10YR7/4	残存重27.5g	
1105	159-09			土師質	土玉	S54-C	E9	包含層	(長) 3.55 (幅) 3.6	密	浅黄橙	10YR8/4	残存重31.7g	
1106	131-07		156	土師質	土玉	S54-B	H2	包含層	(長) 2.9 (幅) 3.3	密	にぶい橙	7.5YR6/4	残存重30.37g	
1107	158-11			土師質	土玉	S54-C	P17	包含層	(長) 3.35 (幅) 3.5	密	黄灰	2.5Y6/2	残存重40.7g	
1108	127-02			土師質	土玉	S54-B	E25	包含層	(長) 3.0 (幅) 3.4	密	にぶい黄橙	10YR6/4	残存重34.26g	
1109	100-01			土師質	土玉	S54-A	C1	包含層	(長) 3.1 (幅) 3.3	密	黒褐	7.5YR3/1	残存重31.08g	
1110	159-02			土師質	土玉	S54-C	—	包含層	(長) 3.3 (幅) 3.5	密	にぶい黄橙	10YR7/3	残存重34.8g	
1111	159-03		188	土師質	土玉	S54-C	R4	包含層	(長) 3.3 (幅) 3.45	密	橙	7.5YR7/6	残存重17.3g	
1112	099-11			土師質	土玉	S54-A	—	包含層	(長) 3.3 (幅) 3.8	密	にぶい橙	7.5YR7/4	残存重40.83g	
1113	159-01			土師質	土玉	S54-C	R20	包含層	(長) 3.15 (幅) 3.2	密	浅黄	2.5Y7/4	残存重31.7g	
1114	100-08			土師質	土玉	S54-A	B2	包含層	(長) 3.15 (幅) 3.4	密	浅黄	2.5Y7/3	残存重35.36g	
1115	131-08			土師質	土玉	S54-B	H7	包含層	(長) 2.7 (幅) 3.3	密	にぶい橙	7.5YR7/4	残存重26.65g	
1116	159-05		190	土師質	土玉	S54-C	E12	包含層	(長) 2.95 (幅) 3.15	密	灰黄褐	10YR6/2	残存重27.5g	
1117	100-02			土師質	土玉	S54-A	A9	包含層	(長) 3.65 (幅) 3.4	密	にぶい褐	7.5YR5/4	残存重39.48g	
1118	100-12			土師質	土玉	S54-A	A9	包含層	(長) 2.7 (幅) 3.2	密	にぶい褐	7.5YR5/4	残存重26.81g	
1119	158-13			土師質	土玉	S54-C	D12	包含層	(長) 2.5 (幅) 3.05	密	灰白	2.5Y8/2	残存重19.5g	
1120	228-06			土師質	土玉	S54-C	R18	包含層	(長) 2.1 (幅) 3.0	密	浅黄橙	10YR8/3	残存重18.62g	
1121	158-14		189	土師質	土玉	S54-C	C10	包含層	(長) 2.8 (幅) 2.7	密	にぶい黄橙		残存重16.8g	
1122	159-11		191	土師質	土玉	S54-C	O5	包含層	(長) 2.8 (幅) 2.9	密	橙	5YR6/6	残存重19.4g	
1123	159-06			土師質	土玉	S54-C	J20	包含層	(長) 2.75 (幅) 2.65	密	浅黄橙	10YR8/4	残存重16.4g	
1124	158-12		187	土師質	土玉	S54-C	P10	包含層	(長) 2.7 (幅) 2.95	密	灰白 黄灰	7.5Y7/1 2.5Y4/1	残存重19.0g	
1125	127-05			土師質	フイゴ羽石	S54-B	C4	包含層	(長) 9.0 (幅) 6.9	密	にぶい黄橙 灰黄	10YR6/4 2.5Y5/1	残存重260g	
1126	156-07		215	土師質	多孔土製品	S54-C	Q1	包含層	(幅) 2.4 ～3.9	密	浅黄橙	10YR8/3	残存重17g	
1127	091-02		220	石製品	打製石斧	S54-A	A9	包含層	(長) 7.9 (幅) 4.1				残存重 80.0g	
1128	091-03		219	石製品	打製石斧	S54-A	A,B	包含層	(長) 7.7 (幅) 4.3				残存重 72.5g	
1129	157-03		222	石製品	磨製石斧？	S54-C	P19	包含層	—				残存重23.8g	
1130	090-02		221	石製品	磨製石斧	S54-A	B4	包含層	(長) 4.3 (幅) 4.4				残存重107g	
1131	127-06			石製品	敲石	S54-B	D3	包含層	(長) 5.8 (幅) 5.8				残存重205.1g	
1132	157-02		261	石製品	石斧	S54-C	Q11	包含層	(長) 4.4 (幅) 3.0 (高) 0.8				残存重23.4g	
1133	091-01		218	打製石器	砥石	S54-A	A,B	包含層	(長) 8.4 (幅) 13.5				残存重379g	
1134	127-08			石製品	紡錘車	S54-B	C3	包含層	(長) 5.4 (高) 1.0				残存重31.05g	
1135	157-01		223	石製品	砥石	S54-C	C22	包含層	(長) 9.1 (幅) 8.8 (高) 0.5				残存重62.0g	
1136	090-04		224	石製品	砥石	S54-A	A18	包含層	—				残存重39.5g	
1137	090-03		217	石製品	温石	S54-A	H2	包含層	(長) 7.2 (幅) 9.4				残存重248g	
1138	049-02			鉄製品	刀子	S54	A38	包含層	(幅) 1.8					
1139	049-05			鉄製品	火打金	S54	試掘No.81	包含層	(幅) 2.7					
1140	049-04			鉄製品	火打金	S54-A	A24	包含層	(幅) 2.5					
1141	049-07			鉄製品	釘	S54-A	A24	包含層	(幅) 2.3					
1142	049-01			鉄製品	釘	H17-F	J121	包含層	(幅) 0.8					
1143	080-05			鉄製品	鍋	S54-A	A24	包含層	—					
1144	049-03			鉄製品	薄板状鉄板	S54	A50	包含層	—					

第33表　土器類観察表㉙

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	様・質	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)	胎土	色調		残存度	特記事項
1145	081-03			鉄製品	U字状製品	S54-C	G4・5	包含層	(長) 2.7					
1146	081-02			鉄製品	U字状製品	S54-C	G3	包含層	(長) 8.7					
1147	081-04			鉄製品	U字状製品	S54-C	G4・5	包含層	(長) 6.4					
1148	081-05			鉄製品	釘	S54-C	G4・5	包含層	(長) 10.5					
1149	080-01			銅製品	雁首	S54	I1	包含層	(長) 6.1 (幅) 1.1					
1150	080-02			貨幣	文久永宝	S54	B17	包含層	−					
1151	080-03			貨幣	寛永通宝	S54		包含層	−					
1152	080-04			貨幣	一銭銅貨	S54		包含層	−					

第34表　土器類観察表㉚

番号	実測番号	旧番号	旧実測番号	器種など	地区	グリッド	遺構・層名等	法量(cm)			木取り等	樹種	特記事項
								全長	幅	厚さ			
1153	005-01			建築部材	H17-E	Cy・Fa4	SE1106	77.0	15.3	5.2	板目	ヒノキ科アスナロ属	井戸枠に転用
1154	006-01			建築部材	H17-E	Cy・Fa4	SE1106	78.9	(11.1)	4.5	板目	スギ科スギ属スギ	井戸枠に転用
1155	007-02			建築部材	H17-E	Cy・Fa4	SE1106	75.3	20.1	2.8	板目	マツ科モミ属	井戸枠に転用
1156	008-01			建築部材	H17-E	Cy・Fa4	SE1106	70.8	29.0	5.0	板目	スギ科スギ属スギ	井戸枠に転用
1157	007-01			建築部材	H17-E	Cy・Fa4	SE1106	75.0	23.9	3.9	板目	ヒノキ科アスナロ属	井戸枠に転用
1158	005-02			建築部材	H17-E	Cy・Fa4	SE1106	81.2	10.0	7.7	板目	ヒノキ科アスナロ属	井戸枠に転用
1159	002-01			建築部材	H17-E	Cy・Fa4	SE1106	76.3	48.7	4.4	板目	ヒノキ科アスナロ属	井戸枠に転用
1160	001-01			建築部材	H17-E	Cy・Fa4	SE1106	74.6	39.8	6.7	板目	ヒノキ科クロベ属 クロベ	井戸枠に転用
1161	003-01			扉材	H17-E	Cy・Fa4	SE1106	108.8	69.0	4.5	板目	スギ科スギ属スギ	井戸枠に転用
1162	004-01			扉材	H17-E	Cy・Fa4	SE1106	102.5	68.5	4.8	板目	スギ科スギ属スギ	井戸枠に転用
1163	026-02			井戸枠	S54-A		SE213	(39.6)	10.0	1.7	板目		
1164	026-01			井戸枠	S54-A		SE213	(33.3)	25.0	1.8	板目		
1165	027-01			井戸枠	S54-A		SE213	(29.0)	16.1	2.1	板目		
1166	025-02			井戸枠	S54-A		SE213	(36.4)	16.1	2.3	板目		
1167	024-02			井戸枠	S54-A		SE213	(42.5)	17.1	2.6	板目		
1168	025-01			井戸枠	S54-A		SE213	(52.9)	17.3	1.7	板目		
1169	024-01			井戸枠	S54-A		SE213	(50.0)	1906	2.2	板目		
1170	023-01			漆器椀	S54-B		SE301	(台)8.0	−	−			
1171	023-02			棒状竹製品	S54-C		包含層	13.4	−	0.3	柾目		
1172	031-01			曲物	S54-B		SE301	(口)40.6					
1172	028-01			曲物	S54-B		SE301	(口)39.0	(高)11.5				
1173	030-01		257 or258	曲物	S54-B		SE301	(口)42.0	(高)34.0				
1174	029-01		257 or258	曲物	S54-B		SE301	(口)47.5	(高)31.5				
1175	033-01		257 or258	曲物	S54-B		SE301	(口)50.0	(高)27.8				
1176	032-01		255	井戸枠	S54-C		SE401	(径)44.0			堅木取り		一木刳貫
1177	006-02			鍬(鋤)状未製品	H17-E	Cy16	SD1101	32.0	18.7	2.4	柾目		
1178	006-03			鍬(鋤)状未製品	H17-E	Cy16	SD1101	30.9	24.7	2.8	柾目		
1179	034-01			用途不明品	H18	A12	SD1523	26.15	7.1	2.2	板目	コウヤマキ科コウヤマキ属 コウヤマキ	

第35表　木器観察表

Ⅴ　自然科学分析

１　はじめに

第４次および第５次調査では、溝および井戸から木製品が出土した。これら木製品の科学的手法による保存処理を、外部委託により実施することとなった。処理を行うにあたり、最適な方法を選択する目的で事前に、樹種同定を行った。以下は、その結果である。

２　試料

試料はＳＤ1101･1523、ＳＥ1106から出土した農具２点、建築部材10点、用途不明品の計13点である。

３　観察方法

剃刀で木口（横断面）、柾目（放射断面）、板目（接線断面）の各切片を採取し、作製した永久プレパラートを顕微鏡で観察して同定した。

３　結果

同定結果（針葉樹５種、広葉樹１種）の表と顕微鏡写真を示し、以下に各種の主な解剖学的特徴を記す。

１）マツ科モミ属（Abies sp.）（遺物No.６）（写真No.６）

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行は比較的ゆるやかで晩材部の幅は狭い。柾目では放射組織の上下縁辺部に不規則な形状の放射柔細胞がみられる。放射柔細胞の壁は厚く、数珠状末端壁になっている。放射組織の分野壁孔はスギ型で1分野に１～４個ある。板目では放射組織は単列であった。モミ属はトドマツ、モミ、シラベがあり、北海道、本州、四国、九州に分布する。

２）スギ科スギ属スギ（Cryptomeria japonica D.Don）（遺物No.１・２・４・７）（写真No.１・２・４・７）

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行はやや急であった。樹脂細胞は晩材部で接線方向に並んでいた。柾目では放射組織の分野壁孔は典型的なスギ型で１１分野に１～３個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。樹脂細胞の末端壁はおおむね偏平である。スギは本州、四国、九州の主として太平洋側に分布する。

３）ヒノキ科アスナロ属（Thujopsis sp.）（遺物No.３・５・９・10）（写真No.３・５・９・10）

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行は緩やかであった。樹脂細胞は晩材部に散在または接線配列である。柾目では放射組織の分野壁孔はヒノキ型からややスギ型で１分野に２～４個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。数珠状末端壁を持つ樹脂細胞がある。アスナロ属にはアスナロ（ヒバ、アテ）とヒノキアスナロ（ヒバ）があるが顕微鏡下では識別困難である。アスナロ属は本州、四国、九州に分布する。

４）ヒノキ科クロベ属クロベ（Thuja standishii Carriere）（遺物No.８）（写真No.８）

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行はやや急であった。樹脂細胞は晩材部に偏って接線状に存在する。柾目では放射組織の分野壁孔はスギ型で１分野に２～６個ある。放射柔細胞の水平壁が接線壁と接する際に水平壁は山形に厚くなり、接線壁との間に溝のような構造（インデンチャー）ができ、よく発達しているのが認められる。板目では放射組織は全て単列であった。数珠状末端壁を持つ樹脂細胞がある。クロベは本州、四国に分布する。

５）ブナ科コナラ属アカガシ亜属（Quercus subgen. Cyclobalanopsis）（遺物No.11･12）（写真No.11･12）

放射孔材である。木口では年輪に関係なくまちまちな大きさの道管（～200μm）が放射方向に配列する。軸方向柔細胞は接線方向に１～３細胞幅の独立帯状柔細胞をつくっている。放射組織は単列放射組織と非常に列数の広い放射組織がある。柾目では道管は単穿孔と多数の壁孔を有する。放射組織はおおむね平伏細胞からなり、時々上下縁辺に方形細胞が見られる。道管放射組織間壁孔は大型で柵状の壁孔が存在する。板目では多数の単列放射組織と放射柔細胞の塊の間に道管以外の軸方向要素が挟まれている集合型と複合型の中間となる型の広放射組織が見られる。アカガシ亜属はイチイガシ、アカガシ、シラカシ等があり、本州（宮城、新潟以南）、四国、九州、琉球に分布する。

６）コウヤマキ科コウヤマキ属コウヤマキ（Sciadopitya verticillata Sieb. et Zucc.）（遺

物№13）（写真№13）

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行はやや緩やかで晩材部の幅は極めて狭い。柾目では放射組織の分野壁孔は小型の窓状で１分野に１～２個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。コウヤマキは本州(福島以南)、四国、九州(宮崎まで)に分布する。

◆参考文献◆

島地 謙・伊東隆夫「日本の遺跡出土木製品総覧」雄山閣出版 1988

島地 謙・伊東隆夫「図説木材組織」地球社 1982

伊東隆夫 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ～Ⅴ」京都大学木質科学研究所 1999

北村四郎・村田 源「原色日本植物図鑑木本編Ⅰ・Ⅱ」 保育社 1979

深澤和三「樹体の解剖」海青社 1997

奈良国立文化財研究所「奈良国立文化財研究所 史料第27冊 木器集成図録 近畿古代篇」1985

奈良国立文化財研究所「奈良国立文化財研究所 史料第36冊 木器集成図録 近畿原始篇」1993

◆使用顕微鏡◆

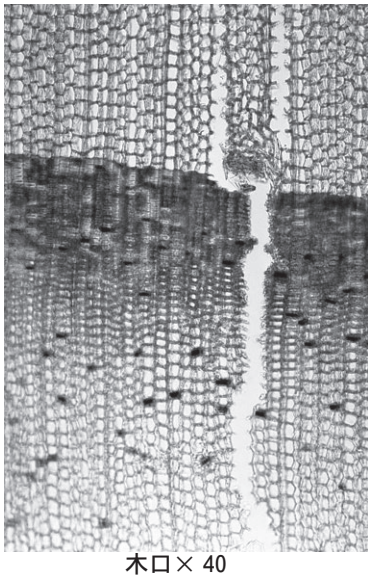
Nikon

MICROFLEX UFX-DX Type 115

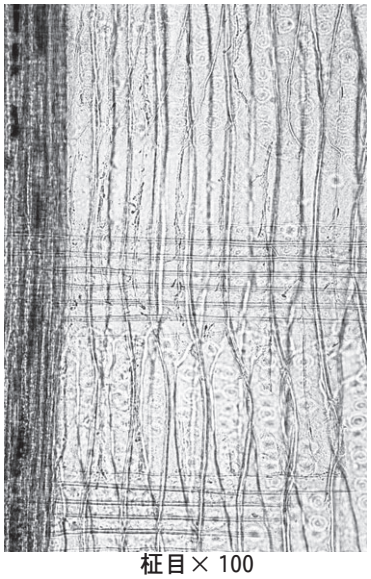
No.	品　　名	樹　　種	報告書番号	実測番号	備　　考
1	建築部材	スギ科スギ属スギ	1162	004-01	
2	建築部材	スギ科スギ属スギ	1161	003-01	
3	建築部材	ヒノキ科アスナロ属	1153	005-01	
4	建築部材	スギ科スギ属スギ	1154	006-01	
5	建築部材	ヒノキ科アスナロ属	1157	007-01	
6	建築部材	マツ科モミ属	1155	007-02	
7	建築部材	スギ科スギ属スギ	1156	008-01	
8	建築部材	ヒノキ科クロベ属クロベ	1160	001-01	
9	建築部材	ヒノキ科アスナロ属	1158	005-02	
10	建築部材	ヒノキ科アスナロ属	1159	002-01	
11	鍬 or 鋤（未製品）	ブナ科コナラ属アカガシ亜属	1177	006-02	
12	鍬（未製品）	ブナ科コナラ属アカガシ亜属	1178	006-03	
13	用途不明品	コウヤマキ科コウヤマキ属コウヤマキ亜属	1179	034-01	

第36表　SE1106・SD1523出土木製品同定表

写真１



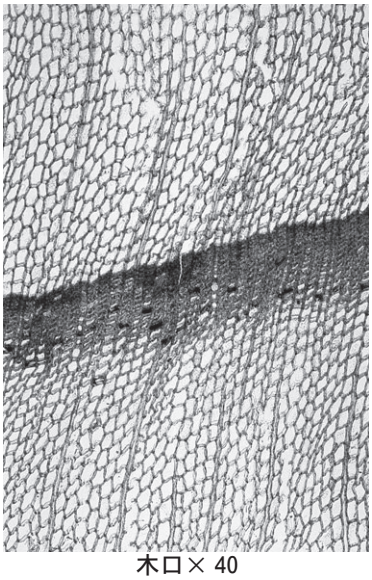
木口× 40

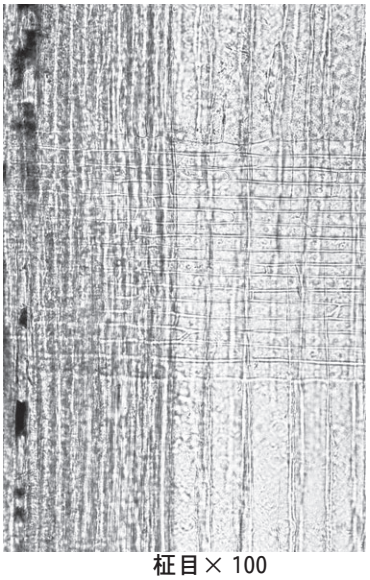


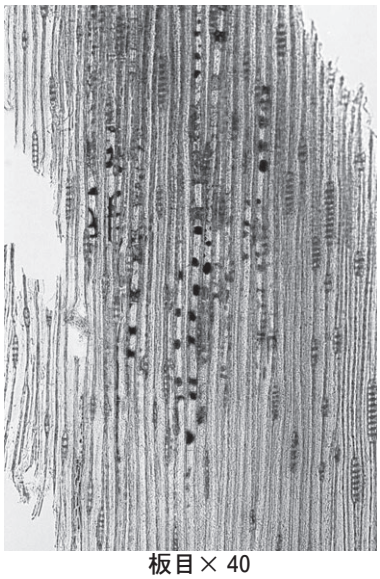
柾目× 100

板目× 40

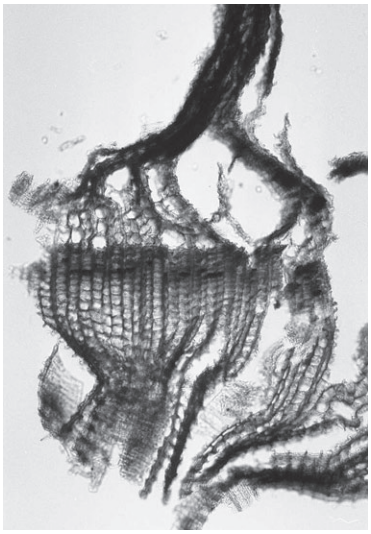
No.－１　スギ科スギ属スギ


木口× 40

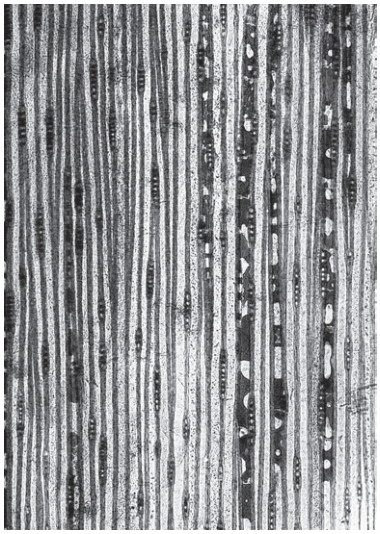

柾目× 100


板目× 40

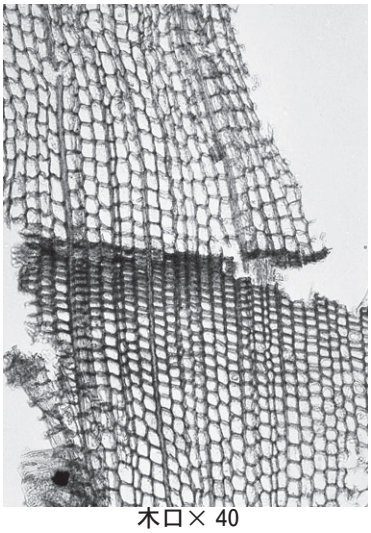
No.－２　スギ科スギ属スギ

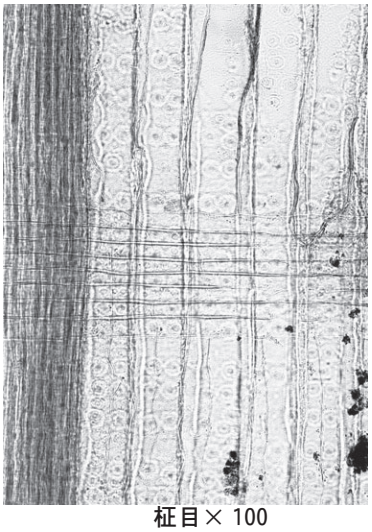

木口× 40

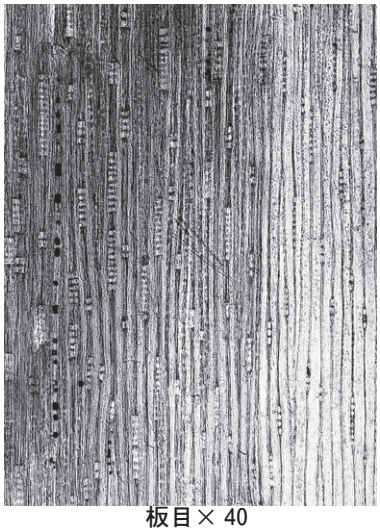
柾目× 100


板目× 40

No.－３　ヒノキ科アスナロ属

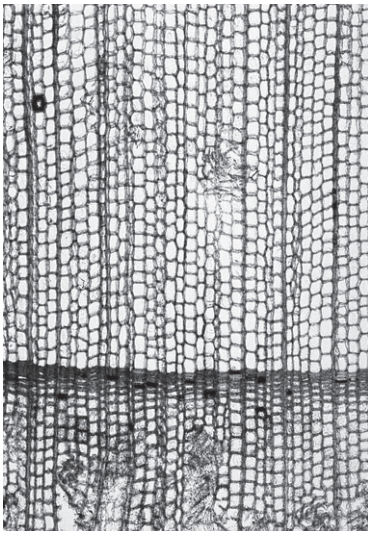

木口× 40


柾目× 100

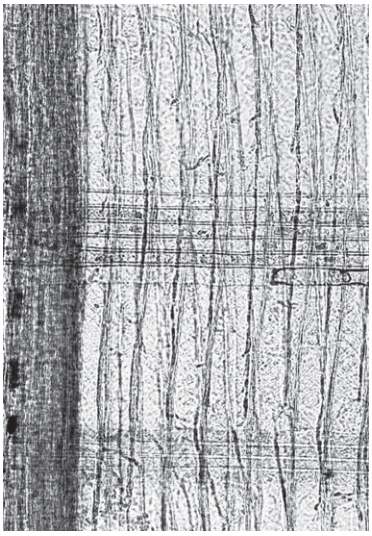

板目× 40

No.－４　スギ科スギ属スギ

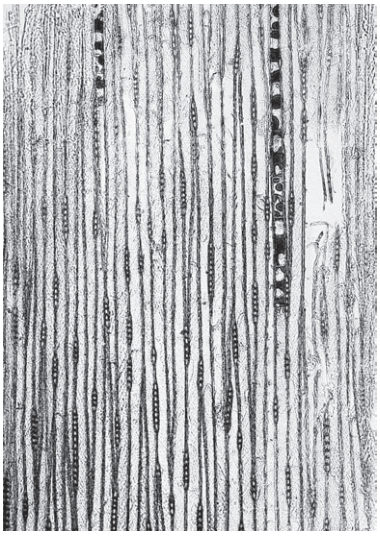
写真３



木口× 40

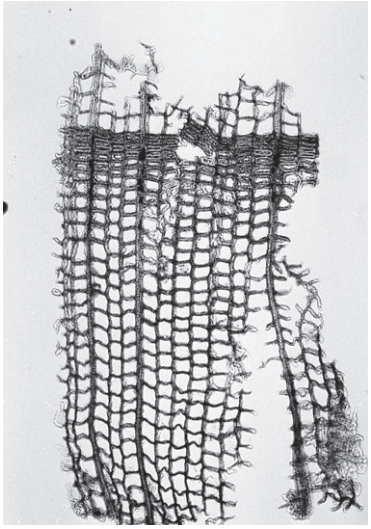


柾目× 100

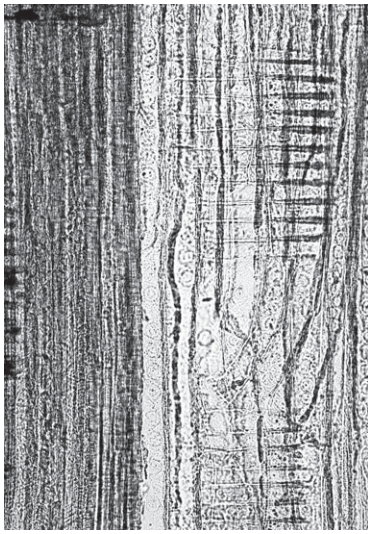


板目× 40

No.－５　ヒノキ科アスナロ属



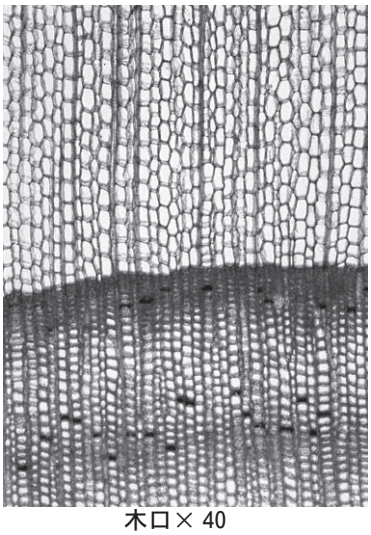
木口× 40



柾目× 100

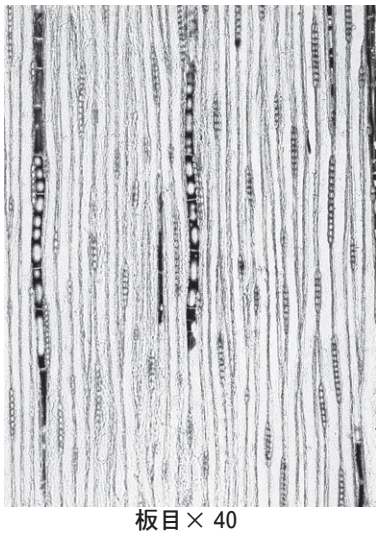
板目× 40

No.－６　マツ科モミ属



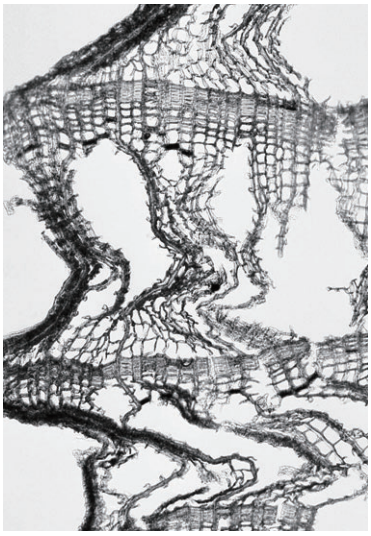
木口× 40

柾目× 100



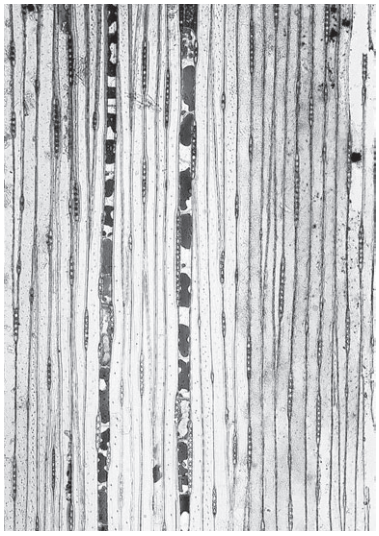
板目× 40

No.－７　スギ科スギ属スギ



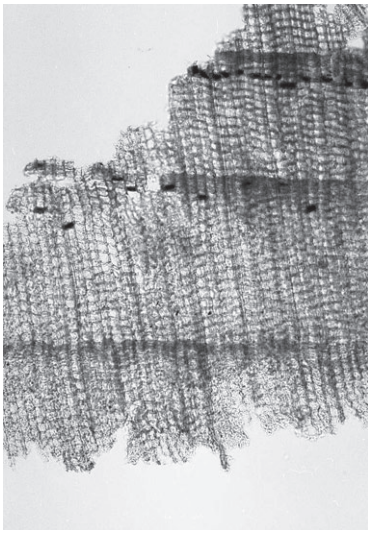
木口× 40

柾目× 100



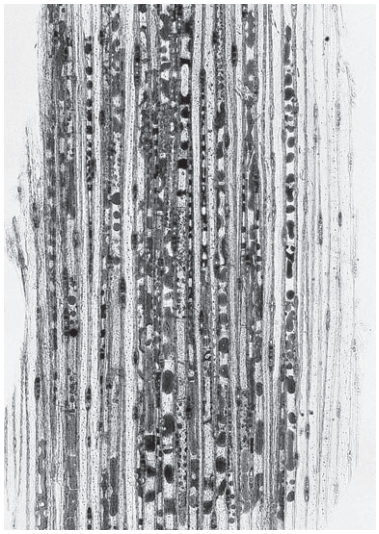
板目× 40

No.－８　ヒノキ科クロベ属クロベ



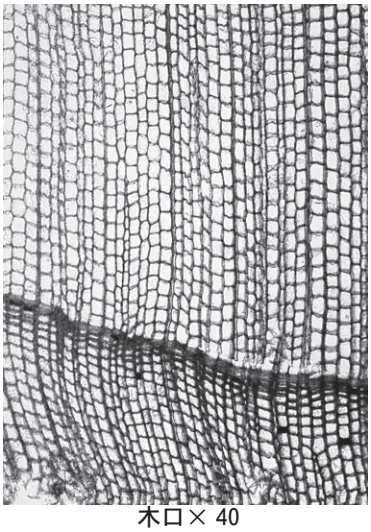
木口× 40

柾目× 100



板目× 40

No.－９　ヒノキ科アスナロ属



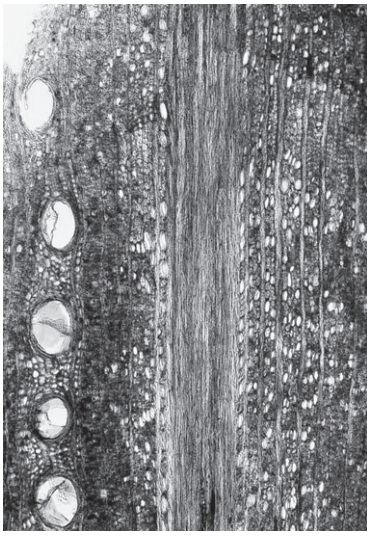
木口× 40

柾目× 100

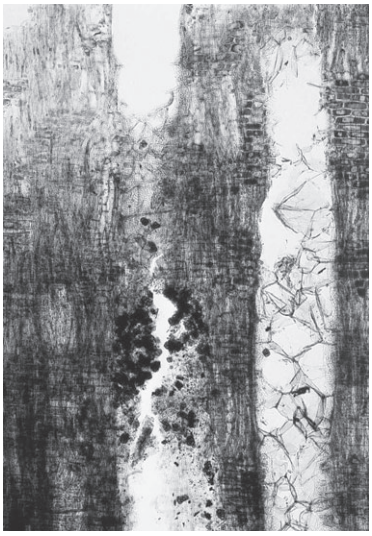
板目× 40

No.－10　ヒノキ科アスナロ属

写真５



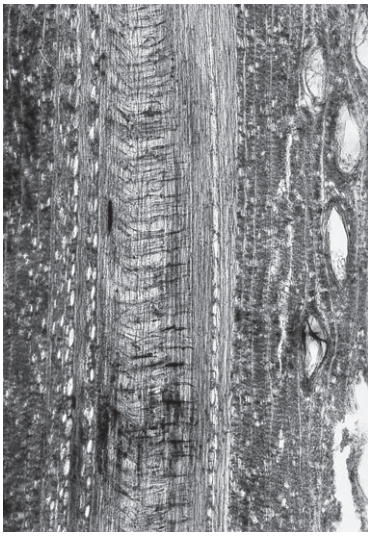
木口× 40



柾目× 100

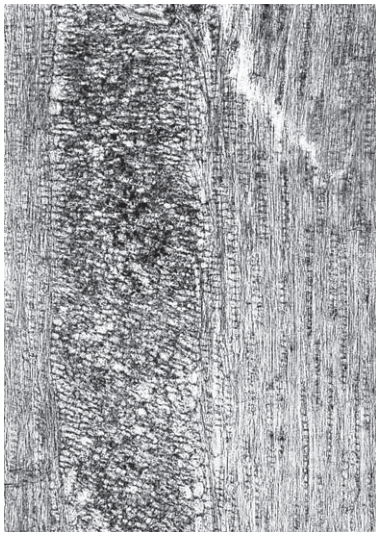
板目× 40

No.－11　ブナ科コナラ属アカガシ亜属



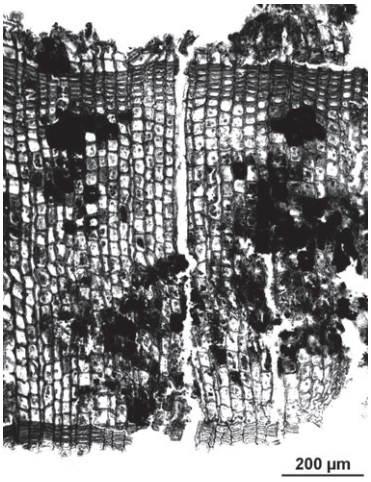
木口× 40

柾目× 100

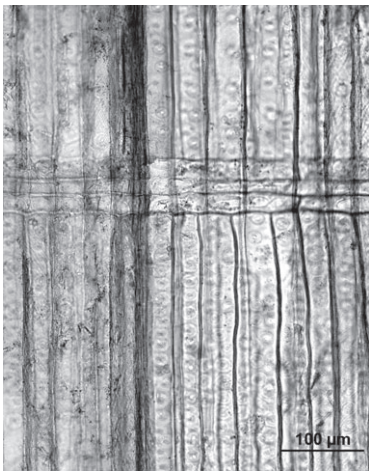


板目× 40

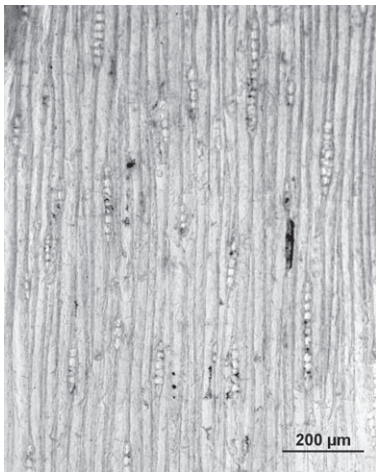
No.－12　ブナ科コナラ属アカガシ亜属



木口× 40



柾目× 100



板目× 40

No.－13　ブナ科コナラ属アカガシ亜属

Ⅵ　結 語

大木ノ輪遺跡はこれまでに、約12,000㎡におよぶ面積の発掘調査が実施されている。遺跡の中心となる時期は鎌倉から室町時代であるが、弥生時代前期に遡る遺構や古墳時代の遺構・遺物も確認されている。全体を通して見ると、遺跡の北部へいくほど古い時代のものが多くなる傾向が窺われる。ここでは発掘調査成果による全体的なまとめと、そこから生じた問題について若干の考察をしていきたい。

1　各時代の概要

縄文時代　縄文時代の遺構は、大木ノ輪遺跡では確認されていない。しかしながら、Ｓ54-幹線排水路地区の北東側に続く天ノ宮遺跡では、中期末から後期初頭とされる土器片が出土している。[①] さらに上箕田遺跡では晩期の遺物包含層が確認され、遺跡の形成が当該期にまで遡ることが明らかになっている。[②] 大木ノ輪遺跡では、弥生時代前期の遺構・遺物が確認されており、周辺遺跡の状況からすると、当遺跡においても縄文時代にまで遡る遺構・遺物が存在する可能性は十分に考えられる。

弥生時代前期　弥生時代前期の遺構としては唯一、Ｓ54－Ａ地区でＳＫ208が検出されている。詳細な状況は不明ながら、ＳＫ208からは前期後葉の土器が一括して出土している。

遺物の出土状況を見ると、Ｓ54－幹線排水路地区から同Ｂ地区にかけての地区で集中して出土している。これらの地区は、現在も周辺より一段高い自然堤防が残っており、結果として遺構も良好に残っているものと考えられる。

現在、高岡丘陵に沿って流れる鈴鹿川は、この時代大木ノ輪遺跡や上箕田遺跡の付近を流れていたとされる。大木ノ輪遺跡においても、上箕田遺跡と同様に早い段階から自然堤防に集落を営み、その周囲に展開する後背湿地で水田耕作が行われていたことが想定される。

弥生時代中期　包含層から土器が１点出土したのみで、ほぼ空白期間となっている。上箕田遺跡においても方形周溝墓が確認されているものの、遺物量が希薄な時期である。

伊勢地方では、この時期になると丘陵部に立地した遺跡が増加したすることが知られている。[③] 鈴鹿川下流域では、左岸の高岡丘陵に遺跡が集中して確認されており、大木ノ輪遺跡や上箕田遺跡の状況とは対照的な様相を示している。高岡丘陵に立地する遺跡の中には手工業生産に従事した遺跡もある[④]など、丘陵部に立地するの遺跡と低地部に立地する遺跡との関係が注目される。

弥生時代後期から古墳時代前期　住居等は確認されていないものの、木製農具の未製品が出土したＳＤ1101がある。ＳＤ1101は自然堤防の縁に位置しており、耕地整理以前に存在した水路とほぼ同じ位置にあたることから、自然流路の可能性が高いといえよう。

古墳時代後期　多量の土器が出土したＳＤ402・405・1202やＳＥ1106などがあり、継続して集落が営まれていたことを窺わせる。

Ｓ54－Ｃ地区およびＨ18－Ｇ地区で検出されたＳＤ402・405・1202は調査区毎に分断されているが、同一の遺構と考えられる。また、Ｓ54－Ｂ地区で検出されたＳＤ302は、やや規模が小さくなるもののＳＤ402・405・1202と同じように自然堤防のほぼ中央を縦断して流れており、これも同一の溝として考えることも可能である。ＳＤ405からは杭列が検出されており、灌漑施設として利用されていたのではないだろうか。

ＳＥ1106から出土した井戸枠に転用された扉板等からは、大規模な建物が存在していた可能性が考えられる。この時期の生活面は、ＳＥ1106内に残された最上部を破壊し内部に投棄された状態の井戸枠が、現在の水田面と大差ないレベルで検出されており、本来の高さに復元した場合、現況よりも高い位置にあったと考えられる。こうした状況から、この時期の遺構の多くは後世の耕作活動などによって、すでに破壊されているものと考えられる。

東方約500ｍの微高地上に立地する神大寺遺跡からはこの時期の遺物が多数出土しており、[⑤] いくつか

第70図　主要遺構配置図(1:3,500)

の集落が自然堤防上を中心とした微高地に点在して営まれていたものと考えられる。

飛鳥・奈良時代　若干量の遺物は出土しているが、遺構は確認されていない。この時期、鈴鹿川左岸の丘陵部に国分寺・国分尼寺が建立され、金沢川河口部には公的な性格も考えられる港湾施設が設置される[6]といった環境の中で、大木ノ輪遺跡の立地する低地部がどのような状況下にあったのか今後の検討課題のひとつとして挙げられよう。

平安時代　多量の遺物がＳ54－Ｂ地区を中心として、同Ｃ地区からも出土しており、再び集落が営まれるようになったと考えられる。検出された遺構がほとんどないため状況は判然としないが、墨書土器も存在する。また､70点を超える緑釉陶器や「商品」としての性格が指摘される清郷型鍋が多数存在することは、大木ノ輪遺跡が海上交易と深く関わっていたことを示唆するものであろう。[7]

鎌倉・室町時代　大木ノ輪遺跡の中心となる時期である。このころになると、ようやく安定した生活や生産の場になっていたようで、現在に至る田園地帯の原型となる景観がこの段階に形成され始めたものと考えられる。

Ｓ54－Ａ・Ｂ地区で条里地割りと方向を同じくする溝が多数確認された他、Ｈ17－Ａ～Ｄ地区では水田畦畔も検出されている｡掘立柱建物も５棟ある。これらの建物は条里地割りの方向とは異なり、ほぼ正方位に近い方向性をもっており、溝によって区画されているといった状況は窺えない。この他、特筆すべき点として19基もの井戸の存在がある。特にＳ54－Ａ地区の北区では、60ｍ×30ｍの調査区に９基、同Ｂ地区の北区でも４基が集中して検出されている。すべての井戸に曲物などの施設が確認されているわけではないので、徐々に場所を移動しながら掘削されていったものと考えられる。

遺物のなかでは、多量の土錘の存在が際立っている。これは集落の経営形態が耕作によるものだけではなく、漁業も加えた半農半漁の形をとっていたことを窺わせるものである。

15世紀半ば、守護世保（土岐）政康が上箕田城および周辺の城を拠点として活動したとされる[8]が、これに関わると考えられる資料は得られていない。

2　弥生土器について

大木ノ輪遺跡では、弥生前・中期の土器が、ＳＫ208および包含層から出土している。包含層出土土器（第49図参照）の壺から見てみると、体部に段を有する486、削出し突帯ではあるが口縁部の外反が強くなる489は、それぞれ上村編年[9]のＩ－１・２様式に相当する。甕は口縁部が大きく開き、肥厚するものが多いことから、同編年のＩ－３・４様式に相当すると考えられる。一方、ＳＫ208出土土器（第41図参照）を見ると、壺は口縁部の外反が強く貼付突帯が押圧で多条のものが存在する。甕は、口縁部が肥厚し大きく広がるものが多い。こうした特徴から、ＳＫ208は上記編年のＩ－３・４様式に相当すると考えられる。

大木ノ輪遺跡から出土した弥生時代前期の土器は、上村編年のＩ－１様式Ｉ－３・４様式になって量が増加するようである。

次に､唯一中期に位置づけられる502(第50図)は、算盤玉状に張り出した体部に頸部から縦方向のハケを施した後、直線文を頸部から最大径までに13段巡らしており、上村編年のⅣ－１様式に相当すると考えられる。

伊勢湾西岸地方の初現的な遺跡の一つとして知られる上箕田遺跡から出土した土器は、５つの様式に分類されている(上箕田編年)[10]。上箕田編年のⅢ式土器は上村編年のⅢ様式に、Ⅳ式土器は同Ｖ－３・４様式に比定されており[11]、両者の間には明確な時間的空白が存在する。このことはすでに報告書において指摘されており、Ⅲ式とⅣ式との間には「かなりの型式差が認められる[12]」としている。上箕田遺跡における空白の期間となっている。上箕田遺跡に隣接する大木ノ輪遺跡からこの時期に相当する土器が出土したという事実は、一定の評価が与えられるのではないだろうか。

3　土錘について

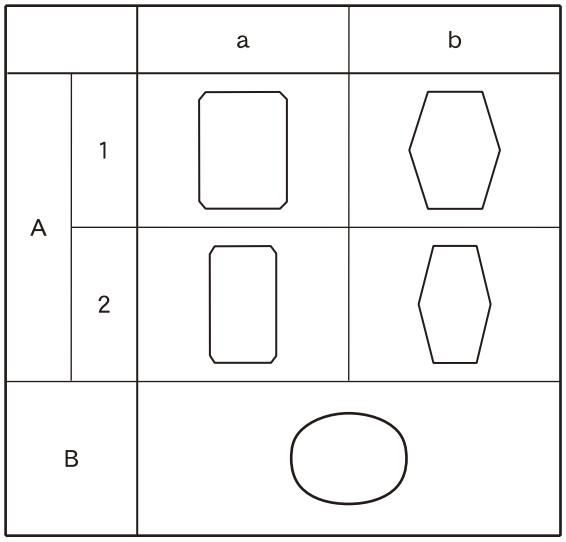
大木ノ輪遺跡からは、200点を越える数の土錘が出土した。これらの土錘は、漁網錘として漁網に取り付けて網漁に用いられたと考えられる。

材質は、陶質の１点（934)を除き、他は全て土師

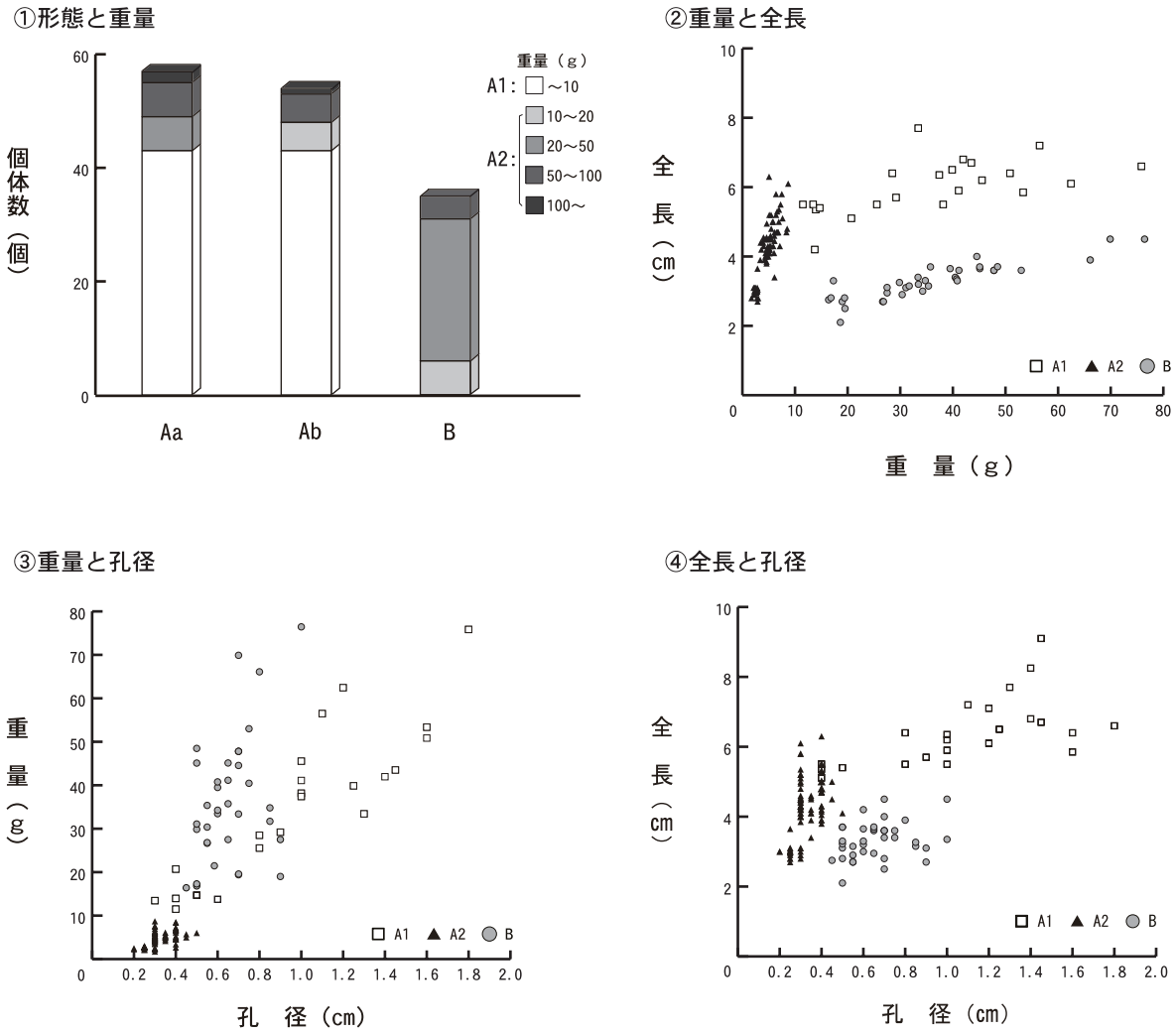
質である。形態で見ると、細長い管状をなすものと玉型をなすいわゆる土玉[13]とに分類でき、前者をＡ類、後者をＢ類とする。Ａ類は断面形の形態によって、長方形もしくはそれに近いａ類、長軸の中央付近が最大径となるｂ類に分けられる。さらに、重量によって10ｇ以上のものを１類、10ｇ未満のものを２類に細別する。（第71図）

出土した土錘を、①形態と重量、②重量と全長、③重量と孔径、④全長と孔径との関係についてグラフに表したものが第71図である。これによると、

①形態と重量の関係では、 Ａａ類は10～20ｇが存在せず、Ａｂ類は20～50ｇのものが存在しないという相違点はあるものの、全体の構成割合としてはほぼ同じような内容になっている。特に、２類とした10ｇ未満の小型品が約８割を占めており、わずかな量ではあるものの100ｇを越える大型品も



第71図　土錘分類図



第72図　土錘各グラフ

存在する。これに対し、Ｂ類では10ｇ以下の小型品や100ｇを越える大型品がなく、20～50ｇのものが約７割を占めている。

②重量と全長との関係では、Ａ類・Ｂ類ともに比例関係にある。しかし、Ａ２類では全長差に対する重量差が小さいのに対して、Ａ１類とＢ類では重量に大きな幅が見られるのにも関わらず、全長はほぼ一定の範囲におさまる。また、全長だけで見てみると、Ａ１類は５～７㎝、Ａ２類は３～６㎝、Ｂ類は３㎝前後にまとまっていることがわかる。

③重量と孔径の関係では、Ａ２類は重量に関わらず0.3㎝と0.4㎝とに大きなまとまりが見られるのに対して、Ａ１類・Ｂ類では、孔径は重量に比例して大きくなり、特に大きなまとまりは認められないが、Ｂ類は0.4～0.9㎝までにおさまっている。

④全長と孔径との関係では、Ａ２類は重量と孔径との関係の場合と同じく全長に関わらず孔径は一定の値にまとまりが見られる。Ｂ類は、孔径にある程度のまとまりを認めることはできるが、Ａ２類ほど大きなものではない。Ａ１類は比例関係にあるといってよい。

全体を通してみてみると、一定程度の規格性を認めることができ、Ａ２類は孔径に、Ａ１類・Ｂ類は全長に重点が置かれているようである。また、Ａ１類、Ａ２類、Ｂ類は互いにまとまりをもつ範囲が異なっており、Ａ類を大型のＡ１類、小型のＡ２類としたが、Ｂ類はちょうどその間に位置づけることができよう。つまり、Ａ１類・Ａ２類・Ｂ類の関係は、単純に見た場合、小型品のＡ２類、中型のＢ類、大型のＡ１類とすることができる。しかしながら実際には、このような孔径や重量の違いは装着する魚網の規模や糸の太さ、あるいは漁法の違いによって生じるものとも考えられる。また、時代による形態の違いもあるであろう。

滋賀県内で出土した土錘の検討を行った大沼芳幸氏によると、小型のＡ２類およびＢ類は止水域での刺網系の網に、大型のＡ１類は曳網系あるいは巻網系の網に用いられたものであるとされる。[14] 大木ノ輪遺跡の場合、Ａ２類とＢ類を合わせると９割を占めており、大沼氏のいう止水域での刺網漁が中心に行われていたことが考えられる。

刺網系の管型（Ａ類）と玉型（Ｂ類）との関係については近江町法勝寺遺跡の例から、古墳時代では玉型が圧倒的に多く、時代が降るにつれて減少する傾向があり、玉型と管型の出土量が逆転するのは６世紀から７世紀にかけてであるという。[15] 大木ノ輪遺跡では、遺構に伴う土錘が少ないためあまり断定的なことは言えないが、古墳時代のＳＤ402・405・1202からはＢ類が、鎌倉・平安時代の溝からはＡ類が出土しており、滋賀県での場合と同様な状況をみて取ることはできる。

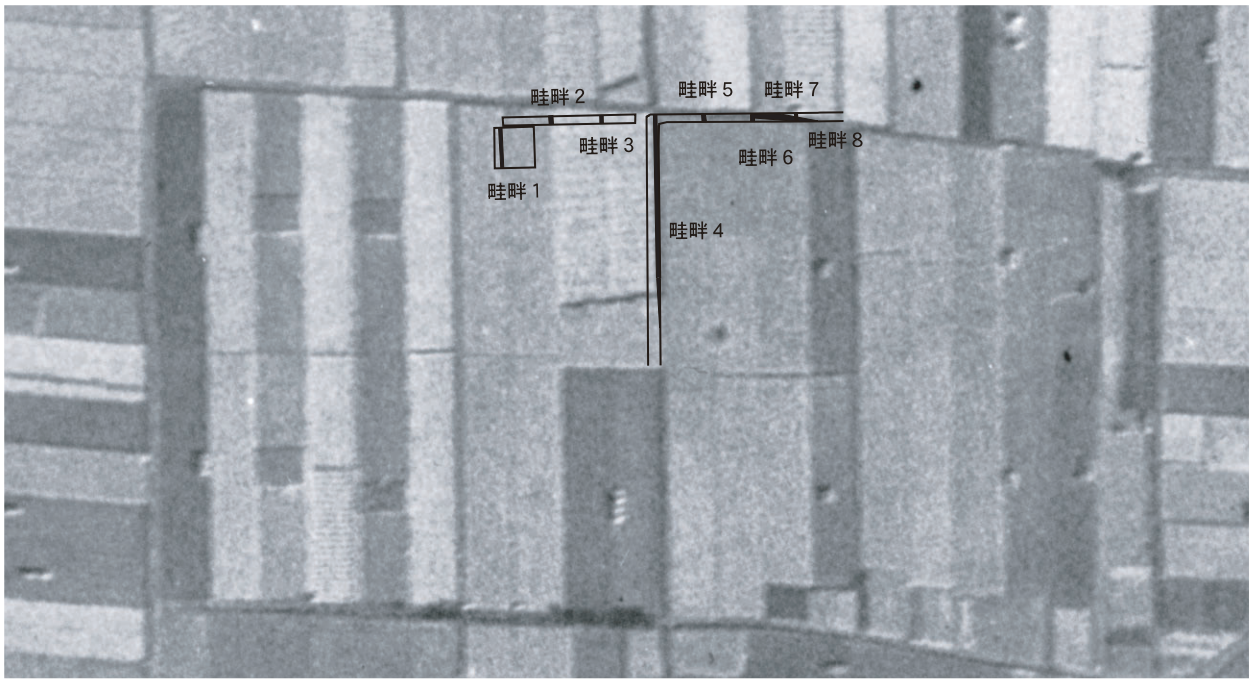
時代によって大木ノ輪遺跡を取り巻く自然環境にも変化が生じたであろうし、それに伴い対象とする魚や使用する漁網も変化したはずである。分類したそれぞれの土錘がもつ規格性の違いが、時代によるものなのか、使用方法の違いによるものかは今後の検討課題としたい。

４ 条里地割りについて

Ｈ17－Ａ～Ｄ地区において、中世のものと考えられる水田畦畔が検出された。検出された畦畔は、東西方向１条、南北方向７条の計８条である。

圃場整備以前に撮影された空中写真と、今回の調査で検出された畦畔の位置とを照合したものが、第73図である。これを見るとわかるように、検出された畦畔はすべて圃場整備以前の畦畔と一致しており、特に畦畔４・８は条里の坪境に相当する大畦畔であることがわかる。一般に大畦畔は小畦畔と比べ規模が大きくなるものである。しかしながら、畦畔４・８の規模は他の小畦畔と比較してみても、畦畔８はわずかに幅広であるものの、畦畔４には、小畦畔との明確な差は見受けられない。

畦畔間の距離は、約12ｍであるので一坪に換算すると約120ｍになる。この地域の条里地割りが、一坪120ｍと通常の109ｍより広くなることは、空中写真等から検討した仲見秀雄氏によって、すでに指摘されている。[16] 今回の調査によって検出された畦畔は、現在に至るまで位置を変えることなく累々と積み重ねられきたことが確認されている。このことは、この地域の条里地割りが施行当初から幅広であったことを示している。



第73図　畦畔位置図

5 まとめ

大木ノ輪遺跡からは、大量の遺物が出土しているにもかかわらず、住居跡などが確認されていない。こうした状況は隣接する上箕田遺跡等周辺の遺跡についても同様のことがいえる。鈴鹿川の氾濫や、その後の耕作活動などによる地形の改変によって、すでに破壊されている可能性が高いと考えられるが、調査実績もさほど多いとは言えず、鈴鹿川下流域低地部の状況は未だに判然としない部分が多い。今後の解明していくべき課題は多く、注目すべき地域であるといえよう。

【註】

①三重県教育委員会「Ⅵ　鈴鹿市南長太町　天ノ宮遺跡」『昭和55年度県営圃場整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』1981

②鈴鹿市遺跡調査会『上箕田遺跡』鈴鹿市教育委員会　1993

③穂積裕昌「北伊勢の弥生集落～四日市市下之宮遺跡とその周辺～」『研究紀要』第13号 三重県埋蔵文化財センター 2003

④岡田 登「三重県下出土の玉作り関係資料について」『史料』第173号　皇學館大學史料編纂所 2001

⑤三重県教育委員会「Ⅶ　鈴鹿市南堀江町　神大寺遺跡」『昭和55年度県営圃場整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』1981

⑥鈴鹿市教育委員会『天王遺跡－第３次発掘調査報告－』1998

⑦佐野五十三「清郷型甕の研究」『静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要』Ⅲ 静岡県埋蔵文化財調査研究所 1990

永井宏幸「清郷型鍋再考」『年報 平成７年度』(財)愛知県埋蔵文化財センター 1996

⑧『応仁略記』

⑨上村安生「伊勢・伊賀地域」『弥生土器の様式と編年 東海編』木耳社 2002 併せて上村氏よりご教示を得た。

⑩鈴鹿市遺跡調査会『上箕田－弥生式遺跡第二次査報告－』1970

⑪同前掲註⑨

⑫大場範久「第五章 北区の調査」『上箕田弥生式遺跡第二次調査報告』鈴鹿市教育委員会 上箕田遺跡調査会　1970

⑬祭祀具や紡錘車等とする説もあるが、大木ノ輪遺跡においてはそのような使用方法を想定させる材料がないため、ここでは土錘の一形態と する。

⑭大沼芳幸『一般国道161号線(高島バイパス)建設に伴う新旭町内遺跡発掘調査報告書Ⅰ－正伝寺南遺跡－（本文編)』滋賀県教育委員会　(財)滋賀県文化財保護協会 1990

⑮大沼芳幸『一般国道161号線(高島バイパス)建設に伴う新旭町内遺跡発掘調査報告書Ⅰ－正伝寺南遺跡－（本文編)』滋賀県教育委員会　(財)滋賀県文化財保護協会 1990

同　「人はそれでもタンパクシツを欲した－土錘出土量から見た近江における網漁の展開・特に中世－」『紀要』第５号（財)滋賀県文化財保護協会 1992

⑯仲見秀雄「第三節　鈴鹿・河曲郡の条里制」『伊勢湾岸地域の古代条里制』東京堂出版 1979

写 真 図 版

図版 1

H17－Ａ地区全景（北西から）

H17－Ｂ地区全景（東から）

H17－Ｃ地区全景（東から）

図版２

Ｈ17－Ｅ地区全景（北から）

Ｈ17－Ｇ地区全景（西から）

ＳＤ1101遺物出土状況（南東から）

ＳＥ1106（東から）

ＳＫ1005（北東から）

畦畔３（北西から）

H18－北区全景（東から）

H18－北区全景（西から）

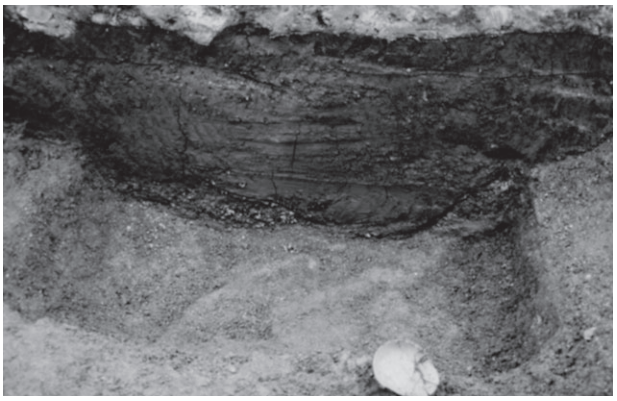
H18－南区南半（北から）

H18－南区北半（北から）

図版４

ＳＤ1509(北から)

ＳＤ1528･1529(北から)



ＳＫ1503(南から)

ＳＤ1509(北から)

ＳＤ1515･1516･1523(南から)

作業風景

空中写真（圃場整備前）（東から）

Ｓ54－幹線排水路地区（東端区）（西から）

図版６

Ｓ54－Ａ地区（北区）（東から）

Ｓ54－Ａ地区（北区）（西から）

Ｓ54－Ｂ地区（西区）（西から）

Ｓ54－Ｃ地区（西区）（東から）

図版８

Ｓ54－Ｃ地区（西区）（北から）

Ｓ54－Ａ地区（北区）（東から）

Ｓ54－Ｃ地区（西から）

ＳＤ308（南から）

ＳＥ205（北から）

ＳＢ407（西から）

ＳＢ408・409（西から）

ＳＢ314（西から）

ＳＤ405（東から）

ＳＥ312（西から）

ＳＥ401

ＳＥ301

弥生土器出土状況

図版10

488

491

492

493

172

170

171

176

497

543

507

514

図版12

516

517

509

510

519

526

202

528

552

555

554

197

194

579

565

186

図版14

583

586

608

611

590

243

615

625

631

596

677

676

694

707

680

703

714

718

597

648

図版16

819

810

782

459

858

474

477

875

886

816

798

786

784

792

834

773

436

887

894

893

図版18

896

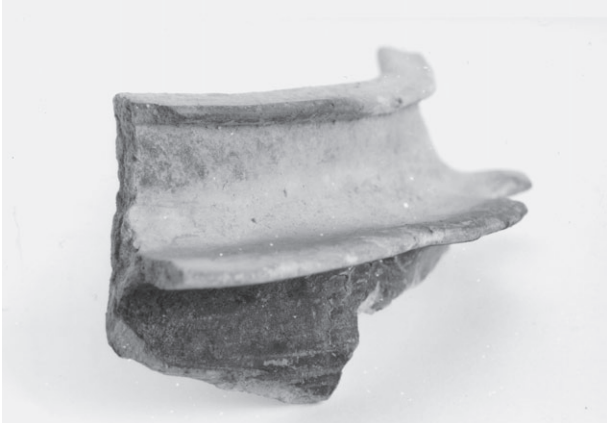
895

738

752

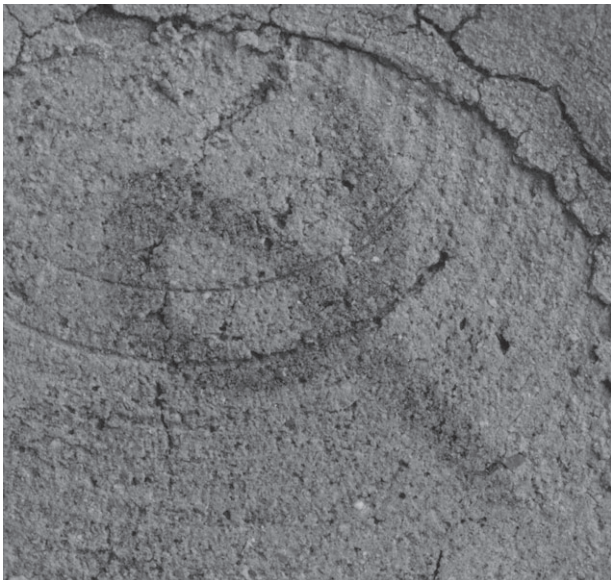
264

742

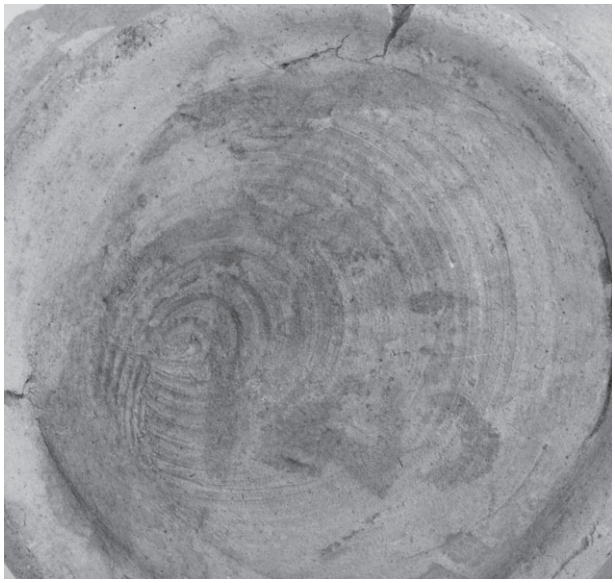


319

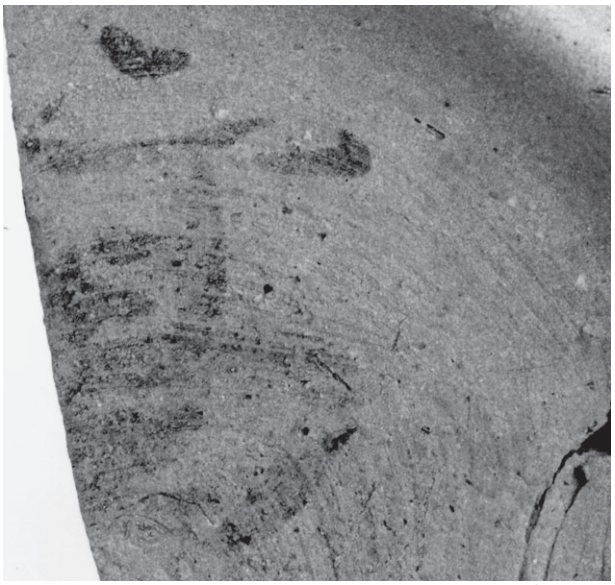
326



870



707



705

706

1125

1126

図版20

931(裏)

931(表)

1134

1137

942

943

1172

1172

1173

1175

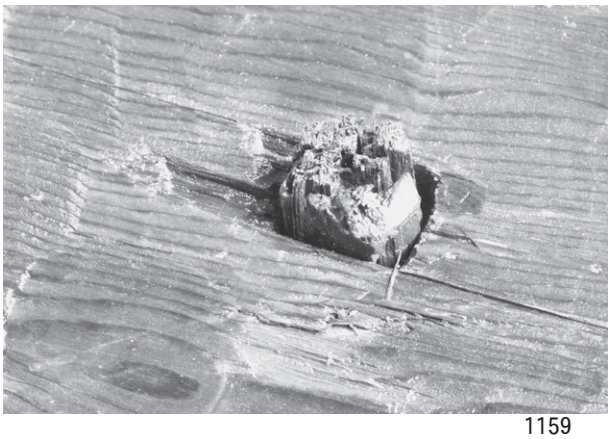
1170(表)

1170(裏)

1171

図版22

1161



1159

1162

1153

1160

1161

1157

1157

報告書抄録

ふりがな	おぎのわいせきはっくつちょうさほうこく
書名	大木ノ輪遺跡発掘調査報告
副書名	
巻次	
シリーズ名	三重県埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	２９６
編著者名	角 正 芳 浩
編集機関	三重県埋蔵文化財センター
所在地	〒515-0325　三重県多気郡明和町竹川５０３　TEL　0596(52)1732
発行年月日	２００８年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
おぎのわ 大木ノ輪遺跡	みえけん 三重県 すずかし 鈴鹿市 はやさきちょう 林崎町・ かみみだちょう 上箕田町・ みなみなごちょう 南長太町	207	701	34° 53′ 02″	136° 37′ 01″	19790528 ～19800328 2005101 ～20051208 20061016 ～20061110	9,700 1,315 380	経営体育成基盤整備事業にかかる事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
大木ノ輪遺跡	集落跡	弥生		壺 石器	遺物重量 平成17年度 118.1kg 平成18年度 18.0kg
		古墳	溝 井戸	土師器 須恵器	
		古代・中世	掘立柱建物 溝 土坑 井戸	灰釉陶器 緑釉陶器 山茶椀 黒色土器 土師器 瓦 土製品	

要約

大木ノ輪遺跡は、鈴鹿川下流域右岸の自然堤防上に立地する遺跡である。鈴鹿川沿岸二期地区経営体育成事業に伴い発掘調査を実施した。調査の結果、弥生時代前期・後期、古墳時代前期・後期～室町時代の遺構・遺物が確認された。遺構は溝が多く、竪穴住居は確認されていない。遺物の出土量はきわめて豊富である。

三重県埋蔵文化財調査報告 296
大木ノ輪遺跡発掘調査報告
２００８（平成２０）年３月

編集
発行　三重県埋蔵文化財センター
印刷　㈲山文印刷